代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（もの）	も	094	01	ば安寧に関する法律は其の土地に住する	もの	は内外人を問はず支配するものにて殊に裁判は
	も	098	08	であらうと考へまする．苟くも人情ある	もの	は人の死を聞いて悲しまぬものはなく殊に其の
	も	098	09	人情あるものは人の死を聞いて悲しまぬ	もの	はなく殊に其の非命の死を聞きては流涕長大息
	も	098	10	非命の死を聞きては流涕長大息いたさぬ	もの	は殆んどありますまい．然るに今や我々同胞二
	も	099	13	に認めたる事柄である．而して人といふ	もの	は災難の場合に当りて殊に義侠の心を生ずるも
	も	102	10	から国情さへ西洋へ通ずれば感心させる	もの	は尠くない．然るに外国に遊んだ人の話しを聞
	も	109	07	下は五艘，一千噸以上一千五百噸以下の	もの	は六艘の端艇を備へなければならぬことにきま
	も	113	09	方が余計に見ゆる．して見れば酒といふ	もの	は先づ悪い方に勘定をしなければ，ならないの
	も	113	11	で，ありませう．併しながら飲食といふ	もの	は人の大慾であるから之を節するといふことは
	も	114	02	しなければならない．一体，動物といふ	もの	は食欲を節することは出来ないものなれど人類
	も	114	03	ることは出来ないものなれど人類といふ	もの	は他の動物よりは違つて居るものだから其の人
	も	114	17	本当に命の惜いといふことを知つて居る	もの	は人類ばかりと言つて，よいもので，さて其の
	も	115	02	も貴い欲で有ります．一体，人類といふ	もの	は低い欲よりは高い欲の方を勝たせなければ人
	も	115	07	者のあるは誠に困つたもので人類といふ	もの	は其れを節するやうにしなければ他の動物に対
	も	115	10	が有る．其れは外でも無い，人類といふ	もの	は品行をよくしなければ，ならないといふこと
	も	117	12	有ります．人によりては酒の分量といふ	もの	は人によつて違ふ故に節酒と言つても其の程が
	も	120	10	つて神保町辺から小川町辺は商家と云ふ	もの	は有りませんだつた．其れが只今ではあの通り
	も	124	09	きことと存じまする．凡そ卒業生といふ	もの	は今漸く世に出まして善く励んで基督教をのべ
	も	124	14	んと全智全能の造物主たる神と共に働く	もの	は己れの大切な職分を尽しながら多くの助けと
	も	125	07	されば今頃，よく若い伝道師を困らせる	もの	は何で御坐りませうか．伝道師が度々聞く所の
	も	125	08	か．伝道師が度々聞く所の反対論といふ	もの	はドコから起つて来るもので有りませうか．所
	も	125	10	．傍聴人の耳を塞ぎ，よく其の心を奪ふ	もの	は何で御坐りませうか．今之に答ふるに，これ
	も	125	13	りませぬ．基督教の色々の反対論といふ	もの	は，おもに学術と基督教との関係また其の合ふ
	も	126	17	坐りませぬ．西洋の高名なる学者といふ	もの	は大抵皆な専門家で御坐ります．今漸く世に出
	も	128	17	，不意に吹き出した所の風に従つてゆく	もの	は決して基督教の教師の仲間に限つたものでは
	も	129	09	ものとして常に誹ります．箇様な臆病な	もの	は少なう御坐りますけれども無いものでも御坐
	も	130	02	たちと神学卒業生の中には箇様な臆病な	もの	は実に適当せぬもので有ります．イヽエ基督教
	も	130	15	之に感服しまた之を尊敬す．この二つの	もの	は則ち遙か上に立派な天体を具へて居る大空と
	も	131	16	ることが出来ます．さすれば学術といふ	もの	は決して我が宗教の害にならず却つて大いに其
	も	132	12	固く立てるならば，すべての迷ひといふ	もの	は自からにして倒れてしまふもので有ります．
	も	134	16	れども先づ今日説きまする所のおもなる	もの	は，これで御坐ります．併しながら，こゝにま
	も	137	11	かと思ひましたところが此の小説と云ふ	もの	は学校教育では無いが間接に社会の教育上に関
	も	137	15	お話しを致さうと存じます．小説と申す	もの	は面白いか面白く無いか言はずと知れたことで
	も	138	15	ります．また西洋の著作中にも其の善き	もの	は之を見て自ら反省することもあれば随つて社
	も	139	07	ぬものと思ひます．して此の小説と言ふ	もの	は普通の学問と違ひ日本などでは甚だ之を卑し
	も	139	17	めになるで有りませう．其の効力と言ふ	もの	は兎に角ナポレオン三世を逐ひ出し出してしま
	も	140	07	コットが其の筆先きで儲けた名利と言ふ	もの	は大層なもので恰も諸侯の如き領地を購ひ城郭
	も	141	01	琴尚ほ且然り況や其の流派を酌んで居る	もの	は見るに忍びぬ程で有つたと申します．また日
	も	141	17	説の仕組は出来ません．凡て物事と言ふ	もの	は仕組と言ふものが肝腎なもので斯様な家を建
	も	142	02	斯様と其の他軍艦を造るにも仕組と言ふ	もの	は大切なものなれども，たゞ柱を削り塀を塗る
	も	142	05	才では中々いけません．凡そ仕組と申す	もの	は家を建てるに致せ軍艦を造るに致せ小説を著
	も	143	01	出ることは有りません．凡そ小説と云ふ	もの	はたゞ勧善懲悪ばかりが主意では御坐りません
	も	143	02	御坐りません．然らば小説の本意と云ふ	もの	は何だと云ふと人間の人情を写し出す一つの美
	も	143	06	説の管内で御坐ります．凡そ人情と申す	もの	は極り無きもので種々雑多の情を起すに違ひ無
	も	143	10	が有つて貴様は小説を貴ぶが小説と云ふ	もの	は卑しむべきもので有る，小説は人情本で有る
	も	143	13	なものを貴ぶのでは有りません，斯様な	もの	は之を擯斥する積りで有ります．たとへば米八
	も	143	15	いと云ふ心が生じませう．然らば斯様な	もの	は是非排斥してしまはなければなりません．右
	も	144	03	有る．斯様な画が有るからとて画と言ふ	もの	は全く卑しむべきものとは言はれますまい．こ
	も	144	04	同じことで所謂る人情本の猥褻なる如き	もの	は抑も末なるものとして美術上より遠ざけるが
	も	144	05	日本今日の小説とて美術の旨意に適つた	もの	は無いでは無いが随分不都合なものが流行して
	も	144	08	の精粕を嘗めずに一機軸を出したと言ふ	もの	は私の眼力が無く眼界が狭くつてまだ見当りま
	も	148	04	スチックで調べるならば其の鉱物といふ	もの	は表面の土地所有者に属するものであるとか全
	も	149	05	にしましても，このやうに関係なさざる	もの	は無いだらうと思ひます．既にこのスタチスチ
	も	149	13	る事物でもスタチスチックの関係しない	もの	は無くスタチスチックは台所の味噌のことまで
	も	150	02	そ法律は公法と私法とに別れ私法といふ	もの	は人民の一個人と一個人との関係を規定して，
	も	150	04	人民間の事を規定したもので公法といふ	もの	は国と国との関係を規定し其の次は国と其の国
	も	150	14	一国組織の謂であります．行政法といふ	もの	はたゞ憲法に基いて憲法の趣意を拡張する為め
	も	151	03	いものです．第一行政法の中に，はいる	もの	は日本の行政法の組織だと行政官吏，行政議会
	も	151	07	長役場など総て全国一般の利益に関する	もの	は官と言ひ戸長も官吏であれば戸長役場の書記
	も	151	15	きめなければなりませぬ．行政法といふ	もの	は法律，規則及び之を運転させる機関をいふも
	も	153	14	ふことも，きめます．この行政法といふ	もの	は一国の憲法のきまり塩梅で色々に，きまる点
	も	155	10	ば学者らしく見えない．先づ学問といふ	もの	は御存じの御方には言ふに及ばないがヒョット
	も	160	05	のが学問の極点で，教法は心の本体なる	もの	は如何なるものか上るものか下るものか消るも

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（もの）	も	161	05	内講義室に於て中村正直君演説酒といふ	もの	は大変な悪いもので其の為めに身を亡ぼし家を
	も	161	09	とから導かれたものと見ゆる．酒といふ	もの	は丁度，鉄炮におそろしい音をさせるミチビの
	も	161	15	が有つた．実に悪いことは酒に基かない	もの	は無いくらゐだ．夏の桀王も酒を飲んだに違ひ
	も	165	14	．この人間の組み合つて居る社会といふ	もの	は，どの位まで開けてゆくか其の事を書いたも
	も	166	11	まで開いて参りました．昔の学風といふ	もの	は事実の穿鑿をしない．たゞ考への上の道理を
	も	168	14	丁度其れと同じやうに騒ぎ立て大抵古い	もの	は押し倒されました．丁度私が二十四五の時の
	も	169	06	つたに違ひない．そこにまた疑ふといふ	もの	は我が日本の海外貿易の利は東に益がおつて西
	も	173	07	盗をのけては，きつたり，はつたりする	もの	は先づ無いやうになつたので知れませう．若し
	も	179	16	て直接か間接にキリスト教の力に籍らぬ	もの	は御坐りますまい．彼のジョン，ハワルドをし
	も	188	11	憲権力と言ひます．この立憲権力といふ	もの	は他の二つの大権力を定める．其の二つの大権
	も	188	12	権力を定める．其の二つの大権力といふ	もの	は立法権と執行権といふものである．この立法
	も	189	06	いやうに見えます．其れで立法権といふ	もの	は執行権と相対して独立して居るものでありま
	も	189	15	も立法権が干渉することがある．といふ	もの	は内閣大臣は国会議員から出るといふことにな
	も	190	13	為裁判の種類であります．裁判権といふ	もの	は斯の如きもので，この裁判権の中に二つの種
	も	191	13	習慣より成り来つて居るので憲法といふ	もの	は無いが詔勅が度々あつたり，また其れに係は
	も	191	16	ち一国に関することをきめる権力といふ	もの	は之を主権と名づける．この主権は誰に在るか
	も	192	17	権は天子となつて居りますが天子といふ	もの	は一体，何人あるべきものか，二人あるか三人
	も	197	17	ての学者の苦しんで居る所の彗星と云ふ	もの	は若しや惑星と同じ種類のものでは有るまいか
	も	203	08	ました．して見ますと，この彗星と云ふ	もの	は先づ惑星と同種類のもので有る，全く惑星と
	も	203	09	た．抛物線を書いて居る間は彗星と云ふ	もの	は極遠から極遠に，一時のお客で有つて，チョ
	も	205	01	るのに，あのやうにこはがつた訳と云ふ	もの	は彗星の出ました度ごとにドコかに何か災の無
	も	209	09	て尾の長さのことで有ります．尾と云ふ	もの	は大変に長いもので，ムヤミに長いもので三年
	も	213	11	がらせ楽しませるかと申すに小説と云ふ	もの	は文字上のことで有るから其の面白みも文字を
	も	213	16	御坐います．維新の初めには小説と云ふ	もの	は人の心を乱り風俗を害するなどと云ふ説も有
	も	214	01	ふ説も有りました．其れから演劇と云ふ	もの	は維新前よりしてホンノ女子供の見るもので士
	も	214	02	ので有りました．また従前小説家と云ふ	もの	は其の中で泰斗と呼ばれた馬琴や種彦でさへ傍
	も	214	14	の人などが帰朝するに従つて小説と云ふ	もの	は天下の真の象と真の理とを能く探り得る美術
	も	215	06	しまひませう．世の風潮の満ち干と云ふ	もの	は実に面白いもので御坐います．さて閑話休題
	も	219	03	のことで其の頃は今の如き媒妁人と云ふ	もの	は無くて婦人をみそめると先づ便りを求めて公
	も	220	02	，学士会院でも重野先生が太平記と云ふ	もの	は児島某と云ふ小説家の作で信ぜられぬことが
	も	227	01	語でカウンシルと云ひます．この二つの	もの	は議会で定め，官権で行ふと云ふ以上は共に且
	も	227	08	が所持して居りました．この大名と云ふ	もの	は世襲知事のやうなものになつて居りました．
	も	228	13	る市街が無い所を云ふのです．郡と云ふ	もの	は明治十八年十二月三十一日の調べに拠れば八
	も	229	09	国に三十七あるさうです．この区と云ふ	もの	は郡にあらず町村にあらず丁度，郡と町村とを
	も	230	08	ます．其の外，行政上で無形人と認むる	もの	は全国，府県，町村であつて郡は此の中を外れ
	も	230	09	りますが日本でも郡には郡有財産と云ふ	もの	は無いさうで有ります．しかし共有財産と云ふ
	も	230	12	のが多いので，郡其れ自らの所有と云ふ	もの	は無いさうです．若し郡の所有財産と云ふやう
	も	232	05	ども府県に固有のことでも該事項の外の	もの	は府県会に於て議決するを得ない．よつて中央
	も	234	08	で無ければ迚も日本語の専門学校と云ふ	もの	は出来ないと云ふことを話したことが有りまし
	も	235	15	者になると云ふ人の辛苦したことと云ふ	もの	は一と通りでは無い．其の大難事は二た通りで
	も	241	13	区々になつて私も甚だ惑ひます．といふ	もの	は例へば国事犯罪人の取扱方は如何，女囚の取
	も	243	06	る．この立法権及び執行権を相合したる	もの	は主権と名づけまする．我が国では主権者は天
	も	244	06	及び執行で有ります．規則と申しまする	もの	は法律の細目を定め，また時としては法律の委
	も	250	03	して智慧の教育，即ち智育と申しまする	もの	は学校に於て之を行ひ，心の教育，即ち徳育は
	も	250	05	また身体の教育，即ち体育と申しまする	もの	は或ひは家庭に於て或ひは学校に於て之を行ひ
	も	252	11	まることは宜しくありませぬ．と云ふ	もの	は監獄では罪悪の甚しい者が沢山居りまするか
	も	254	14	た如き次第で有りまするから監獄と云ふ	もの	は容易ならざるもので御坐います．よつて監獄
	も	256	04	に述べませう．貧民の救助と申しまする	もの	は慈恵に係るもので有ります．而して此の慈恵
	も	256	06	す．其れで第一の公けの救助と申します	もの	は全国，又は府県，若しくは町村よりして救助
	も	256	08	で有りまして第二の私の救助と申します	もの	は一私人，又は数私人，若しくは有志者，特志
	も	272	11	ましたから名前の上では島地監獄と云ふ	もの	は消えた有様になつて居りまする．しかし実際
	も	273	11	所ありまする．此の仮留監と申しまする	もの	は徒刑，流刑の者を一時，仮りに留め置いて追
	も	168	05	もので，これは当り前なことで若し古い	もの	ばかり見て，いゝ気になつて居るやうでは日本
	も	173	02	ふやうになり法律には無いが田舎の隅の	もの	までよく知つて居て恩を知らぬものを「恩しら
	も	087	08	ものかと基督教に問ふならば，これ等の	もの	皆な天地万物を造り且之をつかさどりたまふ造
	も	087	10	何なるものかと基督教に問はばこれ等の	もの	皆な全知全能の神にして即ち人に進歩するの能
	も	008	06	の如く提燈は星の如く褒美は五六百円の	もの	もあり，花火を打ち揚げてヒュウヒュウポンポ
	も	014	13	物は同じ大きさに見えても大きくて遠い	もの	も有れば小さくて近いのも有るから唯見た計り
	も	022	04	其の中太陽から測りますと地球より遠い	もの	も有れば近いものも有り，内の方を通つて居る
	も	022	04	りますと地球より遠いものも有れば近い	もの	も有り，内の方を通つて居るものも有り外の方
	も	022	05	ば近いものも有り，内の方を通つて居る	もの	も有り外の方を通つて居るものも有る．一番遠
	も	022	05	つて居るものも有り外の方を通つて居る	もの	も有る．一番遠方に居るのが海王星で十一億三
	も	038	11	が有らぬゆゑ天然に定まりた道徳と云ふ	もの	も善悪邪正も知らぬが智慧が開けて来ると漸々

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（もの）	も	043	07	者が大層骨を折りて開いた．教法と云ふ	もの も野蛮の教法と開けた教法とは大いに違ふ．野
	も	092	09	御坐ります．花の様な智慧分別だに無き	もの も思はず知らず斯の如き立派な結果が御坐りま
	も	101	14	といひ仮りにも改革といへば一人も疑ふ	もの もなければ反対を試みるものもなくて直ちに之
	も	101	14	一人も疑ふものもなければ反対を試みる	もの もなくて直ちに之に雷同し，また直ちに之を打
	も	105	11	等の再審を為すものである」と報道する	もの もあります．然れどもこれ等は総て誤謬たるを
	も	108	04	て悪事を為すの結果，人を殺すに至つた	もの も亦マーダーと為す如きものであります．そこ
	も	125	01	ものが多けれども其の妨げと邪魔になる	もの も亦少なからず．そこで私今専ら弁じたいと思
	も	126	09	仕方が御坐りまするが其の中に至極よい	もの も御坐ります．また大きに誤つたものも御坐り
	も	126	09	いものも御坐ります．また大きに誤つた	もの も御坐ります．今から私は其の色々の仕方を順
	も	128	05	論の中に追々と学術のかたい事実となる	もの も御坐ります．また遠からずず全く聞えなくな
	も	128	06	．また遠からずず全く聞えなくなるべき	もの も御坐ります．学術の歴史を調ぶれば暫くの間
	も	141	16	思ふ鈍才の者が思ひの外，学者になつた	もの も有る．併し是等はたとひ学問は有つても其れ
	も	141	16	は有つても其れを運用することの出来ぬ	もの も有ります．斯る先生では本当の小説の仕組は
	も	143	12	治郎の梅暦，小三金五郎の娘節用の如き	もの もたゞ男女の痴情を書いたものだと申しますが
	も	144	01	などの山水の美景或ひは武人の像を画く	もの も有れば男と女とチヽクリあつて居るところを
	も	144	01	と女とチヽクリあつて居るところを画く	もの も有る甚だしきに至つては禁ぜられて今は無け
	も	165	15	どの位まで開けてゆくか其の事を書いた	もの も無いから誰にも分りませぬ．人間社会のこと
	も	183	12	ります．然しキリスト教に於ては夫たる	もの も妻たるものと同様に貞操を守るの義務あるこ
	も	192	10	との詔もありましたしまた元老院といふ	もの もありますし，今に国会も立てられますが，ツ
	も	235	17	云ふことが容易で無かつた．先生と云ふ	もの も無く本と云ふものも無い．初めはオランダ通
	も	235	17	かつた．先生と云ふものも無く本と云ふ	もの も無い．初めはオランダ通事に習つたのだが其
	も	257	14	如く貧民救助の中にも単に救助に止まる	もの も有り，又は救助と犯罪人予防との両性質を有
	も	257	15	は救助と犯罪人予防との両性質を有する	もの も有りまする．よつて貧民救助の目的は次に述
	も	059	16	人の好くものは何かと云ふに先づ奇麗な	もの や便利なもの等であります．何となれば知識が
	も	059	17	ば知識が無くても学問が無くても奇麗な	もの や便利なものを欲するのは自然の性です．御覧
	も	167	16	も其の通り相互に智識交換の為めに書く	もの や法令文書の往復まで先づドウかカウか行はれ
	も	220	12	悪のヂーサン，バーサンのことを書いた	もの や，鉢かつぎの草紙と云つて継母に悪まれたム
	も	205	08	度位はキット有りませう．丁度同じ位な	もの 故，イツもイツも彗星の出る度ごとに災が有る
	も	208	12	．また彗星は惑星と違つてボーットした	もの 故に一部分一部分に研究をしなければいけませ
	も	186	10	於ても男と女は天然，其の性を異にする	もの ゆゑ随つて其の事業も責任も違ふことは教へま
	も	214	16	に至つてはナホサラ真の理をして見せる	もの ゆゑ文筆の業では及ばない所の人情の極意を写
	も	129	04	に惑はされませぬ．君子はシッカリした	もの 用心するもの，またタシカなもので御坐ります
	も	073	15	ずるといふものは二個の全く反対したる	もの より生ずるとの説を思ひ出しました．一体この
	も	138	12	が有るには違ひないが，しかつめらしい	もの より面白いものの方が間接に効能が著しい．馬
	も	221	02	どが趣向を古めかしくして高尚に構へた	もの よりは却つて考証になることが多い．降つて正
	も	004	03	かりが競争では無い．こちらで出来ない	もの を，あちらで善く拵へたり，こちらより上手に
	も	008	17	たい．そして傍ら仮名か羅馬字で綴つた	もの を短い言葉より始め，次第に長い言葉に移り，
	も	015	03	に測りまして，あとは器械で角度と云ふ	もの を測り三角と云ふものを作りまして三角から三
	も	015	04	器械で角度と云ふものを測り三角と云ふ	もの を作りまして三角から三角に移り次第に先へ進
	も	037	07	共に合して一つの統御の権を受けて居る	もの を云ふので他の言葉で申せばネーション即ち国
	も	041	03	れで見ると「天然に定まりた道徳と云ふ	もの を野蛮の人は知らぬが開けて来ると漸々に其れ
	も	043	08	法は道徳の意味は無くたゞ力の大いなる	もの を恐れ敬ふのみのことぢゃ．禽獣でも地震でも
	も	043	16	慧が出来て害になる禽獣を除き用に立つ	もの を使ふて其れで開ける様になりて来たのぢゃ．
	も	044	03	ふので右様の教を起したのぢゃ．曲りた	もの を真直にしようと云ふには真直にしたばかりて
	も	048	08	とが段々と相結合して先づ一の社会様の	もの を為すことになり一つの法律を用ふる様になる
	も	052	15	つかしいから已むことを得ず漢文に似た	もの を書く様になり庭訓往来の様な文体となり其れ
	も	053	16	教へ其れで年始暑寒用の手紙といふ様な	もの を書くことを教へて，どれほどかの年月教へた
	も	054	03	ばさうとすると不毛の地が出来て肝腎の	もの を失ふ．この用を弁するには仮名を用ふること
	も	054	06	を知らないでも何でも知れる様に知れる	もの を作ることが肝腎だと思ひます．先づ小学校の
	も	059	17	ても学問が無くても奇麗なものや便利な	もの を欲するのは自然の性です．御覧なされ今如何
	も	061	04	同じことで，たゞチョット見つきの良き	もの を悦ぶのみで衛生上のことなどは夢にも考へま
	も	075	09	価値は其れだけの金を使つても新たなる	もの を生ずるとか新たなることを拵へるとかいふこ
	も	080	04	居ると存じまするゆゑ先づ其の重もなる	もの を述べ而して後に本論に取りかゝりませう．第
	も	080	12	，人の害になる所，人の位を下げる所の	もの を減じ或は除くことで御坐ります．また一つに
	も	080	14	，人の益になる所人の品位を上げる所の	もの を能く養ふて盛んにするの仕方．また一つには
	も	085	12	害になる原素，また人の位を下げる所の	もの を除き去りまた減ずること，また一つは何れの
	も	085	14	また人の得益になる原素，人を貴くする	もの を能く養ひて盛んにすること．また一つは人が
	も	086	09	に大切なものなれども，これ等の高尚な	もの を充分に説きませぬ．これ等の大切なものは此
	も	087	02	もので御坐ります．この故に聖書と云ふ	もの を己れの信仰と品行とのノリとする者はこれ等
	も	091	02	ませぬ．基督教は人間の権力腕力などの	もの を怖れぬ豪傑を育てる為めには至極善い宗教で
	も	093	12	して賞罰があるやといふことを研究した	もの を見ませぬ．故に已むを得ず私が一言，諸君に
	も	103	10	す．また弘法大師の如き日蓮上人の如き	もの を見るも其の通りである．今試みに諸君が森林
	も	114	04	は言訳が無い．他の動物は却つて自然の	もの を食して腹が満つれば其の上には欲は無いが人

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（もの）	も	114	16	つて居るからのことなれども，かういふ	ものを食へば身体が悪くなるとか善くなるとか，い
	も	121	05	し随つて西洋人の言ふ人間の品位と云ふ	ものを上げることも出来る様になりませう．「酒を
	も	125	05	の種々の物の中からたゞ一つの著るしい	ものを択んで而して之を成るたけ委しく説くことは
	も	127	03	其の専門とする所の区域に限つて天然の	ものを論ずる間は間違ひに陥ることは滅多に御坐り
	も	130	14	二つの感心なものあり．我れ此の二つの	ものを深く思へば思ふほど我れ之に感服しまた之を
	も	141	07	因り且卓見が無いのと小説の本意と言ふ	ものを知らずして之を進歩せしめざりしとに因りま
	も	143	12	を書いたものだと申しますが私は斯様な	ものを貴ぶのでは有りません，斯様なものは之を擯
	も	144	10	凡の小説を得んには小説家の資格と云ふ	ものを高めておきたいと思ひます．其れには西洋の
	も	148	01	ルホド必要であると言へば測候所といふ	ものを設けて其の費用は国庫より支弁するとか府県
	も	149	16	ませう．これが行政法とか憲法とかいふ	ものを一回か二回で其の趣意を知りたいといふ考へ
	も	150	06	するもので国と国との関係を規定したる	ものを外公法または万国公法と言ひ，国と国民と其
	も	150	07	に居住して居る者との関係を規定したる	ものを内公法と言ひます．この内公法中で刑法，治
	も	152	08	す．また之を適用するに付て規則といふ	ものを，こしらへます．故に憲法と行政法とを例へ
	も	162	02	弟の康叔を衛に封じたときに酒誥といふ	ものを作つて康叔を戒めた．この酒誥といふものが
	も	169	12	く者との人数，年齢，職業などを書いた	ものを見ませぬから委しいことは知りませぬが先づ
	も	173	03	隅のものまでよく知つて居て恩を知らぬ	ものを「恩しらず」だとか「不実者」だとか言ひ其
	も	176	06	は無い．学科といふは其の術に入り用な	ものを調べるものであります．この調べの方法は事
	も	177	12	と言つたことがありますが今其の書いた	ものを読んで，この演説をしまひませう．右は一席
	も	184	17	つでは無く一体である．神が合せ給ふた	ものを人が離すべき筈はない．姦淫の故でなくして
	も	212	08	との出来ないで，これまで知れなかつた	ものを知ることが出来ます．また金や銀や宝石を持
	も	221	12	者で有りましたが後には画入読本と云ふ	ものを作りました．其の趣向は重もに浄瑠璃本に出
	も	221	17	京伝以来，三馬も種彦も画入読本と云ふ	ものを作りましたが奇怪なことは勿論，自殺や残酷
	も	224	12	めとして有志の人々が演劇改良会と云ふ	ものを起されましたのは定めて此の弊を矯正しやう
	も	228	06	を見ますと大名の下に今の郡長のやうな	ものを置き，また村には名主と云つて名誉戸長と云
	も	228	14	百〇二あります．この郡には郡長と云ふ	ものを置いてあります．これは府県知事の下役のや
	も	229	13	ませぬ．戸長の大いなる町，即ち市街の	ものを区長と名づけますのですから，戸長を人民で
	も	231	04	御手が届かないと云ふので行政官と云ふ	ものをお使ひなさるので御坐んすから行政官は総て
	も	240	17	が出来て遂に〇〇君の配偶者になるべき	ものを他人に望まれ其の配偶者となると云ふことが
	も	243	04	政権あるもので国民全体の望みを表はす	ものを立法権と云ひ，また右の望みを執行するもの
	も	243	05	立法権と云ひ，また右の望みを執行する	ものを執行権と申しまする．この立法権及び執行権
	も	248	16	では有りませぬ．何故に罪人にあらざる	ものを監獄に拘禁するかと云へば逃亡の虞れ有ると
	も	250	15	ければならないと云ふので，監獄と云ふ	ものを設けまして，こゝに於て懲戒と教誨とを施し
	も	251	15	其の罪を論せずして，たゞ懲治場と云ふ	ものを設けて，こゝでイクラかの間これが心を矯め
	も	254	10	つの理由よりして放免者保護会社の如き	ものを設けて或ひは仕事を教へ或ひは通常の雇人に
	も	264	03	を二十人づゝに分ち，五つの家族の如き	ものをこしらへて其の各家族に家族長と云ふものを
	も	264	04	をこしらへて其の各家族に家族長と云ふ	ものを置きまして，さうして，この家族長が教育の
	も	267	15	ロッパの有名なる学者たちの考へました	ものを其の極宜しい所だけを引き抜いて申したので
	も	086	05	か，社会の進歩と所謂文明開化を妨げる	もの，また之を進ませるものは如何なるもので御坐
	も	129	04	せぬ．君子はシッカリしたもの用心する	もの，またタシカなもので御坐ります．第三．また
	も	190	04	云ふと政府は憲法の範囲内で仕事をする	もの，行政府は政府できめたことを実際に行ふ即ち
	も	213	10	ので御坐います．さて小説は文章で書く	もの，演劇は立ち働いて見せるものと云ふ差別が有
	も	006	03	，人は一方より外には見ることを知らぬ	もの．併し考へて見れば外の方も分る，考へても分
	も	023	11	つたので有ります．実に此の世界は広い	もの（此の世界とは皆なを概した世界で）其れに比
	も	201	04	となら何月何日と云ふことも分りさうな	もの」とお疑ひになりませうが，そこにむつかしい
もの	モ	220	11	り画巻物が流行つて女子供のモテアソビ	モノとなりました．其れは画の方が重もで其の上へ
	モ	222	08	しかつたからツマリ婦女子のモテアソビ	モノに過ぎなくて士君子は見るのを恥るやうな様子
	モ	270	01	充分にしませぬと之が為め終身のカタハ	モノを造り出すことになりまする．実に恐るべきこ
もの	者	033	09	と見えて或は「後世酒を以て国を亡ぼす	者あらむ」と言はれ又「酒は百薬の長」とも言はれ
	者	180	07	「或はユダヤ人或は異邦人或は自主なる	者或は奴隷なる者の差別なし，皆兄弟たり」との聖
	者	162	11	べし若し故なく群を成し相聚り酒を飲む	者あれば其れを縦すことなく尽く執へて以て宗周に
	者	057	13	くのみならず今日の如きも来会せらるゝ	者一千余名もある様ですが斯く衛生の盛んなる有様
	者	060	13	城するか又はモルヒネ往生等に極を結ぶ	者多くあります．是れ則ち半開化の害でありませう
	者	169	15	く者の方は学術研究の為めで官費を仰ぐ	者か，または華族とか何とか云ふやうな金持ちたち
	者	004	04	上手に拵へたり．廉い物を拵へたりする	者が多くあれば，こちらの物を買ふ人が減り，こち
	者	004	04	の物を買ふ人が減り，こちらの物を買ふ	者が減れば，こちらは次第に衰微する．交易上の競
	者	007	06	けて居る人が多い．漢字の教育を受けた	者が十人に八九は有りませう．だが実際裸にしてふ
	者	007	07	つて見たら字を書くことの外は知らざる	者が多いで有りませう．字が書けると地方でも賞め
	者	031	02	見ますと星のいくつとはなく簇つて居る	者が沢山ある．併し肉眼では見えませぬ．其れから
	者	039	03	へも有る．其の様な社会では強盗をする	者が一番貴ばれる．其れのみならず強盗をする者が
	者	039	04	番貴ばれる．其れのみならず強盗をする	者が善で，せぬ者は悪と云ふことになりて居る．其
	者	039	07	とになりて居る．其の様な社会では殺す	者が善人で殺さぬ者が却りて悪人ぢゃ．其れは如何
	者	039	07	其の様な社会では殺す者が善人で殺さぬ	者が却りて悪人ぢゃ．其れは如何なる訳かと云ふと
	者	040	15	た様に今日から見れば悪人とも云ふべき	者が却りて賞められ貴ばれたので其れに反して今日

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（もの）	者	064	08	病を発するが為めです．然るに如何なる	者	が之を営業するかと云ふに先づ二十歳以上四十歳
	者	069	07	百八十五年には八百十八人試験を願つた	者	が御坐いました．随つて見習生即ちＲｅｆｅｒｅ
	者	090	14	の不信者の中にも耶蘇基督を直接に誹る	者	が滅多に御坐りませぬ．人を完全なる所へ進ませ
	者	107	14	ではあるが罰しないもので例へば幼年の	者	が弁別なしに人を殺すなどの類であります．第三
	者	121	12	増す」「自殺が殖える」また「罪を犯す	者	が多くなる」などと云ふ様なことで，この罪を犯
	者	121	12	」などと云ふ様なことで，この罪を犯す	者	が多くなることは先年罪人の中に何から罪を犯し
	者	121	13	ことは先年罪人の中に何から罪を犯した	者	が多いかと云ふことを警視庁の掛りの人に尋ねた
	者	122	01	上から調べて見ますと酒から罪を犯した	者	が随分に多い．尤もこれは東京府下だけのことで
	者	122	06	弱で酒を飲んで行ひが悪くつて罪を犯す	者	が多い．而して其の酒を飲むことが子孫に遺伝し
	者	122	09	罹る者を調べたのには平常酒を多く飲む	者	が余計にコレラ病に罹つて死んだと云ふことで有
	者	122	17	意の人なら酒の上からドンな罪を犯した	者	が有るかと云ふことを聞くとか田舎に居る人は濁
	者	126	03	原因と趣意と目的と結果を全く覚らざる	者	が多う御坐ります．例へて申しますならば箇様な
	者	127	01	易に之に勝つことは出来ますまい．この	者	が用ふる所の仕方は随分ケンノンな仕方で御坐り
	者	133	15	な奴が御坐りました．けれども去年かの	者	が基督教を聞いて不意に信仰を起したものになり
	者	133	16	たものになりました．が其れから，かの	者	が全く外の人になつたやうに，まるで変つて来ま
	者	141	15	．彼奴は学者にはなれまいと思ふ鈍才の	者	が思ひの外，学者になつたものも有る．併し是等
	者	156	16	した．其の時はみんな驚いたネ．たゞの	者	が驚いたところでは無い，智慧の有る者まで向ふ
	者	164	01	嗜んで昼夜酣飲して，おまけに善く飲む	者	があれば卑賤から取り立てゝ酒を飲む相手にした
	者	169	11	があるやうで，其の訳は亜米利加へ行く	者	が年々に多くなるやうに見えます．亜米利加に行
	者	181	13	は抑も末でまだ其の上に弊害の根本たる	者	があらうと存じます．若しも世の弊風を改めやう
	者	182	13	の三等に区別して其の中執れに妾を蓄る	者	が最も多数であるかと尋ねたら如何で御坐りませ
	者	190	01	権者は一人で御坐んすが其の中に三つの	者	があるのです．即ち第一には政府といふものが一
	者	193	03	人もあつたことがありましたが事を行ふ	者	が多いと船頭が多くて船が山に上り，ツマリ小田
	者	210	07	イものでも，たべて置かう」などと云ふ	者	が有りました．所が彗星はナカナカ突き当らなく
	者	217	06	至つて澹泊で有るが，これは註解をする	者	があつて穿鑿したところが宝楼閣経と云ふ経にさ
	者	245	17	は何かと申しますると昔は悪い事をした	者	が有れば之を罰するに刑を以てする其の意味はカ
	者	250	11	たして申し上げませう．即ち丁年以上の	者	が悪い事をすると不良民，所謂る罪人となります
	者	251	02	お前の説は至つて御尤もなれど終身刑の	者	があるが，これは死ぬまで稽古をする訳であるか
	者	252	01	の悪い者，また悪事の何たるを知らざる	者	が有ります．これは純粋の不良少年で有りまして
	者	252	07	やうな所で掏児でもしやうとする傾きの	者	があれば之をつかまへて来て懲治しなければなら
	者	252	12	ぬ．と云ふものは監獄では罪悪の甚しい	者	が沢山居りまするから，これとマゼコゼにするの
	者	254	04	まして忽ち其の資金を無くなしてしまふ	者	が多く有りますから，これ等は再たび盗賊でも働
	者	254	12	，三犯，四犯，五犯，六犯と云ふやうな	者	が随分あるやうにも聞きまする．前に申しました
	者	255	05	に於ても徳川時代にはオカッピキと申す	者	が有つてムヤミに人の道徳内の悪事までも探索し
	者	258	15	取人なき者，又は他人の使傭するを嫌ふ	者	が有ります．現在は引取人の無い者，又は帰郷旅
	者	262	13	一囚に致しておきますとキチガヒになる	者	が多く有りまする．第二は緘黙法と云ひまして，
	者	267	06	になりまると，サホド性質の悪く無い	者	が非常に性質の悪い者のしたことを学ぶといふや
	者	270	05	したのを見まると一丁字をも知らざる	者	が四千四百七十二人ありまして丁度五割三分ほど
	者	270	06	．また読むことだけを知つて居りまする	者	が千三百四十三人ありまして丁度一割六分ほどに
	者	270	07	読むことと書くことを知つて居りまする	者	が千七百七十八人ありまして丁度二割一分ほどに
	者	270	09	くことと算へることを知つて居りまする	者	が七百八十七人ありまして丁度九分六厘ばかりに
	者	270	10	当りまする．また小学の教育を受けたる	者	が三十四人ありまして丁度たゞの四厘に当ります
	者	270	12	見まると教育の一番少ない者に不良の	者	が多いと云ふことは此の事実から見ても尤もで，
	者	270	15	がひろまるほど不良の奸智も殖ると申す	者	が有りまするけれども，これは皮想の考へで取る
	者	273	15	人ありまして其の外，別房留置者と申す	者	が千八百六十七人あります．これは監獄にて放免
	者	276	03	ました．然るに維新後の主義は罪を犯す	者	があれば何卒して其の心を改良させたい，之を直
	者	276	10	，例へば囚徒にして獄吏の命に従はない	者	があつたとしますると，獄吏は其の囚徒をなぐつ
	者	133	05	督信徒をひどい目にあはせた所の残酷な	者	さへも信者の愛信の厚いこと，また其の行義の正
	者	069	14	から他の業を修むる様にせよ，父兄たる	者	子弟たる者善く注意をせよ」と云ふ忠告を致しま
	者	039	12	に負ける恐れが有るゆゑ本当の役に立つ	者	だけで無ければ他の社会と戦争をしたときに其の
	者	272	07	の集治監は単に徒刑，流刑に処せられた	者	だけを集治いたします所でありまする．さて，島
	者	033	05	園に於て杉亨二君演説私は杉亨二と申す	者	で節酒会賛成者の一人で御坐りますが節酒のこと
	者	039	05	れはナゼぢゃと申せば強盗をするほどの	者	で無ければ社会を守ることが出来ぬからぢゃ．又
	者	125	12	色々の正しき結局は基督教に敵対したる	者	で御坐りませぬ．基督教の色々の反対論といふも
	者	179	06	とにはキリスト教は最も親密な関係ある	者	で御坐ります．依て私はこれよりキリスト教と婦
	者	179	15	不平均を取り除き人に自由幸福を与へる	者	で御坐ります．恐らくは昔日より西洋諸国に於て
	者	180	15	キリスト教は之に如何なる関係を有する	者	であるかと尋ぬるは最も肝要な問題で御座ります
	者	181	03	に依らなければならぬことを堅く信ずる	者	で御坐ります．また近来は教外の先生等にも社会
	者	182	06	すがキリスト教は即ち此の教を主張する	者	で一夫多妻は貴賤貧富の差別なく誰でも彼でも平
	者	185	01	妻を出して他の女を娶る者は姦淫を行ふ	者	で其の出された婦を娶る者も亦，姦淫を行ふ者で
	者	185	02	の出された婦を娶る者も亦，姦淫を行ふ	者	である」と仰せられましたが，これが即ちキリス
	者	186	16	は社会改良の事に於ては非常の勢力ある	者	で殊に婦人の良友たることは明白で御坐りませう
	者	201	09	て言ひますと，私は封建時代から居つた	者	で有りますが其の頃，私は身が軽くつてイツもス

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（もの）	者	247	14	ゝ道理を讃釈するだけでは分らない位な	者
	者	248	15	未決者は未だ法律上，罪人と定まりたる	者
	者	251	05	つてしまひましたが今日では人を殺した	者
	者	252	14	での間に教育は先づ一と通り終つた筈の	者
	者	258	02	者，又は救助せざる者，又は親族の無き	者
	者	258	03	る者，又は救助せざる者，又は親族なき	者
	者	258	07	る者，又は救助せざる者，又は親族なき	者
	者	273	17	とか云ふので拠ろ無く監獄に置いてある	者
	者	109	03	助かるだらうといふことはドンナ愚鈍の	者
	者	275	06	れまするど牛馬同様に取り扱ひ未決中の	者
	者	144	16	日本の筆の立つ人と西洋の小説の読める	者
	者	150	07	言ひ，国と国民と其の国に居住して居る	者
	者	169	11	くなるやうに見えます．亜米利加に行く	者
	者	169	11	ます．亜米利加に行く者と欧羅巴に行く	者
	者	186	05	キリスト教に於ては女を男よりも卑しい	者
	者	186	05	ては女を男よりも卑しい者ともせず尊い	者
	者	186	06	い者ともせず尊い者ともせず全く同等な	者
	者	187	09	ぶ，今より後，万世まで人々我を福ある	者
	者	214	09	演劇の俳優は誰も御存じの通り昔は河原	者
	者	251	12	りまして満二十歳以下でも二十歳以上の	者
	者	251	13	悪事を働いた者は其の心に弁別が有つた	者
	者	251	13	つた者と，また知らずにウッカリやつた	者
	者	254	06	ぬやうになります．また第二の資金なき	者
	者	267	05	とが有りますし，また非常に性質の悪い	者
	者	267	05	また非常に性質の悪い者とサホドで無い	者
	者	271	05	千七百五十三人は未決者と控訴上告中の	者
	者	272	01	法に於て不論罪懲治者の宣告を受けたる	者
	者	274	05	を得ませぬ．此の費用を以て兵卒を養ふ	者
	者	046	12	なし」と云ふことは社会を為して居らぬ	者
	者	046	15	．其れ故ドウしても一つの社会を為さぬ	者
	者	047	01	ぬ様なことをするのは互に社会を為さぬ	者
	者	049	01	出来たものぢゃ．其れ故，社会を為さぬ	者
	者	200	14	になつて出て来るので始めて芝居を見る	者
	者	214	01	りしてホンノ女子供の見るもので士分の	者
	者	242	11	刑事上の被告人又は金を借りて払はない	者
	者	058	03	の孔子ですら「之を好む者は之を楽しむ	者
	者	069	12	ンの或る新聞記者は「世の父兄子弟たる	者
	者	133	11	が「アゝこの役人は既に基督教を聞いた	者
	者	179	10	トも此の預言者の語を引て「我は貧しき	者
	者	213	12	ことで有るから其の面白みも文字を読む	者
	者	248	05	に這入りましてからは益々悪い上に悪い	者
	者	248	12	及び嫌疑者の判断を下し，果して罪ある	者
	者	258	06	ぬ．此の二かどを以て救助いたしまする	者
	者	262	04	は監獄には罪人は無論，罪人にあらざる	者
	者	270	12	せぬ．して見まするど教育の一番少ない	者
	者	275	06	様に取り扱ひ未決中の者でも少し面倒な	者
	者	069	05	孛漏生には司法官及び代言人たるを望む	者
	者	115	06	つて居て食ひ過ぎたり飲み過ぎたりする	者
	者	126	02	ふ貴い名によつて基督教を破らむとする	者
	者	126	16	出来ようと思ふので御坐ります．箇様な	者
	者	133	07	りました．「基督教の為めに殺されたる	者
	者	135	13	督教を専らに研究しまた其の為めに励む	者
	者	169	13	ことは知りませぬが先づ亜米利加に行く	者
	者	169	15	つて居るやうに見えます．欧羅巴に行く	者
	者	169	16	云ふやうな金持ちたちで亜米利加に行く	者
	者	169	17	身を立てたい富を求めやうといふ考への	者
	者	170	01	のやうに見えます．其の亜米利加に行く	者
	者	170	05	れに就いて考へると官費で欧羅巴へ行く	者
	者	170	06	へて持つてゆきませうが亜米利加へ行く	者
	者	170	06	方はさうでありますまい．欧羅巴へ行く	者
	者	170	07	者の方は富貴の財で行き亜米利加へ行く	者
	者	180	04	し時，我に来ればなり，此の兄弟の最微	者
	者	180	07	或は異邦人或は自主なる者或は奴隷なる	者

代表形	判	ページ	行		出現文脈
					で有りますから此の外部の道具じかけを用ふるこ
					では有りませぬから決して罪人と同様に取り扱ふ
					でもナカナカ容易に死刑に処するやうなことは致
					であります．然るに末丁年の者はまだ教育最中で
					で有ります．第二種は貧病人にして親族の救助し
					で有りまする．第二，貧民の救助，兼犯罪人の予
					で有ります．第二種は不良少年にして親族の矯正
					で御坐います．これ等を合しまするど在監人の総
					でも分りませう．千八百五十五年に英国政府にて
					でも少し面倒な者には毒をたべさして殺すと云ふ
					と此の二派を集めて筆の立つ人に西洋の智識をつ
					との関係を規定したるものを内公法と言ひます．
					と欧羅巴に行く者との人数，年齢，職業などを書
					ともせず尊い者ともせず全く同等な者と致しますす
					ともせず全く同等な者と致します．若し女が神の
					と致します．若し女が神の前に於て罪人であるな
					と称ふべし」と此の凱歌を唱へつゝ神のため国の
					と呼ばれ穢多非人のやうに言ひ習はされ，天保年
					と同様の悪事を働いた者は其の心に弁別が有つた
					と，また知らずにウッカリやつた者とは区別をし
					とは区別をしなければなりませぬ．ところで弁別
					と云ふのは前のと同様でありまして第三の仕事を
					とサホドで無い者とを一所に置くことになります
					とを一所に置くことになりまするど，サホド性質
					とで有りまする．以上の諸監獄の在監人を合計し
					と両親，又は親族等より願ひ出でたる出願懲治者
					と致しまするど三万八千人を殖すことはイト易い
					同士の間に道徳は無い．英国とか仏国とか日本と
					同士の間に道徳の行はれると云ふことは無い道理
					同士の間では当然のことであらうと思はれる．社
					同士の間に其れが行はれぬのは当然のことぢゃ．
					などには同じ団十郎でも見分けは出来ないほどで
					などは表向き見ることを憚つたもので有りました
					などを拘禁する所でありまする．只今では監獄の
					に如かず」と申しました位で仮令むつかしいこと
					に告ぐ」と云ふ題にて「最早法律学士の供給は需
					に相違は無い」と思つたが遂に本人に伺ひました
					に福音を宣べ伝へ心の傷める者を医し圧制らるゝ
					に限り，また作者も多少の学問が無ければなりま
					になると云ふことが実際に有りまするのは，ツマ
					には刑の言ひ渡しを為すだけに止まりまして，さ
					に二つの種類が有りまして，第一種は壮健なる貧
					にても国王の気に入らなかつた者は入れておくと
					に不良の者が多いと云ふことは此の事実から見て
					には毒をたべさして殺すと云ふやうなことも流行
					年々に増して千八百七十八年には登用大試験を願
					のあるは誠に困つたもので人類といふものは其れ
					の中には一向学術を知らず，また基督教の原因と
					の勇気は感心なものだかも知れぬけれども其の用
					の血は却つて基督教の種となりました．」先だつ
					の趣意は決して狭いものでは御坐りませぬ．却つ
					の方が欧羅巴に行く者よりは多いに違ひあります
					の方は学術研究の為めで官費を仰ぐ者か，または
					の方は大抵貧乏書生やバタラキテの類で自ら思ひ
					のやうに見えます．其の亜米利加に行く者の中に
					の中には随分下等の人物もありませうが云はゞ先
					の方は金も千両なら千両揃へて持つてゆきませう
					の方はさうでありますまい．欧羅巴へ行く者の方
					の方は富貴の財で行き亜米利加へ行く者の方は人
					の方は人に頼つたので無く全く自発して行くので
					の一人に行へるは即ち我に行へしなり」と教へ玉
					の差別なし，皆兄弟たり」との聖書の教では御坐

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（もの）	者	180	15	正当の地位と真正の幸福を與へんと企る	者 のためにはキリスト教は之に如何なる関係を有す
	者	184	13	ことは誰も能く知つて居ることで心ある	者 の常に憂へ且恥る所で御坐ります．されば此の悪
	者	185	13	此の如きことにはドチミチ更に頓着せぬ	者 のやうに見えます．兎に角に，これより此の悪習
	者	186	08	ます．故に新約書にもキリストを信ずる	者 の中に在つては「或は奴隷或は自主或は男或は女
	者	223	15	が慶長の時分から有つたもので追々遣ふ	者 の上手も出来，浄瑠璃と云ふものが段々流行して
	者	224	05	らとするやうになり，少し学問気の有る	者 の作つたのは却つて見物が少ないと云ふ位で有る
	者	238	04	其の時分の学者と云はれるものになつた	者 のことを想像されて其の志を以て勉強されること
	者	250	13	心を改めさせたいが，学校では他の善い	者 の害を為し且つ学校の講釈ぐらゐでは，おつつか
	者	253	01	余計の用が有りまする．付てはこれ等の	者 の為めに矯正院を設くることになつて居ります．
	者	253	09	とで有りまする．また，只今申した如き	者 の為めには農業をさせるのが宜しいと云ふ実験が
	者	253	17	る．其れから放免囚即ち監獄を出ました	者 の中で種類が三つ有りまする．其の第一は資金を
	者	267	06	ド性質の悪く無い者が非常に性質の悪い	者 のしたことを学ぶといふやうなことになりまする
	者	270	04	えまして，前に申した八千四百十四人の	者 の教育の度合ひを其の入院の時に調べましたのを
	者	007	05	つては居やうが不便なことを知つて居る	者 は無く何でも漢字が盛な有様である．ナゼかとい
	者	034	03	の効の有るもので之が為めに害を受けぬ	者 は有りませぬ．然るに今日，日本で「文明」と訳
	者	035	07	合ふことで有りませう．それで酒を飲む	者 は無欲だといふことがよく分りませう．己れの大
	者	038	10	るかと云へば昔の支那流で言ふと開けぬ	者 は智慧が有らぬゆゑ天然に定まりた道徳と云ふも
	者	039	04	れのみならず強盗をする者が善で，せぬ	者 は悪と云ふことになりて居る．其れはナゼぢゃと
	者	040	16	反して今日から見れば善人とも云ふべき	者 は却りて擯斥される風習になり盗賊を働いたり子
	者	041	17	那では上の方に十分，権をもたせて上の	者 は下の者を圧制するがよい，下の人は上の人に只
	者	052	04	の字を用ひぬことと触れ出し一字使つた	者 は懲役一年，二字使つたら懲役二年に処すること
	者	058	03	古の名言で支那の孔子ですら「之を好む	者 は之を楽しむ者に如かず」と申しました位で仮令
	者	065	08	覚者の方寸にあることです．先覚者たる	者 は能く事物の是非を淘汰し健康に害あるものは速
	者	069	10	此のＡｓｓｅｓｓｏｒ即ち試補官と申す	者 は千八百八十五年即ち昨年の八月五日までに千〇
	者	070	04	観ますれば従前判事と唱へる奏任以上の	者 は僅に三百六十四人で御坐いまして其の中に法学
	者	073	11	て法律の学科と経済の学科とこの二つの	者 は社会上に必要なる点に至りましては固より優劣
	者	087	03	ものを己れの信仰と品行とのノリとする	者 はこれ等の大事なものに付て誤ること，つまづく
	者	104	06	て日本の国情を議らしむるの地位にある	者 は無論，上流社会なれば，この社会のみ英語を話
	者	120	16	に就ては今まで誰も深く注意して論じた	者 は無くたゞ「随分飲んでもいゝものだ」とか「百
	者	123	01	聞くとか田舎に居る人は濁酒を多く飲む	者 はドウいふ結果を得るかと云ふ様なことを気を付
	者	124	13	御言葉によつて見れば伝道の為めに働く	者 は皆，神と共に働くもので御坐ります．なんと全
	者	126	11	の中に珍らしい勇者が御坐ります．この	者 は一向疑ひを起さず恐れを知らず己れの力を疑ふ
	者	131	12	ことが出来ませぬ．其の両方の論を読む	者 は世の中の色々の激しき論の為めに不安心なるこ
	者	144	15	ない者も有る．また西洋の小説を読んだ	者 は筆先が鈍し．兎角双方旨く参らぬから日本の筆
	者	164	02	，酒の為めに身を立て家を興したといふ	者 は一人も無し，亡国廃家に至つた者は古来歴々と
	者	164	02	いふ者は一人も無し，亡国廃家に至つた	者 は古来歴々としてある．近ごろ西学考略といふ書
	者	179	14	たるは直くし嶮しきは易くし圧制らるゝ	者 は之を放ち凡て世の不釣合不平均を取り除き人に
	者	180	02	のために甘じて一身を犠牲になさしめた	者 は何で御坐りますか．「我が飢し時に我に食はせ
	者	180	06	奴隷廃止のために千辛万苦を甘ぜしめた	者 は何で御坐りますか．イエス，キリストに在ては
	者	182	11	は即ち古より我が日本国の風で妾を持つ	者 は真の万人に一人か，千人に一人に過ぎないとい
	者	183	14	ます．然し，これまでの考へでは妻たる	者 は必ず貞操を守らなければならぬが夫は必ずしも
	者	185	01	の故でなくして妻を出して他の女を娶る	者 は姦淫を行ふ者で其の出された婦を娶る者も亦，
	者	211	15	イギリスは夜で有つて其の時分寝て居る	者 は知らずに寝て居り，起きて居る者も起きて居り
	者	248	14	の被告人，即ち俗に未決者と申しまする	者 は裁判の済むまでは監獄に預つて居りまする．然
	者	250	07	則ち良民と唱へまして，終りを善くする	者 は死亡するまで良民を以て終わりまする．只今，
	者	251	04	せぬ．昔では人を殺したとか云ふやうな	者 は直ちに首を斬つてしまひましたが今日では人を
	者	251	06	いだらうと云ふやうな悪事を為しました	者 は已むを得ず終身の刑に処しまするけれども監獄
	者	251	08	年たちまして悔悟遷善の徴をあらはした	者 は仮出獄を許しまして，たゞ警察上よりイクラか
	者	251	13	も二十歳以上の者と同様の悪事を働いた	者 は其の心に弁別が有つた者と，また知らずにウッ
	者	251	14	ませぬ．ところで弁別心なくして行つた	者 は其の罪を論せずして，たゞ懲治場と云ふものを
	者	251	16	ます．また弁別心が有つて悪事を働いた	者 は已むを得ず之を罰します．此の者を幼年囚と申
	者	252	02	て未だ罪人では有りませぬが，かういふ	者 は先づ両親等に於て其の懲治を掌りまするけれど
	者	252	13	るのと，また監獄に這入つて居りまする	者 は丁年以上の者，即ち出生より丁年になるまでの
	者	252	15	つた筈の者であります．然るに未丁年の	者 はまだ教育最中であつたのですから此奴には教育
	者	254	02	．其れで，この第一の資金を多少有する	者 は長い間，監獄に居りまして窮屈な目を致しまし
	者	254	08	ら，監獄を出ましたる放免者と名づける	者 は十分の九分九厘は将来の犯罪人と云ふ虞れが有
	者	255	06	ては法律の違反者，又は国事に関係する	者 は探索することも有りまするけれども，道徳上の
	者	258	15	は引取人の無い者，又は帰郷旅費の無い	者 は別房留置者と名づけまして監獄の中に置いてあ
	者	262	05	らざる者にても国王の気に入らなかつた	者 は入れておくと云ふやうな弊が大いに有りました
	者	266	12	而して大分，悔悟の徴をあらはしました	者 は緘黙法を用ひまして昼は多くの囚徒同様の場所
	者	269	10	他のもので有りまして其の中，最も多き	者 は窃盗，強盗で其の数五千三百七十四人，即ち六
	者	269	14	分，十八歳以上丁年即ち二十一歳までの	者 は千〇三十四人，即ち一割一分八厘で有りまする
	者	269	16	有るものと見えます，故に人の父母たる	者 は専ら十二歳より十八歳位までを非常に気を付け

代表形	判	ページ	行	出現文脈	
（もの）	者	270	11	る．また，小学教育より以上を受けたる	者 は一人もありませぬ．して見まするど教育の一番
	者	274	17	た．其の二国の改良の中で最も重もなる	者 は一房一囚の制でありまするけれどもナカナカ貴
	者	275	02	には参りませぬ．また其の次に重もなる	者 は幼年囚，及び不良少年の教育，並びに保護であ
	者	156	17	者が驚いたところでは無い，智慧の有る	者 まで向ふ鉢巻で驚いた．さうすると西洋には羅馬
	者	004	09	サを始めたといはぬを分らぬことと思ふ	者 もあれど実はまだイクサにならない．小さな蟻を
	者	046	07	が開けて来ると黄金世界になるとか言ふ	者 も有るが其の様なことは実に夢の様な話しで国が
	者	110	08	で船長は四千弗の保釈金を出し其の外の	者 も保釈を許されたといふからには現に大金を持つ
	者	116	06	たけ酒を飲まないやうになり，多く飲む	者 も少なく飲むやうになり随つて身体も健康になり
	者	117	13	らイツソのことに禁酒の方がよいと言ふ	者 もあれど其れは左様な会が有つたらば其れも宜し
	者	124	05	御坐りますが，いづれの学校の生徒たる	者 も皆多年勉強して終に卒業する積りである故に，
	者	144	15	暢でも其の中には西洋の書物を読まない	者 も有る．また西洋の小説を読んだ者は筆先が鈍し
	者	171	01	よいと思つて居る位で，また仕事をする	者 も上手になつて居ますから欧羅巴に行つて衣食を
	者	185	02	は姦淫を行ふ者で其の出された婦を娶る	者 も亦，姦淫を行ふ者である」と仰せられましたが
	者	209	09	との尾や他の部分は瓦斯体で有ると云ふ	者 も有ります．其れからして尾の長さのことで有り
	者	210	08	突き当らなくて，アトで大こまりをした	者 も有りました．少したつと今度はまた山師が「ベ
	者	211	03	だから其れほどに恐ろしく無い」と言ふ	者 も有りました．また「何でも無いことだ，地球に
	者	211	04	まん遍突き当つても何とも無い」と言ふ	者 も有りました．しかし両方とも極端に走つた説で
	者	211	15	居る者は知らずに寝て居り，起きて居る	者 も起きて居りまして少しも何も変つたことは有り
	者	223	11	と古事を取り込み，また狂言作者と云ふ	者 も出来て続き狂言を作り元禄，宝永の時分になつ
	者	232	07	決定して行ふことが出来ると考へて居る	者 も無きにしもあらずとか．此の種類の事柄は府県
	者	236	16	た為めに藩を逐はれ，また苦しめられた	者 も沢山有りました．尤も左様なる有様も御一新前
	者	254	07	同様でありまして第三の仕事を知らざる	者 も，これもドウも仕方が無いから，また盗賊を始
	者	255	03	おれの娘は嫁にやれない」などと考ふる	者 もあるさうですが，これ等は昔の人の為めに我々
	者	069	14	を修むる様にせよ，父兄たる者子弟たる	者 善く注意をせよ」と云ふ忠告を致しました．斯の
	者	004	12	は字を知つて居ることは日本人の上手な	者 よりは余計に知つて居るに違ひは無い．其れでも
	者	169	13	づ亜米利加に行く者の方が欧羅巴に行く	者 よりは多いに違ひありますまい．我が国人の欧羅
	者	069	06	八百七十八年には登用大試験を願ひたる	者 四百七十人に過ぎませぬでしたが千八百八十一年
	者	030	07	ない．大方アマノガハと云ふものは円い	者 をおしつぶした様な形したもので有るさうです．
	者	039	02	を挙れば盗賊を働いたり強盗などをする	者 を貴ぶ社会さへも有る．其の様な社会では強盗を
	者	039	13	ゆくことが出来ぬ．其れぢゃから働かぬ	者 を生かしておくと部落一般が害を被むる様になる
	者	041	17	の方に十分，権をもたせて上の者は下の	者 を圧制するがよい，下の人は上の人に只管従順に
	者	094	16	歎と此の憤怒の感情よりして証拠も無い	者 を以て有罪であるといふのは法理の許さない所で
	者	122	08	て行きます．また独逸でコレラ病に罹る	者 を調べたのには平常酒を多く飲む者が余計にコレ
	者	162	12	執へて以て宗周に送るべし我この群飲の	者 を以て死刑に処すべしといふのだ．書経には偽書
	者	162	14	と私は思ふ．この酒誥の中に酒を飲んだ	者 を死刑に処するといふことの有るのはチト苛酷に
	者	179	11	は貧しき者に福音を宣べ伝へ心の傷める	者 を医し圧制らるゝ者を放たんために世に遣された
	者	179	11	宣べ伝へ心の傷める者を医し圧制らるゝ	者 を放たんために世に遣されたり」と仰せられまし
	者	183	02	不思議に思ふのは世間で妾や権妻といふ	者 を何とも思はぬことで御坐ります．男子は妾を蓄
	者	245	02	となりまする．尤も監獄には国事犯等の	者 を入れることも有りますが，これは通常の悪人と
	者	250	10	りまする．此の悪い道に飛び込みまする	者 を年齢を以て二つに区分いたして申し上げませう
	者	251	11	今度は未丁年の不良者でありまして此の	者 を不良少年と名づけまする．此の不良少年の中に
	者	251	16	れが心を矯め直すことを図ります．此の	者 を不論罪懲治者と申します．また弁別心が有つて
	者	251	17	いた者は已むを得ず之を罰します．此の	者 を幼年囚と申します．此の二つの外に，まだ罪人
	者	252	06	ちまして親族，又は関係者から願ひ出る	者 を出願懲治者と申しまして，また出願人は誰も無
	者	258	08	親族の矯正なき者，又は矯正の足らざる	者 を矯正すること（即ち心の救助）で有りまして，
	者	264	10	此の部に於ては罪人の放免となりました	者 を保護して正業に就かしめ其の再犯を防ぐ所で有
	者	268	10	有りまする．此の所に於ては拘引したる	者 を僅かに数日の間，留め置き之を他の監獄に送り
	者	268	14	監獄と申しまして，こゝには刑期の長い	者 を入れて置き，第四は矯正院即ち感化院で有りま
	者	271	14	によりまするど拘留の刑に処せられたる	者 を留め置くこともありまする．第二，監倉．これ
	者	272	03	懲役の刑，及び禁錮の刑に処せられたる	者 を拘禁して置きまする．第五，集治監．これは徒
	者	272	04	刑，流刑，及び禁獄の刑に処せられたる	者 を集治する所で有りまする．尤も集治監には二種
	者	272	06	刑，流刑，禁獄，及び旧法の懲役終身の	者 を集治いたしますので，島地の集治監は単に徒刑
	者	273	11	仮留監と申しまするものは徒刑，流刑の	者 を一時，仮りに留め置いて追つて島地の集治監に
	者	252	01	，まだ罪人とはなりませぬが根性の悪い	者 ，また悪事の何たるを知らざる者が有ります．こ
	者	252	14	獄に遣入つて居りまする者は丁年以上の	者 ，即ち出生より丁年になるまでの間に教育は先づ
	者	253	17	りまする．其の第一は資金を多少有する	者 ，第二は資金のなき者，第三は仕事を知らざる者
	者	254	01	資金を多少有する者，第二は資金のなき	者 ，第三は仕事を知らざる者．其れで，この第一の
	者	258	02	疾，不具者にして親族の救助し能はざる	者 ，又は救助せざる者，又は親族の無き者で有りま
	者	258	02	族の救助し能はざる者，又は救助せざる	者 ，又は親族の無き者で有ります．第二種は貧病人
	者	258	03	種は貧病人にして親族の救助し能はざる	者 ，又は救助せざる者，又は親族なき者で有ります
	者	258	03	族の救助し能はざる者，又は救助せざる	者 ，又は親族なき者で有りまする．第二，貧民の救
	者	258	07	健なる貧民にして親族の救助し能はざる	者 ，又は救助せざる者，又は親族なき者で有ります
	者	258	07	族の救助し能はざる者，又は救助せざる	者 ，又は親族なき者で有ります．第二種は不良少年

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（もの）	者	258	08	第二種は不良少年にして親族の矯正なき	者	，又は矯正の足らざる者を矯正すること（即ち心
	者	258	14	放免者即ち出獄人にして必需の資力なき	者	，又は引取人なき者，又は他人の使傭するを嫌ふ
	者	258	14	して必需の資力なき者，又は引取人なき	者	，又は他人の使傭するを嫌ふ者が有ります．現在
	者	258	15	嫌ふ者が有ります．現在は引取人の無い	者	，又は帰郷旅費の無い者は別房留置者と名づけま
	者	254	01	は資金のなき者，第三は仕事を知らざる	者	．其れで，この第一の資金を多少有する者は長い
	者	150	05	と其の国の人民及び其の国に住つて居る	者	（外国人でも何でも）との関係を規定したもので
	者	257	03	，例へば衣食住の一部，又は全部を欠く	者	（即ち壮健なる貧民），貧病人，及び家庭教育の
	者	257	04	足らざるが為めに心の人なみにならざる	者	（即ち不良少年）で有ります．而して天然の貧民
	者	173	03	知らぬものを「恩しらず」だとか「不実	者	」だとか言ひ其の甚しいものになると「畜生」な
もの	物	030	09	へを取らないといけませぬ，こゝによい	物	が有りますアマノガハといふものは此の盆の形を
	物	220	10	は物語がやゝ廃れて草紙の世となり画巻	物	が流行つて女子供のモテアソビモノとなりました
	物	011	12	半分かも知れませぬ．さりながら人間の	物	知りたがりには限りの無いもので其れから其れへ
	物	012	02	ないから先づ其れまでいつたら，我々の	物	知りたがりも暫く満足せねばならないです．「地
	物	218	15	が源氏物語などは五十四帖もある大部の	物	だが大かたは源氏の君や其の他の人々の平日の動
	物	268	04	海軍にありまするものですから自ら別の	物	になつて居りまする．因つて軍事の監獄に関係し
	物	019	11	ます．これは運動が随分のろい，支那は	物	の優美を貴む国で有りますから大層此の星を珍重
	物	059	15	ら（無くては大変だ）今欧米より種々の	物	の輸入するけれども其の中で最も多く人の好くも
	物	073	15	lＥｃｏｎｏｍｙといふものの中に凡そ	物	の価を生ずるといふものは二個の全く反対したる
	物	125	04	に説くことが出来ませぬ故に其の種々の	物	の中からたゞ一つの著るしいものを択んで而して
	物	140	12	居たと申します．これは馬琴自ら書いた	物	の中に其の不平を訴へたことが見えましたから確
	物	167	16	の文物制度が入り来つて，まるで自分の	物	のやうになりました．文字でも其の通り相互に智
	物	168	07	きりに望みはありますまい．その新しい	物	の我が日本に入り来つたのは三百年ばかり前に葡
	物	196	04	全く別儀で御坐ります）．今日は兎角，	物	の理屈を知らないで居ながら「何でもないことだ
	物	014	12	の遠さが知れない間は分りませぬ．総て	物	は同じ大きさに見えても大きくて遠いものも有れ
	物	058	08	ことで必ず開化しなければならぬが併し	物	は一利一害で開化も亦開化の度に依つて種々のよ
	物	166	01	，考へがあるから物もある，考へは本だ	物	は末だといふ学派もあり，精神があるから身体の
	物	165	17	一だといふ学派もあり，考へがあるから	物	もある，考へは本だ物は末だといふ学派もあり，
	物	004	04	たり，こちらより上手に拵へたり．廉い	物	を拵へたりする者が多くあれば，こちらの物を買
	物	004	04	拵へたりする者が多くあれば，こちらの	物	を買ふ人が減り，こちらの物を買ふ者が減れば，
	物	004	04	，こちらの物を買ふ人が減り，こちらの	物	を買ふ者が減れば，こちらは次第に衰微する．交
	物	059	14	．所で人間の性と云ふものは兎角便利な	物	を悦び奇麗な物を愛し，うまき物を好き楽を欲す
	物	059	14	と云ふものは兎角便利な物を悦び奇麗な	物	を愛し，うまき物を好き楽を欲するものでありま
	物	059	14	便利な物を悦び奇麗な物を愛し，うまき	物	を好き楽を欲するものでありますから（無くては
	物	076	09	消極的の学科即ち法律学の如きは直接に	物	を生ずるもので無いと言ひませうが一個人の上に
	物	113	05	構内講議堂に於て加藤弘之君演説何でも	物	を節するといふことは善いことに違ひない．例へ
	物	121	16	賊を働いたのだこれは貧乏の為めに人の	物	を盗んだのだと云ふことを調べて居ります．実に
	物	160	04	ごす．さう煎じつめると学問は天地間の	物	をカッキリと心に落ち付けるのが学問の極点で，
	物	161	10	すとか放逸に流れるとか色欲に耽るとか	物	を貪るとかいふことが起り，また我慢といつて他
	物	197	10	をひつぱりますのは，丁度，地球が他の	物	をひつぱると同じやうに，ひつぱります．地球が
ものがたり	物	216	17	リモノが出来て来ました．其の中，竹取	物語	が始めで源氏物語にも物語の出来始の親と記し
	物	217	17	私の臆測で御坐います．其れから色々の	物語	が出来ましたが今以て名高いのは伊勢物語，其
	物	218	03	取替へバヤ，住吉などの類の色々の作り	物語	が顕はれ後には栄花物語，続世継，水鏡などの
	物	220	10	うに思ふ人が多い．さて足利の時代には	物語	がやゝ廃れて草紙の世となり画巻物が流行つて
	物	219	15	迚も今日まで知れませぬ．全く仮名文の	物語	小説が有つたればこそ千年の後までも其の風俗
	物	220	04	後醍醐帝の笠置の夢見のことなどは作り	物語	だと云はれましたが如何にも文章の面白いだけ
	物	220	05	う．まして曽我兄弟のことを書いた曽我	物語	だの，義経のことを書いた義経記などは事実よ
	物	217	12	うと思ひます．其の次に古いのは宇津保	物語	で，此の作者は源の順だと云ひますが能く分り
	物	217	17	以て名高いのは伊勢物語，其れから源氏	物語	で段々文章も趣向も巧みになり殊に源氏物語は
	物	216	17	されてから仮名文章と云ふものが起り，	物語	と云ふツクリモノが出来て来ました．其の中，
	物	218	06	らで有りませう．さて，伊勢物語，源氏	物語	などはイサゝカ有つたことを本にして作り広め
	物	218	14	の奇らしいことも交ぜて有りますが源氏	物語	などは五十四帖もある大部の物だが大かたは源
	物	219	17	らして保元平治物語，源平盛衰記，平家	物語	などは文章も面白くて目の前に見るやうに書い
	物	216	17	ました．其の中，竹取物語が始めで源氏	物語	にも物語の出来始の親と記して有ります．其の
	物	217	12	源の順だと云ひますが能く分りませぬ．	物語	に俊蔭の巻とか吹上の巻とか云ふ標目の見えた
	物	141	02	．また日本の小説家の品格を申さば源氏	物語	の紫式部や枕の草子の清少納言などは固より雲
	物	217	01	其の中，竹取物語が始めで源氏物語にも	物語	の出来始の親と記して有ります．其の作者は分
	物	217	02	れば延喜以前のもので有りませう．竹取	物語	の大意は竹取の翁と云ふ人が竹を割つた所が中
	物	217	15	に拠つたもので有りませう．其れは源氏	物語	の標目は仏道に拠つたと云ふ旧説の有るに倣つ
	物	219	02	チト話しが横道に入ります．其れは源氏	物語	の頃（一条天皇の時代）の風俗のことで其の頃
	物	219	08	遇つたと云ふことで有ります．また源氏	物語	の箒木の巻に雨夜の品定めと云つて源氏の君，
	物	222	05	な訳で有るから我が国の小説は却つて昔	物語	の中で源氏などは今云ふ人情の真理と云ふもの
	物	218	01	で段々文章も趣向も巧みになり殊に源氏	物語	は非凡の大筆で今以て和文を作るにも言語の学
	物	218	11	は女が書いたもので御坐います．ソコデ	物語	は婦人の作が多い．其れゆゑ先づ婦人の心得に

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ものがたり）	物	142	10	小説の改良を計らねばなりませんが源氏	物語	や枕の草子の出来た頃は未だ小説が盛んであつ
	物	053	01	ます．其の間に平仮名を使つたのは草紙	物語	より出でまた漢文に訓読を下して，すて仮名を
	物	218	07	のも有つて一様で有りませぬが，ツマリ	物語	を作つた趣意は先づ慰みもので日長のときや雨
	物	217	17	語が出来ましたが今以て名高いのは伊勢	物語	，其れから源氏物語で段々文章も趣向も巧みに
	物	218	03	類の色々の作り物語が顕はれ後には栄花	物語	，続世継，水鏡などのやうな実事を書いたもの
	物	218	06	仮名文だからで有りませう．さて，伊勢	物語	，源氏物語などはイサヽカ有つたことを本にし
	物	219	17	資けとなります．其れからして保元平治	物語	，源平盛衰記，平家物語などは文章も面白くて
ものごと	モ	158	02	．動かなくなつたんだから仕方が無い．	モノゴト	にしろ，実際，真実の所をカッキリと落ち
	モ	166	12	上の道理を以て事実を見下す仕方だから	モノゴト	に，あてはむることは出来ませぬ．今の学
	モ	168	16	我が国人が必死になつて防ぎとめ色々と	モノゴト	に修繕を加へ改良をなして段々かういふ世
	モ	166	13	事実の上から道理を見上げる仕方だから	モノゴト	の道理がタシカで「ハヽアなるほど，かう
	モ	087	10	性質，人の益になる原素，人を貴くする	モノゴト	は如何なるものかと基督教に問はばこれ等
	モ	120	14	ことであらうと思はれます．併しながら	モノゴト	はたゞ論ばかりでは人に感じさすることが
	モ	087	06	人の害になる原素，人の位を下げる所の	モノゴト	また其の外社会の進歩を妨げるものは如何
	モ	085	15	居る所の善き事柄の上に色々と他の善き	モノゴト	を添へ加へること．此の三つで御坐ります
ものごと	物	141	17	は本当の小説の仕組は出来ません．凡て	物事	と言ふものは仕組と言ふものが肝腎なもので斯
	物	103	03	と思ひまする．日本人が保守の心勘なく	物事	に耐へられないのは宗教が衰へたからである．
	物	163	15	ることも出来ずにしまつた．酒の為めに	物事	に失敗するといふこともよく知れる．」また駿
	物	103	13	而して日蓮記を読んで見ても昔しの人が	物事	を深く信じて疑はざるところは明治今日の我々
ものさし	物	025	15	余ほどむつかしくなります．第一今度は	物さし	が地球の直径ではいけなくなります．三千二
	物	025	15	はいけなくなります．三千二百里も有る	物さし	が最早間に合はなくなつて来ますからモウ少
	物	025	16	はなくなつて来ますからモウ少し大きい	物さし	でなければなりませぬ．今度の物さしは地球
	物	015	17	物さしをズット大きくして地球の直径を	物さし	にします．さうすると此の距離は三十と云ふ
	物	027	01	形でもおつつかなくなりズット気張つた	物さし	にしましても余り大きい数になりますから星
	物	026	01	ち地球と太陽の距離を取りませう．此の	物さし	の両端から測量して見ても大かたの星の距離
	物	026	02	て居ります距離の中で一番近いのが今の	物さし	の二十二万千八百倍で有ります．地球から太
	物	025	17	い物さしでなければなりませぬ．今度の	物さし	は地球の太陽のグルリを回る軌道の半径即ち
	物	014	17	ます．「ドウして其れが知れるだらう，	物さし	をあてたり間縄を打つたりする訳にはいくま
	物	015	10	過ぎて見当がつけにくいから天文学者が	物さし	を替へます．物さしを替ると云ふのは例へば
	物	015	11	くいから天文学者が物さしを替へます．	物さし	を替ると云ふのは例へば糸などの長さを測り
	物	015	15	けりゃ町，町が小さすぎれば里と段々に	物さし	を大きくして参ります．さて地球から月まで
	物	015	16	を唱へるには里でも間に合ひかねるから	物さし	をズット大きくして地球の直径を物さしにし
	物	026	04	で随分大きなものですが，こんな大きな	物さし	を工夫して見ましても二十二万などといふ大
	物	027	02	い数になりますから星学者は広大無辺の	物さし	を作ります．其れは何で有るかと云ふと明り
ものずき	物	069	13	早法律学士の供給は需要に過ぎて居る，	物好き	なら兎も角も生計の道にはいけぬから他の業
ものすごい	モ	168	15	とだから今でも時々思ひ出すが何となく	モノスゴイ	やうな心地がします．我が国人が必死に
もの	も	102	07	本人であるから斯くひどく攻撃する様な	もの	これは即ち日本人を警戒するが故であつて拠
ものまね	モ	158	16	ひで，コンナ塩梅にやつて居たが（この	モノマネ	だけは今日のお負けだ）其の大層な勢ひの
ものまね	物	223	10	りましたが共に停止せられて承応年中に	物真似	狂言尽しと名称を改め，京と江戸とに狂言座
もはや	モ	145	14	私も一万円私も二万円を出しませうとて	モハヤ	十五六万円あるさうで二三年の中には大きな
	モ	174	17	百年といふと遠いやうに思ふが維新以来	モハヤ	其の五分の一を過ぎましたからサホド遠いも
もはや	最	049	02	意を尽さぬなれども既に一時半を費して	最早	五時にもなり猶ほあとの演説も有ることであれ
	最	184	17	に御造りなされた故に人が夫婦になれば	最早	二つでは無く一体である．神が合せ給ふたもの
	最	069	12	父兄子弟たる者に告ぐ」と云ふ題にて「	最早	法律学士の供給は需要に過ぎて居る，物好きな
	最	071	06	みまする．又我が国に於て新聞記者が「	最早	法律学士の供給は既に需要に溢れて居る，不平
	最	025	15	くなります．三千二百里も有る物さしが	最早	間に合はなくなつて来ますからモウ少し大きい
	最	260	08	ます．故に相当の資本が備はりたる上は	最早	，濫りに寄附を受けないと云ふことに致したい
もはん	模	090	12	ます．併しながら耶蘇基督よりも立派な	模範	が御坐りませぬ．仏蘭西のレナンと云ふ不信者
	模	090	11	人には一つの立派な手本一つの高尚なる	模範	即ちｉｄｅａｌが必ず必要で御坐ります．併し
	模	090	14	坐りませぬ．人を完全なる所へ進ませる	模範	は耶蘇基督より外に御坐りませぬ．この浮世の
ももたろう	桃	220	14	様々の画入の慰み本が出来ました．かの	桃太郎	，カチカチ山，舌切雀などの話しも此の頃に
もよう	模	266	09	たときに至つて家族法を用ひまして其の	模様	を験しして専ら教育を施し丁年に至れば通常の
	模	266	15	に至りましては雑居法を用ひまして其の	模様	を試験し，いよいよ改悛したるに相違ないとき
もよおし	催	001	06	の会も大分盛大になつたに付き懇親会を	催し	て参議方の御臨席を願ふに付ては其の方にも席
もより	最	122	14	したことを調べたら宜からうか銘々最寄	最寄	ででも調べることにしたらドウであらうかと云
	最	122	14	の申したことを調べたら宜からうか銘々	最寄	最寄ででも調べることにしたらドウであらうか
もらさ	漏	176	15	の地，其の人に網を張つたやうに一つも	漏らさ	ぬやうに，しなければなりませぬ．箇様な仕
もらし	漏	240	16	ある」と他人に言ふときには良い評判を	漏らし	たる訳ではありますが，為めに競争者が出来
	漏	240	14	ぬ．尤も右の如きことでも中には他人に	漏らし	ても不都合は無いと云ふことも有ります．例
もらつ	も	204	04	でも云ふやうな人に其の彗星を占つて，	もらつ	た所が「これは天子の御身の上に宜しからん
もらつ	貰	255	13	へ妾同様に売り付けて其の禄高を増して	貰つ	たと云ふやうなことも無いではありますまい．
	貰	024	02	りを持たない，皆太陽から仕送りをして	貰つ	て居るのです．例へば太陽は一軒の主であつて
もらは	貰	259	06	助の方法は監獄上よりしても確にきめて	貰は	なければなりませぬ．私の考へまする所では貧

代表形	判	ページ	行		出現文脈
もらひ	貰	008	17	せるがよいが，むづかしい漢字はよして	貰ひ　たい．そして傍ら仮名か羅馬字で綴つたものを
	貰	144	11	りまする．また西洋の小説を多く読んで	貰ひ　たい．少し悦ばしいことには此の節は追々西洋
	貰	146	08	うと思ひますれば此のことは是非やつて	貰ひ　たいと思ひまして聊か諸君のお耳を煩はしたこ
	貰	240	09	の所に娘が有るによつて行つて見て来て	貰ひ　たい」と云ふので私が其の娘を見に参つて性質
	貰	242	04	り私に向つて司獄官吏の心得を演説して	貰ひ　たいと云ふお頼みが有りました．因つて其の需
	貰	138	04	出来ませんでしたが其の時，医者に見て	貰ひ　ました処，其の医者先生の申すには貴君にはモ
もらふ	も	074	16	力を供給してくれる人は其れを供給して	もらふ　人の為めには価値を有するので其の価値はN
もらふ	貰	006	10	免れぬことで現に漢学先生に講釈をして	貰ふ　と本についてやるので本につかないでは出来な
もるひね	モ	060	13	家を亡ぼし遂には獄内に籠城するか又は	モルヒネ　往生等に極を結ぶ者多くあります．是れ則
	モ	138	04	た処，其の医者先生の申すには貴君には	モルヒネ　を上げたい処なれども体も虚弱であり一滴
	モ	138	05	処なれども体も虚弱であり一滴や二滴の	モルヒネ　を上げるより，もそつと善い薬が有ると申
もるもん	モ	153	06	す．また憲法では宗教自由（耶蘇教でも	モルモン　宗でも，また仏教でも勝手に信じてよいと
もろこし	モ	222	12	舞が有りました．三韓来朝の後，三韓と	モロコシ　から伝はつた舞楽が追々盛になつて上古か
	モ	054	08	れを類を分けて見ますと御国より始めて	モロコシ　西洋の歴史，理学，化学，最も入り用なの
	モ	133	08	督教の種となりました．」先だつて隣の	モロコシ　に面白いことが御坐りました．漸く昨日新
	モ	052	03	のことでは無い話しとして）数字の外は	モロコシ　の字を用ひぬことと触れ出し一字使つた者
	モ	052	05	二字使つたら懲役二年に処することとし	モロコシ　の字を書いた書物は広い原へ持つて往つて
	モ	052	07	も新聞は無い，究理のことでも歴史でも	モロコシ　の字を用ひたので無ければ横文字の書物よ
	モ	053	13	いうえお」でも「ほへと」でも宜しいが	モロコシ　の字を知らないうちに仮名を教へ仮名の字
	モ	051	05	御坐ります．先づ仮名文字は便利であり	モロコシ　文字は不便であるといふことは諸君のお話
	モ	051	12	へるだけは仮名の文字を使ひ，成るたけ	モロコシ　文字を省いて書くといふ様に日又一日に仮
	モ	051	14	ない．そんなら一旦に仮名のみを用ひて	モロコシ　文字を廃してしまつたらドウだといふに其
もろもろ	諸	136	03	白いもので有ります．此の帝国の本州と	諸々　の島は皆な眼の前に，この庭に敷て御座ります
	諸	179	09	者がキリストの御降臨を預言した語に「	諸　の谷は埋められ諸の岡は夷げられ曲りたるは直く
	諸	179	09	降臨を預言した語に「諸の谷は埋められ	諸　の岡は夷げられ曲りたるは直く嶮しきは易くせら
もん	も	200	10	て其の軌道を調べなくても，よささうな	もん　ぢゃ」とおつしゃるに違ひ無い．如何にも一応
もん	門	199	08	席で言ひ尽せます位なら失礼ながら予備	門　から，はいつて大学までいくには及びません．さ
	門	113	02	第一小集会東京神田区錦町東京大学予備	門　構内講義堂に於て加藤弘之君演説何でも物を節す
	門	119	02	第三小集会東京神田区錦町東京大学予備	門　構内講義室に於て杉亨二君演説今日は明治十八年
	門	161	03	第二総集会東京神田区錦町東京大学予備	門　構内講義室に於て中村正直君演説酒といふものは
	門	195	02	医学講談会東京神田区錦町東京大学予備	門　構内講義室に於て寺尾寿君講談諸君．丁度，只今
	門	158	15	のでごすネ．昔は仏教のお寺の前には雷	門　と云つて大層な勢ひで，コンナ塩梅にやつて居た
	門	061	01	を見るか又東京に於ても支那の公使館の	門　を見られたならば必ず古代未開時の風たるを覚ら
もんがい	門	062	05	す．故にこれ等の人はイヤでもオーでも	門外　に出るには必ず車に乗る様になり斯の如き人々
もんごん	文	232	02	ては府県会規則にありまして，よく其の	文言　を諳んじて居ませぬが府県知事は府県会又は常
もんざえもん	門	223	17	云ふ浄瑠璃が盛に行はれ，其れゆゑ近松	門左衛門　だの竹田出雲だのと云ふ名人の浄瑠璃作者
もんぜん	門	255	01	づけました牢屋の前を通ると家へ帰つて	門前　で塩をかけると云ふ風も有りまするが其の原因
	門	255	15	は皆な賤しむべきもので有るから華族の	門前　を通つて来たら家へ這入る前に塩をかけると云
もんだい	問	210	03	す．其れからモウ一つ世間にやかましい	問題　が有ります．其れは彗星が地球に突き当つて地
	問	032	09	づれにしても私の最初に持ち出しました	問題　即ち「我々はどこに居るか」といふ問題は立派
	問	011	04	ういふ問題をかけましたら「造作もない	問題　だ，誰でも答へが出来る」と言はるゝで御坐い
	問	016	14	ドウであらう．其れは出さなくてもよい	問題　で有ります．毎度この席で化学の講談が有りま
	問	180	16	有する者であるかと尋ぬるは最も肝要な	問題　で御座ります．然しながら是は一大問題で中々
	問	180	16	問題で御座ります．然しながら是は一大	問題　で中々一席の演説に論じ尽せることでは御座り
	問	199	15	ふことが出来やうかと云ふのが其の時の	問題　で有りました．そこでNewtonの友だちの
	問	105	05	於て大谷木備一郎君演説当今世上の一大	問題　となつて居りまする英国荷船ノルマントン号の
	問	002	13	そこでナゼそんなに漢字を嫌ふかといふ	問題　になる．仮名にはよい所が有り漢字には悪い所
	問	032	03	ませぬ．此の二番目の説にすれば最初の	問題　に続けて「太陽系はアマノガハの中」「アマノ
	問	123	10	で有ります．然るべくは此の次ぎの会の	問題　にでもして篤と御相談を致したう御坐います．
	問	159	12	ことで軍配がドコへ落ちるかは教法上の	問題　になつて居ます．アチラでも地質学や哲学が開
	問	012	06	とで御座います．追々お話しします中に	問題　の趣意もよく分りませう．話しをあとに戻しま
	問	027	16	のか遠いから見えないのかといふと其の	問題　は本当には解けない．いくらかの大きさに見ゆ
	問	032	09	問題即ち「我々はどこに居るか」といふ	問題　は立派に解けませぬが我々が今日の学力で解け
	問	167	11	ませぬか．前に申したやうな訳で新しい	問題　は古い学問では解くことは出来ますまい．新し
	問	167	13	で見ても分りますまい．ヤッパリ新しい	問題　は新しい学問の力によらなければ，ならぬのは
	問	012	03	らないです．「地球は何の中か」といふ	問題　も其れと同じ様に段々とおしつめてモウこれか
	問	011	04	講談諸君．我々はどこに居るかかういふ	問題　をかけましたら「造作もない問題だ，誰でも答
	問	030	14	るに違ひない．其れですから，さつきの	問題　をのばして「地球は何の中であるか」と言つた
	問	137	04	内講義室に於て関直彦君演説小生は妙な	問題　を持ち出して諸君のお聞きを煩はすは小説改良
	問	167	12	解くことは出来ますまい．新しい人間の	問題　を解くにはイクラ一切経をひつくりかへして見
もんてすきゅー	モ	191	02	ふ考へです．この儀に付きまして仏国の	モンテスキュー　といふ学者が社会には三大権がある
	モ	191	04	の学者が寄つて取り調べましたところが	モンテスキュー　の言つたことを人が解し違ひたので
	モ	191	07	るとも云ふことを論定したのでも無い．	モンテスキュー　の説を読んで見ましても裁判をする

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（もんてすきゅー）	モ	191	10	行權力より外に權力が無いといふことは	モンテスキュー　は同意に違ひ無いといふことに論究
もんどう	問	166	09	よりて色々に考へ種々様々な論説を出し	問答　研究し，また物理学，機械学，数学などの色々
	問	178	04	の文明たゞ一席の口上なりとせず相互に	問答　研究して学理の上より我が帝国の将来を知るの
もんどころ	紋	024	08	筋の様なものが見えます，丸に一文字の	紋所　とでもいふべき形に見えます．此の筋と同じ向
もんばん	門	205	17	の彗星と云ふのはマルセイユの天象台の	門番　のＰｏｎｓと云ふ人が肉眼で見出して名高くな
もんぶ	文	155	12	いからオシが強いやうだが言ひませうが	文部　省から出た達しに三十七から有つたネ．この間
や	や	218	08	作つた趣意は先づ慰みもので日長のとき	や　雨夜などの徒然を慰むる為めで有りました．また
	や	202	13	ゆると云ふ訳にはいけませんでフランス	や　イギリスなどでは霧がかゝつて見えないでイタリ
	や	211	14	時に日本あたりは昼で有つたがフランス	や　イギリスは夜で有つて其の時分寝て居る者は知ら
	や	035	15	のことも大慾で有りますが独逸や仏蘭西	や　英吉利などの人が皆酒を慎んで身体を丈夫にして
	や	220	16	道名所記などを作り，井原西鶴が一代男	や　一代女などを作り其の他，色々の作が出来ました
	や	098	14	るから此の度の事件が世間に公けになる	や　否や政府は命を下して殺人罪の告訴を為し人民は
	や	106	10	判決するに非ずして免状を取り上ぐべき	や　否やを調べる為めである．故に刑事上の裁判に非
	や	230	13	やうなものが有れば郡を無形人とすべき	や　否やは考へものです．府県，郡区，町村の三つは
	や	263	09	雑居を許して果して其の心を改良したる	や　否やを試みるもので有りまする．此の方法が一番
	や	088	16	居いたしませぬ．山奥に逃げてしまひ鹿	や　猪の様なもので御坐ります．故に人は進歩しやう
	や	046	16	い道理ぢゃ．西洋人が亜米利加や澳地利	や　印度などに往いて残忍のことをしたり又亜細亜各
	や	219	04	りを求めて公然と文をやり其の返書の体	や　歌のヨシアシなどを考へて気に入れば云ひより，
	や	180	11	の有様を比較て御覧なさい．今日の米国	や　英国の婦人の有様と支那印度や土耳古の婦人の有
	や	215	05	これとはアベコベで，若し西洋では小説	や　演劇はツマラヌものだと云つて賤しむもので有つ
	や	046	15	ことは無い道理ぢゃ．西洋人が亜米利加	や　澳地利や印度などに往いて残忍のことをしたり又
	や	040	17	を殺したり夫婦の配偶をせなんだり老人	や　親などを殺すのさへも其の時には善い事にもなり
	や	201	14	云ふは太陽ばかりの筈だけれども天王星	や　海王星や地球までが人なみに重いものになつて威
	や	059	06	ること請け合ひます．又近くは我が陸軍	や　海軍で兵士の食物を改良し空気の通暢を善くし衛
	や	065	10	の大役が前途に横たはつて居るし，食物	や　家屋や人力車の濫用や丸髷島田の窮屈髷や長袖広
	や	003	08	れば此の八時間の使ひ様で此の国の進歩	や　学力の進歩が出来て来る．八時間の使ひ方を智識
	や	221	09	騒動とか云ふ類が段々出来て講談師の種	や　貸本屋の料となりました．これは大かた浄瑠璃作
	や	208	03	かへつて彗星は一体，何で有るか，地球	や　火星や土星と同じやうなものと言ひましたが，ま
	や	214	06	馬琴や種彦でさへ，さうだから，まして	や　京伝だの三馬だのに於ては狂言作者同様に下等の
	や	218	16	の景色と歌とを交ぜたやうなもので馬琴	や　京伝の小説のやうに斬つたりはつたりのことは夢
	や	219	10	て世間の女の品定めをし女の種姓のこと	や　器量のことや芸能のこと或ひは心ざまのことを論
	や	212	08	つたものを知ることが出来ます．また金	や　銀や宝石を持つて来るかも知れませんが，古物学
	や	212	09	せんが，古物学者などに取つては金剛石	や　金銀にもかへられない程の品物を得ることが出来
	や	005	14	．漢字と西洋字と競争が出来る訳なら鎗	や　具足にしておくがよい．かたつぼうが替ればかた
	や	180	05	んか．また彼のウ／キルボルフォールス	や　クラルクソンをして奴隷廃止のために千辛万苦を
	や	219	10	品定めをし女の種姓のことや器量のこと	や　芸能のこと或ひは心ざまのことを論じた所が妻と
	や	156	15	で其の人は天文を骨を折つて見たが日蝕	や　月蝕が算盤に合はないことがあると云つて学問に
	や	059	04	どの穢い所を掃除してプンとする鮪の頭	や　香の物のキレッパジ等を常に堆積せざる様に奇麗
	や	060	02	らないではないザンギリアタマの無い所	や　蝙蝠傘を用ひない所は少ないと云ふは必竟これ等
	や	063	13	ありませう．されば人力車濫用の弊たる	や　国民衛生上頗る有害なることで又人力車夫自身の
	や	229	14	しなければなりませぬ．して郡長は区長	や　戸長とは違ひ知事の下役ですから人民の公撰すべ
	や	183	02	た我々の最も不思議に思ふのは世間で妾	や　権妻といふ者を何とも思はぬことで御坐ります．
	や	224	09	，また世上にも色々と風評が有つて俳優	や　作者も気が付て来ましたが，まだ兎角，強盗や情
	や	007	10	るかは知りませぬが歎はしいことは大臣	や　参議に名筆のお方があるので少輔も大輔も字を習
	や	221	17	を作りましたが奇怪なことは勿論，自殺	や　残酷なことが多かつた．今，千歳座で興行して居
	や	211	11	老病で死んでしまふから非業の死は遂げ	や　しないと云ふ説が有ります．実はコッチが彗星の
	や	224	06	有るから奇怪なことは勿論，残酷なこと	や　自殺だの情死だの強盗だののことを仕組み根が下
	や	169	03	す．丁度この時分に我が国の人心が印度	や　支那の旧物に倦んで，いや気が起つた頃に其の自
	や	170	13	うか．さうでありますまい．朝鮮や満州	や　支那には移住を為すものが多くありますまい．日
	や	015	14	位の距離だか少しも分らない．だから寸	や　尺で間に合はない処は間で測り，間で間に合はな
	や	137	16	れたことで四書五経よりは馬琴の八犬伝	や　春水の梅暦の方が面白い．西洋のスペンサーやミ
	や	063	01	にて行けると云ひながら安閑として囲碁	や　将棋を弄び何の益もなきのみならず衛生に害ある
	や	224	10	も気が付て来ましたが，まだ兎角，強盗	や　情死の仕組は止みませぬ．これ等は風俗にも関係
	や	225	02	せうが演劇の方はまだ見物の了簡が強盗	や　情死でなくては面白がりませぬ．其れに劇場は金
	や	185	12	ると申さねば，なりません．而して仏法	や　神道は此の如きことにはドチミチ更に頓着せぬ者
	や	065	10	が前途に横たはつて居るし，食物や家屋	や　人力車の濫用や丸髷島田の窮屈髷や長袖広帯のナ
	や	157	07	ばつて牢に入れました．さうすると友達	や　親類が集つてアンナつまらないことを言つたから
	や	138	02	たす様な心持ちも有りませうがリットン	や　スコットのドラマやノベルを読めば寝ることを忘
	や	137	09	が政事新聞記者でありますから日々法律	や　政治の改良のことには筆を執つて居る其の言ひ慣
	や	098	14	ら此の度の事件が世間に公けになるや否	や　政府は命を下して殺人罪の告訴を為し人民は慈ふ
	や	214	03	と呼ばれた馬琴や種彦でさへ傍ら狂歌師	や　川柳前句の点者などをしたもので馬琴などは初め
	や	021	13	とハテシが無い位で有ります．今日理学	や　其の外の学問をする人が満足する有様に至らない
	や	197	10	を回つて居る，太陽は夥しいもので地球	や　其の外の惑星をひつばりますのは，丁度，地球が

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（や）	や	211	10	ばなりません．確には分りませんが双六	や	其の外のアタリハヅレを研究する学問によつて見
	や	218	15	帖もある大部の物だが大かたは源氏の君	や	其の他の人々の平日の動作言行を記して其の間に
	や	209	08	心の所だけは堅まつたもので，あとの尾	や	他の部分は瓦斯体で有ると云ふ者も有ります．其
	や	007	13	ふ意気ぐみになる．其れですから親王様	や	大臣参議方は滅多にお書きなさらぬ様に願ひたい
	や	196	11	性質が知れないからで有つて，他の惑星	や	太陽や月なとは皆な性質を知らなくつても知つた
	や	214	03	云ふものは其の中で泰斗と呼ばれた馬琴	や	種彦でさへ傍ら狂歌師や川柳前句の点者などをし
	や	214	06	ないもののやうに見下されました．馬琴	や	種彦でさへ，さうだから，ましてや京伝だの三馬
	や	206	01	いきませんがＰｏｎｔｅｃｏｕｌａｎｔ	や	Ｄａｍｏｉｓｅａｕのほどには十分いきます．）
	や	201	14	陽ばかりの筈だけれども天王星や海王星	や	地球までが人なみに重いものになつて威張ります
	や	166	16	ことがありますが，こゝにある此の土瓶	や	茶碗は土瓶や茶碗だといふことは見て分りませう
	や	166	16	すが，こゝにある此の土瓶や茶碗は土瓶	や	茶碗だといふことは見て分りませうがドウして出
	や	170	14	らしい国に行く気はありますまい．支那	や	朝鮮はたゞ商売の地で利を争ふばかり位なことで
	や	196	11	知れないからで有つて，他の惑星や太陽	や	月なとは皆な性質を知らなくつても知つた積りで
	や	138	11	しまふことも有りました．なるほど経書	や	哲学やむつかしいものには効能が有るには違ひな
	や	159	12	問題になつて居ます．アチラでも地質学	や	哲学が開けてから天主の説に不服を言ひます．ナ
	や	061	02	るを覚らるゝでありませう．又緋縅の鎧	や	天保銭や丸髷島田を御覧のときは又未開化人の用
	や	093	12	過ぎぬことで法律学上果して責罰がある	や	といふことを研究したものを見ませぬ．故に已む
	や	165	16	について色々の学派があつて人間の自由	や	同等権利など一偏の道理を説く学派もあり，神は
	や	208	03	て彗星は一体，何で有るか，地球や火星	や	土星と同じやうなものと言ひましたが，また太陽
	や	180	11	日の米国や英国の婦人の有様と支那印度	や	土耳古の婦人の有様を比較て御覧なさい．実にキ
	や	186	02	風習の行はれぬ所は御坐りません．印度	や	土耳其の婦人の事などを聞けば実に憫然に堪へぬ
	や	065	11	家屋や人力車の濫用や丸髷島田の窮屈髷	や	長袖広帯のナマケ服など共に皆改むべきの最も急
	や	195	14	．尤も，この三年前の彗星にしろ「戦争	や	何かには関係の無い」と云ふ人ばかりでは無く，
	や	227	10	て居りました．これに就ては任命の仕方	や	何かは行政上，正しくいつて居つたとは云はれま
	や	062	13	けに頭にはパクパクして蝦蟇の様な島田	や	鍋蓋の如き丸髷を頂き居りて運動の自由ならざる
	や	138	05	上げたい処なれども体も虚弱であり一滴	や	二滴のモルヒネを上げるより，もそつと善い薬が
	や	040	04	く無くて，たゞ禽獣同様に（こゝらに犬	や	猫が居るのと同し様に）男女同居してゆくだけで
	や	278	05	が国の現在の監獄上のことを論述すべき	や	の順序ではありまするが現在のことは学術の部を
	や	063	14	す．諸君御覧なされ，人力車夫の業たる	や	農工商等の如く時を定めて営業すること少なくし
	や	138	02	りませうがリットンやスコットのドラマ	や	ノベルを読めば寝ることを忘るゝ様なことも有り
	や	230	13	なものが有れば郡を無形人とすべきや否	や	は考へものです．府県，郡区，町村の三つは右の
	や	169	16	で亜米利加に行く者の方は大抵貧乏書生	や	ハタラキテの類で自ら思ひ立つて艱難しても一身
	や	002	08	無い．たゞ月の部は人数が多い，雪の部	や	花の部は人数が少ない，そこで月の部にはいつた
	や	024	02	或は早く運動しますがいづれも自分で熱	や	光りを持たない，皆太陽から仕送りをして貰つて
	や	185	07	十位ある比例では有りますまいか．よし	や	百に十の比例としても実に驚くべく憂ふべきこと
	や	114	01	きには先刻からお話しの有つた通り身体	や	品行にも関係するものだからドウしても節しなけ
	や	219	05	ば云ひより，また女の方でも男の文の体	や	風聞によつて，ゆかしくも，きらはしくも思ひ，
	や	014	08	処が余程はつきり見えまして全く高い山	や	深い谷などで有ります．山だの川だの谷だの岡だ
	や	170	16	うか，どんな所かよく分りませぬ．一人	や	二人が知つたからといつて行くものではありませ
	や	182	08	．さうしてこれが即ちキリスト教の儒道	や	仏道と大に違ふ所の一で，また社会を改良する勢
	や	182	10	何もキリスト教に限ることでない．儒道	や	仏道の教は兎も角も実際一夫一婦は即ち古より我
	や	035	15	政略などのことも大慾で有りますが独逸	や	仏蘭西や英吉利などの人が皆酒を慎んで身体を丈
	や	059	16	好くものは何かと云ふに先づ奇麗なもの	や	便利なもの等であります．何となれば知識が無く
	や	059	17	識が無くても学問が無くても奇麗なもの	や	便利なものを欲するのは自然の性です．御覧なさ
	や	212	04	知れませう．たゞ少し恐ろしいのは若し	や	彗星の心がぶつつかりはしないかと云ふことです
	や	212	08	ものを知ることが出来ます．また金や銀	や	宝石を持つて来るかも知れませんが，古物学者な
	や	167	17	の通り相互に智識交換の為めに書くもの	や	法令文書の往復まで先づドウかカウか行はれて居
	や	141	02	小説家の品格を申さば源氏物語の紫式部	や	枕の草子の清少納言などは固より雲の上の人にて
	や	142	10	の改良を計らねばなりませんが源氏物語	や	枕の草子の出来た頃は未だ小説が盛んであつたと
	や	068	02	なる順序によつて如何なる資格を有する	や	又其の員数は如何，又其の需要と供給の比較は如
	や	214	13	近年追々と西洋風が流行つて来て留学生	や	又は洋行の人などが帰朝するに従つて小説と云ふ
	や	061	02	るゝでありませう．又緋縅の鎧や天保銭	や	丸髷島田を御覧のときは又未開化人の用ゆるもの
	や	065	02	から減少して来ませう．故に私は人力車	や	丸髷島田の増減は日本男女の文明如何を卜するに
	や	065	11	つて居るし，食物や家屋や人力車の濫用	や	丸髷島田の窮屈髷や長袖広帯のナマケ服など共に
	や	170	12	きませうか．さうでありますまい．朝鮮	や	満州や支那には移住を為すものが多くありますま
	や	137	16	の梅層の方が面白い．西洋のスペンサー	や	ミル，ベンサム等の本を読みましたときには上下
	や	106	10	例に基いて為したるもので其の有罪なる	や	無罪なるやを判決するに非ずして免状を取り上ぐ
	や	138	11	ことも有りました．なるほど経書や哲学	や	むつかしいものには効能が有るには違ひないが，
	や	214	04	り用の時は当時有名の雑学者の喜多静盧	や	村田了阿などの所へ買ひ出しに行きました．さう
	や	007	16	から人力車夫までやるがよい．若し茶道	や	名筆では外国と競争が出来ないといふ訳ならば唐
	や	041	05	を通りて来たに違ひ無い．其の時，孔子	や	耶蘇が言ふ様なことをして居たならば其の社会は
	や	180	10	ばキリスト降世前の世界に於てギリシヤ	や	ローマが文物隆盛を極めた時の婦人の有様とキリ
	や	234	14	んで有つたから近世に至つてもギリシャ	や	ローマの言葉を貴んで其れで無ければ学問は出来

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（や）	や	110	11	て実に不思議と思ふより外は無い．若し	や	我輩の疑ふ所をして事実に違はざらしめば彼等は
	や	197	17	苦しんで居る所の彗星と云ふものは若し	や	惑星と同じ種類のものでは有るまいかと云ふ考へ
	や	236	14	で取られるやうな人が有つた．高野長英	や	渡辺崋山なども西洋学をした為めに災にかゝつた
	や	098	10	ぬものは殆んどありますまい．然るに今	や	我々同胞二十五名の人はウタカタの泡と消え海底
	や	106	10	為したるもので其の有罪なるや無罪なる	や	を判決するに非ずして免状を取り上ぐべきや否や
	や	106	10	するに非ずして免状を取り上ぐべきや否	や	を調べる為めである．故に刑事上の裁判に非ずし
	や	263	09	を許して果して其の心を改良したるや否	や	を試みるもので有りまする．此の方法が一番宜し
	や	220	12	ヂーサン，バーサンのことを書いたもの	や	，鉢かつぎの草紙と云つて継母に悪まれたムスメ
	や	220	13	紙と云つて継母に悪まれたムスメの話し	や	，文正の草紙と云つて常陸の国に居た大福長者の
	や	092	11	て居て道理を知つて居る諸君においてを	や	．若し諸君御銘々が耶蘇基督の高尚なる教を心に
	や	099	11	見しならば斯くの如き事件は起り得べき	や	．私はあまり船乗につきあつて見たことは無いが
	や	109	02	て大船に残つて居ることを甘んじませう	や	．彼等乗客は水夫等は船の事を知つて居るから其
	や	242	16	を掌ると何ぞ異なるところが有りませう	や	．先づ監獄は行政権に属するもので有りまするか
	や	221	09	か云ふ類が段々出来て講談師の種や貸本	屋	の料となりました．これは大かた浄瑠璃作者など
	や	134	01	任せることは出来なかつたれど今，我が	家	の事一切皆な喜んでこの人に任せて置きます．そ
	や	229	02	十七あるです．東京の町の数は俗に八百	八	町あるとか云ひますが，これも皆な此の数の中に
	や	240	01	如何，国事犯等の景況如何，何々何々と	矢	をつく如くに詰問せられました．けれども元来，
	や	148	10	は日本にイクツあるといふことを西洋の	ヤール	，ブックに就て見ると先づ東京とか大坂とか
	焼	052	05	字を書いた書物は広い原へ持つて往つて	焼い	てしまふといふ大決断をいたすと思ひなさい．
	焼	054	05	申した秦の始皇の話しの様に書物を皆な	焼い	てしまつても英仏の本を知らないでも何でも知
	や	199	15	来るかも知れない．さういふことが出来	やう	かと云ふのが其の時の問題で有りました．そこ
	や	007	04	．なかなか漢字の貴いことを知つては居	やう	が不便なことを知つて居る者は無く何でも漢字
	や	155	11	い方が有るかも知れないからオシが強い	やう	だが言ひませうが文部省から出た達しに三十七
	や	169	07	の利は東に益があつて西に利が見えない	やう	だのに我が国の人心は西に向つて貿易の利とは
	や	115	14	めに品行を破る．酒の為めに品行を破る	やう	では人類といふものの甲斐はあるまい．さて品
	や	117	05	つても構はないと言つて安心してしまふ	やう	では節酒会にはいつて居て申し訳が無い．信用
	や	151	02	法の範囲を定めると至つて小さいものの	やう	でありますが其の実際に至ると甚だ広いもので
	や	168	06	いものばかり見て，いゝ気になつて居る	やう	では日本もモウ其れきりに望みはありますまい
	や	169	10	来我が国の人心の東に向くシルシがある	やう	で，其の訳は亜米利加へ行く者が年々に多くな
	や	173	10	を食ふと苦味の加減で奥歯に，はさまる	やう	で気味わるく東から来るパンはバタでも付いて
	や	173	11	く東から来るパンはバタでも付いて居る	やう	で口へ通りもよく，滋養もありさうな心持ちが
	や	174	05	となりませう．一体，数字はシャレ骨の	やう	で見ても面白くない，イヤなものですが之に銭
	や	174	15	りませう．チョイと考へると百年は遠い	やう	で死んだアトのことだからドウでもよいやうに
	や	183	10	を守るべきことは随分喧しく説いてある	やう	で御坐りますが夫が妻に対して貞操を守るべき
	や	183	11	貞操を守るべきことはトント説いてない	やう	で御坐ります．然しキリスト教に於ては夫たる
	や	206	11	大きく一つは小さくなつて頭も尾も同じ	やう	で有りましたが，これは分れたと云ふよりは寧
	や	209	07	尤もらしく，通さないと云ふ方が怪しい	やう	で有ります．大方は頭も心も稀薄なもので何れ
	や	222	02	有りませぬか．馬琴の作も，始めは同じ	やう	で有つたが晩年には注意して意匠を支那の小説
	や	234	02	も云ふ学校が翻訳した本で教へると云ふ	やう	では迚も十分なことは出来ない．タカダカ中学
	や	196	15	毎夕ひつこむのが当り前だと思つて居る	やう	です，（尤も実は朝，太陽が出るのでは無くつ
	や	057	10	れば幸福は得られぬもので其の健康を得	やう	とするには衛生が必要です．然るに今当路者が
	や	057	16	賀する訳で御坐います．次で本題を陳べ	やう	と思ひますが其の演説の前にモウ一つ諸君に向
	や	058	07	さて，これから半開化衛生上の害を述べ	やう	と思ひますが凡て世の開化と云ふことは頗る良
	や	060	15	れば私は尚ほ一層進んで其の害を詳論し	やう	と思ひますが例へば今茲に種々の色を着けたる
	や	065	05	は容易でありませぬから大概にして止め	やう	と思ひますがツマリ我が邦今日の有様は未だ半
	や	065	07	よひ居るときですから之をして進ましめ	やう	とするも将た退かしめやうとするも偏に先覚者
	や	065	07	して進ましめやうとするも将た退かしめ	やう	とするも偏に先覚者の方寸にあることです．先
	や	085	07	所を以て充分の証拠を立てることが出来	やう	と存じます．既に申しましたことを取り撮んで
	や	088	17	様なもので御坐ります．故に人は進歩し	やう	とするならば己れの不足な所を能く承知しなけ
	や	091	09	ものは何で御坐りませうか．また進歩し	やう	と思ふ人が前以て棄てねばならぬものは何で御
	や	093	07	べし」といふ題に付て簡短に意見を述べ	やう	と思ひます．一たび英船ノルマントン号が紀州
	や	094	09	利法によらずして法理に付て考へを述べ	やう	と思ひます．諸君．我輩は日本人で御坐ります
	や	108	14	の指図を如何に思ひませうか危険を避け	やう	といふにはドウいふことを攻究しなければなら
	や	108	16	の人が危険にかゝつたときドチラに避け	やう	といふときには，おもなる人の避け方に気を付
	や	146	07	の腐敗を防ぎ社会を改良することも出来	やう	と思ひますれば此のことは是非やつて貰ひたい
	や	147	05	宇川盛三郎君講演行政法の大意を講究し	やう	と云ふ趣意は色々ありますが先づ全国行政，地
	や	154	02	地方行政，町村行政の三つに付て講究し	やう	と思ひます．それに付てはこれだけのスタチス
	や	165	06	から私は別に述べませぬ．私が今日述べ	やう	と思ふのは矢張りスタチスチックに関係した重
	や	166	04	ぬが併し畢竟，人間生活の真理を発明し	やう	といふ為めに骨折り最中で其の事実といふもの
	や	169	17	つて艱難しても一身を立てたい富を求め	やう	といふ考への者のやうに見えます．其の亜米利
	や	171	02	ら欧羅巴に行つて衣食をなして富を求め	やう	といふことはドウもむづかしいやうに思はれま
	や	173	06	がるタチで，イクサは嫌ひで平和親睦し	やう	といふ気風があります．国内でも強盗をのけて
	や	175	07	勉強して，むづかしいことも，やりとげ	やう	と，いふので額に汗を流して骨も折る．家族で

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（やう）	や	179	07	人の地位との関係に就て聊か考へを述べ	やう	と存じます．さて紀元前およそ七百年頃イザヤ
	や	181	01	を挙げて婦人矯風会員方の御参考に供へ	やう	と存じます．我々は固より婦人の地位を進むる
	や	181	14	らうと存じます．若しも世の弊風を改め	やう	とならば先づ其の根本から改めてかゝらなけれ
	や	197	12	に地球は非常に速くあるいてズットにげ	やう	とする，太陽は之を引き付けやうとするので其
	や	197	13	トにげやうとする，太陽は之を引き付け	やう	とするので其の間を取つて，太陽のマハリを回
	や	217	04	なびかず．しまひには帝王がキサキにし	やう	とおつしやつたが其れも否んで八月の十五夜に
	や	218	10	態人情を知つて居ないから其れを知らせ	やう	と云ふ心組で作つたものと見えます．其の時分
	や	224	12	起されましたのは定めて此の弊を矯正し	やう	と云ふので，強ち西洋風を移されると云ふばか
	や	236	12	て人に嫌はれても忌まれても，やり遂げ	やう	と云ふので其の大難事も追々に減つては来まし
	や	252	07	ば東京の日本橋のやうな所で掏児でもし	やう	とする傾きの者があれば之をつかまへて来て懲
	や	169	04	其の自由心が世界の開化に仲間入りをし	やう	とて其れには彼れの長を取り我が短を補はなけ
	や	113	07	を過すときは其の為めに身体を悪くする	やう	なことが有るので知れる．さて酒のことに付て
	や	114	07	といふては他の動物に対して言訳の無い	やう	な話しで有ります．また他の動物は命が惜いと
	や	114	16	身体が悪くなるとか善くなるとか，いふ	やう	なことは犬猫には分らない．して見ると本当に
	や	117	08	要になることぢゃ．其れが守れぬといふ	やう	な人は仕方が無いが成るたけ守らうといふやう
	や	117	16	ければ下等の欲に打ち勝たれないといふ	やう	な人が有ることぢゃから此の類の人は禁酒会を
	や	118	01	よいと思ひます．若しも人に虚言をつく	やう	な人ならば節酒会にも，はいらぬ方がよい．一
	や	150	17	一国施政上の法律規則また官府とかいふ	やう	な機関を要する道具に関係の法律規則を言ふの
	や	167	11	白いことではありませぬか．前に申した	やう	な訳で新しい問題は古い学問では解くことは出
	や	168	05	たり智慧も段々と開けたりするのと同じ	やう	なもので，これは当り前なことで若し古いもの
	や	168	15	でも時々思ひ出すが何となくモノスゴイ	やう	な心地がします．我が国人が必死になつて防ぎ
	や	169	16	を仰ぐ者か，または華族とか何とか云ふ	やう	な金持ちたちで亜米利加に行く者の方は大抵貧
	や	172	12	とがあつて其の仕方は子供を，すかした	やう	な所為だと譏る人もありますが，この類のこと
	や	174	13	きたいものと存じます．さて今，申した	やう	な訳ゆゑ百年の後に其の衣食の費用は二倍して
	や	185	04	つたからには姦淫の外には，たとひ如何	やう	なことが出来しても決して離別することを許し
	や	185	10	坐ります．全体，日本にはドウして此の	やう	な悪風が始まつたことで有るかと考るに其れに
	や	189	09	に立法権の方はおもに代議士だとかいふ	やう	な国会議員などより成り立ち，執行権の方は皇
	や	190	11	るといふときには必ず勅裁を経るといふ	やう	なことは自為裁判の種類であります．裁判権と
	や	198	08	楕円の形ちになります．楕円は先づ円の	やう	なものですが細長いもので，惑星即ち木星土星
	や	199	05	と見れば宜しう御坐ります．さて，この	やう	な考へをＮｅｗｔｏｎが起しまして実際しかし
	や	200	08	と帳面にとめて有つて，言はば人相書の	やう	なものが有らうから先のと今度のと其の形ちを
	や	203	12	有ると云ふことまでが分りました．この	やう	な発見が出来ましてからは，ナニソレの前表で
	や	203	13	前表で有るとか言つてムヤミにこはがる	やう	なことは有りませんやうに，なりました．丁度
	や	204	03	ことで実は学でもなく，また術でもない	やう	なもので有りますが，日本で云へば安倍の晴明
	や	204	03	が，日本で云へば安倍の晴明とでも云ふ	やう	な人に其の彗星を占つて，もらつた所が「これ
	や	205	01	までのことで有つたのです．地球と同じ	やう	なもので有るのに，あのやうにこはがつた訳と
	や	205	16	くつても他の人にはサッパリ面白くない	やう	なことが有りますから．さて，このＥｎｃｋｅ
	や	206	06	した．これは一番始めに発見された今の	やう	な彗星の元祖で有ります．Ｈａｌｌｅｙが今日
	や	206	11	二つに分れましたことが有ります．同じ	やう	な形ちで一つは大きく一つは小さくなつて頭も
	や	206	13	せう．其れは丁度サトイモに子の出来た	やう	な塩梅で親子づれで段々遠方にいつてトウトウ
	や	206	16	れて居つたので，先づスダチしたと云ふ	やう	な訳で，燕が子を生んで其の子がスダチして一
	や	207	07	，星が天の中から，とれて流れてしまふ	やう	なことが有ります，あれのことが流星でありま
	や	208	03	，何で有るか，地球や火星や土星と同じ	やう	なものと言ひましたが，また太陽から遠ざかつ
	や	208	05	くつて水が有り草が有り人が有ると云ふ	やう	なものか，ソンナものでは無いか，ドンナもの
	や	208	09	一体，汽車とはドンナものか，人力車の	やう	なものか，それとは違ふかと云ふことはたゞ旅
	や	208	14	と云ふものが有ります．この三つが同じ	やう	なものと云ふ証拠は無い，反対にそれぞれ違つ
	や	209	03	であらうと云ふ証拠は尾を透して，どの	やう	な小さい星でも見えます．尾をすかして大きな
	や	210	15	つたら蟻の群つて居る中に熱湯をこぼす	やう	な有様だらう」と言ふ人が有れば，また「地球
	や	213	04	演説「小説と演劇との関係」と申す此の	やう	な演題を掲げると定めてシッカリとした名説で
	や	213	09	生方のシッカリとした演説の間の狂言の	やう	なもので御坐います．さて小説は文章で書くも
	や	214	17	人情の極意を写し出す真の美術だと云ふ	やう	な訳で其れゆゑ西洋に於ては小説作者は非常に
	や	215	03	俳優も編笠どころでは無く勅任官の冠る	やう	な帽子を頂き，玉の輿イヤ車に乗りあるくと云
	や	216	12	しの話しに能く似て居ります．尤も此の	やう	なことは支那の昔の書物を見ると随分ありますな
	や	218	03	れ後には栄花物語，続世継，水鏡などの	やう	な実事を書いたものにも巻々の標目を立てゝ小
	や	218	16	して其の間に時々の景色と歌とを交ぜた	やう	なもので馬琴や京伝の小説のやうに斬つたりは
	や	219	07	つても親が不承知なら，よさせると云ふ	やう	なことが有る．其れで妻は大かた自分の家に引
	や	222	08	モノに過ぎなくて士君子は見るのを恥る	やう	な様子が有りました．小説の来歴はこれまでと
	や	223	13	家は持つて居ます．これは今云ふ筋書の	やう	なもので其の時分の演劇の有様を見るに足るも
	や	224	14	と云ふばかりでは御坐いますまい．右の	やう	な次第で，これまで小説と演劇とは実に兄弟の
	や	224	14	で，これまで小説と演劇とは実に兄弟の	やう	なもので有りましたから此の後とてもヤハリ大
	や	227	06	ましたか知りませぬが先づ只今の知事の	やう	なものが有りました．其れから封建の世になり
	や	227	08	した．この大名と云ふものは世襲知事の	やう	なものになつて居りました．大名の上には将軍
	や	227	16	じられる所も有ります．其れなら徳川の	やう	な将軍は何であるかと云ふと主権者でも無く，

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（やう）	や	228	01	国主が其の列国の世話をして居たと云ふ	やう	なものです．何にしろ日本と云ふ国の内には沢
	や	228	02	云ふ国の内には沢山に小君主国が有つた	やう	な有様で御坐います．斯の如くで有りますから
	や	228	05	日本の行政法はムヤミに数が多く有つた	やう	な有様で御坐います．其れで地方の区別を見ま
	や	228	06	の区別を見ますと大名の下に今の郡長の	やう	なものを置き，また村には名主と云つて名誉戸
	や	228	07	また村には名主と云つて名誉戸長と云ふ	やう	なものが有り，また町には町年寄と云ふものが
	や	228	08	年寄と云ふものが有りました．かういふ	やう	な有様で有りましたから一定即ちユニテーと云
	や	228	14	いてあります．これは府県知事の下役の	やう	なもので有ります．其の郡の下に町村が有りま
	や	229	08	よると，また其れをも数区に分つと云ふ	やう	な意味で有ります．して区と云ふものが全国に
	や	229	09	らず丁度，郡と町村とをマゼコゼにした	やう	なもので有るから区長は郡長の仕事と戸長の仕
	や	230	01	ふところが有ります．これは内地の区の	やう	なもので有ります．其の外間切と云ふもの即ち
	や	230	02	ものが三十六あります．また村と，村の	やう	な島が五百八十九あります．現今では行政上の
	や	230	13	無いさうです．若し郡の所有財産と云ふ	やう	なものが有れば郡を無形人とすべきや否やは考
	や	233	14	には今，西洋語を以て教ふる大学と云ふ	やう	な専門学校が有るなれどもイツまでも其ればか
	や	234	04	まして専門学校で翻訳書をもつて教へる	やう	な先生が有つたからとて其の様な学校は何の益
	や	236	14	中には之が為めに自分の命まで取られる	やう	な人が有つた．高野長英や渡辺華山なども西洋
	や	241	06	，岩手県の山景は麗しく有つたとか云ふ	やう	なことは内務大臣の命令外のことで有るから申
	や	241	08	，場所が高かつたとか低かつたとか云ふ	やう	なことは世間公衆の知る所にして公有物の部に
	や	241	17	一本曲つて居るとか折れて居るとか云ふ	やう	なことばかり見たとて参考になるものでは有り
	や	246	02	，はふりこんで早く殺してしまへと云ふ	やう	な考へが有りました．然れども孔夫子の言はれ
	や	247	09	が刑の趣意に適ふだらう」などと考へる	やう	なことが起らないとも云へませぬ．よつて監獄
	や	247	17	はコレコレにしなければならぬ」と云ふ	やう	なことをよく教ゆる法で有りまする．此の教誨
	や	251	04	有りませぬ．昔では人を殺したとか云ふ	やう	な者は直ちに首を斬つてしまひましたが今日で
	や	251	05	した者でもナカナカ容易に死刑に処する	やう	なことは致しませぬ．其れとも到底終身，心の
	や	251	06	終身，心の改良は覚束ないだらうと云ふ	やう	な悪事を為しました者は已むを得ず終身の刑に
	や	252	07	願人は誰も無いが例へば東京の日本橋の	やう	な所で掏児でもしやうとする傾きの者があれば
	や	253	11	有りまするから濡れ手で粟を攫むと云ふ	やう	なことは考へませぬやうになります．これ等が
	や	254	11	へ或ひは通常の雇人に世話をすると云ふ	やう	なことを致さなければなりませぬ．此の保護の
	や	254	12	に再犯，三犯，四犯，五犯，六犯と云ふ	やう	な者が随分あるやうにも聞きまする．前に申し
	や	255	08	某に対して失敬のことを言つたとか云ふ	やう	なことまで探すものでは有りませぬ．されば昔
	や	255	13	り付けて其の禄高を増して貰つたと云ふ	やう	なことも無いではありますまい．これ等の為め
	や	255	15	来たら家へ這入る前に塩をかけると云ふ	やう	なことは決して有りますまい．よつて獄吏は此
	や	260	13	ひはムヤミに一方にばかり偏すると云ふ	やう	なことが有りはすまいかは宜しく注意すべきも
	や	262	05	気に入らなかつた者は入れておくと云ふ	やう	な弊が大いに有りました．然るところ近世は段
	や	267	04	決者から証拠を押し隠すの教授を受くる	やう	なことが有りますし，また非常に性質の悪い者
	や	267	06	に性質の悪い者のしたことを学ぶといふ	やう	なことになりまする．故に此の部の事業は必ず
	や	275	06	面倒な者には毒をたべさして殺すと云ふ	やう	なことも流行つたり，また拷問などを致します
	や	276	07	たけれども，今日では却つて憐愍と云ふ	やう	な意味がありまして何卒して不良なる心を改め
	や	276	10	，獄吏は其の囚徒をなぐつて懲すと云ふ	やう	な大間違ひを致すことになりませう．若し斯く
	や	115	05	命が大切だと知つたならば命を長くする	やう	にして人類的の欲を重んじなければならないの
	や	115	07	たもので人類といふものは其れを節する	やう	にしなければ他の動物に対しても言訳が無いで
	や	115	12	いから其の高い欲を下等の欲に勝たする	やう	に，しなければならないけれども品行をよくし
	や	116	01	的の欲が動物的の欲即ち飲食の欲に勝つ	やう	にしたいもので有ります．併し理屈づめでは何
	や	116	05	し合せが有ると，なるたけ酒を飲まない	やう	になり，多く飲む者も少なく飲むやうになり随
	や	116	06	いやうになり，多く飲む者も少なく飲む	やう	になり随つて身体も健康になり品行もよくなる
	や	116	13	れからは自分でも，さういふことをせぬ	やう	にしたれば去年も今年も腸胃痛が起らなかつた
	や	116	16	といふは仲間で約束して虚言をつかない	やう	にといふことが一つ殖えて来るからのことぢゃ
	や	116	17	人類の高い欲だからドウか約束を破らぬ	やう	にしたい．ドウゾ約したことは人に対して欺か
	や	117	01	ドウゾ約したことは人に対して欺かない	やう	にしたい．而して信用を失はないやうにしたい
	や	117	01	いやうにしたい．而して信用を失はない	やう	にしたいといふは即ち人類的の上等の欲で，そ
	や	117	09	人は仕方が無いが成るたけ守らうといふ	やう	に致したいもので有ります．すべて会を設けて
	や	118	04	も成るたけ堅く約束を守る人の多く有る	やう	に致したいと思ひます．私が今日申すのはただ
	や	133	17	其れから，かの者が全く外の人になつた	やう	に，まるで変つて来ましたので御坐る．昔は極
	や	136	02	ますれば誠に面白くも無く，また分らぬ	やう	に見えます．けれども遂に二階に上つて，かの
	や	147	06	町村行政の三つに分つて（二三回で済む	やう	に）御一所に講究して見たいといふことで，あ
	や	149	05	係が無いといふ事実にしましても，この	やう	に関係なさざるものは無いだらうと思ひます．
	や	150	01	ものであるといふことを一言申し上げる	やう	にしませう．凡そ法律は公法と私法とに別れ私
	や	151	11	理と義務を行政上の法律規則で行はれる	やう	にするのです．第三は無形人即ちモーラル，ペ
	や	157	11	は御存じのことだが其の時は堤のきれた	やう	に，しゃべり出したとネ．今，日本大中小で三
	や	157	12	学問所で天球儀，地球儀をころがし回す	やう	に，なりましたが実は地が回るか回らないか私
	や	158	06	だ知れんと云つて詰めると段々に知れる	やう	になりませう．モウ一つ話しませうが其れは雷
	や	166	14	ほど，かういふ訳だナ」と誰でも信じる	やう	になつて来ます．事実から道理を見上げるのだ
	や	167	03	ます．今のは事実と道理とピッタリ合ふ	やう	にしてゆくのだから事実を求めることが，むづ
	や	167	04	とが，むづかしくなり金も大層にかかる	やう	になり骨も大層に折れるやうになります．併し

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（やう）	や	167	04	層にかかるやうになり骨も大層に折れる	やう	になります．併し一たび事実と道理とハタと符
	や	167	05	併し一たび事実と道理とハタと符号する	やう	になれば其の道理は万世に伝はつて人世に大功
	や	167	06	は万世に伝はつて人世に大功徳を及ぼす	やう	になりませう．さつきの宇川さんの「離縁の話
	や	167	07	が段々気が付て来たから，おつつけ分る	やう	になりませう．宇川さんだつて日本に居つては
	や	167	16	物制度が入り来つて，まるで自分の物の	やう	になりました．文字でも其の通り相互に智識交
	や	168	13	あつたといふが日本でも丁度其れと同じ	やう	に騒ぎ立て大抵古いものは押し倒されました．
	や	169	08	心は西に向つて貿易の利とは反対を示す	やう	に見えます．これには色々な訳もありませうが
	や	169	11	訳は亜米利加へ行く者が年々に多くなる	やう	に見えます．亜米利加に行く者と欧羅巴に行く
	や	169	14	利加に行くのとは其の目的が違つて居る	やう	に見えます．欧羅巴に行く者の方は学術研究の
	や	169	17	立てたい富を求めやうといふ考への者の	やう	に見えます．其の亜米利加に行く者の中には随
	や	170	11	本人が一たび海外に移住の運動を始める	やう	になつたらドコを好んで行きませうか．朝鮮か
	や	171	02	求めやうといふことはドウもむづかしい	やう	に思はれます．たとひ出かけて行つても，よく
	や	173	02	朋友などに対してあの人は恩人だと言ふ	やう	になり法律には無いが田舎の隅のものまでよく
	や	173	07	きつたり，はつたりするものは先づ無い	やう	になつたので知れませう．若し我が日本の国人
	や	174	07	ると其のシャレ骨が活き活きして感じる	やう	になつて来ます．これが則ちスタチスチック学
	や	174	15	で死んだアトのことだからドウでもよい	やう	に思はれますがさうでは無く我が日本国民の年
	や	174	16	の一代ぐらゐなもので百年といふと遠い	やう	に思ふが維新以来モハヤ其の五分の一を過ぎま
	や	175	02	来ます．若し義務を欠くと人が人とせぬ	やう	になりはしませぬか．さうして見ると今の人は
	や	175	10	も出来ませぬ．外国に出て外国に慣れる	やう	にしなければなりませぬ．若し国内に蟄伏せし
	や	175	11	ばなりませぬ．若し国内に蟄伏せしめる	やう	にすると土地は狭くなり，また一つの職業でも
	や	175	12	り，また一つの職業でも，共争ひに争ふ	やう	になつて身に着，口に食ふことも出来ず，出来
	や	176	03	々勇み進んで移住出稼ぎの運動を始める	やう	になりませう．これはチョイと考へると愛国心
	や	176	03	．これはチョイと考へると愛国心が無い	やう	に思はれますが，さうで無い．移住出稼ぎは日
	や	176	07	調べの方法は事実の上から道理の知れる	やう	にしなければなりませぬ．これに付てはスタチ
	や	176	15	一切載せて其の地，其の人に網を張つた	やう	に一つも漏らさぬやうに，しなければなりませ
	や	176	15	の人に網を張つたやうに一つも漏らさぬ	やう	に，しなければなりませぬ．箇様な仕方で一々
	や	176	17	何年何月と記し其れを集めて前に述べた	やう	に男女の人数，年齢，職業などの種類を分つて
	や	183	04	は妾を置き妾となることを却つて栄誉の	やう	に思ふものが御坐りますが，これは実に心外千
	や	184	11	いことながら恐らくは世界中に我が邦の	やう	に離縁の多い所は有りますまい．其れは兎に角
	や	185	13	如きことにはドチミチ更に頓着せぬ者の	やう	に見えます．兎に角に，これより此の悪習を洗
	や	189	03	れから執行権の事は絶えず分れて居つた	やう	に考へます．現に維新の時の五箇条の御万機公
	や	189	05	の執行権者が行ふといふ主義に違ひ無い	やう	に見えます．其れで立法権といふものは執行権
	や	189	13	者が裁可する．裁可して布告するといふ	やう	に立法権の事柄にも執行権で干渉することがあ
	や	193	11	，欧羅巴の新主義をもつて来て採用する	やう	に見えまするが天子の勅詔を段々と見ますとこ
	や	197	11	，丁度，地球が他の物をひつぱると同じ	やう	に，ひつぱります．地球が只今でも止まつてし
	や	199	03	の一部分だけは殆んど抛物線に違はない	やう	になります．ツマリ抛物線は楕円のカタッパウ
	や	199	12	の関係が有るから彗星の軌道も抛物線の	やう	には見ゆるが事によつたら楕円の長いのでは無
	や	203	13	ヤミにこはがるやうなことは有りません	やう	に，なりました．丁度二十四時間，過ぎると同
	や	205	01	地球と同じやうなもので有るのに，あの	やう	にこはがつた訳と云ふものは彗星の出ました度
	や	207	09	だ」と云ふことが有ります．しかし雨の	やう	にふると云ふことは少ない．雨と云つても今日
	や	207	10	は実に大変で有りますが，現に昔し雨の	やう	にふつたと云ふことで「春秋」に「星隕如雨」
	や	207	15	んが何だか無理に分らなくしてしまつた	やう	に思はれます．其の星が隕ちたと云ふのは今言
	や	208	04	つたやつが有る．いよいよ彗星は地球の	やう	に堅くつて水が有り草が有り人が有ると云ふや
	や	209	16	無いものがヤジムマに彗星の説を述べる	やう	になりますから．実に天文学はまだこの辺に進
	や	211	07	が破裂して悪い瓦斯がソコラにちらかる	やう	になつて地球に疫病でも流行るかも知れません
	や	213	05	ると定めてシッカリとした名説でも有る	やう	に諸君が思はれませうが其れならば大違ひ．私
	や	214	06	上等の学者の目からは何でもないものの	やう	に見下されました．馬琴や種彦でさへ，さうだ
	や	214	09	じの通り昔は河原者と呼ばれ穢多非人の	やう	に言ひ習はされ，天保年中の老中，水野越前守
	や	215	02	小説を翻訳するとか又は自分で著述する	やう	になり，俳優も編笠どころでは無く勅任官の冠
	や	218	07	も有り，またマルマル無いことを有つた	やう	に作つたのも有つて一様で有りませぬが，ツマ
	や	218	12	が多い．其れゆゑ先づ婦人の心得になる	やう	に作つたので，かの勧善懲悪などと云ふ方では
	や	218	16	交ぜたやうなもので馬琴や京伝の小説の	やう	に斬つたりはつたりのことは夢にも無い．しか
	や	220	01	物語などは文章も面白くて目の前に見る	やう	に書いたもので有るが文章の飾りが有るだけに
	や	220	09	の短刀を与へたことなどが本当のことの	やう	に思ふ人が多い．さて足利の時代には物語がや
	や	221	14	双紙だの酔菩提の類は近ごろ劇場でする	やう	になりました．また三馬，一九などは今日の言
	や	222	03	年には注意して意匠を支那の小説に採る	やう	にしました．こゝが他の作者より学問が有つた
	や	224	02	浄瑠璃を語つて俳優が人形の代りに働く	やう	になりました．後には浄瑠璃狂言，世話狂言と
	や	224	04	ては兎角，時の好みを追つて人気に遵ふ	やう	にと心がける所から狂言作者は学問はさておい
	や	224	05	学問はさておいて気転の方を専らとする	やう	になり，少し学問気の有る者の作つたのは却つ
	や	224	08	説と同じく士君子の見物するもので無い	やう	になりました．其れゆゑ維新以来は官からも不
	や	224	16	論が盛で有りますから共に体面を改める	やう	になりませうが，小説の方は，これまでと違つ
	や	229	06	つの区としてドコの郡にも属せぬと云ふ	やう	にして有ります．故にこの区と云ふのは大いな
	や	231	11	また警察官会議とか云ふものが有ります	やう	に．議政は総て二つ以上の頭を集めてやるので

代表形	判	ページ	行			
（やう）	や	231	14	長と云ふことは町村長と云ふ方が，よい	やう	に考へます）尤も行政上では施政者が議政の仲
	や	233	07	々盛んになつて先刻幹事さんのお話しの	やう	に生徒の数も多くなり，また卒業生も多くなり
	や	234	08	練り出して来て其れを講義として教ふる	やう	になるで有らう．其れで無ければ迚も日本語の
	や	234	12	学が出来るで無ければ国の本当に開ける	やう	にならぬのは当り前で有ります．尤も極の高尚
	や	234	17	の言葉で十分，学理を説くことが出来る	やう	になり，ギリシャローマの言葉は半分は飾りも
	や	235	02	も出来，また先生も十分に出来ると云ふ	やう	になつて来ることは望ましい．のみならず段々
	や	235	11	昔の人の難儀をしたことを十分に考へる	やう	にしたいと云ふことをお話ししたい．昔の西洋
	や	237	12	た西洋の学問をするのは人間の当り前の	やう	になつて西洋のことを学ばぬ人は世に歯せられ
	や	238	02	骨折り方もいゝ加減にしてしまふと云ふ	やう	になる．左様になつては小成に安んずる基にな
	や	238	07	書いて有ります．呉々も諸君，さう云ふ	やう	に力を尽されて勉強されたときには昔に百倍す
	や	238	09	有りますから，此の上にも御勉強なさる	やう	に致したいと思ひまして祝辞を述る序でに一言
	や	243	08	等の議会を設けて国民全体の望みに適ふ	やう	に事を議決せしめ，また一方に於ては政府即ち
	や	246	14	所行の悪かつたことを噛んで，くゝめる	やう	に説論して其の心を取り直させると云ふのが当
	や	246	16	ると，訳が分らなくつて，いぢめられる	やう	になつて其の心は益々ねぢくれるもので御坐い
	や	250	17	年でよからう或は十年でよからうと云ふ	やう	に，きめまするのは裁判官で御坐います．さう
	や	253	12	粟を攫むと云ふやうなことは考へませぬ	やう	になります．これ等が則ち農民の中には盗賊が
	や	254	05	等は再たび盗賊でも働かなければならぬ	やう	になります．また第二の資金なき者と云ふのは
	や	254	12	，五犯，六犯と云ふやうな者が随分ある	やう	にも聞きまする．前に申しました如き次第で有
	や	259	13	ること．これは濫りに誰でも来いと云ふ	やう	に救助しては惰民を製造する訳になりまして甚
	や	260	04	の財産を以て之を補ふとも引き足らない	やう	になりませう．第五，必需入額及び予備入額の
	や	261	01	にばかりしか銭を使ふと云ふことの無い	やう	になりませう．第七，被救助者の姓名は役員の
	や	266	07	為の悪かつたことを回想せしめ之を悔る	やう	に致させまして，大分に悔悟の徴をあらはした
	や	273	09	派なものと申す訳には参りますまいかの	やう	に思はれます．此の外，東京，兵庫，宮城，三
	や	275	01	ナカ費用がかゝるので右から左へと云ふ	やう	に総体を変へる訳には参りませぬ．また其の次
	や	053	17	ら上等科のことを学ばないで文通が出来	やう	．田舎の様子を見ますに漁村僻邑と言ふと漢語
	や	215	17	か私の眷族が多いか眷族の多少競べをし	やう	」と云ひました．ソレデ鰐が眷族を連れて来て
やおよろず	八	189	01	代のことは能く存じませぬが神代の頃に	八百万	の神が集まつて政を議したさうで御坐います
やか	焼	052	06	．今日其れをやられては困る．さて其の	焼か	れた翌日は新聞を読うと思つても新聞は無い，
やがて	や	130	10	ります．優勝劣敗の面白い法則により，	やがて	二千年ぢかく生存したる基督教は迚も近来不
	や	026	15	星で八月の頃，宵の中にチョイと出て，	やがて	ひつこむ星で有ります．これが一番近い星で
やかましい	や	157	01	さうすると西洋には羅馬法皇と言つて，	やかましい	人が教法を握つて居るんだが，日本では
	や	210	03	由で有ります．其れからモウ一つ世間に	やかましい	問題が有ります．其れは彗星が地球に突
やかましく	喧	047	14	師などは小さき事には善いとか悪いとか	喧しく	言ふくせに，さういふ大きなことになると少
	喧	183	10	が夫に対して貞操を守るべきことは随分	喧しく	説いてあるやうで御坐りますが夫が妻に対し
やから	輩	129	08	に全く滅びてしまふであらう．故にこの	輩	は学問をけしからぬ悪きものとして常に誹ります
やく	厄	237	16	分は無い．其れだから今日の学生は昔し	厄	を身に引き請けながら学問を勉強した人のことを
やく	役	006	07	守で字の講釈に止るのが有る．諸県へお	役	で出た人の話にも偏がドウだとか傍がドウだとか
	役	003	04	方便即ちテダテで其れを知つただけでは	役	に立たぬ．されば其の方便と真の智識との関係を
	役	039	09	ら殺さねばならぬ訳ぢゃ．又老人などが	役	に立たぬ様になると殺す社会が有ることぢゃが其
	役	039	11	其の為めに負ける恐れが有るゆゑ本当の	役	に立つ者だけで無ければ他の社会と戦争をしたと
	役	149	01	チスチック学ばかりのを調べて居つたら	役	に立ちますまい．規則を立るとか法律を立るとか
	役	184	08	娶ることが出来ては一夫一婦の教も何の	役	にも立ちません．自分の気に入らぬと云つては妻
	役	241	15	してカタッパシのことを聞かれても何も	役	に立ちますまい．例へば或る人の邸を見に行つて
やくいん	役	261	02	になりませう．第七，被救助者の姓名は	役員	の外，他人に知らしめざること．これは貧民救
やくし	約	117	01	ウか約束を破らぬやうにしたい．ドウゾ	約し	たことは人に対して欺かないやうにしたい．而
	約	117	10	人でするのとは違ひますから会を立てて	約し	たことが有ると自から奮発する心にもなるもの
やくし	訳	144	12	然るべき人たちがソロソロ西洋の小説を	訳し	たり又は著はしたりして参りましたがタカが少
	訳	107	12	ブル，ホミサイドと言ひますが，これは	訳し	て言ふと正当殺即ち正当に人を殺すこと或ひは
	訳	209	12	は先年フランスのＦａｙｅの彗星の説を	訳し	て東洋学芸雑誌に出して置きましたが，あの説
やくじ	訳	034	04	ませぬ．然るに今日，日本で「文明」と	訳字	を付けましたシビリザションといふものの意味
やくしょ	役	007	09	百姓町人までが馬鹿にする．其れだから	役所	から帰ると字を習ふ．習ふと益々上手になる．
	役	151	06	天皇陛下より内閣，諸省，府県庁，郡区	役所	，戸長役場など総て全国一般の利益に関するも
	役	239	11	，警察署，警察分署，裁判所，県庁，郡	役所	，戸長役場，等合せて百〇三箇所でありまして
やくせつ	約	276	16	する．以上に縷陳いたしましたることを	約説	しますると監獄の行政上の位置監獄の目的及び
やくそく	約	116	16	めて居るよりも余程よいといふは仲間で	約束	して虚言をつかないやうにといふことが一つ殖
	約	117	06	欲で有ります．此の会が有つてお互ひに	約束	した上に，この貴い欲が殖えて来てからは其れ
	約	116	15	ぬではなけれども併し此の会に加はつて	約束	をすれば自分一人で，きめて居るよりも余程よ
	約	116	16	が一つ殖えて来るからのことぢゃ．抑々	約束	を破らぬといふことはヤッパリ人類の高い欲だ
	約	116	17	とはヤッパリ人類の高い欲だからドウか	約束	を破らぬやうにしたい．ドウゾ約したことは人
	約	118	02	よい．一体，一人で孤立して守ると人と	約束	をするのとは約束をした方が固くなるわけゆゑ
	約	118	03	で孤立して守ると人と約束をするのとは	約束	をした方が固くなるわけゆゑ此の節酒会にても
	約	118	03	わけゆゑ此の節酒会にても成るたけ堅く	約束	を守る人の多く有るやうに致したいと思ひます
やくなん	厄	111	03	きを悪み我が同胞及び印度人の不幸なる	厄難	に際会したるを憫むのみであります．然れども

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
やくにん	役	133	14	されましたか」と問ひましたれば，かの	役人	が答へまするに「私は内に随分，奉公人を多勢
	役	255	02	して有りませぬ．今でも「あれは監獄の	役人	で有る故におれの娘は嫁にやれない」などと考
	役	007	03	今日盛になつて来るばかり．其れだから	役人	などが地方へ巡回に出ると直に毛氈と唐紙を持
	役	133	10	村に至りまして存外其の村の戸長の如き	役人	に深切に迎へられました．かの宣教師が「アヽ
	役	001	05	説をするに立ち至りたるは先日この会の	役人	の片山淳吉君がお出になつて仮名の会も大分盛
	役	133	10	へられました．かの宣教師が「アヽこの	役人	は既に基督教を聞いた者に相違は無い」と思つ
やくば	役	151	06	り内閣，諸省，府県庁，郡区役所，戸長	役場	など総て全国一般の利益に関するものは官と言
	役	151	07	ものは官と言ひ戸長も官吏であれば戸長	役場	の書記も官吏です．併しこれは文字の定義のお
	役	239	11	警察分署，裁判所，県庁，郡役所，戸長	役場	，等合せて百〇三箇所でありまして，其の外，
やくびょう	疫	211	08	がソコラにちらかるやうになつて地球に	疫病	でも流行るかも知れません．しかし尾の中に我
やくほう	役	278	11	とに御坐います．なほ，監獄の取締法，	役法	，囚徒取扱法，工銭，給与，衛生，構造，教誨
やさしい	ヤ	238	01	シを為すことが出来ませう．ただ今日の	ヤサシイ	ことを知つて昔の二大難事を知らぬと昔か
やさしく	や	017	06	にはいつて居ます．併し月の距離の様に	やさしく	は有りませぬが測量の出来ないことは有り
やしき	屋	120	09	ました．昔は私の居る近辺は大抵，旗下	屋敷	で有つて神保町辺から小川町辺は商家と云ふも
	屋	081	07	全して行くもので御坐ります．たとへば	屋敷	の立派なこと機械の盛大なこと新発明の賑かな
やしき	邸	241	16	い．例へば或る人の邸を見に行つて其の	邸	の全体を見ずに，ただ溝の端の竹が一本曲つて居
	邸	241	16	何も役に立ちますまい．例へば或る人の	邸	を見に行つて其の邸の全体を見ずに，ただ溝の端
やしなつ	養	217	03	が中から奇麗なムスメが出たから其れを	養つ	た所が段々と美人の聞えが高くなつて言ひ寄つ
やしなは	養	173	01	いふと我が国人は古より恩といふことで	養は	れて居り天恩，君恩，主恩，父母の恩，また長
	養	173	04	ります．我が国の人はこの恩といふ教に	養は	れ不潔を嫌ひ潔白を好み進むことを好んで退く
やしなひ	養	085	14	益になる原素，人を貴くするものを能く	養ひ	て盛んにすること．また一つは人が既に持つて
やしなふ	養	080	14	なる所人の品位を上げる所のものを能く	養ふ	て盛んにするの仕方．また一つには現に成り立
	養	060	10	とを厭ひ，余地があつても桑を植ゑ蚕を	養ふ	の利益をも考へず，たゞ権利とか自由とか聞き
	養	257	06	，癈疾，不具者は祖先父母等に於て之を	養ふ	もので有りますが其の性質は単に救助と云ふに
	養	274	05	ざるを得ませぬ．此の費用を以て兵卒を	養ふ	者と致しますると三万八千人を殖すことはイト
やじむま	ヤ	209	16	しく言ふときは天文学者でも無いものが	ヤジムマ	に彗星の説を述べるやうになりますから．
やすい	や	269	16	より十六歳までの間が一番，間違の出来	やすい	時で有るものと見えます，故に人の父母たる
やすい	易	274	05	しますると三万八千人を殖すことはイト	易い	でありませう．これにて欧米の監獄のことと，
	易	127	08	，なみの人の如くに色々の間違ひに陥り	易い	もので御坐ります．けれども卒業生が其の未熟
	易	127	11	にあらざれば西洋の専門家の論は非難し	易い	ものでは御坐りませぬ．故に私もこの若い勇者
	易	133	01	卒業生の行ひの証拠はたゞの議論に負け	易い	もので御坐りませぬ．この仕方のよいことは昔
	易	055	02	目録だけの書物を拵へるのは口で言へば	易い	様だが大困難の至りで御坐ります．何にもあれ
	易	208	07	，むつかしいが運動を調べるのはヨホド	易い	．大抵の人が時計を持つて汽車の出る時に時計
やすい	廉	004	03	拵へたり，こちらより上手に拵へたり．	廉い	物を拵へたりする者が多くあれば，こちらの物
やすき	安	204	13	門破滅の時節になると云ふ有様で「各々	安き	心なし」とでも云ふべき時で有りました．今日
やすく	や	102	15	斯くの如く一方に於ては日本人がうつり	やすく	真面目でないといふこと，また一方に於ては
やすく	易	179	14	何処に往ても曲りたるは直くし嶮しきは	易く	し圧制らるゝ者は之を放ち凡て世の不釣合不平
	易	179	09	の岡は夷げられ曲りたるは直く嶮しきは	易く	せられ人々みな神の救をみん」とあり，またキ
	易	236	07	．尤も其れより追々に開けて漸々と学び	易く	はなつたなれども，しかし御一新頃までは先生
	易	209	15	ります．なぜなれば説の間に誤りを生じ	易く	若し軽々しく言ふときは天文学者でも無いもの
やすくに	靖	147	02	チスチック社の定期講談会東京九段坂下	靖国	神社附属地内東京統計協会会堂に於て宇川盛三
	靖	165	02	チスチック社の第一総集会東京九段坂下	靖国	神社附属地内東京統計協会会堂に於て杉亨二君
	靖	188	02	チスチック社の定期講談会東京九段坂下	靖国	神社附属地内東京統計協会会堂に於て宇川盛三
	靖	226	02	チスチック社の定期講談会東京九段坂下	靖国	神社附属地内東京統計協会会堂に於て宇川盛三
やすみ	休	060	05	ムヤミに乗り散らし，日曜日と云つては	休み	，盆だと云つては休み，実にハヤ勝手至極な結
	休	060	06	日曜日と云つては休み，盆だと云つては	休み	，実にハヤ勝手至極な結構な世の中になりまし
やすむ	休	060	06	なりましたが併し私も絹衣を着し休日に	休む	といふことを強ち悪く言ふのではありませぬが
やすんじ	安	008	02	して居る人が多い．何が証拠かといふに	安んじ	て漢字を用ひて居る人が多い．一刻も早く無
やすんずる	安	235	07	べきことで有ります．しかし尚ほ小成に	安んずる	とイケヌから益々進歩を謀られむことを希
	安	238	02	云ふやうになる．左様になつては小成に	安んずる	基にならうと思はれます．諸君は何卒，昔
やそ	耶	041	05	通りて来たに違ひ無い．其の時，孔子や	耶蘇	が言ふ様なことをして居たならば其の社会は立
	耶	043	11	が附き添ふて居る．そこで十分開けた．	耶蘇	教では仮令敵でも愛せねばならぬ，向ふから打
	耶	044	05	ことぢゃが其れと同じことぢゃ．仏法も	耶蘇	教も矢張り已むことを得ぬことをしたのぢゃ．
	耶	153	06	定めるのです．また憲法では宗教自由（	耶蘇	教でもモルモン宗でも，また仏教でも勝手に信
	耶	047	13	とをして実に道徳にも何にも構はぬ．又	耶蘇	教師までも其れを何とも思ふて居ぬ様ぢゃ．耶
	耶	047	14	までも其れを何とも思ふて居ぬ様ぢゃ．	耶蘇	教師などは小さき事には善いとか悪いとか喧し
	耶	090	07	の如し」と云ふ明文が御坐ります．また	耶蘇	基督御自分に「我れは世の光りなり」と仰せら
	耶	090	11	！が必ず必要で御坐ります．併しながら	耶蘇	基督よりも立派な模範が御坐りませぬ．仏蘭西
	耶	090	12	ぬ．仏蘭西のレナンと云ふ不信者さへも	耶蘇	基督の性質と其の行状を頻りに称美いたします
	耶	090	13	します．また近来様々の不信者の中にも	耶蘇	基督を直接に誹る者が滅多に御坐りませぬ．人
	耶	090	14	せぬ．人を完全なる所へ進ませる模範は	耶蘇	基督より外に御坐りませぬ．この浮世の荒野の
	耶	091	12	の罪悪で御坐ります．万国万民の救ひ主	耶蘇	基督の御功績に由らざれば人が此の罪悪を免れ
	耶	091	13	進歩することが出来ませぬ．なぜなれば	耶蘇	基督は罪悪よりして人を救ひ出す為めに此の世

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（やそ）	耶	091	16	旅をして二回ばかり地球を周りましたが	耶蘇　基督に係はらず彼の恐ろしい罪悪を免れた人に
	耶	092	11	る諸君においてをや．若し諸君御銘々が	耶蘇　基督の高尚なる教を心に得て身に行ふに由つて
	耶	134	05	ひを見て神を崇めしめむ為めなり」また	耶蘇　基督御自分にも明かに申されましたことが御坐
	耶	135	07	教は則ち万国万民の為めで御坐ります．	耶蘇　基督が世を逝りませぬ前きに其の弟子たちに仰
	耶	172	04	国の民間の教育に尽力して，くれたこと	耶蘇　正教を我が民間に（大層な金を使つて）布いて
	耶	044	01	して勝を取りたからぢゃ．若し初めより	耶蘇　の教が行はれたらば文明は起らぬであらう．併
	耶	054	15	も矢張り経文は漢字であり，さうなると	耶蘇　を用ひなければならない．我が国は支那の本で
	耶	054	15	くなる．其の時，修身はといふと仏道と	耶蘇　，其の仏道を採用するとしても矢張り経文は漢
やたら	ヤ	061	06	同じことでチョット便利なものですから	ヤタラ　に乗る故に年々歳々増加して現今では津々浦
	ヤ	062	15	助でもオサンドンでもダルマでもムヤミ	ヤタラ　に乗りあるき，殊に甚だしき濫用と申すは例
やたら	矢	102	03	ッポも嫌はない．日本人は清潔を好んで	矢鱈　無性に威張りたがるが難子の様な勇もなければ
やちん	家	074	07	は家政の為めに田地を買ひ貸家を建つて	家賃　を取るなどと申すことなど，これ等は皆な金を
やつ	や	208	04	したが，また太陽から遠ざかつていつた	やつ　が有る．いよいよ彗星は地球のやうに堅くつて
	や	005	08	戦争に誰か少しばかり戦争らしいことを	やつ　たのはアメリカへ留学したものでトルピドへ破
	や	013	04	で直径を知つて居りますと幾何学を少し	やつ　た人は直に周囲を知ることが出来ませう．地球
	や	088	13	いたしましたことも御坐りまして器械を	やつ　たこと学校を建て教師を遣はしたことも御坐り
	や	251	13	別が有つた者と，また知らずにウッカリ	やつ　た者とは区別をしなければなりませぬ．ところ
	や	237	17	た人のことを考へて其の心持になつて，	やつ　たら大変な学者になり，また大いなるイサヲシ
	や	004	06	口が減らさるゝ間にも各国と共に競争を	やつ　て居なくてはならない．それに平気になつて多
	や	005	12	有様では西洋人と競争したければ漢字を	やつ　て居てはいけない．漢字をやつて居て競争が出
	や	005	13	ば漢字をやつて居てはいけない．漢字を	やつ　て居て競争が出来るなら．甲冑を着て鎗長刀を
	や	059	06	．若しウソと思ふなら試みに二三年間も	やつ　て御覧なされ必ず無くなること請け合ひます．
	や	146	08	出来やうと思ひますれば此のことは是非	やつ　て貰ひたいと思ひまして聊か諸君のお耳を煩は
	や	158	16	門と云つて大層な勢ひで，コンナ塩梅に	やつ　て居たが（このモノマネだけは今日のお負けだ
	や	250	13	訳には参りませぬから再たび之を学校へ	やつ　て其の心を改めさせたいが，学校では他の善い
	や	088	16	けませぬ．立派な家を建て家財を備へて	やつ　てもソコに住居いたしませぬ．山奥に逃げてし
やつ	ヤ	062	04	力にも乗らないで，あるいて居るケチな	ヤツ　だなどと評するもの往々あります．故にこれ等
やつ	奴	005	10	が破裂丸を善く投げたり電気を善く使ふ	奴　が多くなればクルベー如きが，いくらクルベーで
	奴	133	15	一人の鬼の如くにけしからぬイタヅラな	奴　が御坐りました．けれども去年かの者が基督教を
	奴	143	16	ませんが随分人の前で読むことの出来ぬ	奴　があります．併しこれ等は小説の末の余弊であり
	奴	157	10	回ります」と言つた．実に度胸の大きな	奴　さネ．これは学問をなすつた方は御存じのことだ
	奴	005	02	無い．ドシドシと土足で踏み込んで来る	奴　だからイクラすまして居ても支那人を相手にする
	奴	005	09	丸を投げつけたは誰なるぞ．字は書ける	奴　だか書けぬ奴だか知らぬが破裂丸を善く投げたり
	奴	005	09	たは誰なるぞ．字は書ける奴だか書けぬ	奴　だか知らぬが破裂丸を善く投げたり電気を善く使
	奴	157	06	子のガリレオをつかまへ「おのれは太い	奴　だ」と言つて，トウトウふんじばつて牢に入れま
やっかい	厄	200	16	つて考へて来なければいけません．随分	厄介　なもので有ります．さてHalleyの曰く「
	厄	035	06	連中があつて往来に酔ひ倒れて警察官の	厄介　になつて，あとでは更に知りませんだつたなど
やっこ	ヤ	214	11	きの外は必ず編笠を冠れ」の「アタマを	ヤッコ　にしてしまふ」などと云ふことで士は勿論，
やっつ	八	024	10	其の次ぎには土星これは余程贅沢な星で	八つ　ほど眷属を引きつれて居ります．次ぎに天王星
やっと	ヤ	019	15	が発見になりましたが其れの中に一つは	ヤット　肉眼で見えるといふまでで今一つは望遠鏡で
やっぱり	ヤ	167	13	の本を万巻読んで見ても分りますまい．	ヤッパリ　新しい問題は新しい学問の力によらなけれ
	ヤ	153	08	るといふことを憲法で，きめるけれども	ヤツパリ　従一位だとか正二位だとか，また侯爵だと
	ヤ	116	17	とぢゃ．抑々約束を破らぬといふことは	ヤッパリ　人類の高い欲だからドウか約束を破らぬや
	ヤ	115	05	類的の欲を重んじなければならないのに	ヤッパリ　動物的の欲の方が勝つて居て食ひ過ぎたり
やといにん	雇	267	10	方法を与へ又は出獄人を周旋して通常の	雇人　と致すことに尽力するので有りまする．此の部
	雇	254	10	を設けて或ひは仕事を教へ或ひは通常の	雇人　に世話をすると云ふやうなことを致さなければ
やとは	雇	074	15	務めて除かむことを欲しまするには人を	雇は　んければならぬ．而じて其の労力に向つて報酬
やとひ	雇	075	05	を耕すことが出来ぬといふなら土工家を	雇ひ　或ひは水口をつけて水を去るなどといふ様なこ
やどら	宿	180	03	が渇せし時，我に飲ませ旅せし時，我を	宿ら　せ裸なりし時，我に衣せ病みし時，我を見まひ
やね	家	025	10	して小さいので有るかドウか分らない．	家根　の上から下をあるく人を見れば小さい，山の上
やはり	ヤ	088	15	吉利の政府でも種々世話を致しましたが	ヤハリ　いけませぬ．立派な家を建て家財を備へてや
	ヤ	224	15	うなもので有りましたから此の後とても	ヤハリ　大いなる関係が有つて離れないことと思はれ
	ヤ	206	15	子はつれて居りません，よくよく見ると	ヤハリ　子も居るが大分，親とは離れて居つたので，
	ヤ	236	13	の大難事も追々に減つては来ましたが，	ヤハリ　御一新前までは鎖国攘夷の論が盛んだから世
やはり	矢	031	07	の様に見ゆるのも有ります．其れとても	矢張り　アマノガハみた様な星のかたまりで望遠鏡の
	矢	037	15	して出来て居る．Cellと云ふものは	矢張り　一個独立の活物で有ることぢゃが，そこで社
	矢	044	17	れども他を害してはならぬと云ふことも	矢張り　今の文明と云ふ欧羅巴でも実際に十分行はれ
	矢	028	17	有ります．三つ以上組み合つて居る星も	矢張り　同じ様な運動をして居ますのが有ります．し
	矢	077	05	詐偽取財だとかに由て其れを奪はれると	矢張り　己れの財産にはならない．そこで法律と経済
	矢	054	17	が修身は支那よりは日本がよい．其れ故	矢張り　仮名で書いた修身の本を願ひたいと思ひます
	矢	101	06	国情が外国に通じないのである．これが	矢張り　彼等より軽侮軽蔑を受くる原因でありませう
	矢	054	15	道と耶蘇，其の仏道を採用するとしても	矢張り　経文は漢字であり，さうなると耶蘇を用ひな
	矢	184	14	るのも今日の一大急務で之を改むるには	矢張　キリスト教の力に依らなければなりません．曾

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（やはり）	矢	185	14	角に，これより此の悪習を洗滌するには	矢張　キリスト教の力を借りなければ，なりません．
	矢	025	02	比べると夥しい大きいもので有りますが	矢張り　近所に同士が有るであらうか，まるで世界の
	矢	031	07	今日世の中にある極上の望遠鏡で見ても	矢張り　雲の様に見ゆるのも有ります．其れとても矢
	矢	031	14	にも大分瓦斯体であつて望遠鏡で見ても	矢張り　雲の様に見える部分も有ります．こゝに至つ
	矢	186	06	女が神の前に於て罪人であるならば男も	矢張　罪人であるし，若し男が神の恩恵を蒙るべきも
	矢	119	09	分お骨折を願ひたい．其れは外では無い	矢張り　酒の事で今も三島先生のお話しの有つた通り
	矢	037	14	云ふことが分りた．動植物の生理心理は	矢張り　社会の生理心理にもあてはまることぢゃ．有
	矢	044	15	ので無い．其れのみならず法律の主義も	矢張り　主義通りには行はれぬことぢゃ．即ち己を利
	矢	140	03	スレリーなども長技は何で有ると言へば	矢張り　小説で御坐ります．斯様に西洋ではゐらい人
	矢	103	07	ある．清正が非常の武勇を現はしたのは	矢張り　信仰心の然らしめたのである．即ち弁慶が天
	矢	165	06	べませぬ．私が今日述べやうと思ふのは	矢張り　スタチスチックに関係した重大なことで此の
	矢	044	10	ことは出来ぬことぢゃ．併し道徳と雖も	矢張り　其の説く所の真の主義通りには参らぬものぢ
	矢	020	02	ます星は火星即ち螢＊惑星で有ります．	矢張り　太陽のグルリを回つて居る星で地球と同様に
	矢	186	03	我が国には其れ程のことはありませんが	矢張　男尊女卑の風は免れません．而して此の不釣合
	矢	043	05	全く昔の主義ぢゃ．其れ故政府の上でも	矢張り　道徳のことが，おもになりて居る様ぢゃ．其
	矢	031	03	．其れからして又其れと類似したもので	矢張り　肉眼で見ては見えず望遠鏡で見ると云つても
	矢	182	14	何で御坐りませうか．上等にも中等にも	矢張　万人に一人の割合だといふことが出来ませうか
	矢	044	05	が其れと同じことぢゃ．仏法も耶蘇教も	矢張り　已むことを得ぬことをしたのぢゃ．併し極め
やばん	野	246	07	する．因つて刑を適用すると云ふことは	野蛮　時代はイザ知らず，今日では所行を罰すると云
	野	062	08	生上に必要なものと云ふことを知らざる	野蛮　人の多きと我が邦人民の身体の価直の廉なると
	野	022	01	．併し事によつたら火星の住民はズット	野蛮　で有るかも知れませぬが，さうしたら金星か其
	野	038	13	むの術ぢゃと云ふことで野蛮の社会では	野蛮　に相応した術を用ひて其の社会を維持し進歩を
	野	038	12	る様になると云ふなれども近頃の説では	野蛮　の国と文明の国とは善悪も邪正も顛倒して道徳
	野	038	13	持し且進歩を営むの術ぢゃと云ふことで	野蛮　の社会では野蛮に相応した術を用ひて其の社会
	野	038	15	会を維持し進歩を謀らねばならぬ．故に	野蛮　の社会などで誰も斯く為さむと思ふたのでは無
	野	039	02	出来ぬ社会は亡びたであらう．今申した	野蛮　の有様に付て一例を挙れば盗賊を働いたり強盗
	野	040	09	ことになりて居る．箇様なることが総て	野蛮　の国と開けた国と全く違ふて居る．善と悪とが
	野	041	03	ると「天然に定まりた道徳と云ふものを	野蛮　の人は知らぬが開けて来ると漸々に其れを知る
	野	041	14	は大いに誤りた説で道徳は右申した如く	野蛮　の時に在りては今日の道徳と全く違ふて居るし
	野	043	07	層骨を折りて開いた．教法と云ふものも	野蛮　の教法と開けた教法とは大いに違ふ．野蛮の教
	野	043	08	蛮の教法と開けた教法とは大いに違ふ．	野蛮　の教法は道徳の意味は無くたゞ力の大いなるも
	野	102	09	ることなきものがイクラもある．日本は	野蛮　の国では無い．二千年来特別の開化をして居る
	野	275	07	を致しまするので，今から考へまするとの	野蛮　の方法であつたには相違ありませぬ．然るに維
	野	043	14	の開けた道理とは違ふて居ることぢゃ．	野蛮　未開の時には禽獣などが蔓延し人間の力は無か
やぶつ	破	117	05	会にはいつて居て申し訳が無い．信用を	破つ　ては済まないといふのが人類的の貴い欲で有り
やぶら	破	116	17	殖えて来るからのことぢゃ．抑々約束を	破ら　ぬといふことはヤッパリ人類の高い欲だからド
	破	116	17	ッパリ人類の高い欲だからドウか約束を	破ら　ぬやうにしたい．ドウゾ約したことは人に対し
	破	126	02	来の学術と云ふ貴い名によつて基督教を	破ら　むとする者の中には一向学術を知らず，また基
やぶり	や	001	01	漢字	やぶり　明治十七年十一月四日仮名の会員の臨時懇親
やぶる	や	007	17	争が出来ないといふ訳ならば唐紙などは	やぶる　がよい．墨を付けてよごしたものは，なほや
	や	007	17	よい．墨を付けてよごしたものは，なほ	やぶる　がよい．さればどうも今日の有様を感心して
やぶる	破	132	13	まふもので有ります．滅ぼすこと，また	破る　ことと駁つことは露西亜の虚無党の仕方で有り
	破	115	14	の為めに品行を破る．酒の為めに品行を	破る　やうでは人類といふものの甲斐はあるまい．さ
	破	115	14	飲むと，やゝもすれば酒の為めに品行を	破る　．酒の為めに品行を破るやうでは人類といふも
やぶれ	破	183	15	夫は必ずしも守るに及ばず，妻が貞操を	破れ　ば忽ち離別されるけれども夫が放蕩をしたり或
やぶん	夜	262	15	囚徒と同一の場所にて役業に就かしめ，	夜分　は一房に一囚づゝ置きまする方法で有ります．
やま	や	045	15	こととは申されぬぢゃ．又いつまでも，	やま　ぬであらうと云ふことは政府が刑罰の権をもち
やま	山	020	09	は火星で有ります．さて火星の表面にも	山　が有り谷が有るかと云ふに月の様に精密には知れ
	山	014	08	て全く高い山や深い谷などで有ります．	山　だの川だの谷だの岡だのは地理書に有ることで地
	山	014	10	球の学問だと思つて居たに月の表面にも	山　だの谷だのが有るからは月が地球と似たものでは
	山	014	11	第一番に地球の様に円い，其れに谷だの	山　だのが有る処がよく似て居る，其れでは大きさは
	山	193	03	が事を行ふ者が多いと船頭が多くて船が	山　に上り，ツマリ小田原になるといふことです．其
	山	025	11	の上から下をあるく人を見れば小さい，	山　の上から人のあるくのを見れば，まるで蟻のはふ
	山	016	11	地球の家来に違ひ無いです．月の上には	山　も有り谷も有りますから水も有り空気も有り海も
	山	014	08	す処が余程はつきり見えまして全く高い	山　や深い谷などで有ります．山だの川だの谷だの岡
	山	103	11	に於て「かゝる深山に分け入りて，この	山　を開きしは，さぞ困難なことなりしならむ」と弘
やま	止	065	13	古語に曰く「木静ならむと欲して風未だ	止ま　ず」とやら改良の必要蓋し今日に在ることであ
やまあらし	ヤ	102	01	とは怒るが長く耐へられない．日本人は	ヤマアラシ　であるから支那人の豚にも劣ることがあ
	ヤ	101	16	様です．今之を獣に例ふれば日本人民は	ヤマアラシ　の様である，英吉利人は獅子の様な勇が
	ヤ	101	17	魯西亜人は虎の様な威があるが日本人は	ヤマアラシ　の勇気も無い．即ちチョイとツッツクと
やまい	病	004	05	の競争は一日一刻も止む時の無きもので	病　の為めに人口が減らさるゝ間にも各国と共に競争
	病	058	16	学大学校で先生方が書生にチフスと云ふ	病　はかういふものだと云ふことを実地に就て説明す
	病	064	02	し心臓病を起し肺病に罹り其の他種々の	病　を発してワカジニするもの頗る多くありますが曾

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（やまい）	病	122	10	外御承知の通り卒中だの中風だのと云ふ	病	を起したり発狂したり夫婦の間に不和を生じたり
やまおく	山	088	16	へてやつてもソコに住居いたしませぬ.	山奥	に逃げてしまひ鹿や猪の様なもので御坐ります
	山	060	01	. 御覧なされ今如何様な田舎に行つても	山奥	を尋ねても熊の居らないではないザンギリアタ
やまがた	山	239	04	県，宮城県，岩手県，青森県，秋田県，	山形	県，新潟県の七県の監獄巡閲の命を受けまして
	山	239	06	，青森に道を取り，其れより秋田を経て	山形	に参り，山形より酒田に出で，酒田より蒸汽船
	山	239	06	取り，其れより秋田を経て山形に参り，	山形	より酒田に出で，酒田より蒸汽船にて新潟へ参
やまし	山	210	09	者も有りました. 少したつと今度はまた	山師	が「ベルリンのプロフェッソルの誰がいよいよ
やましろ	山	216	16	し性質が違ふことと思ひます. 其れから	山城	に都を遷されてから仮名文章と云ふものが起り
やまとまい	倭	222	13	はつたのは衰へまして今は僅かに東舞と	倭舞	の類を存し，また神楽，催馬楽に古風を伝へて
やまひ	病	213	07	の方で古い事を穿鑿するのが持ち前イヤ	病ひ	で御坐いますから，たゞ小説なり演劇なりに付
やみ	ヤ	168	01	此の文字を取られて御覧なさい，日本は	ヤミ	になりませう. 其の外，色々ありませうが先づ
	ヤ	165	10	法」といふことであります. 一寸さきは	ヤミ	の世といふのに将来を前知するといふのは，む
やみ	止	224	10	したが，まだ兎角，強盗や情死の仕組は	止み	ませぬ. これ等は風俗にも関係することで有り
やみ	病	180	03	し時，我を宿らせ裸なりし時，我に衣せ	病み	し時，我を見まひ獄にありし時，我に来ればな
やみくも	ヤ	055	01	の本を願ひたいと思ひます. さて書物は	ヤミクモ	に作るさへ骨が折れるもので御坐ります.
やむ	止	004	05	に衰微する. 交易上の競争は一日一刻も	止む	時の無きもので病の為めに人口が減らさるゝ間
	止	182	16	が真理だから守るといふ訳ではなく実は	止む	を得ざるに出でたことと申さなければなりませ
やむ	已	044	05	と同じことぢゃ. 仏法も耶蘇教も矢張り	已む	ことを得ぬことをしたのぢゃ. 併し極めて必要
	已	046	03	ておく訳にゆかぬから悪い事をせぬ人が	已む	ことを得ず立てた法ぢゃ. 当然と云ふ訳では無
	已	052	15	とになりましたが漢文はむつかしいから	已む	ことを得ず漢文に似たものを書く様になり庭訓
	已	055	07	字を読ませるのは惜い月日だと思つても	已む	ことを得ず教へます. 其れはナゼだと申せば漢
	已	047	15	ぬことぢゃが其れが自然今日にありては	已む	を得ぬ当然の処置であるからであらうと思はれ
	已	093	13	ふことを研究したものを見ませぬ. 故に	已む	を得ず私が一言，諸君に陳べむと欲することに
	已	095	12	か. 証拠が無ければ輿論は何と言つても	已む	を得ず無罪にせぬければなりますまい. 而して
	已	162	16	いふことがあるから其の当時に在つては	已む	を得ないものと見える. 今申した酒誥の原文は
	已	245	08	て，これ等のことをもやられる訳で万，	已む	を得ざるときは秩序安寧だけを重もにしなけれ
	已	249	01	ると証拠の湮滅するおそれが有る為めに	已む	を得ず未決監と申すところに留め置くので有り
	已	251	06	らうと云ふやうな悪事を為しました者は	已む	を得ず終身の刑に処しまするけれども監獄に於
	已	251	16	. また弁別心が有つて悪事を働いた者は	已む	を得ず之を罰します. 此の者を幼年囚と申しま
	已	257	08	で有ります. これ等は親族なきに於ては	已む	を得ず公けの救助と私の救助とを以て救助をし
やめ	や	055	08	ます. 其れはナゼだと申せば漢字の本を	やめ	て仮名の本を読ませたくも本が無いから涙を流
	や	154	05	ては色々の奇談もありますが其れは先づ	やめ	ませう. 学問と宗教との極点を論ず明治十八年
やめ	止	276	12	剝ぐことが今，一層長くなるだけの罰に	止め	て然るべきことと考へまする. 其の他，何事に
	止	208	16	いと云ひますが，知れて居りますだけに	止め	ますと，先づこの彗星の頭は軽いもので有る，
	止	097	10	されむことを願ひます. 私の演説は此に	止め	ませう. 尚ほ委しきことは大谷木君が英国の法
	止	065	05	ことは容易でありませぬから大概にして	止め	やうと思ひますがツマリ我が邦今日の有様は未
やめる	止	173	15	ものがあるとによつて其れならといつて	止める	ことが出来ませぬ. （動かない人民は弱くな
	止	134	13	世の中に於て善の勢ひを以て総ての悪を	止める	為めに世に起された宗教で御坐ります. 故に
やや	や	220	10	ふ人が多い. さて足利の時代には物語が	やゝ	廃れて草紙の世となり画巻物が流行つて女子供
	や	115	13	行をよくしたいと思つても酒を飲むと，	やゝ	もすれば酒の為めに品行を破る. 酒の為めに品
やや	稍	233	11	さず成りたけムツカシイ所へは行かずに	稍々	程度を下くして日本語を以て教ふると云ふのが
ややこ	ヤ	223	05	ふことを始めました. これは念仏踊だの	ヤゝ子	踊だのと云ふ踊の間に，お国は男の姿に出た
やら	や	237	11	した. 先生もあり，本もあり，西洋語で	やら	うと，日本語でやらうと何でも勝手に出来る.
	や	237	11	本もあり，西洋語でやらうと，日本語で	やら	うと何でも勝手に出来る. また西洋の学問をす
	や	065	13	「木静ならむと欲して風未だ止まず」と	やら	改良の必要蓋し今日に在ることでありませう.
	や	102	12	日本はドウいふ国やら日本は支那の属国	やら	更に分らぬさうであります. 国の実況が分らず
	や	204	06	れて，色々くだらないことをするやら何	やら	して其の疲れかしてトウトウ三年の後に死なれ
	や	008	16	しづゝ時をかくれば覚えられる. 漢字も	やら	せるがよいが，むづかしい漢字はよして貰ひた
	や	190	08	及ばぬといふよりして裁判所に委託して	やら	せるといふのが一般の有様であります. 今日の
	や	142	04	こしらへたる上に仕上げまでをも立派に	やら	なければならぬから凡才では中々いけません.
	や	169	05	り我が短を補はなければならない何でも	やら	なければならないと云ふことが起つた. 其れか
	や	230	15	人ですから議政，施政，行政裁判を各々	やら	なければならないものです. 右は行政区画のお
	や	204	06	配をされて，色々くだらないことをする	やら	何やらして其の疲れかしてトウトウ三年の後に
	や	102	12	に一人も無いは勿論，日本はドウいふ国	やら	日本は支那の属国やら更に分らぬさうでありま
	や	004	08	何にもならない，其れこそアカンベーと	やら	れてしまふ. フランスはまだイクサを始めたと
	や	005	04	を相手にするといふ様なら支那の通りに	やら	れてしまはなければならない. 其れだから支那
	や	052	06	決断をいたすと思ひなさい. 今日其れを	やら	れては困る. さて其の焼かれた翌日は新聞を読
	や	053	07	いふ所からして，いろいろ今秦の始皇に	やら	れては不都合が有ると思はれます. 私は漸進家
	や	219	14	うで有つたから，まして下等の風は思ひ	やら	れます. しかし箇様な風俗は当時，漢文で書い
	や	245	08	ら幸に之を利用して，これ等のことをも	やら	れる訳で万，已むを得ざるときは秩序安寧だけ
やら	遣	183	01	ウで御坐りませう. 其の結果は実に思ひ	遣ら	れます. また我々の最も不思議に思ふのは世間
やらし	や	055	08	せたくも本が無いから涙を流して漢字を	やらし	て居ります. ドウゾ皆様のお骨折りを以て全
やり	や	219	04	みそめると先づ便りを求めて公然と文を	やり	其の返書の体や歌のヨシアシなどを考へて気に

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（やり）	や	276	04	せたい，之を直して善良なる人民にして	やり	たいと云ふので暫くの間，其の自由を剝ぐと云
	や	276	07	何卒して不良なる心を改めて良民にして	やり	たいと云ふ原則でありまする．これ則ち文明国
	や	048	04	有るなれど己の利これ見ると云ふ有様で	やり	て居る．併し国と国との間にありても近来は交
	や	231	03	ます．施政はツマリ天皇陛下御一人でお	やり	なされば宜いのですが，さうは御手が届かない
	や	155	06	請け合ひ申したことだから，やることは	やり	ますが演題がチト大きすぎますナ．学問と宗教
やり	鎗	005	13	って居て競争が出来るなら．甲冑を着て	鎗	長刀を持つて西洋人とイクサをするがよからう．
	鎗	005	14	う．漢字と西洋字と競争が出来る訳なら	鎗	や具足にしておくがよい．かたつぽうが替ればか
やりとげ	や	175	07	そお互に勉強して，むづかしいことも，	やりとげ	やうと，いふので額に汗を流して骨も折る
	や	236	12	堅く立てて人に嫌はれても忌まれても，	やり遂げ	やうと云ふので其の大難事も追々に減つて
やる	や	007	16	いことと思ふなら参議から人力車夫まで	やる	がよい．若し茶道や名筆では外国と競争が出来
	や	048	01	国と国との間には道徳に合はないことを	やる	が一己人同士ぢゃとて他国の人でも国内の人と
	や	155	06	の間からお請け合ひ申したことだから，	やる	ことはやりますが演題がチト大きすぎますナ．
	や	193	05	より成り立つて居る．政府の名義を以て	やる	ことは天皇陛下のなされることである．其れか
	や	231	15	政上では施政者が議政の仲間入りをして	やる	ことが有ります．町村会で戸長が議長になつて
	や	052	12	くにも甚だ困る．其の外一旦に大決断を	やる	のは宜い様で御坐りますが，いろいろまた困難
	や	158	03	は政治学，万物の理を知るのが物理学で	やる	のだからドウしても動きません．其れが学問の
	や	194	01	かいふのは其の時々の経験に本づいて，	やる	のですから御趣意は一向変つて居らない．斯の
	や	231	06	から，また施政は，一人，議政は数人で	やる	のです．之を四段に分けまして上から言ひます
	や	231	11	うに．議政は総て二つ以上の頭を集めて	やる	のです．各省の大臣は施政者で有るから一人で
	や	006	10	漢学先生に講釈をして貰ふと本について	やる	ので本につかないでは出来ない．孟子の主義は
	や	258	17	会社でも出来たときには，そこで救つて	やる	べきもので有りまする．斯くの如く貧民の救助
	や	259	04	は府県，町村より補助するの仕方を以て	やる	べきもので有りまする．斯くの如く貧民の救助
	や	052	11	ないから兎角「いつぴつけいじやう」と	やる	様になり手紙を書くにも甚だ困る．其の外一旦
やれ	や	255	03	は監獄の役人で有る故におれの娘は嫁に	やれ	ない」などと考ふる者もあるさうですが，これ
やろう	野	158	13	いが其の雷先生が今日では電信局の使ひ	野郎	になつて銘々どもが「京都へ電信をお頼み申し
ゆい	往	046	16	西洋人が亜米利加や澳地利や印度などに	往い	て残忍のことをしたり又亜細亜各国に対して勝
ゆう	勇	101	16	ラシの様である，英吉利人は獅子の様な	勇	がある，魯西亜人は虎の様な威があるが日本人は
	勇	102	04	で矢鱈無性に威張りたがるが獅子の様な	勇	もなければ虎の様な威もないと考へる．これが即
ゆうあい	友	098	14	然のことであります．全体我が日本人は	友愛	のこゝろに富むで居りまするから此の度の事件
ゆうえき	有	082	04	坐ります．これ等皆な至極善きもの至極	有益	なるもので御坐りますけれども進歩の様々の種
	有	085	01	強する人には至つて面白いことで，また	有益	なることで御坐ります．先づ人間の進歩の有様
	有	260	07	なるもので有りまするから，これは他の	有益	なる方に分配すべきもので有ります．故に相当
	有	257	09	た並みの少年を養育するのは将来に善良	有益	の人民を造るもので有りまするから其の費用は
	有	127	05	かたい論にして中に面白いことも，また	有益	有用なることも多う御坐ります．故に若い卒業
ゆうがい	有	063	13	ば人力車濫用の弊たるや国民衛生上頗る	有害	なることで又人力車夫自身の健康上に至つては
	有	064	11	憫然の至りでありませう．併し斯の如く	有害	なるにも拘はらず日に月に多きを加ふるに至り
ゆうがく	遊	107	03	記憶せらるゝであらう．即ち暫く東京に	遊学	して居つて今度久しぶりに故郷の両親に会はう
ゆうき	勇	099	15	責任のあるものにして平常はこの義侠の	勇気	に富み殊に危難の場合に臨み義侠心の発達する
	勇	126	16	ようと思ふので御坐ります．箇様な者の	勇気	は感心なものだかも知れぬけれども其の用ふる
	勇	163	17	国を亡ぼした．福島正則などといふ人は	勇気	はすさまじいものだが酒を嗜んで昼夜酣飲して
	勇	101	17	の様な威があるが日本人はヤマアラシの	勇気	も無い．即ちチョイとツッツクとプーと怒る．
	勇	091	04	く書いてある所の彼のパウロと云ふ人の	勇気	を御覧なされ，この人は怠ることも無く臆する
ゆうき	有	011	14	」「含水炭素は何の中か」と言つたら「	有機	物」「有機物は何の中か」と言つたら「化合物
	有	011	14	素は何の中か」と言つたら「有機物」「	有機	物は何の中か」と言つたら「化合物」「化合物
	有	037	08	此のネーション即ち社会を動植物の如き	有機	物に比したことは昔より有りたことなれども昔
	有	037	09	とは昔より有りたことなれども昔の説は	有機	物に似て居ると云ふ様なことで有りたが近頃に
	有	037	10	りて社会は動植物と同し様に全く真実の	有機	物ぢゃと云ふことになりた．私の知りて居る所
	有	037	13	とも消長することも盛衰することも総て	有機	物の規則に随ふものぢゃと云ふことが分りた．
	有	037	15	会の生理心理にもあてはまることぢゃ．	有機	物は総てＣｅｌｌ（即ち細胞）と云ふものが集
	有	038	02	様にＣｅｌｌより集合したる所の一個の	有機	物ぢゃと云ふことを知るべきことぢゃ．そこで
	有	038	03	そこで日本国民は日本国民と云ふ一つの	有機	物，英国国民は英国国民と云ふ一つの有機物で
	有	038	03	機物，英国国民は英国国民と云ふ一つの	有機	物で有ることぢゃ．次に「社会外に道徳なし」
	有	048	12	あらう．さうすれば世界が大きな一個の	有機	物になる．其の時に至りたら一つの国は有機物
	有	048	12	物になる．其の時に至りたら一つの国は	有機	物の一部分ぢゃから無理なことをしても国威を
ゆうけい	有	143	04	其の他種々の流派も有れど，これは皆な	有形	上のことで人の思想即ち無形の人情を写すは筆
ゆうざい	有	094	16	憤怒の感情よりして証拠も無い者を以て	有罪	であるといふのは法理の許さない所で御坐りま
	有	106	10	は此の条例に基いて為したるもので其の	有罪	なるや無罪なるやを判決するに非ずして免状を
ゆうし	有	256	08	すものは一私人，又は数私人，若しくは	有志	者，特志者から救助することで有ります．今，
	有	275	14	に出願懲治者の教育保護の事業を世間の	有志	者，有力者に於て非常に尽力せられまするの時
	有	178	05	の方法あらば何の仔細もなきことなれば	有志	の学者は講究あらんことを切望に堪へず．基督
	有	224	11	ますが此の頃，貴顕の方々を始めとして	有志	の人々が演劇改良会と云ふものを起されました
ゆうしゃ	勇	126	11	う．第一．年若き卒業生の中に珍らしい	勇者	が御坐ります．この者は一向疑ひを起さず恐れ
	勇	127	11	のでは御坐りませぬ．故に私もこの若い	勇者	の仕方をよしとすることは出来ませぬ．第二．

代表形	判	ページ	行		出現文脈
ゆうじょ	宥	107	14	ブル，ホミサイドと言ひますが，これは	宥恕 殺といつて罪ではあるが罰しないもので例へば
ゆうしょう	優	130	10	互に符合すべき筈のもので御坐ります．	優勝 劣敗の面白い法則により，やがて二千年ぢかく
ゆうじん	友	239	15	員，明治法律学校校員生徒，其の他の諸	友人 知人等が屢々私の茅屋をお尋ね下されて，私が
	友	240	08	人に言ふことは出来ませぬ．例へば私の	友人 に○○と云ふ人が有りまして，此の人は未だ配
ゆうする	有	068	04	せうが孛漏生国では裁判官たるの能力を	有する には二回の試験を要しまして第一回の試験は
	有	074	16	れを供給してもらふ人の為めには価値を	有する ので其の価値はＮｅｇａｔｉｖｅＶａｌｕｅ
	有	257	13	資本前貸しと犯罪人の予防との両性質を	有する ものでありまする．斯くの如く貧民救助の中
	有	257	15	り，又は救助と犯罪人予防との両性質を	有する ものも有りまする．よつて貧民救助の目的は
	有	180	15	めにはキリスト教は之に如何なる関係を	有する 者であるかと尋ぬるは最も肝要な問題で御座
	有	253	17	三つ有りまする．其の第一は資金を多少	有する 者，第二は資金のなき者，第三は仕事を知ら
	有	254	02	ざる者．其れで，この第一の資金を多少	有する 者は長い間，監獄に居りまして窮屈な目を致
	有	068	02	は如何なる順序によつて如何なる資格を	有する や又其の員数は如何，又其の需要と供給の比
ゆうせんくつ	遊	217	08	すれば当時，流行の仏説により且は既に	遊仙窟 などと云ふ支那の小説文も舶来して人々の翫
ゆうちゅうかん	ユ	004	17	切り坊主で，つゝつぽ袖を着てなかなか	ユウチュウカン と長い毛の筆で偏冠りを正し二時間
ゆうび	優	019	11	．これは運動が随分のろい，支那は物の	優美 を貴む国で有りますから大層此の星を珍重しま
ゆうびん	郵	048	05	利害を感ずることが多い．故に電信だの	郵便 だの互に条約が有り又今日の官報に出て居た様
ゆうめい	有	127	02	分ケンノンな仕方で御坐ります．西洋の	有名 な専門家が其の専門とする所の区域に限つて天
	有	139	15	す．フランスのビクトルヒューゴなども	有名 な人ですが其の最も長じたる所は小説で御坐り
	有	126	15	ｗｉｎ氏Ｓｐｅｎｃｅｒ氏などの西洋の	有名 なる学者に勝つことが出来ようと思ふので御坐
	有	130	13	ませぬ．先づ安心なされませ．独逸国の	有名 なる哲学者Ｋａｎｔといふお人が申されました
	有	131	17	却つて大いに其の益になります．古今に	有名 なる説教師は大概皆な此の仕方を用ふるもので
	有	239	08	道を取り，其れから信州上田追分等より	有名 なる碓氷峠を下りて横川に出で，其れより汽車
	有	267	15	に申した方法は二百年以来エウロッパの	有名 なる学者たちの考へましたものを其の極宜しい
	有	214	04	めの中は和漢の故事が入り用の時は当時	有名 の雑学者の喜多静廬や村田了阿などの所へ買ひ
ゆうよ	有	100	09	無からうと思はれます．畢竟するに二十	有余 名の同胞は羅馬人の如く尊敬されざるは勿論，
ゆうよう	有	127	05	い論にして中に面白いことも，また有益	有用 なることも多う御坐ります．故に若い卒業生が
ゆうり	遊	221	05	ますます俗耳を喜ばせるを手柄とし専ら	遊里 の事態などを書いた八文字屋本と云ふものが流
ゆうりょく	有	275	14	治者の教育保護の事業を世間の有志者，	有力 者に於て非常に尽力せられまするの時機にまで
ゆうれつ	優	073	11	会上に必要なる点に至りましては固より	優劣 も無く同一のもので御坐んす．而して其の必要
ゆえ	故	068	17	ませぬ．其れはＡｓｓｅｓｓｏｒが多い	故 裁判官となるには三箇年を待たねばならぬ訳で有
	故	067	12	られたる諸君の身辺に充満して居ること	故 更に私が諸君に向つて言ふことは御坐いませぬ．
	故	047	04	せねばならぬ．其れは黄金世界にならぬ	故 ぢゃとて歎く人も有るが成るほど一応は尤もで，
	故	102	07	なもののこれは即ち日本人を警戒するが	故 であつて拠ろのない話し．日本だからと申しても
	故	103	09	るのでありませう．皆な宗教信仰の深き	故 であります．また弘法大師の如き日蓮上人の如き
	故	131	03	ることの無い御心に本づいたものなるが	故 で御坐ります．これまで説きました所の三つの仕
	故	140	15	文明国と違ひ文学がサホド進んで居らぬ	故 でも有りませうが多くは作者自ら為したことと思
	故	140	17	などと世間で卑しめられて居たから此の	故 で有つたでせう．馬琴尚ほ且然り況や其の流派を
	故	185	01	たものを人が離すべき筈はない．姦淫の	故 でなくして妻を出して他の女を娶る者は姦淫を行
	故	162	11	承けて以て天倫の楽みを全くすべし若し	故 なく群を成し相聚り酒を飲む者あれば其れを縦す
	故	187	04	ぶ是れ其の使女の卑賤をも眷顧たまふが	故 なり今より後，万世まで人々我を福なるものと称
	故	038	15	の社会を維持し進歩を謀らねばならぬ．	故 に野蛮の社会などで誰も斯く為さむと思ふたので
	故	048	05	りて来たから利害を感ずることが多い．	故 に電信だの郵便だの互に条約が有り又今日の官報
	故	061	03	化人の用ゆるものたるを知られませう．	故 に概して言ふときは半開化人の好むものは恰も三
	故	061	06	ョット便利なものですからヤタラに乗る	故 に年々歳々増加して現今では津々浦々実に米の飯
	故	062	04	ヤツだなどと評するもの往々あります．	故 にこれ等の人はイヤでもオーでも門外に出るには
	故	064	01	ますまい．さて営業既に斯の如くなるが	故 に胃病を起し心臓病を起し肺病に罹り其の他種々
	故	065	02	を営むものは自から減少して来ませう．	故 に私は人力車や丸髷島田の増減は日本男女の文明
	故	067	05	いました．其の後はコチラに居りませぬ	故 に其の後の卒業式のことは存じませぬが今日は幸
	故	069	12	と云ふ非常なる数に増加して居ります．	故 にベルリンの或る新聞記者は「世の父兄子弟たる
	故	075	10	が出来ない．病気は健康体を失つて居る	故 に医者に頼んで全くモトの身体にするのである．
	故	075	11	体にするのである．権利を失はむとする	故 に法律家に頼んで権利を伸張するのはたゝモトの
	故	077	07	ものだとまで申しても宜しう御坐んす．	故 に我輩が諸君に望みまする所は法律と経済との学
	故	080	06	は一個人から成り立つもので御坐ります	故 に人間社会の中に含まれたる一個人たるものが皆
	故	083	04	あつたが道徳の進歩がサツパリ無かつた	故 に遂にまた衰へました．今日欧羅巴各国の中で至
	故	087	02	中に設けられたもので御坐ります．この	故 に聖書と云ふものを己れの信仰と品行とのノリと
	故	087	14	かな返答が出来るので御坐ります．この	故 に既に申し上げた通りこの聖書を専らに己の信仰
	故	088	05	も亦基督教の緊要なることを能く顕はす	故 に其の中の重もなる所を申しませう．第一．先づ
	故	088	17	しまひ鹿や猪の様なもので御坐ります．	故 に人は進歩しやうとするならば己れの不足な所を
	故	092	13	い好結果は必ず現はれませうと存じます	故 にこの大日本帝国に対して諸君御銘々の義務は明
	故	093	13	といふことを研究したものを見ませぬ．	故 に已むを得ず私が一言，諸君に陳べむと欲するこ
	故	095	06	法律上では責罰せぬことが御坐ります．	故 に道徳上に於て罪すべき人であつても法律上で罪
	故	096	16	罪と決するなら充分駁撃するが宜しい．	故 に全国の人民は証拠を集め材料を確かめなければ
	故	103	14	．斯くの如く昔時の人は宗教を信ずるが	故 に気力あり今時の人は之を信ぜざるが故に気力な

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ゆえ）	故	103	15	故に気力あり今時の人は之を信ぜざるが	故	に気力なし．さすれば日本人を真面目ならしむる
	故	106	11	り上ぐべきや否やを調べる為めである．	故	に刑事上の裁判に非ずして寧ろ行政上の処分のも
	故	110	16	判を為さざるかの疑ひ無きを得ませぬ．	故	に寧ろ其の管轄を横浜に移し以て世人の嫌疑を避
	故	111	07	々様々なる一部分であらうと思はれる．	故	に我々は此の事に付て輿論を以て充分彼等の所業
	故	117	12	は酒の分量といふものは人によつて違ふ	故	に節酒と言つても其の程が分らないからイツソの
	故	124	05	皆多年勉強して終に卒業する積りである	故	に，これ等の為めにも全く無益で有るまいと希望
	故	125	04	部分けして委さに説くことが出来ませぬ	故	に其の種々の物の中からたゞ一つの著るしいもの
	故	125	14	ｐｅｎｃｅｒ氏が何々と仰せられました	故	に学術と基督教は決して相符合するに非ず．また
	故	125	15	はＨｕｘｌｅｙ氏が何々と申されました	故	に基督教は素より全く間違つたもので御坐る．ま
	故	125	16	一人はＴｙｎｄａｌｌ氏が何々と示した	故	に私とても基督教を承諾することが出来ぬと．こ
	故	127	05	た有益有用なることも多う御坐ります．	故	に若い卒業生が迚も，たやすく之に勝つことは出
	故	127	09	ことは迚も出来ぬことで御坐りませう．	故	に先づ用心する方が宜しう御坐ります．よく熟し
	故	127	11	論は非難し易いものでは御坐りませぬ．	故	に私もこの若い勇者の仕方をよしとすることは出
	故	128	07	しまつた所の論は随分多う御坐ります．	故	に先づ暫時の間，待つ方が宜しう御坐りませう．
	故	128	14	てしまふ気遣ひは決して御坐りませぬ．	故	に此の第二の仕方も亦よい仕方で御坐りませぬと
	故	129	08	督教が遂に全く滅びてしまふであらう．	故	にこの輩は学問をけしからぬ悪きものとして常に
	故	129	13	１氏の議論が新聞紙に出版になりました	故	にかの旧約書は遂にドウなりませうか，斯の如き
	故	130	04	の天然の性質に基いたもので有ります．	故	に実に固うして変ることの無いもので有ります．
	故	130	09	学術と宗教との出所は一つのもので有る	故	に必ずドコまでも互に符合すべき筈のもので御坐
	故	133	06	ことは歴史に明かに記して御坐ります．	故	に昔より，かういふ格言が御坐りました．「基督
	故	134	13	為めに世に起された宗教で御坐ります．	故	に神学卒業生は常に基督教の善を顕はして而して
	故	149	09	本でいふマツリゴトは行政のことです．	故	にスタチスチック家は行政法を知つて居らなけれ
	故	151	01	に関係の法律規則を言ふのであります．	故	に行政法の原則は憲法の中にあるのです．併し斯
	故	151	17	行政法は憲法と密接して居るものです．	故	に行政法の原則を調べるには第一には憲法との関
	故	152	09	付て規則といふものを，こしらへます．	故	に憲法と行政法とを例へて見ると憲法はアタマで
	故	153	15	り塩梅で色々に，きまる点もあります．	故	に憲法は行政法に大いなる勢力を及ぼすものであ
	故	153	16	大いなる勢力を及ぼすものであります．	故	に憲法を知ることが必要でありますが其れは憲法
	故	179	13	自由の友で無理圧制の敵で御坐ります．	故	にキリスト教は何処に往ても曲りたるは直くし嶮
	故	184	15	或る人がキリストの許へ来て「人は何の	故	に係らず妻を出しても支障御坐りませんか」と問
	故	184	16	「元始に神は人を男女に御造りなされた	故	に人が夫婦になれば最早二つでは無く一体である
	故	186	08	に神の恩恵を蒙るべきものと致します．	故	に新約書にもキリストを信ずる者の中に在つては
	故	191	10	は相合して執行権力になるものである．	故	に立法権力と執行権力より外に権力が無いといふ
	故	196	16	の出るのが朝なので有りますけれど）．	故	に彗星はドンナ所から出てドンナ所へひつこむと
	故	208	12	た彗星は惑星と違つてボーットしたもの	故	に一部分一部分に研究をしなければいけません．
	故	215	12	論，支那の小説とても深くは読みませぬ	故	にたゞ持ち前の我が国のことばかりに付て申しま
	故	229	07	にも属せぬと云ふやうにして有ります．	故	にこの区と云ふのは大いなる市街と云ふ意味で，
	故	240	12	る訳にして私が知るのでは有りませぬ．	故	に〇〇君の許可なくしては他人に向ひ其の性質の
	故	241	10	るに於て利益あるものと存ぜられます．	故	に実際に至りまするとコレコレは述べてもよい，
	故	242	13	行するの学問と云ふことで有りまする．	故	に監獄のことはナカナカ軽々しきものでは有りま
	故	243	13	ることは行政権に於て執行いたします．	故	に政府は政治の方針を定むるだけにして，其の実
	故	244	17	ひ，また監獄を用ふることになります．	故	に秩序安寧の中，内乱，外乱に関することは陸海
	故	246	09	の改良を図ると云ふもので有りまする．	故	に刑と云ふ字は人心を改良すると云ふ意味で御坐
	故	252	08	懲治しなければならぬもので有ります．	故	に不論罪懲治者にあれ，出願懲治者にあれ，脅迫
	故	255	02	せぬ．今でも「あれは監獄の役人で有る	故	におれの娘は嫁にやれない」などと考ふる者もあ
	故	260	08	益なる方に分配すべきもので有ります．	故	に相当の資本が備はりたる上は最早，濫りに寄附
	故	262	06	を改良すると云ふことに定まりました．	故	に今日の監獄は決して復讐の道具などと云ふもの
	故	267	02	趣意は未決者はまだ罪人では有りませぬ	故	に監獄に入れて置きまする目的は逃走の虞れが有
	故	267	03	虞れがあるので起るもので有りまする．	故	に分房法に致しませぬと，他の未決者から証拠を
	故	267	07	を学ぶといふやうなことになりまする．	故	に此の部の事業は必ず分房法を用ひなければなり
	故	269	16	の出来やすい時で有るものと見えます，	故	に人の父母たる者は専ら十二歳より十八歳位まで
	故	271	16	は未決者を拘禁して置く所であります．	故	に之を未決監とも申しまする．第三，懲治場．こ
	故	276	05	ぐと云ふことにきめたので有りまする．	故	に維新前は棒罰と云ふ主義であり，維新後は自由
	故	253	10	のが宜しいと云ふ実験が有ります．其の	故	は種子を蒔いて之を世話をして其の実を収むると
	故	009	06	は知れど社会には随分ムダのことも有る	故	ムダのことを一言演るまでで有りまする．地球の
	故	054	17	だが修身は支那よりは日本がよい．其れ	故	矢張り仮名で書いた修身の本を願ひたいと思ひま
	故	205	08	はキット有りませう．丁度同じ位なもの	故	，イツもイツも彗星の出る度ごとに災が有ると云
ゆえん	所	102	05	ける一つの原因である，賤しみを受くる	所以	でありまする．日本の国情が西洋に知れて居な
	所	140	14	なクラシを致して居たと申すは如何なる	所以	で有つたかと申すに一つは文明国と違ひ文学が
	所	182	09	所の一で，また社会を改良する勢力ある	所以	で御坐ります．然し左様申せば「一夫一婦の教
	所	064	11	拘はらず日に月に多きを加ふるに至りし	所以	のものは必竟前に申した通り人力車濫用の弊を
	所	076	01	等が則ち必要の点は同一にして必要なる	所以	の点に至つては同一で無いといふもので御坐ん
	所	073	12	必要の度は同一では御坐んすが必要なる	所以	は如何と言ふに至つては必ずしも同一とは言は
	所	196	10	いて有ります．其の様にこはがりました	所以	は畢竟，品物の性質が知れないからで有つて，

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ゆえん）	所	061	17	す．所で斯く人力車濫用の弊を生じたる	所以	を考るに其の原因となるべきもの種々あります
ゆか	い	003	07	．其の八時間を百般のことに使ふ訳には	いか	ない．されば此の八時間の使ひ様で此の国の進
	い	005	03	るとは違ふ．支那人を相手にする気では	いか	ない，西洋人を相手にする気で無ければならな
	い	052	11	当分は手紙を「一筆啓上」と書く様には	いか	ないで仮名の運用に順序が付かないから兎角「
	い	122	15	相談致したい．勿論かういふことは急に	いか	ないものだが医者に懇意の人なら酒の上からド
ゆか	ゆ	046	03	とか．これは社会の為めにすておく訳に	ゆか	ぬから悪い事をせぬ人が已むことを得ず立てた
ゆか	往	164	10	て曰く君今航海して此に至る果して何に	往	んと欲するかと．時に客，已に酔郷に入り遂に実
ゆか	行	170	15	はれます．其れならばオースタラリヤに	行か	うか，どんな所かよく分りませぬ．一人や二人
	行	212	07	．観測をしたくも十分に観測が出来ず，	行か	うと云つても行くことの出来ないで，これまで
	行	233	11	左様に致さず成りたけムツカシイ所へは	行か	ずに稍々程度を下くして日本語を以て教ふると
	行	142	09	云ふ訳にも参らず，これは徐々と計つて	行か	なければなりません．これに付て，モ一つ小説
	行	141	11	するには小説家の資格からして改良して	行か	ねばならぬ．小説家の資格は只今述べたる三箇
	行	210	16	突き当れば我々はズット寒い所に持つて	行か	れて寒える」と言ふ人も有りました．ゆでられ
ゆかい	愉	033	17	も，いつ何会が盛会であつたとか大変な	愉快	であつたとか，いふことが見えて居ります．ま
	愉	067	13	せぬ．たゞ「御目出たう御坐います，御	愉快	で御坐いませう」と申すより外は御坐いませぬ
ゆかしく	ゆ	219	05	女の方でも男の文の体や風聞によつて，	ゆかしく	も，きらはしくも思ひ，また其の親も其の
ゆき	い	012	04	今日の学問の有様では分らない所までは	いき	たいものです．このことについて私が知つて居
	い	206	02	tやDamoiseauのほどには十分	いき	ます．）其の彗星のあるいて居ります道を勘定
	い	206	01	（これは前のClairantほどには	いき	ませんがPontecoulantやDamo
ゆき	ゆ	170	06	者の方は金も千両なら千両揃へて持つて	ゆき	ませうが亜米利加へ行く者の方はさうでありま
	ゆ	202	07	勘定をしました．其れも充分の計算には	ゆき	ませんが多分千七百五十九年の四月のナカバに
	ゆ	043	12	来れば黙りて打たせておけと云ふ所まで	ゆき	，又仏教では人間のみならず禽獣にまで慈悲を
ゆき	往	162	09	其の父兄に事へ商賈は車牛を牽て遠きに	往き	其の所得を用ひて其の父母を孝養し其の父母喜
ゆき	行	170	07	まい．欧羅巴へ行く者の方は富貴の財で	行き	亜米利加へ行く者の方は人に頼つたので無く全
	行	164	08	之を主どるなしを経略せんと欲す．一日	行	て亜丁に抵る英将の邀飲を被り以て地主の情を修
	行	160	01	ダは土になるか灰になる外はなく余所へ	行き	天へ上りはしない．するとタマシヒのことで，
	行	273	16	す．これは監獄にて放免になりましても	行き	どころが無いとか，又は帰郷旅費が無いとか足
	行	214	05	多静廬や村田了阿などの所へ買ひ出しに	行き	ました．さう云ふ訳で有るから上等の学者の目
	行	216	03	ました」と云つて怒つて兎の皮を剝いで	行き	ました．所へ大己貴の神が通りかゝつてかわい
	行	027	08	をする程の時間はかゝりませぬ．月まで	行き	ますにも二セコンドはかゝりませぬ．其れがα
	行	122	08	を飲み孫が亦酒を飲むと云ふ様になつて	行き	ます．また独逸でコレラ病に罹る者を調べたの
	行	170	11	動を始めるやうになつたらドコを好んで	行き	ませうか．朝鮮か満州か又は支那を好んで行き
	行	170	12	せうか．朝鮮か満州か又は支那を好んで	行き	ませうか．さうでありますまい．朝鮮や満州や
ゆき	雪	002	08	訳でも無い．たゞ月の部は人数が多い，	雪	の部や花の部は人数が少ない，そこで月の部には
ゆきとどか	行	252	03	き子供があるのは則ち両親の家庭教育が	行き届か	ないからで有りまするから斯くの如き両親
ゆきとどき	行	267	11	ることで有りまして若し此の部の仕事が	行き届き	ませぬと常に何千何万と云ふ将来の犯罪人
ゆきわたつ	行	079	10	歩すると云ふことは実にひろく世の中に	行き渡つ	たもので，たゞ一個人にも御坐りまするし
ゆく	い	199	08	礼ながら予備門から，はいつて大学まで	いく	には及びません．さて彗星の毎日の観測を以て
	い	156	08	い．地が円いのだから地の方で回つて，	いく	のださうでござす．其れが今では小学校のコレン
	い	015	01	しをあてたり間縄を打つたりする訳には	いく	まいが」と疑ふ人が有ります．併し測量術を少
	い	123	09	申したことを諸君がお調べ下さる訳には	いく	まいかと云ふ御相談を致すので有ります．然る
ゆく	ゆ	089	13	は人の目の前にある貴い目的，高尚なる	ゆく	アテのあるのは大切で御坐ります．人はメアテ
	ゆ	165	14	る社会といふものは，どの位まで開けて	ゆく	か其の事を書いたものも無いから誰にも分りま
	ゆ	203	06	ませんが計算の結果は，どの位，精密に	ゆく	かと云つて待つて居りました所が今度は十三日
	ゆ	039	12	社会と戦争をしたときに其の社会を保ち	ゆく	ことが出来ぬ．其れぢゃから働かぬ者を生かし
	ゆ	090	02	く心得たる人には目的が無く己れの貴い	ゆく	さきを知らずと云ふことが御坐りませぬ．知ら
	ゆ	040	05	や猫が居るのと同し様に）男女同居して	ゆく	だけで有りたが少し開けて夫婦の配偶が出来る
	ゆ	201	15	になつて威張ります，ソコデ其のソバに	ゆく	と暫くはお辞儀をしてヒマがとれます．しかし
	ゆ	027	07	のかたつ方の端から，かたつ方の端まで	ゆく	に瞬きをする程の時間はかゝりませぬ．月まで
	ゆ	040	14	に余儀ないことで維持と進歩とを謀りて	ゆく	には必要ぢゃ．其れゆゑ今申した様に今日から
	ゆ	167	03	は事実と道理とピッタリ合ふやうにして	ゆく	のだから事実を求めることが，むづかしくなり
	ゆ	080	07	らば其の全体の社会が必ず善く進歩して	ゆく	筈で御坐ります．一個人たるものが皆んな油断
	ゆ	128	17	に今，不意に吹き出した所の風に従つて	ゆく	ものは決して基督教の教師の仲間に限つたもの
	ゆ	042	15	めて分れて来た．政治上のことは法律で	ゆく	様になりた．それから後，欧羅巴では政治上の
ゆく	ユ	079	14	漢字の和訓でも分りませう．即ちスヽミ	ユク	と云ふことで御坐ります．けれども社会の進歩
ゆく	行	171	13	また我が国の人民は北亜米利加に向つて	行く	因縁があります．其れはナゼかといふことを申
	行	170	14	とを好みますからアンナいやらしい国に	行く	気はありますまい．支那や朝鮮はたゞ商売の地
	行	027	02	は何で有るかと云ふと明りの一秒時間に	行く	距離です，明りの行くのはいくらか時を費しま
	行	079	15	れども社会の進歩と云ふものはたゞ進み	行く	ことばかりで御坐りませぬ．劣りたる所より優
	行	080	01	所へ不完全なる所より完全なる所へ進み	行く	ことでツマリ文明開化の方へ段々と進んで行く
	行	080	01	とでツマリ文明開化の方へ段々と進んで	行く	ことを申します．抑も昔よりこのかた人間社会
	行	083	17	会の進歩と云ふものは常に一様に進んで	行く	ことでは御坐りませぬ．きまつた速力で行くも
	行	085	10	全なる所へ進み畢竟文明開化の所へ進み	行く	ことで御坐ります．それから続いて改良と進歩

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ゆく）	行	166	10	の学科の助けによつて世の中も益々開け	行く	こととなつて人間世界を調子よく今日まで開い
	行	171	09	な便利がありませう．また十日平均位に	行く	ことも出来ませう．一昨日，亜米利加に行つて
	行	212	07	十分に観測が出来ず，行かうと云つても	行く	ことの出来ないで，これまで知れなかつたもの
	行	176	12	生国，職業，年齢などを記し，また其の	行く	先きの地名を記し，其れが一時の出稼ぎである
	行	176	13	あるか永住であるかといふことを記し，	行く	先きの地で人が生れゝば記し死ねば除き，また
	行	171	06	からうと存じます．其れならドコの国に	行く	だらうか．学術を研究したり移住を為したりす
	行	159	17	よ，また極楽があるにもせよ，カラダが	行く	ではあるまい．カラダは土になるか灰になる外
	行	215	01	に見物に行くのにも礼服を着けて見物に	行く	と云ふことで殊に近日西洋学者は競つて西洋の
	行	063	01	に達し得べきに左なくしてナニ人力にて	行く	ときは三十分にて行けると云ひながら安閑とし
	行	216	02	に兎が乗つて一つ二つと勘定をしながら	行く	中に海を渡つてしまつた．さて因幡の地へ上つ
	行	084	05	歩の種々の種類が皆な一所に並んで進み	行く	ならば全国民の総体の進歩も亦川が流れる如く
	行	029	08	のは天の中に沢山あります．段々先きへ	行く	に従つてチットづゝ分りかねて参ります．併し
	行	027	03	明りの一秒時間に行く距離です，明りの	行く	のはいくらか時を費します，若し時間を費さな
	行	169	14	違ひありますまい．我が国人の欧羅巴に	行く	のと亜米利加に行くのとは其の目的が違つて居
	行	169	14	我が国人の欧羅巴に行くのと亜米利加に	行く	のとは其の目的が違つて居るやうに見えます．
	行	170	07	の方は人に頼つたので無く全く自発して	行く	のでありませう，富貴の働きの方には限りがあ
	行	215	01	者は非常に尊まれ其れから劇場に見物に	行く	のにも礼服を着けて見物に行くと云ふことで殊
	行	084	05	の総体の進歩も亦川が流れる如くに進み	行く	筈で御坐りませう．たとへば横浜から亜米利加
	行	062	16	人あり今日の午后六時に番町より神田に	行く	べき用事あるに当つて午后四時頃より家を出る
	行	030	04	でもないが小さな星がアマノガハの方に	行く	程多いです．其れからして此のアマノガハと云
	行	081	07	ならば外部の有様は自らにして完全して	行く	もので御坐ります．たとへば屋敷の立派なこと
	行	084	01	ことでは御坐りませぬ．きまつた速力で	行く	もので御坐りませぬ．或る時は進歩の盛んな時
	行	170	16	せぬ．一人や二人が知つたからといつて	行く	ものではありませぬ．其れでは欧羅巴はドウだ
	行	169	11	ルシがあるやうで，其の訳は亜米利加へ	行く	者が年々に多くなるやうに見えます．亜米利加
	行	169	11	に多くなるやうに見えます．亜米利加に	行く	者と欧羅巴に行く者との人数，年齢，職業など
	行	169	11	見えます．亜米利加に行く者と欧羅巴に	行く	者との人数，年齢，職業などを書いたものを見
	行	169	13	しいことは知りませぬが先づ亜米利加に	行く	者の方が欧羅巴に行く者よりは多いに違ひあり
	行	169	13	が先づ亜米利加に行く者の方が欧羅巴に	行く	者よりは多いに違ひありますまい．我が国人の
	行	169	15	が違つて居るやうに見えます．欧羅巴に	行く	者の方は学術研究の為めで官費を仰ぐ者か，ま
	行	169	16	とか云ふやうな金持ちたちで亜米利加に	行く	者の方は大抵貧乏書生やハタラキテの類で自ら
	行	170	01	の者のやうに見えます．其の亜米利加に	行く	者の中には随分下等の人物もありませうが云は
	行	170	05	．これに就いて考へると官費で欧羅巴へ	行く	者の方は金も千両なら千両揃へて持つてゆきま
	行	170	06	両揃へて持つてゆきませうが亜米利加へ	行く	者の方はさうでありますまい．欧羅巴へ行く者
	行	170	06	者の方はさうでありますまい．欧羅巴へ	行く	者の方は富貴の財で行き亜米利加へ行く者の方
	行	170	07	行く者の方は富貴の財で行き亜米利加へ	行く	者の方は人に頼つたので無く全く自発して行く
	行	005	07	那から留学生の一万人も二万人も西洋へ	行く	様にしたい．この間の戦争に誰か少しばかり戦
	行	054	02	下り而して舟を漕ぎ，畑へ弁当を持つて	行く	様になる．其れを用の弁ずるまで学ばさうとす
ゆけ	ゆ	040	11	社会は立たぬことぢゃ．若し其のウラに	ゆけ	ば其の社会は必ず亡びるに違ひ無い．今の開け
	ゆ	200	17	．さてHalleyの曰く「前々の順で	ゆけ	ば，今から七十何年後には同じのが出て来るに
ゆける	行	063	01	してナニ人力にて行くときは三十分にて	行ける	と云ひながら安閑として囲碁や将棋を弄び何
ゆだや	ュ	180	07	すか．イエス，キリストに在ては「或は	ユダヤ	人或は異邦人或は自主なる者或は奴隷なる者
ゆだん	油	053	10	．また，せいてもいけませぬ．と言つて	油断	してはすみませぬ．私の工夫は小学校の初等科
	油	074	13	坐んして身体には疾病が有るとか或ひは	油断	をして居ると人に金を取らるゝとかいふことが
	油	080	08	で御坐ります．一個人たるものが皆んな	油断	をして滞るならば即ち箇様な人間を含む所の社
ゆで	ゆ	210	17	かれて寒える」と言ふ人も有りました．	ゆで	られるのも寒えさせられるのもドツチも有り難
ゆにてー	ュ	228	08	ふやうな有様で有りましたから一定即ち	ユニテー	と云ふことは有りませんでした．漸く明治
ゆにゅう	輸	059	13	の悪病より煙草，酒其の他の贅沢品も亦	輸入	いたしたでありませう．所で人間の性と云ふも
	輸	059	15	無くては大変だ）今欧米より種々の物の	輸入	するけれども其の中で最も多く人の好くものは
	輸	059	12	と云ふに文武工商農等の必要なる学芸の	輸入	せしは勿論なれども之と共にコレラ痘瘡等の悪
	輸	172	02	むことになつて居ませう）外国の酒類の	輸入	を予防せしめたこと我が国の民間の教育に尽力
ゆひ	結	137	06	の他家屋の改良，衣服の改良，女の髪の	結ひ	様の改良，また自由党などに言はせたなら政治
ゆび	指	017	12	たのが太陽になります．一寸の玉は手の	指	ででもまはりますが一丈一尺の玉は両手でも抱き
	指	123	04	女の子でも生れると其れから先き母親が	指	の先きに酒を附けて始終其の子供に嘗めさせると
ゆみ	弓	088	11	分の不完全なることを知らで森林の中で	弓	を射て世渡りをして家を立ることを知らねども其
ゆめ	夢	061	05	きものを悦ぶのみで衛生上のことなどは	夢	にも考へませぬ．我が邦に行はるゝ人力車の如き
	夢	218	17	小説のやうに斬つたりはつたりのことは	夢	にも無い．しかし能く味つて見ると，云ふに云は
	夢	046	07	とか言ふ者も有るが其の様なことは実に	夢	の様な話しで国が有れば刑罰が有る訳で刑罰の有
	夢	048	14	ることとなるであらう．尤も其れは実に	夢	の様な話しなれども間違ひ無いことと思はれる．
	夢	019	03	とき此の母が長庚星が懐に這入ると云ふ	夢	を見たので生れた子の名を白とつけ字は太白と言
	夢	216	08	した所が牡鹿が牝鹿に云ふには「昨夜，	夢	を見たが霜が多く降つて私のカラダを覆つたが何
ゆめみ	夢	220	03	桜井のことだの或ひは後醍醐帝の笠置の	夢見	のことなどは作り物語だと云はれましたが如何
ゆもと	湯	123	08	とがありませう．節酒と云ふことは先刻	湯本	さんの演説にも言はれた通り教育上にも余程な
ゆるさ	許	181	08	人の夫にして一人以上の妻を有つことを	許さ	ず妾を蓄るごときことは決して許さぬことで御

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（ゆるさ）	許	094	17	い者を以て有罪であるといふのは法理の	許さ	ない所で御坐ります．今道徳上の原理より言ひ
	許	181	09	とを許さず妾を蓄るごときことは決して	許さ	ぬことで御坐ります．今日我が邦の社会に於て
	許	110	08	千弗の保釈金を出し其の外の者も保釈を	許さ	れたといふからには現に大金を持つて居る人も
ゆるし	許	042	01	なりて居るが西洋では大いに人民の権を	許し	てある．又支那では父子の間で子が親に対して
	許	263	09	の情状をあらはすに随つて段々に雑居を	許し	て果して其の心を改良したるや否やを試みるも
	許	251	08	悔悟遷善の徴をあらはした者は仮出獄を	許し	まして，たゞ警察上よりイクラかの監視を受く
	許	185	04	ことが出来しても決して離別することを	許し	ません．尤もキリスト信徒は其の代りに妻を選
ゆるす	許	042	17	い．たゞ自分の利益を謀ることは固より	許す	が其れが為めに人の害をしてはならぬと云ふば
	許	266	16	改悛したるに相違ないときには仮出獄を	許す	ことで有ります．第三の未決者監禁部の事業は
	許	044	16	はれぬことぢゃ．即ち己を利することを	許す	なれども他を害してはならぬと云ふことも矢張
	許	044	08	なるもので唯人を害しさへせねば其れで	許す	のぢゃ．且法は政府が権をもちて居るから背け
	許	042	11	と，又法と云ふものは己を利することを	許す	は固よりなれども唯其の為めに他を害するの事
ゆるす	縦	162	11	群を成し相聚り酒を飲む者あれば其れを	縦す	ことなく尽く執へて以て宗周に送るべし我この
ゆゑ	ゆ	236	08	生も十分には無く本も十分には無いこと	ゆゑ	如何ほど志が厚くつても思ふ半分も出来なかつ
	ゆ	261	06	慈恵と監獄とは皆な相共に連絡しまする	ゆゑ	各々其の釣合を宜しくし其の範囲をきめなけれ
	ゆ	033	07	亨二にも是非演説をしてくれとのお頼み	ゆゑ	亨二は亨二だけの賛成いたした趣意を申し上げ
	ゆ	001	12	く天子様にまでも申し上げたい位のこと	ゆゑ	此の機会失ふべからずと考へまして，つまらな
	ゆ	118	03	するのとは約束をした方が固くなるわけ	ゆゑ	此の節酒会にても成るたけ堅く約束を守る人の
	ゆ	186	10	も男と女は天然，其の性を異にするもの	ゆゑ	随つて其の事業も責任も違ふことは教へますが
	ゆ	038	01	llと全く同じことぢゃ．其の様なる訳	ゆゑ	社会は全く動植物同様にCellより集合した
	ゆ	094	08	併し私は英吉利法は職違ひで御坐ります	ゆゑ	知りませぬが英吉利法のことは大谷木君が後程
	ゆ	076	12	の道を得て積極的の結果を得て参ります	ゆゑ	其の違ひの有るといふことはたゞ二個の学科の
	ゆ	109	09	暗礁に乗りかけることが有るかも知れぬ	ゆゑ	其の時の為めに備へるものなることは誰れも想
	ゆ	082	13	で御坐りましたが道徳の進歩が無かった	ゆゑ	遂に亡びてしまひました．今日世界において賤
	ゆ	038	10	支那流で言ふと開けぬ者は智慧が有らぬ	ゆゑ	天然に定まりた道徳と云ふものも善悪邪正も知
	ゆ	073	07	とを教師諸君より依託を受けて居ります	ゆゑ	何か新奇なことを陳述いたしたう御坐んすが格
	ゆ	085	04	めに必要なり」と云ふことで御坐ります	ゆゑ	に，これから段々之を弁じませう．併しながら
	ゆ	141	13	．元来，小説には仕組と言ふものが大切	ゆゑ	非常の智能力が入りまする．たとへば経書を読
	ゆ	174	14	のと存じます．さて今，申したやうな訳	ゆゑ	百年の後に其の衣食の費用は二倍して二十二億
	ゆ	214	16	つてはナホサラ真の理をして見せるもの	ゆゑ	文筆の業では及ばない所の人情の極意を写し出
	ゆ	039	11	ひが有ると其の為めに負ける恐れが有る	ゆゑ	本当の役に立つ者だけで無ければ他の社会と戦
	ゆ	037	04	甚だ分りにくき題なるべしと考ふること	ゆゑ	先づ初めに社会と云ふことから講釈をしませう
	ゆ	080	03	肝要な道理が含まつて居ると存じまする	ゆゑ	先づ其の重もなるものを述べ而して後に本論に
	ゆ	236	02	で有ります．其の様の次第で有つたこと	ゆゑ	，蘭語の稽古も実にむつかしいことで一つの言
	ゆ	240	06	臣の目の中に這入つたもので有りまする	ゆゑ	，該景況は私の所有権で無くして内務大臣の所
	ゆ	252	17	へ教誨を施し，これにても不充分なるが	ゆゑ	，また懲戒を与へると云ふ此の三つの方法を要
よ	よ	057	05	郡川越町喜多院に於て渡辺鼎君演説諸君	よ	．私は今日此の大日本私立衛生会埼玉支会の第三
	よ	100	07	人がノルマントン号の乗客なりしと考へ	よ	．若し羅馬人にして彼のノルマントン号の乗客で
	よ	135	09	「万国を周りて万民に此の教をのべ伝へ	よ	」といふことで御坐ります．また若し人間の色々
よ	四	023	08	の雛形一尺一寸ばかりの玉より三丁と十	四	間ほど離すと見れば海王星は本郷よりも王子より
	四	062	17	り神田に行くべき用事あるに当つて午后	四	時頃より家を出るときは充分先方に達し得べきに
	四	003	05	体，人には時の際限が有つて一日に二十	四	時間あるが，まるきり二十四時間働らけるもので
	四	003	05	一日に二十四時間あるが，まるきり二十	四	時間働らけるものでは無い．寝る時間も有り遊ぶ
	四	203	13	りませんやうに，なりました．丁度二十	四	時間，過ぎると同じ太陽が同じ所に戻つて来るの
	四	271	01	する．斯くの如く人員の少ないのは二十	四	時間を出でざる中に監獄に送つてしまひまするか
	四	218	14	も交ぜて有りますが源氏物語などは五十	四	帖もある大部の物だが大かたは源氏の君や其の他
	四	231	06	，一人，議政は数人でやるのです．之を	四	段に分けまして上から言ひますと，天皇陛下が内
	四	070	04	事と唱へる奏任以上の者は僅に三百六十	四	人で御坐いまして其の中に法学士の称を持つて居
	四	070	09	本の人口は三千七百四十五万千七百六十	四	人で御坐います．この統計により日本では千万人
	四	070	12	から失敬では御坐いますが今日僅に二十	四	人の卒業生では，まだまだ遺憾と思ひます．この
	四	269	08	ありまして，其の生徒の数が八千四百十	四	人となりまする．さて，只今申した八千四百十四
	四	269	09	りまする．さて，只今申した八千四百十	四	人の幼年者の罪質を区別して見ますると謀殺，故
	四	269	11	き者は窃盗，強盗で其の数五千三百七十	四	人，即ち六割四分で有りまする．また年令を以て
	四	269	15	上丁年即ち二十一歳までの者は千〇三十	四	人，即ち一割一分八厘で有りまする．して見ます
	四	270	04	のと見えまして，前に申した八千四百十	四	人の者の教育の度合ひを其の入院の時に調べまし
	四	270	10	る．また小学の教育を受けたる者が三十	四	人ありまして丁度たゞの四厘に当りまする．また
	四	068	08	eferendarと申します）これを	四	年いたしまして裁判官代言人検察官に就て実地研
	四	068	13	一回の試験を受けて見習生となり少くも	四	年間実務の練習を致します．其れより第二回の高
	四	069	04	法官吏に任用せらるゝまでは前三年，次	四	年，次三年で都合十年間で有りまするが斯の如く
	四	106	03	ふことが明かでありませう．千八百五十	四	年に英国政府に於て制定されたる商船条例即ちマ
	四	228	09	ふことは有りませんでした．漸く明治の	四	年頃になりまして日本全国を一定するに付て廃藩
	四	268	17	今仏国に於ける千八百八十一年（明治十	四	年）十二月三十一日の監獄に関する実例を申し上
	四	275	09	に監獄も非常の改良を受けまして明治十	四	年九月十九日の太政官達第八十一号を以て監獄則

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（よ）	四	277	15	類仏国に於ける千八百八十一年（明治十	四	年）十二月三十一日の監獄に関する実例日本の監
よ	世	168	02	色々ありませうが先づそんなものです．	世	が開けるに従つてまた新しいものが，はいつて来
	世	142	11	が盛んであつたとは云へませんが武門の	世	となつて殆んど其の跡を絶ちズット下りまして馬
	世	165	10	いふことであります．一寸さきはヤミの	世	といふのに将来を前知するといふのは，むづかし
	世	220	10	足利の時代には物語がやゝ廃れて草紙の	世	となり画巻物が流行つて女子供のモテアソビモノ
	世	019	04	とつけ字は太白と言つて酒飲みの詩人で	世	に知られた人で有ります．併しコンナむづかしい
	世	086	17	の人に委しく教ゆる為めに基督教は即ち	世	に下されたので御坐ります．基督教は丁度これ等
	世	091	14	は罪悪よりして人を救ひ出す為めに此の	世	に生れ多くの艱難に遭ひ遂に己れが貴い血を流し
	世	124	09	まする．凡そ卒業生といふものは今漸く	世	に出まして善く励んで基督教をのべ伝へるうちに
	世	127	01	は大抵皆な専門家で御坐ります．今漸く	世	に出て来た所の卒業生が容易に之に勝つことは出
	世	127	14	間違つて居ることをよく承知して学者が	世	に出す所の色々の新らしい説，新らしい論，新ら
	世	132	09	も聖書はキズも無くカケメも無く盛んに	世	に生存するもので，有ります．この仕方は実に結
	世	134	04	ｅｔｅｒｏが仰せられまするに「爾等，	世	に在りて善き行ひを為すべし，これ爾等を誹りて
	世	134	13	善の勢ひを以て総ての悪を止める為めに	世	に起された宗教で御坐ります．故に神学卒業生は
	世	179	11	る者を医し圧制らるゝ者を放たんために	世	に遣されたり」と仰せられましたが千八百年以来
	世	223	17	た．元文，宝永の時分には竹本筑後掾，	世	に義太夫と云ふ浄瑠璃が盛に行はれ，其れゆゑ近
	世	227	06	うなものが有りました．其れから封建の	世	になりまして或ひは州と云ひ或ひは国と云ひ其の
	世	237	12	のやうになつて西洋のことを学ばぬ人は	世	に歯せられぬと云ふ有様になつて来ました．マル
	世	006	17	仮名の会は俄に盛にならうか来年位には	世	の人多く漢字の不便を覚らうかと．私は悶てしま
	世	058	07	衛生上の害を述べやうと思ひますが凡て	世	の開化と云ふことは頗る良いことで必ず開化しな
	世	069	12	ます．故にベルリンの或る新聞記者は「	世	の父兄子弟たる者に告ぐ」と云ふ題にて「最早法
	世	084	17	力の能く定まつたもので御坐りませぬ．	世	の種々の国の様々の進歩を調ぶると云ふことは万
	世	086	07	は何処に御坐りますか，これに付て若し	世	の人々の自分の見込み，また一般の輿論に問ふな
	世	086	08	らかな返答は出来まいと存じます．また	世	の普通の学問は誠に大切なものなれども，これ等
	世	086	10	説きませぬ．これ等の大切なものは此の	世	の権威と勢力また人の立てた所の法則また此の世
	世	086	10	と勢力また人の立てた所の法則また此の	世	の富などに係はらぬもので御坐ります．さらば，
	世	086	17	御坐りませぬ．これ等の高尚なる事柄を	世	の人に委しく教ゆる為めに基督教は即ち世に下さ
	世	090	07	ります．また耶蘇基督御自分に「我れは	世	の光りなり」と仰せられましたことも有ります．
	世	091	11	で御坐ります．所謂罪悪で御坐ります．	世	の進歩の妨げを為すものはこの罪悪で御坐ります
	世	129	17	えさせるものでも決して御坐りませぬ．	世	の人の中に基督教の結局の勝敗に就て色々の疑ひ
	世	132	11	よいもので御坐ります．若しあなた方，	世	の色々の迷ひの中にて造物主の御心に本づいたる
	世	134	04	これ爾等を誹りて悪を行ふものと言へる	世	の人をして爾等の善き行ひを見て神を崇めしめむ
	世	175	03	ませぬか．さうして見ると今の人は後の	世	の人に義務が無ければなりませぬ．今の人は確か
	世	179	14	きは易くし圧制らるゝ者は之を放ち凡て	世	の不釣合不平均を取り除き人に自由幸福を与へる
	世	181	14	根本たる者があらうと存じます．若しも	世	の弊風を改めやうとならば先づ其の根本から改め
	世	215	06	つたならぢき，さびれてしまひませう．	世	の風潮の満ち干と云ふものは実に面白いもので御
	世	132	08	．これ等の色々の敵は既に久しき以前に	世	を去りましたもので御坐りますれども聖書はキズ
	世	135	07	国万民の為めで御坐ります．耶蘇基督が	世	を逝りませぬ前きに其の弟子たちに仰せ置かれた
	世	139	17	の効力と言ふものは兎に角ナポレオン三	世	を逐ひ出し出してしまつて今日の共和政治にして
よ	夜	138	10	て夜る二時でも三時でも構はずトウトウ	夜	を明かしてしまふことも有りました．なるほど経
よ	余	101	11	て而して進歩するの覚悟なきことは二十	余	年の変遷でよく分つて居ります．西洋各国の歴史
	余	164	14	して言て，曰く惜む君の謀る所已に晩し	余	早に兵艘三隻をして前往駐守せしむと．客之を聞
	余	064	15	て御覧なされ人力車を業として居る二十	余	万の人は犬馬の如き業を廃し国益となるべき立派
	余	064	16	を営むことも出来ませう．又従つて二十	余	万の人の健康を害することも大いに減じませう．
	余	057	13	ならず今日の如きも来会せらるゝ者一千	余	名もある様ですが斯く衛生の盛んなる有様を見る
	余	164	07	が載つて居た．今其の文を読みませう．	余	亜丁に在り聞く数年前，法君那波倫第三，提督を
よあかし	夜	211	16	其の時にヒトリ，イギリスの天文学者が	夜あかし	をして居つた所，何だか天が変になつて北
よい	い	168	05	り前なことで若し古いものばかり見て，	いゝ	気になつて居るやうでは日本もモウ其れきりに
	い	155	05	モウロクだから，しまひに出たかつて，	いゝ	ことは有りませんが此の間からお請け合ひ申し
	い	155	05	が落語家ならシンウチとか何とか云つて	いい	のだらうが，こんなモウロクだから，しまひに
	い	120	17	して論じた者は無くたゞ「随分飲んでも	いゝ	ものだ」とか「百薬の長だ」とか言ふ位なこと
よい	よ	163	11	だら信長は光秀の頭をおこして，これは	よい	頭だ丁度鼓によいと言つてポンポンと叩いた．
	よ	228	16	別に至りましては地学上ドウ区別したが	よい	か知れませぬが，例へは一方里の場所が有ると
	よ	008	16	かくれば覚えられる．漢字もやらせるが	よい	が，むづかしい漢字はよして貰ひたい．そして
	よ	236	17	ホド減つては来たが，まだ決してウケの	よい	学問と云ふことでは無かつた．先づ砲術などは
	よ	002	10	人の多い所へはいつたかといふに何でも	よい	片仮名でも平仮名でも構はない，仮名遣ひを改
	よ	007	10	字を廃するのが益々イヤになる．其れで	よい	ことで有るかは知りませぬが歎はしいことは大
	よ	007	15	でも人情だから仕方が無いが若し其れが	よい	ことと思ふなら参議から人力車夫までやるがよ
	よ	133	02	け易いもので御坐りませぬ．この仕方の	よい	ことは昔から明かで御坐りました．元来，基督
	よ	128	14	御坐りませぬ．故に此の第二の仕方も亦	よい	仕方で御坐りませぬと存じまする．併しながら
	よ	131	06	御坐りませうか．第四．其の一つの至極	よい	仕方はこれで御坐ります．洋学を致した卒業生
	よ	131	08	西洋の学者の反対論に答へることは誠に	よい	仕方で御坐ります．基督教の反対論を駁つ為め
	よ	132	14	せぬ．僞りを倒すよりも真を立てる方が	よい	仕方で御坐ります．第七．基督教の反対論に答

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（よい）	よ	117	04	ければならない．この位は飲み過ぎても	よい	だらう少しは腸胃痛があつても構はないと言つ
	よ	055	04	部分づゝ御担当下されたい．兎角仮名が	よい	と言つて自分で用ひても人が仮名を用ひないか
	よ	075	13	に出来てＮｅｇａｔｉｖｅの少ない方が	よい	といふ．これは先進の説に意見を加へぬ其の儘
	よ	116	15	れば自分一人で，きめて居るよりも余程	よい	といふは仲間で約束して虚言をつかないやうに
	よ	117	13	分らないからイツソのことに禁酒の方が	よい	と言ふ者もあれど其れは左様な会が有つたらば
	よ	118	01	て悪いといふでは無いが此の会はこれで	よい	と思ひます．若しも人に虚言をつくやうな人な
	よ	143	11	有る，小説は人情本で有る，其の中でも	よい	と云ふ米八丹治郎の梅暦，小三金五郎の娘節用
	よ	153	07	モン宗でも，また仏教でも勝手に信じて	よい	といふこと）を定めれば行政法では其の取締を
	よ	163	11	頭をおこして，これはよい頭だ丁度鼓に	よい	と言つてポンポンと叩いた．光秀は且つ慙ぢ且
	よ	171	01	狭い位で向ふでもモウ，チット広ければ	よい	と思つて居る位で，また仕事をする者も上手に
	よ	192	11	議することになつて居ります．其れから	よい	と思つたことは直言しろ肺肝を吐露しろといふ
	よ	241	11	コレコレは述べてもよい，また述べるが	よい	と云ふことは沢山に有りまする．其れで先づ私
	よ	002	14	字を嫌ふかといふ問題になる．仮名には	よい	所が有り漢字には悪い所が有るか，其の様に漢
	よ	237	14	比べて見れば何でも無いことで骨の折り	よい	所へ骨を折つて，オマケに己れの大利益となる
	よ	031	08	みた様な星のかたまりで望遠鏡のモット	よい	のを用ひたら粒々と見ゆるもので有るまいかと
	よ	115	01	知つて居るものは人類ばかりと言つて，	よい	もので，さて其の命の惜いといふ欲は飲食の欲
	よ	126	09	々の仕方が御坐りまするが其の中に至極	よい	ものも御坐ります．また大きに誤つたものも御
	よ	126	16	けれども其の用ふる所の方法は決して，	よい	もので御坐りませぬ．西洋の高名なる学者とい
	よ	132	11	を駁つよりも真の道理を設ける方が余程	よい	もので御坐ります．若しあなた方，世の色々の
	よ	132	16	第七．基督教の反対論に答へるには最も	よい	ものが御坐ります．即ち卒業生が己が身に基督
	よ	221	01	．しかし其の時代の人情風俗を知るには	よい	もので後に馬琴などが趣向を古めかしくして高
	よ	030	09	は譬へを取らないといけませぬ，こゝに	よい	物が有りますアマノガハといふものは此の盆の
	よ	016	14	うかドウであらう．其れは出さなくても	よい	問題で有ります．毎度この席で化学の講談が有
	よ	174	15	やうで死んだアトのことだからドウでも	よい	やうに思はれますがさうでは無く我が日本国民
	よ	231	14	の戸長と云ふことは町村長と云ふ方が，	よい	やうに考へます）尤も行政上では施政者が議政
	よ	005	06	つたがこれからはお前も漢字を廃するが	よい	，廃さなければクルベーだぞと忠告してチャン
	よ	041	17	をもたせて上の者は下の者を圧制するが	よい	，下の人は上の人に只管従順にせねばならぬと
	よ	047	03	の利益と合はねば自分の利益だけ謀れば	よい	，他の利益を顧みる訳には参らぬことぢゃ．其
	よ	241	11	実際に至りまするとコレコレは述べても	よい	，また述べるがよいと云ふことは沢山に有りま
	よ	005	14	争が出来る訳なら鎗や具足にしておくが	よい	．かたつぽうが替ればかたつぱうも替らなけれ
	よ	007	16	と思ふなら参議から人力車夫までやるが	よい	．若し茶道や名筆では外国と競争が出来ないと
	よ	007	17	ないといふ訳ならば唐紙などはやぶるが	よい	．墨を付けてよごしたものは，なほやぶるがよ
	よ	007	17	を付けてよごしたものは，なほやぶるが	よい	．さればどうも今日の有様を感心して居らるゝ
	よ	008	16	仮名か羅馬字で綴つた文章を読ませるが	よい	．これは少しづゝ時をかくれば覚えられる．漢
	よ	047	06	の社会にならぬのが歎はしいと言ふ方が	よい	．各国が一つの社会になりても道徳が行はれね
	よ	047	08	時こそ始めて道徳の行はれぬのを歎くが	よい	．今各国の間に道徳が行はれぬのを歎くのは順
	よ	054	17	修身を学んだが修身は支那よりは日本が	よい	．其れ故矢張り仮名で書いた修身の本を願ひた
	よ	117	14	らうが私は其れには，はいらなくつても	よい	．私などは若し禁酒会にはいつて全く酒を禁じ
	よ	118	02	うな人ならば節酒会にも，はいらぬ方が	よい	．一体，一人で孤立して守ると人と約束をする
よい	好	144	07	ひが有りますまいが其れにしてはタント	好い	小説を見受けませぬ．今，申す通り古人の精粕
	好	145	06	たちを撰り出して委員と致し其の委員が	好い	と認めた新著を出版しまた手本になるべき西洋
よい	宵	019	01	言つて恐れたもので有ります．其れから	宵	の明星或は明の明星とも云ふ星で有ります．これ
	宵	022	10	のが水星の雛形になります．其の次ぎは	宵	の明星即ち金星で有ります．これは距離は二丁と
	宵	026	15	辺か高知辺からは見ゆる星で八月の頃，	宵	の中にチョイと出て，やがてひつこむ星で有りま
	宵	196	13	がひつこんだから風が吹きはしないか，	宵	の明星が出たによつて饑饉でも有りはしないか」
よい	善	089	07	ませぬ．モトの悪しき有様を出でまして	善い	有様へ移る願ひと望みと志しが無ければなりま
	善	246	15	と云ふのが当り前のところ，其の所行の	善い	か悪いかは言はずして，たゞムヤミに強役，強
	善	139	01	の方が固くるしい本よりは斯様なことは	善い	斯様なことはして悪いと自分が面白いと思つて
	善	138	05	二滴のモルヒネを上げるより，もそつと	善い	薬が有ると申してスペンサーのフ／ヒロソフ／
	善	039	06	中にも女子を殺すのが多いことで其れが	善い	ことになりて居る．其の様な社会では殺す者が
	善	041	10	習により為めになることなら賞せられて	善い	こととなり，為めにならぬものは悪いこととな
	善	113	05	之君演説何でも物を節するといふことは	善い	ことに違ひない．例へば学問を修業するなどと
	善	040	17	老人や親などを殺すのさへも其の時には	善い	事にもなりたので其れが風習になり道徳の様に
	善	131	14	ことは滅多に御坐りませぬ．第五．また	善い	仕方が御坐ります．卒業生が学術のよくシッカ
	善	091	03	ものを怖れぬ豪傑を育てる為めには至極	善い	宗教で御坐ります．新約聖書の使徒行伝と云ふ
	善	035	11	とお思ひなさるか知れませぬが私どもは	善い	と思ひます．其れは外のことでも無い「大いな
	善	047	14	ぬ様ぢゃ．耶蘇教師などは小さき事には	善い	とか悪いとか喧しく言ふくせに，さういふ大き
	善	134	11	ますが結果が宜しければ其の原因は必ず	善い	もので有りまする．末が貴いものならば其の本
	善	250	13	其の心を改めさせたいが，学校では他の	善い	者の害を為し且つ学校の講釈ぐらゐでは，おつ
よい	良	058	08	ひますが凡て世の開化と云ふことは頗る	良い	ことで必ず開化しなければならぬが併し物は一
	良	240	16	娘は温良である」と他人に言ふときには	良い	評判を漏らしたる訳ではありますが，為めに競
よう	よ	002	11	も平仮名でも構はない，仮名遣ひを改め	よう	がドウせうが漢字を廃さうといふものなら左祖
	よ	002	07	へも無く，昔の通りに仮名遣ひをして見	よう	といふ仮名組だからといつて左祖したといふ訳

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（よう）	よ	007	12	でが小癪に手習ひして唐紙位は反古にし	ようといふ意気ぐみになる．其れですから親王様や
	よ	012	05	知つて居るだけを今日諸君に御話しをし	ようと思ひます．私が「地球の位置」と題をつけて
	よ	033	07	だけの賛成いたした趣意を申し上げて見	ようと思ひます．酒のことに付ては古人も辛苦され
	よ	034	08	す．また今日智慧を研き身体を丈夫にし	ようといふ様な総てのことといふものは皆このシビ
	よ	044	03	なることも有るから教法者も其れを矯め	ようと云ふので右様の教を起したのぢゃ．曲りたも
	よ	044	03	を起したのぢゃ．曲りたものを真直にし	ようと云ふには真直にしたばかりては直に元の通り
	よ	067	08	せて私の感ずる所を諸君の前に申し述べ	ようと思ひます．諸君は我が天父の無形なる愛護と
	よ	068	03	を簡短に申し述べて諸君の御参考に供し	ようと思ひます．諸君の中に御承知の方も御坐いま
	よ	115	17	ことで第二の欲は今言つた品行を善くし	ようと，いふ欲で有りますが，ドウゾこの人類的の
	よ	119	06	んになつたのを祝して何かお話しでもし	ようと思つて居ましたが此の間中から忙くつて其れ
	よ	126	15	の西洋の有名なる学者に勝つことが出来	ようと思ふので御坐ります．箇様な者の勇気は感心
	よ	127	16	いた所の新発明などを基督教に符合させ	ようと思ふ様で御坐ります．この様な教師が学者た
	よ	033	14	の外，近来国を開化させるとか文明にし	ようとか国を富すとか強くするとか云つて何社とか
	よ	035	16	を研いたからで御坐りませう，報国をし	ようとか大事業を仕遂げようとかいふに酒を飲んで
	よ	035	17	せう，報国をしようとか大事業を仕遂げ	ようとかいふに酒を飲んではそんなことは出来ます
よう	様	055	02	だけの書物を拵へるのは口で言へば易い	様だが大困難の至りで御坐ります．何にもあれ新し
	様	162	15	といふことの有るのはチト苛酷に過ぎた	様だが乱国を治めるには重き典を用ふるといふこと
	様	163	01	まつたものが有る．織田信長は徳は無い	様だが才気は充分に有つた人で随分場所柄もよく兵
	様	163	05	り証拠，酒を嗜んで狂乱の様子が有つた	様だ．其れが信長の大疵だ．或るとき七合入の盃を
	様	043	06	矢張り道徳のことが，おもになりて居る	様ぢゃ．其れぢゃからドウも本当に分れたとは申せ
	様	047	14	耶蘇教師までも其れを何とも思ふて居ぬ	様ぢゃ．耶蘇教師などは小さき事には善いとか悪い
	様	003	08	にはいかない．されば此の八時間の使ひ	様で此の国の進歩や学力の進歩が出来て来る．八時
	様	003	17	あるが其れも此の国独りで居れば今日の	様でも宜しいが今日は我が国ばかりで成り立つこと
	様	029	11	の部分を為して居るといふことが粗分る	様で有ります．諸君御存じで有りませうが秋の頃に
	様	029	14	乳道」と言ひます，其れは乳をこぼした	様で有るからさう言つたので有ります，支那では「
	様	030	08	るさうです．其れだけは幾ど確に見ゆる	様で有ります．其れには譬へを取らないといけませ
	様	052	12	る．其の外一旦に大決断をやるのは宜い	様で御坐りますが，いろいろまた困難のことも起つ
	様	055	10	，秦の始皇の大決断を望む準備が出来る	様で無ければなりませぬと思ひます．この自分の持
	様	101	16	を獣に例ふれば日本人民はヤマアラシの	様である，英吉利人は獅子の様な勇がある，魯西亜
	様	102	13	．国の実況が分らず国の名さへも知らぬ	様では軽蔑も無理はない．ノルマントン号の船長が
	様	121	07	酒を飲む為めに却つて段々と下つて来る	様では実にあさましきことでは有りますまいか．何
	様	127	16	発明などを基督教に符合させようと思ふ	様で御坐ります．この様な教師が学者たちの色々の
	様	168	10	十四五の時だつたが其の時は大あらしの	様で日本の人心が俄に騒ぎたつたの騒ぎたゝないの
	様	227	14	殆んど天子とも異なる所は無かつた位の	様で有ります．其れならば天子は何をして居られた
	様	028	04	乃至三万倍位の距離に居る星が確に有る	様です．こんな星から出立した明りは一万年から三
	様	029	02	ば本当に回つて居るか居らぬか分らない	様ですが肉眼では見えないがよく調べると何かのグ
	様	036	03	きは大いなる社会」と言つては通り兼る	様です．其れを信仰する人が有れば其れまでのこと
	様	057	13	の如きも来会せらるゝ者一千余名もある	様ですが斯く衛生の盛んなる有様を見るのは必竟当
	様	101	15	同し，また直ちに之を打ち捨ててしまふ	様です．今之を獣に例ふれば日本人民はヤマアラシ
	様	004	10	ない．小さな蟻を大きな足で踏みつける	様なものだが其の蟻も目のさめたのでは無い眠つて
	様	006	14	植物学でも其の講釈の過半は漢学先生の	様なものが有る．さてさて困つたことでは御坐りま
	様	021	08	同様に火星の表面の上にも人間か人間の	様なものが住つて居るに違ひ無い．天文学の開けな
	様	021	16	消したとか消さないとか子供の水懸論の	様なことをして果は大戦争に及ぶと云ふ様なことな
	様	021	16	様なことをして果は大戦争に及ぶと云ふ	様なことなぞは火星の表面の上には無いかも知れな
	様	024	07	発見いたしました．次ぎに木星には月の	様なものが四つついて居る．望遠鏡で木星を見ます
	様	024	08	ナけちな望遠鏡でも星の真中の所に筋の	様なものが見えます，丸に一文字の紋所とでもいふ
	様	025	06	ればなりませぬ．さて星が我々の太陽の	様なものでは無からうかと云ふ疑ひが起る．これは
	様	028	08	，ことによると余程遅い新聞を受け取る	様なことが有ります．そこで此等の星を観測して見
	様	028	16	はれます．して見れば全く太陽系と同じ	様な世界で有ります．三つ以上組み合つて居る星も
	様	028	17	三つ以上組み合つて居る星も矢張り同じ	様な運動をして居ますのが有ります．して見ますと
	様	030	07	ガハと云ふものは円い者をおしつぶした	様な形したもので有るさうです．其れだけは幾ど確
	様	032	02	丁度我々の太陽系から脇の太陽系に移る	様なものであるかも知れませぬ．此の二番目の説に
	様	034	08	日智慧を研き身体を丈夫にしようといふ	様な総てのことといふものは皆このシビリザション
	様	035	02	の人は酒を飲むことを好んで前に述べた	様なことは致しませぬ．西洋の諺にも「酒が腹中に
	様	035	06	とでは更に知りませんだつたなどといふ	様なものは所謂る智慧が徳利の中にはいるのと，よ
	様	037	09	れども昔の説は有機物に似て居るた云ふ	様なことで有りたが近頃に至りて社会は動植物と同
	様	039	03	どをする者を貴ぶ社会さへも有る．其の	様な社会では強盗をする者が一番貴ばれる．其れの
	様	039	07	とで其れが善いことになりて居る．其の	様な社会では殺す者が善人で殺さぬ者が却りて悪人
	様	039	10	ぢゃが其れは如何なる訳かと云ふと其の	様な社会では若し他の社会から攻撃されたときに足
	様	040	06	の女房を共有して居る社会が有る．其の	様な社会では男女共同の方が正しいので若し一人の
	様	041	05	に違ひ無い．其の時，孔子や耶蘇が言ふ	様なことをして居たならば其の社会は立ちはせぬ．
	様	042	03	は終身，権は無いなれども西洋では其の	様なことは無い，夫婦の間でも男女同権と云ふ説が
	様	042	05	ｕｃｋｌｅの言ふ様に進歩が無いと云ふ	様なことは無い，進歩は大いに有ることぢゃ．さて

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（よう）	様	042	13	と云ふものは他人同士の寄り合ひと云ふ	様	なものぢゃ．併しこれは極度を申したことで本当
	様	045	05	れなら共和政治は公明正大ぢゃから其の	様	なことは無からうと云ふであらうが，さうで無い
	様	046	07	黄金世界になるとか言ふ者も有るが其の	様	なことは実に夢の様な話しで国が有れば刑罰が有
	様	046	07	言ふ者も有るが其の様なことは実に夢の	様	な話しで国が有れば刑罰が有る訳で刑罰の有る上
	様	046	09	律と道徳との本主義を云へば先刻言ふた	様	な訳なれども併し全く十分には行はれぬに相違な
	様	047	01	開けた西洋の各国同士でも道理の立たぬ	様	なことをするのは互に社会を為さぬ者同士の間で
	様	047	17	売が開け工業が開け世界の痛痒相感ずる	様	な有様になりて互に利害の関係が有る．そこで今
	様	048	14	ととなるであらう．尤も其れは実に夢の	様	な話しなれども間違ひ無いことと思はれる．其れ
	様	052	02	には効が無い．例へば仮りに秦の始皇の	様	な大決断の人があると定め其の人が仮名の会の仕
	様	052	15	文に似たものを書く様になり庭訓往来の	様	な文体となり其れで記録を書いたのが東鑑，其れ
	様	052	16	，其れが段々流れて来て一筆啓上といふ	様	な文体になつたので漢文で公文を書いたのが流れ
	様	053	03	の開け始まりは漢語を用ひた方が上品の	様	なおつな習はしがあつて漢語が日本の言葉になり
	様	053	06	思つて其の字を見ると「斯文」と言つた	様	な理屈で仮名にすると口で言つた様になる．さう
	様	053	08	ると思はれます．私は漸進家で気の短い	様	な気の長い様な性質で気を長くしなければならぬ
	様	053	08	す．私は漸進家で気の短い様な気の長い	様	な性質で気を長くしなければならぬ所は気を長く
	様	053	16	様に教へ其れで年始暑寒用の手紙といふ	様	なものを書くことを教へて，どれほどかの年月教
	様	055	05	ないから漢字で無ければならないといふ	様	なことがあり拠ろ無く漢字を使はなければならな
	様	055	06	り拠ろ無く漢字を使はなければならない	様	な訳で私どもも孫の頃は楽にもなりませうが今の
	様	062	13	ち，おまけに頭にはパクパクして蝦蟇の	様	な島田や鍋蓋の如き丸髷を頂き居りて運動の自由
	様	074	12	もので天気でさへ暑いとか寒いとかいふ	様	なことで其の他種々の迷惑が御坐んして身体には
	様	075	05	或ひは水口をつけて水を去るなどといふ	様	なこと実に挙げて算ふべからざることで則ち其れ
	様	077	09	除きまするることが恰も電気の積極消極の	様	なもので積極と積極とは相親和せず消極と消極と
	様	079	09	ことで御坐ります．たとへば牛馬などの	様	なものには進歩と云ふことが聊かも御坐りませぬ
	様	081	05	ませぬ．外部から起つて来て内部に移る	様	なものでは御坐りませぬ．全く物体上のことで無
	様	081	13	人の内部から起らずしてたゞ目に見える	様	な外部の進歩は根なくしてアサハカなもので真物
	様	088	10	ュージーランド島のマオリと云ふ人種の	様	なものに付て至極其の困つた所は丁度こゝで御坐
	様	088	16	しませぬ．山奥に逃げてしまひ鹿や猪の	様	なもので御坐ります．故に人は進歩しやうとする
	様	092	09	を飾る」と云ふことで御坐ります．花の	様	な智慧分別だに無きものも思はず知らず斯の如き
	様	100	03	むの商売柄から考へて見ても決して彼の	様	な事件は起らぬ筈であらう，否な斯くの如き挙動
	様	100	08	でありしならば船長の処置に決してこの	様	なつらきことは無からうと思はれます．畢竟する
	様	100	16	因を深くたづね遠く慮り遂に軽蔑されぬ	様	な計画をめぐらすが最も必要であらうと考へる．
	様	101	16	マアラシの様である，英吉利人は獅子の	様	な勇がある，魯西亜人は虎の様な威があるが日本
	様	101	16	は獅子の様な勇がある，魯西亜人は虎の	様	な威があるが日本人はヤマアラシの勇気も無い．
	様	102	04	好んで矢鱈無性に威張りたがるが獅子の	様	な勇もなければ虎の様な威もないと考へる．これ
	様	102	04	りたがるが獅子の様な勇もなければ虎の	様	な威もないと考へる．これが即ち軽蔑を受ける一
	様	102	07	り日本人であるから斯くひどく攻撃する	様	なもののこれは即ち日本人を警戒するが故であつ
	様	103	06	たかも知れないが併しながら弁慶があの	様	な豪傑なのは概して信仰心の然らしめたものであ
	様	12[illegible]	05	は，ほとんど飲酒家の鑑札を持つて居る	様	なものだ」と述べました．またＯｅｔｔｉｎｇｅ
	様	120	07	ことは西洋の人が世界に移住すると同じ	様	なもので日本へも明治二三年頃から麦酒などが移
	様	121	02	，むづかしくて盲人に七色の色を見せる	様	なものだからよく事実を挙げて見せた方が宜から
	様	121	12	た「罪を犯す者が多くなる」などと云ふ	様	なことで，この罪を犯す者が多くなることは先年
	様	122	12	とが余程多い様に思はれます．かういふ	様	なことは外のことからも起りませうが多くは酒の
	様	123	01	く飲む者はドウいふ結果を得るかと云ふ	様	なことを気を付ける様にしたら，さまでむつかし
	様	127	16	合させようと思ふ様で御坐ります．この	様	な教師が学者たちの色々の論を天の黙示，或は神
	様	138	01	きには上下を着た人に小言を頂載いたす	様	な心持ちも有りませうがリットンやスコットのド
	様	138	02	ラマやノベルを読めば寝ることを忘るゝ	様	なことも有り飯を喰ふのが面倒な思ひも有ります
	様	161	10	，鉄炮におそろしい音をさせるミチビの	様	なもので其れからして怒りを起すとか放逸に流れ
	様	163	13	になつたが大閤様でも権現様でも信長の	様	なことをしたことは無い．「小，忍びざれば則ち
	様	166	07	まい．時といふことも半分は分つて居る	様	なもののこれから後，幾年あるといふことは分り
	様	203	09	と同種類のもので有る，全く惑星と同じ	様	なもので有ると云ふことが分りました．抛物線を
	様	212	03	すれば，彗星が家ならば流星は古材木の	様	なもので有りますから，本当の彗星の中へ這入れ
	様	212	10	とが出来るかも知れません．しかし其の	様	な結構なことは滅多に無いかも知れません．あま
	様	234	05	教へるやうな先生が有つたからとて其の	様	な学校は何の益にも立つことでは無い．其れより
	様	005	04	らない．若し支那人を相手にするといふ	様	なら支那の通りにやられてしまはなければならな
	様	038	01	物のＣｅｌｌと全く同じことぢゃ．其の	様	なる訳ゆゑ社会は全く動植物同様にＣｅｌｌより
	様	166	01	いふ学派もあり，精神があるから身体の	様	なる物質もある訳だといふ学派もあり，また身体
	様	166	02	ある訳だといふ学派もあり，また身体の	様	なる物質があるから精神も之に添つて出来たとい
	様	166	03	道理はいづれも奥の深きことにて，この	様	なるアサハカな話しでは分りませぬが併し畢竟，
	様	040	13	無い．其れは今から言へば道徳に背いた	様	なれども全く其の為めに其の社会を維持して参り
	様	091	15	流したので御坐ります．申すも憚り有る	様	なれども私は年たけて居りまして．海にも陸にも
	様	141	05	は何か原因が無くてはならぬ．少し酷な	様	なれども一概に申せば作者に学問が無いと不品行
	様	002	14	所が有り漢字には悪い所が有るか，其の	様	に漢字を嫌ふといふはまた如何なる訳ぞといふに
	様	002	16	ませうが抑々智識には真の智識と智識の	様	に見ゆるも実は真の智識の方便に過ぎざる智識が

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（よう）	様	003	16	お留守にして字を習はなければならない	様	になつて居て字を知ることが何より彼より大切な
	様	004	16	師匠さんにして居るうちは，これまでの	様	に字ばかり習つて居るのが支那におハムキは宜し
	様	005	07	ら留学生の一万人も二万人も西洋へ行く	様	にしたい．この間の戦争に誰か少しばかり戦争ら
	様	007	11	のお方があるので少輔も大輔も字を習ふ	様	になる．すると書記官も仕方が無いから習ふと属
	様	007	13	様や大臣参議方は滅多にお書きなさらぬ	様	に願ひたい．大臣参議が碁を好むと属官までが碁
	様	008	13	から仮名か羅馬字を用ふると国会設立の	様	にしたいといふなら明治百年か千年になつたら仮
	様	009	02	り，短い文章より次第に長い文章に移る	様	にして教へこんだなら遂には誰も漢字廃すべから
	様	012	03	球は何の中か」といふ問題も其れと同じ	様	に段々とおしつめてモウこれから先きは今日の学
	様	014	01	理学の進歩してから眼が益々遠ぎゝする	様	になりまして我々の世界の外にも別に之に似たも
	様	014	02	之に似たものが有るといふことが知れる	様	になりましたから先づ其れからお話し致しませう
	様	014	11	たものでは有るまいか，第一番に地球の	様	に円い，其れに谷だの山だのが有る処がよく似て
	様	017	06	の中にはいつて居ます．併し月の距離の	様	にやさしくは有りませぬが測量の出来ないことは
	様	019	13	玉のグルリに剣術の竹刀の鍔でもつけた	様	に見えるもので有ります．これだけが昔し五星と
	様	020	07	に丁度太陽の光をマトモに受けて満月の	様	に見ゆるので余程よく其の表面を観測することが
	様	020	09	面にも山が有り谷が有るかと云ふに月の	様	に精密には知れない．併し海も有り陸も有ること
	様	024	09	彼の四つの衛星が時としては玉を並べた	様	に四つとも一直線に見えます．其の次ぎには土星
	様	025	11	人のあるくのを見れば，まるで蟻のはふ	様	に見える，其れだから人は小さいと言つたらドウ
	様	026	17	見ますと三倍ばかりも距離が遠い．此の	様	に遠い距離になりますと鍵形でもおつつかなくな
	様	028	11	て居る星は肉眼で見ますと唯一つの星の	様	に見えますが望遠鏡で見ますと二つに分れて見え
	様	028	13	丁度地球が太陽を回り，月が地球を回る	様	に見えます．して見ると一つが親分で，あとが子
	様	028	15	つたものが二つは有りますが外に惑星の	様	に明りを持たない眷属が多分有るだらうと思はれ
	様	029	03	よく調べると何かのグルリを回つて居る	様	に見ゆるといふ場合が有りますから此の色々の星
	様	030	05	ガハと云ふものは地球から見ますと帯の	様	にして天をグルツと取りまいて居ます．して見ま
	様	030	12	る部分は帯の形して天を取りまいて居る	様	に見ゆる筈で有ります．そこから見ますとアマノ
	様	031	03	ては見えず望遠鏡で見ると云つても雲の	様	に見えて粒々とした星のかたまりの様に見えない
	様	031	04	の様に見えて粒々とした星のかたまりの	様	に見えないのが有ります．其れは星雲と言ひまし
	様	031	06	にはチョットした望遠鏡で見ては唯雲の	様	に見えても少し強い眼鏡で見ると星のかたまりの
	様	031	06	も少し強い眼鏡で見ると星のかたまりの	様	に見ゆるのも有り，又今日世の中にある極上の望
	様	031	07	にある極上の望遠鏡で見ても矢張り雲の	様	に見ゆるのも有ります．其れとても矢張りアマノ
	様	031	10	体かと云ふことを見分けることが出来る	様	になりまして此の純粋の星雲は常の星と違つて瓦
	様	031	13	のが有り或はアマノガハと方角の違つた	様	に見ゆるのも有ります．そこで又アマノガハの中
	様	031	14	斯体であつて望遠鏡で見ても矢張り雲の	様	に見える部分も有ります．こゝに至つて説が二た
	様	033	13	にも酒，祝賀でも酒，喪礼でも酒といふ	様	に総て酒を飲むことが慣習になつて居ます．其の
	様	034	01	りでなく西洋でも総て酒は人間の食物の	様	になつて居るのは西洋の人も歎息して居ることで
	様	036	07	社会は大いなる欲」といふ方に御賛成の	様	に見ゆる，誠に面白いことです．どうか此の会も
	様	036	09	し智慧を研き身体を丈夫にし財を貯へる	様	に致したいものと思ひます．財を貯へると言つて
	様	037	10	りたが近頃に至りて社会は動植物と同し	様	に全く真実の有機物ぢゃと云ふことになりた．私
	様	037	12	ことぢゃ．そこで社会は実に動物植物の	様	に生きて居て生滅することも消長することも盛衰
	様	038	09	は全く表裏反対ぢゃ．如何なる訳で其の	様	に表裏反対して居るかと云へば昔の支那流で言ふ
	様	038	12	が智慧が開けて来ると漸々に其れを知る	様	になると云ふなれども近頃の説では野蛮の国と文
	様	039	09	ならぬ訳ぢゃ．又老人などが役に立たぬ	様	になると殺す社会が有ることぢゃが其れは如何な
	様	039	13	を生かしておくと部落一般が害を被むる	様	になるから其れ故，殺さぬのは却りて善くないこ
	様	039	14	れ故，殺さぬのは却りて善くないことの	様	になりて居るのぢゃ．昔羅馬の初めに「剛勇」と
	様	040	05	同様に（こゝらに犬や猫が居るのと同し	様	に）男女同居してゆくだけで有りたが少し開けて
	様	040	05	有りたが少し開けて夫婦の配偶が出来る	様	になりても今現に多くの兄弟で一人の女房を共有
	様	040	14	てゆくには必要ぢゃ．其れゆゑ今申した	様	に今日から見れば悪人とも云ふべき者が却りて賞
	様	041	01	にもなりたので其れが風習になり道徳の	様	になりて来たものと見える．前に申したのは風習
	様	041	03	知らぬが開けて来ると漸々に其れを知る	様	になる」と云ふ理屈は立たなくなる．中華と誇る
	様	042	05	思はれることぢゃ．Ｂｕｃｋｌｅの言ふ	様	に進歩が無いと云ふ様なことは無い，進歩は大い
	様	042	15	分れて来た．政治上のことは法律でゆく	様	になりた．それから後，欧羅巴では政治上のこと
	様	043	02	めると云ふ三代の主義で法律は賤しむる	様	になりて居る．併し支那でも三代時分と其の後の
	様	043	16	除き用に立つものを使ふて其れで開ける	様	になりて来たのぢゃ．若し初めより仏法の教が行
	様	047	09	よりは一つに寄りて大きな社会を拵へる	様	にしたいものぢゃ．其れの出来ぬのを歎息するの
	様	048	06	互に条約が有り又今日の官報に出て居た	様	に日本でも欧羅巴のメートル条約に加入したが又
	様	048	07	加入したが又子午線のことにも加入する	様	になるだらう．さすれば国と国とが段々と相結合
	様	048	08	のを為すことになり一つの法律を用ふる	様	になるであらう．尤もどれほど年数がたつたら，
	様	048	11	た法律の主義と云ふものは無論行はれる	様	になるであらう．さうすれば世界が大きな一個の
	様	051	13	るたけモロコシ文字を省いて書くといふ	様	に日又一日に仮名文字の用ひが殖る様の実があが
	様	052	10	て来て当分は手紙を「一筆啓上」と書く	様	にはいかないで仮名の運用に順序が付かないから
	様	052	12	から兎角「いつぴつけいじやう」とやる	様	になり手紙を書くにも甚だ困る．其の外一旦に大
	様	052	15	ら已むことを得ず漢文に似たものを書く	様	になり庭訓往来の様な文体となり其れで記録を書
	様	053	06	つた様な理屈で仮名にすると口で言つた	様	になる．さういふ所からして，いろいろ今秦の始
	様	053	15	に「を」を加へて「はなをみる」といふ	様	に教へ其れで年始暑寒用の手紙といふ様なものを

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（よう）	様	054	02	而して舟を漕ぎ，畑へ弁当を持つて行く	様	になる．其れを用の弁ずるまで学ばさうとすると
	様	054	05	を考へると前に申した秦の始皇の話しの	様	に書物を皆な焼いてしまつても英仏の本を知らな
	様	054	06	も英仏の本を知らないでも何でも知れる	様	に知れるものを作ることが肝腎だと思ひます．先
	様	059	04	香の物のキレッパジ等を常に堆積せざる	様	に奇麗にして御覧なされ屹度チフスの居候が無く
	様	061	13	緩急に拘らず道の遠近を論ぜず乗り回る	様	になり甚しきに至つては終日安居する人にして日
	様	062	05	もオーでも門外に出るには必ず車に乗る	様	になり斯の如き人々が乗車するときは上の好む所
	様	062	07	のは無理にも乗車して上等社会をまねる	様	になつたのです．第二は身体運動は衛生上に必要
	様	069	14	生計の道にはいけぬから他の業を修むる	様	にせよ，父兄たる者子弟たる者善く注意をせよ」
	様	070	13	ひます．この上にも沢山にお出来なさる	様	に願ひます．たゞ甚だ喜ぶ所は私は昨日は大学の
	様	073	06	で御坐んすが，これに付て何か一言する	様	にといふことを教師諸君より依託を受けて居りま
	様	076	05	で御坐んせうが貧弱なる国の富強になる	様	に，富強になつたものは貧弱にならぬ様にといふ
	様	076	06	様に，富強になつたものは貧弱にならぬ	様	にといふ様にすることを講究することの学問と看
	様	076	06	になつたものは貧弱にならぬ様にといふ	様	にすることを講究することの学問と看做しますと
	様	076	10	で無く法律も経済もドチラでも諸君方の	様	に研究された方が何の学科であつて見ても各々立
	様	076	15	を除くといふことは口で言ひ文字で書く	様	に判然と参るもので無い．利で無ければ害，害で
	様	076	15	れば害，害で無ければ利で着物の裏表の	様	に離れないもので有るから場合によつてハッキリ
	様	077	04	とか経済は利を興すものであるとかいふ	様	にも参りませぬ．浅近の例を挙げて見ますと勉強
	様	077	06	済とは社会上同一に必要なもので又今の	様	に相須つて用を為すものであれば同一の業を為す
	様	077	11	積極と相親和し積極と消極とが親和する	様	に積極的消極的の学科を以て同一に社会の為めに
	様	089	15	進歩するかも知れませぬが遂にまた退く	様	になります．併しながら高尚な目的を示すものは
	様	121	05	の品位と云ふものを上げることも出来る	様	になりませう．「酒を飲む為めに人間の品位が余
	様	122	08	私の子が酒を飲み孫が亦酒を飲むと云ふ	様	になつて行きます．また独逸でコレラ病に罹る者
	様	122	11	たりするのも酒から起ることが余程多い	様	に思はれます．かういふ様なことは外のことから
	様	123	02	果を得るかと云ふ様なことを気を付ける	様	にしたら，さまでむつかしいことでも有りますま
	様	145	01	めて筆の立つ人に西洋の智識をつぎこむ	様	にしたら宜しからうと思ひます．其れも急激に致
	様	145	08	．其の中には段々小説の真面目を顕はす	様	にもなり段々其の事業を拡張したなら遂に社会の
	様	145	08	を拡張したなら遂に社会の道徳を助ける	様	にもなり風俗を直し政治を改良する様にもならう
	様	145	09	る様にもなり風俗を直し政治を改良する	様	にもならうと思ひます．其れをするには困難する
	様	168	17	すると何か地球の引力にでも関係がある	様	に思はれます．ところが我が国人の心は西の方へ
	様	196	10	クラも書物などに書いて有ります．其の	様	にこはがりました所以は畢竟，品物の性質が知れ
	様	201	04	これも諸君の疑団の一つになつて「其の	様	に分ることなら何月何日と云ふことも分りさうな
	様	051	13	ふ様に日又一日に仮名文字の用ひが殖る	様	の実があがりませぬでは名簿ばかりでは盛大と私
	様	075	06	的のものであつて害を除く方に付て居る	様	のもので御坐んす．而じて其所に至つてＭａｃｌ
	様	077	02	のであり利を興すのが害を除くのである	様	のことが社会の事柄の多分を占めて居ることで御
	様	137	06	家屋の改良，衣服の改良，女の髪の結ひ	様	の改良，また自由党などに言はせたなら政治の改
	様	236	02	名で書いたことださうで有ります．其の	様	の次第で有つたことゆゑ，蘭語の稽古も実にむつ
よう	洋	145	05	換するが面白からう．其の中にまた和漢	洋	兼備の先生たちを撰り出して委員と致し其の委員
よう	用	158	14	と「オット承知でござ」といつてスグと	用	が通じますがナント大変なことになれば，なるも
	用	253	01	まする．則ち監獄よりも教育だけ余計の	用	が有りまする．付てはこれ等の者の為めに矯正院
	用	001	14	に居らるゝ愛媛県高松の郡長兼県庁の御	用	掛泉川健といふお方がお出になりました．一面識
	用	232	05	て議決するを得ない．よつて中央政府の	用	では無い全く府県固有の用で有るものでも右事項
	用	232	06	て中央政府の用では無い全く府県固有の	用	で有るものでも右事項の外は知事が勝手に決定し
	用	043	15	人間の智慧が出来て害になる禽獣を除き	用	に立つものを使ふて其れで開ける様になりて来た
	用	053	15	をみる」といふ様に教へ其れで年始暑寒	用	の手紙といふ様なものを書くことを教へて，どれ
	用	054	03	畑へ弁当を持つて行く様になる．其れを	用	の弁ずるまで学ばさうとすると不毛の地が出来て
	用	054	04	毛の地が出来て肝腎のものを失ふ．この	用	を弁するには仮名を用ふることを開くに如かずと
	用	076	07	問と看做しますときは経済学も消極的の	用	を為すもので御坐んして殊に之を講究するといふ
	用	077	06	同一に必要なもので又今の様に相須つて	用	を為すものであれば同一の業を為すものだとまで
	用	148	15	それが調ばつて居ないといふと折角だが	用	を為しませぬ．五万でイヤなら勝手にしろと言ふ
	用	149	11	知らなければいけませぬ．全く相須つて	用	を為すものに違ひありませぬ．併しスタチスチッ
よう	陽	183	08	くないといふことでは御坐りません．陰	陽	内外の別なく神の前に在つて真実に一夫一婦の道
	陽	161	13	は兎角喧嘩などをするもので荘子にも「	陽	に始りて陰に終る」とかいふて有るが実に其の通
よういく	容	065	04	ば沢山ありて一朝一夕に論じ尽すことは	容易	でありませぬから大概にして止めやうと思ひま
	容	235	16	は書物を読んで事柄を知ると云ふことが	容易	で無かつた．先生と云ふものも無く本と云ふも
	容	165	08	すこと．然るに此のことは今も申す通り	容易	なことで無く共々に講究しなければならないこ
	容	236	03	むつかしいことで一つの言葉を知るにも	容易	なことでは分らない．字を引く字引も無いし，
	容	119	13	て色々と骨折苦心をして居ることは実に	容易	ならざることで有ります．只今此の会へ出る前
	容	254	14	次第で有りまするから監獄と云ふものは	容易	ならざるもので御坐います．よつて監獄は決し
	容	016	02	この距離が分りました上は其の大きさは	容易	に勘定が出来ます．月の大きさは地球よりは小
	容	069	16	者益々増しました時には政府に取つては	容易	に立派なる裁判官其の他の人を得ることが出来
	容	087	03	なものに付て誤ること，つまづくことは	容易	に致しませぬ．併しながら不案内の御方が疑ひ
	容	087	16	付て或は間違ふこと或はつまづくことは	容易	に御坐りませぬ．其れ故にまた箇様な論じ方に
	容	127	01	ます．今漸く世に出て来た所の卒業生が	容易	に之に勝つことは出来ますまい．この者が用ふ

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（よう い）	容	129	03	起つて来る所の色々の新しき論によつて	容易	に惑はされませぬ．君子はシッカリしたもの用
	容	130	17	人の色々の新論，新説，新発明によつて	容易	に変ることは致しませぬ．また人間の心に植え
	容	131	02	徳の法も人の色々の浅ましい論によつて	容易	に変るものでは無い．ドチラも神の変ることの
	容	251	05	たが今日では人を殺した者でもナカナカ	容易	に死刑に処するやうなことは致しませぬ．其れ
よう い	用	008	14	つたら仮名か羅馬字になるだらう．其の	用意	には今から子供に教ふるに一つには字もむづか
よういく	養	259	11	土地の区域を定むること．これは東京の	養育	院に於ては東京府内に起るだけの貧民を救助す
	養	259	15	不都合で有ります．よつて例へば東京の	養育	院ならば当分三百名とか二百五十名とか限らな
	養	260	09	もイクツも有りまして例へば訓盲唖院，	養育	院即ち乞食院，矯正院即ち不良少年の慈恵所な
	養	261	10	，将来の犯罪人となるの恐れ有る貧民は	養育	院の如きものの管轄と致し，将来の犯罪人とな
	養	261	11	，癈疾，不具者の如きは訓盲唖院，又は	養育	院の如きものの管轄と致し，生れて未だ身体の
	養	269	17	り十八歳位までを非常に気を付けて監督	養育	しなければなりませぬ．若し此の間に家庭教育
	養	257	09	なければなりませぬ．また並みの少年を	養育	するのは将来に善良有益の人民を造るもので有
よういん	邀	164	08	せんと欲す．一日行て亜丁に抵る英将の	邀飲	を被り以て地主の情を修む．酒酣なる時に当り
ようかい	妖	218	14	ことが多い．しかし折々は天人が出たり	妖怪	が出る位の奇らしいことも交ぜて有りますが源
ようがく	洋	131	06	つの至極よい仕方はこれで御坐ります．	洋学	を致した卒業生は基督教の反対論を駁つ為めに
ようぎ	容	219	11	ざまのことを論じた所が妻とすべき女は	容儀	にも芸能にもよらず，たゞ心が落ち付いて深切
ようこう	洋	214	13	々と西洋風が流行つて来て留学生や又は	洋行	の人などが帰朝するに従つて小説と云ふものは
ようし	要	068	05	官たるの能力を有するには二回の試験を	要し	まして第一回の試験は三年間大学に於て法律学
	要	252	17	た懲戒を与へると云ふ此の三つの方法を	要し	まする．則ち監獄よりも教育だけ余計の用が有
ようじ	用	062	16	日の午后六時に番町より神田に行くべき	用事	あるに当つて午后四時頃より家を出るときは充
	用	195	07	日の出ます前にあるかなければならない	用事	が有りまして，相手と一所に東の方に出て参り
	用	054	02	とか何だとかむつかしいことを知つても	用事	を弁ずることを知らない．初学で下り而して舟
ようじん	用	127	10	も出来ぬことで御坐りませう．故に先づ	用心	する方が宜しう御坐ります．よく熟した学者ま
	用	129	04	はされませぬ．君子はシッカリしたもの	用心	するもの，またタシカなもので御坐ります．第
	用	210	12	どではドウかソンナ説の流行らない中に	用心	をしなければなりません．しかし彗星が地球に
ようす	様	163	05	だらうが論より証拠，酒を嗜んで狂乱の	様子	が有つた様だ．其れが信長の大疵だ．或るとき
	様	222	08	過ぎなくて士君子は見るのを恥るやうな	様子	が有りました．小説の来歴はこれまでとして，
	様	053	17	とを学ばないで文通が出来やう．田舎の	様子	を見ますに漁村僻邑と言ふと漢語ですが田舎の
	様	057	11	るゝのは実に有り難いことで此の近県の	様子	を見まするに此の埼玉県下は最も衛生が盛んに
ようする	要	253	11	までには三月或ひは四月若しくは半年も	要する	ことで有りまするから濡れ手で粟を攫むと云
	要	260	06	も必要なことで，例へば一万円の年額を	要する	為めに三十万円の資本が備はつた上は其の上
	要	154	03	れに付てはこれだけのスタチスチックを	要する	といふことを併せて述べて見たいと思ひます
	要	150	17	法律規則また官府とかいふやうな機関を	要する	道具に関係の法律規則を言ふのであります．
	要	069	05	斯の如く多年学科上及び実地上の研究を	要する	にも係はらず孛漏生には司法官及び代言人た
	要	104	09	我々の目的は達するのであります．之を	要する	にノルマントンの事件は悲しむ可し憤る可し
	要	275	16	ることになりませうと考へまする．之を	要する	に我が国の現在の監獄改良は維新前の監獄と
	要	094	07	ことであれば法律学上に於て研究するを	要する	は英吉利法で御坐りませう．併し私は英吉利
	要	061	10	に如何にも商業上其の他のことで至急を	要する	場合に於ては随分大いなる利益の有ることも
	要	061	14	日安居する人にして日々幾分かの運動を	要する	人の散歩するに方つて尚ほ人力車を用るあり
ようせ	要	070	10	人以上多い所によつて見れば余程の数を	要せ	ねばなりませぬ．然るに前陳の如く僅で御坐い
ようてん	要	103	01	さねばならぬ．即ち私が示したる二個の	要点	に非常の改良を加へねばなりませぬ．然らば如
	要	180	17	御座りません．只私は是より其の二三の	要点	を挙げて婦人矯風会員方の御参考に供へやうと
ようねん	幼	263	17	は不良の少年を教育感化し，また無籍の	幼年	者を教育感化し，また幼年犯罪者を教育感化い
	幼	264	01	に家族法と称する方法を用ひます．則ち	幼年	者を数組に分ち，長幼の別を正しくし以て教育
	幼	266	04	で有りまして此の所に於ては放恣不良の	幼年	者を感化し以て犯罪の予防をすることで有りま
	幼	269	09	る．さて，只今申した八千四百十四人の	幼年	者の罪質を区別して見ますると謀殺，故殺，放
	幼	251	17	者は已むを得ず之を罰します．此の者を	幼年	囚と申します．此の二つの外に，まだ罪人とは
	幼	253	07	て出願懲治者の部，不論罪懲治者の部，	幼年	囚の部と致して之に教育，教誨，懲戒の三事を
	幼	258	11	治者，其の二は不論罪懲治者，其の三は	幼年	囚，其の四は徘徊する所の不良少年で有ります
	幼	275	02	参りませぬ．また其の次に重もなる者は	幼年	囚，及び不良少年の教育，並びに保護でありま
	幼	275	03	進歩いたしました．殊にアメリカにては	幼年	囚，及び不良少年の教育，並びに保護は実に盛
	幼	275	13	御坐いませぬ．また近頃は感化事業即ち	幼年	囚，及び不論罪懲治者，並びに出願懲治者の教
	幼	107	14	つて罪ではあるが罰しないもので例へば	幼年	の者が弁別なしに人を殺すなどの類であります
	幼	263	17	，また無籍の幼年者を教育感化し，また	幼年	犯罪者を教育感化いたしまするところで有りま
	幼	264	06	＊感化部と申しまして，此の部に於ては	幼年	犯罪者を除いて其の他の総ての犯罪人を懲必＊
	幼	266	06	所は懲治場で有りまして此の所に於ては	幼年	犯罪者を入れまする．其の方法は最初は分房法
ようやく	漸	133	08	モロコシに面白いことが御坐りました．	漸く	昨日新聞紙で読んだことで御坐ります．一人の
	漸	063	16	奔走し昼は炎天にさらし夜は湿気に触れ	漸く	提灯を股に挟んでウタゝネし時ならざるに食ひ
	漸	097	04	居つたが此の頃或る新聞社の人の発起で	漸く	水潜り器械で探すことになつたといふことであ
	漸	228	09	ニテーと云ふことは有りませんでした．	漸く	明治の四年頃になりまして日本全国を一定する
	漸	124	09	存じまする．凡そ卒業生といふものは今	漸く	世に出まして善く励んで基督教をのべ伝へるう
	漸	127	01	ものは大抵皆な専門家で御坐ります．今	漸く	世に出て来た所の卒業生が容易に之に勝つこと
ようよう	漸	187	07	らば，これより我が邦にもキリスト教が	漸々	行はれんとする時に当つて日本の婦人方もマリ

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ようよう）	漸	236	07	とで有つた．尤も其れより追々に開けて	漸々	と学び易くはなつたなれども，しかし御一新頃
	漸	038	08	自然に有るものでは無くして人間社会に	漸々	に生し来り漸々に進化したるものぢゃと云ふ．
	漸	038	08	では無くして人間社会に漸々に生し来り	漸々	に進化したるものぢゃと云ふ．其の証拠には道
	漸	038	11	善悪邪正も知らぬが智慧が開けて来ると	漸々	に其れを知る様になると云ふなれども近頃の説
	漸	038	17	た維持と進歩とを営むの術を得たものは	漸々	に栄え其れが出来ぬ社会は亡びたであらう．今
	漸	041	03	ものを野蛮の人は知らぬが開けて来ると	漸々	に其れを知る様になる」と云ふ理屈は立たなく
	漸	048	13	ばならぬと云ふことも無く彼我の差別も	漸々	に薄くなりて来て，そこで道徳も大いに行はれ
ようよう	要	070	08	して宇漏生と日本との人口を比較するが	要用	で御坐いますが宇漏生の人口は二千七百二十七
	要	148	17	のでは無いからソコに気を付けなければ	要用	な調べも出来ませぬ．また年齢のことにしまし
	要	149	10	チック家は行政法を知つて居らなければ	要用	なる調べは出来ず，また行政法を知るには是非
ようろっぱ	欧	164	04	支那政府の命令を承け学事視察の為めに	欧羅巴	亜米利加を巡回し支那へ帰つて作つた書物で
	欧	083	04	無かつた故に遂にまた衰へました．今日	欧羅巴	各国の中で至つて弱い国はイスパニヤとポル
	欧	084	14	すならば勿論御維新の頃に当りませう．	欧羅巴	各国において箇様な種々の進歩が御坐りまし
	欧	180	01	ますまい．彼のジョン，ハワルドをして	欧羅巴	諸国の監獄改良のために甘じて一身を犠牲に
	欧	047	11	の時こそ其の事を歎息すべきことぢゃ．	欧羅巴	人が亜米利加の土人を逐ひまくりて其の土地
	欧	042	15	は法律でゆく様になりた．それから後，	欧羅巴	では政治上のことに至りては道徳の筋は用ひ
	欧	084	09	ものでは御坐りませぬ．たとへば或る時	欧羅巴	で不意に商法が盛んになつた頃が御坐りまし
	欧	044	17	らぬと云ふことも矢張り今の文明と云ふ	欧羅巴	でも実際に十分行はれて居らぬ．啻に道徳が
	欧	041	15	く違ふて居るし又開けて来た後でも今の	欧羅巴	と支那とは大いに違ふて居る．諸君も知らる
	欧	083	02	ことは諸君皆な御存じで御坐りませう．	欧羅巴	中古の例を申しますならばイスパニヤとポル
	欧	169	11	るやうに見えます．亜米利加に行く者と	欧羅巴	に行く者との人数，年齢，職業などを書いた
	欧	169	13	りませぬが先づ亜米利加に行く者の方が	欧羅巴	に行く者よりは多いに違ひありますまい．我
	欧	169	14	は多いに違ひありますまい．′我が国人の	欧羅巴	に行くのと亜米利加に行くのとは其の目的が
	欧	169	15	其の目的が違つて居るやうに見えます．	欧羅巴	に行く者の方は学術研究の為めで官費を仰ぐ
	欧	171	01	仕事をする者も上手になつて居ますから	欧羅巴	に行つて衣食をなして富を求めやうといふこ
	欧	171	04	らうと思ひます．迚も何十万といふ人を	欧羅巴	に移住して仕事を取り金を取るといふことは
	欧	048	06	り又今日の官報に出て居た様に日本でも	欧羅巴	のメートル条約に加入したが又子午線のこと
	欧	058	01	ロミが無いと脳髄に這入りませぬ．彼の	欧羅巴	の学者スペンサーが曾て申しましたに「何で
	欧	159	07	其れを三聖と言ひましたが其の時分には	欧羅巴	の教法は渡りませんから老子と孔子と釈迦を
	欧	193	10	いから明治以後は極新しいことであり，	欧羅巴	の新主義をもつて来て採用するやうに見えま
	欧	170	17	つて行くものではありませぬ．其れでは	欧羅巴	はドウだらう．欧羅巴は人民が多くなつて土
	欧	170	17	ませぬ．其れでは欧羅巴はドウだらう．	欧羅巴	は人民が多くなつて土地が狭い位で向ふでも
	欧	012	11	ことは御話し申しませぬ．「亜細亜から	欧羅巴	へはドウ往く」「日本から亜米利加へ往くに
	欧	170	05	あります．これに就いて考へると官費で	欧羅巴	へ行く者の方は金も千両なら千両揃へて持つ
	欧	170	06	加へ行く者の方はさうでありますまい．	欧羅巴	へ行く者の方は富貴の財で行き亜米利加へ行
よかつ	善	241	05	も私の巡閲したる途中で福島県の道路が	善かつ	たとか，宮城県の旅宿の取扱が丁寧で有つた
よから	よ	005	14	鎗長刀を持つて西洋人とイクサをするが	よから	う．漢字と西洋字と競争が出来る訳なら鎗や
	よ	145	07	定の上で之を出版せしめ続々売り出すが	よから	う．其の中には段々小説の真面目を顕はす様
	よ	171	06	研究したり移住を為したりするはドコが	よから	うといふに北亜米利加合衆国だらうと思ひま
	よ	172	15	コッチにもあるから先づ五分五分と見て	よから	う．前に申した箇条箇条がタシカで間違ひが
	よ	250	16	を致しまする．其れに此の罪人は二年で	よから	う，また三年でよからう或は十年でよからう
	よ	250	16	此の罪人は二年でよからう，また三年で	よから	う或は十年でよからうと云ふやうに，きめま
	よ	250	17	からう，また三年でよからう或は十年で	よから	うと云ふやうに，きめまするのは裁判官で御
よき	よ	177	16	もあらん．若し是れ等の人ありとせば，	よき	例あり．昔アリスメデスが入浴の内より俄かに
よき	善	134	04	が仰せられまするに「爾等，世に在りて	善き	行ひを為すべし，これ爾等を誹りて悪を行ふも
	善	134	05	を行ふものと言へる世の人をして爾等の	善き	行ひを見て神を崇めしめむ為めなり」また耶蘇
	善	134	09	等の光りを耀かせ，さすれば人々爾等の	善き	行ひを見て天に在す爾等の父を崇むべし」と．
	善	085	15	と．また一つは人が既に持つて居る所の	善き	事柄の上に色々と他の善きモノゴトを添へ加へ
	善	134	07	」と仰せられました．または「悪き木は	善き	実を結ぶこと能はず」などと仰せられましたこ
	善	085	13	何れの人にでも現に成り立つて居る所の	善き	性質また人の得益になる原素，人を貴くするも
	善	086	03	は何で御坐りませうか，また，これ等の	善き	性質，人の益になる原素，人を貴くする所のも
	善	087	09	なりと云ふ返答が出来まする．また人の	善き	性質，人の益になる原素，人を貴くするモノゴ
	善	080	13	．また一つには現に成り立つて居る人の	善き	所，人の益になる所人の品位を上げる所のもの
	善	080	15	一つには現に成り立つて居る人の種々の	善き	所に加へて人を貴くし，また人を活発にする新
	善	082	04	其の通りで御坐ります．これ等皆な至極	善き	もの至極有益なるもので御坐りますけれども進
	善	138	15	御坐ります．また西洋の著作中にも其の	善き	ものは之を見て自ら反省することもあれば随つ
	善	085	15	つて居る所の善き事柄の上に色々と他の	善き	モノゴトを添へ加へること．此の三つで御坐り
よき	良	061	04	ぶと同じことで，たゞチョット見つきの	良き	ものを悦ぶのみで衛生上のことなどは夢にも考
よぎ	余	040	13	会を維持して参りたのぢゃ．これは実に	余儀	ないことで維持と進歩とを謀りてゆくには必要
よく	よ	035	10	付て近頃ヒロソヒーが亨二に教へました	よく	当る詞が有ります．あなた方は何とお思ひなさ
	よ	206	03	せん．其れならば精円かと云ふに精円で	よく	合ひました．精円ならば是非戻つて来る．其れ
	よ	117	15	全く酒を禁じたらば却つて身体の為めに	よく	有るまいと思ひます．昔から禁酒をしたり，ま
	よ	125	14	どに本づいたもので御坐ります．書生が	よく	言ふＳｐｅｎｃｅｒ氏が何々と仰せられました

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（よく）	よ	247	17	しなければならぬ」と云ふやうなことを	よく	教ゆる法で有りまする．此の教誨法が有るので
	よ	035	01	も酒を慎んで欲の深い人で今日の行ひを	よく	省みて智慧を研き身体を丈夫にし財を惜む欲の
	よ	020	01	までお話ししました星の中で一番我々の	よく	観測の出来ます星は火星即ち螢＊惑星で有りま
	よ	036	05	調子が合ふから人が聞いても感じまして	よく	聞えますが「大いなる社会は大いなる酒好き」
	よ	255	16	ますまい．よつて獄吏は此の趣意を最も	よく	心に銘して監獄の賤しからざることを知り，監
	よ	126	06	に多う御坐りますれば卒業生はドウして	よく	之に答へることが出きませうか．箇様なお方に
	よ	166	10	々開け行くこととなつて人間世界を調子	よく	今日まで開いて参りました．昔の学風といふも
	よ	132	01	よく謹んで無証拠な設理を避けて学術の	よく	定まつた事実を斯の如くに用ふるならば，この
	よ	115	10	は外でも無い，人類といふものは品行を	よく	しなければ，ならないといふことで有ります．
	よ	115	13	に，しなければならないけれども品行を	よく	したいと思つても酒を飲むと，やゝもすれば酒
	よ	035	07	は所謂る智慧が徳利の中にはいるのと，	よく	事実に合ふことで有りませう．それで酒を飲む
	よ	121	03	盲人に七色の色を見せる様なものだから	よく	事実を挙げて見せた方が宜からうと思はれます
	よ	121	08	．何でも論ばかりではいけませぬから，	よく	事実を穿鑿したらば弥々節酒の効能も起らうか
	よ	173	02	なり法律には無いが田舎の隅のものまで	よく	知つて居て恩を知らぬものを「恩しらず」だと
	よ	131	14	善い仕方が御坐ります．卒業生が学術の	よく	シッカリした事実を取つて而して之を以て其の
	よ	125	17	れ等の色々の不承知を言ふお方の中に，	よく	熟したる学者も御坐りませう．けれども，こゝ
	よ	127	09	業生が其の未熟な論を以て彼の専門家の	よく	熟したる論を駁つと云ふことは迚も出来ぬこと
	よ	127	10	に先づ用心する方が宜しう御坐ります．	よく	熟した学者また熟練した理論者にあらざれば西
	よ	119	11	く飲んでは宜しく無いと云ふことは誰も	よく	承知して居ることで有りませう．酒の害が世界
	よ	127	14	た前に申した仕方の間違つて居ることを	よく	承知して学者が世に出す所の色々の新らしい説
	よ	018	01	ものは非常に明るい非常に熱いもので，	よく	調べて見ますと凡そ地球の上にあらゆる光りと
	よ	029	03	か分らない様ですが肉眼では見えないが	よく	調べると何かのグルリを回つて居る様に見ゆる
	よ	020	08	文学者が知つて居るものの中で月が一番	よく	知れ其の次ぎは火星で有ります．さて火星の表
	よ	029	17	無い．其れも昔は銀河はどんなものだか	よく	知れなかつたですが望遠鏡で見ますとアマノガ
	よ	203	02	ｌｅｙの時までは知れなんだのが今度は	よく	知れて，どの位な作用が起るかとＰｏｎｔéｃ
	よ	163	15	酒の為めに物事に失敗するといふことも	よく	知れる．」また駿河の今川は歌舞を好み相摸の
	よ	171	03	思はれます．たとひ出かけて行つても，	よく	新聞紙などに書いてある日本村落とかいふもの
	よ	249	06	なりまする．また，裁判と監獄が何ほど	よく	整頓しましても警察が悪いとムヤミに誰でも拘
	よ	249	09	察と裁判と監獄とは相鼎立して三つ共に	よく	整頓しなければならないもので有りまする．こ
	よ	020	07	トモに受けて満月の様に見ゆるので余程	よく	其の表面を観測することが出来る．天文学者が
	よ	125	09	ので有りませうか．傍聴人の耳を塞ぎ，	よく	其の心を奪ふものは何で御坐りませうか．今之
	よ	232	02	．之に付ては府県会規則にありまして，	よく	其の文言を諳んじて居ませぬが府県知事は府県
	よ	128	08	宜しう御坐りませう．即ち各国の学者皆	よく	互に同意して近来の色々の新論を承知するまで
	よ	036	10	いふのでは無い，エコノミーの大主義で	よく	ためて，よくつかふが宜う御坐ります，これは
	よ	017	02	見ると我々の家来の月は形から大きさも	よく	地球に似たもので有りますが其の表面に我々の
	よ	036	10	い，エコノミーの大主義でよくためて，	よく	つかふが宜う御坐ります，これは誰もトガメテ
	よ	132	01	を用ふるもので御坐ります．卒業生若し	よく	謹んで無証拠な設理を避けて学術のよく定まつ
	よ	131	05	ば学術に本づいたる反対論に答ふるに，	よく	適当したる仕方は如何なるもので御坐りませう
	よ	116	06	うになり随つて身体も健康になり品行も	よく	なるに違ひ無い．私も昨年から此の会にはいつ
	よ	014	11	に円い，其れに谷だの山だのが有る処が	よく	似て居る，其れでは大きさはどの位だらうと云
	よ	200	05	道がＨａｌｌｅｙの勘定した彗星のに，	よく	似て居りました．其れで，これは先に現はれた
	よ	172	08	となつたと，いふことは風聞ですから，	よく	は存じませぬ．また北亜米利加は我が国産の第
	よ	163	02	が才気は充分に有つた人で随分場所柄も	よく	兵威も益々盛んになつたから明智光秀に弑され
	よ	195	06	に当つて出ましたので，ドコの国からも	よく	見えました．当時私はこゝからチト遠方のアメ
	よ	026	08	ぬ．箇様に遠くに居ながら，あの通りに	よく	見ゆるからしては余程明るいもので，あんなに
	よ	081	17	歩製造の進歩経済の進歩学術の進歩等と	よく	申すで御坐りませう．併しながら商法の進歩と
	よ	125	07	いと思ふ所で御坐ります．されば今頃，	よく	若い伝道師を困らせるものは何で御坐りませう
	よ	101	12	するの覚悟なきことは二十余年の変遷で	よく	分つて居ります．西洋各国の歴史を見まするに
	よ	167	07	宇川さんの「離縁の話し」なども，まだ	よく	分らぬことだが段々気が付て来たから，おつつ
	よ	012	07	す．追々お話しします中に問題の趣意も	よく	分りませう．話しをあとに戻しまして日本は亜
	よ	035	08	それで酒を飲む者は無欲だといふことが	よく	分りませう．己れの大切なる智慧までも徳利の
	よ	167	01	し之をこはしてケミストリーで見ると，	よく	分りませう．見たばかりでは事実も道理も分り
	よ	170	09	国の大勢に関係することで後日に至つて	よく	分りませうと思はれます．さて日本人が一たび
	よ	170	16	オースタラリヤに行かうか，どんな所か	よく	分りませぬ．一人や二人が知つたからといつて
	よ	172	11	大得意先きで，これは貿易表を見ると，	よく	分ります．たゞ北亜米利加人が我が金銀貨の価
	よ	015	12	だと言へば，どの位の長さと云ふことが	よく	分る，けれどもちつと長いものになりますと，
	よ	113	10	ねばならぬことぢゃといふことは誰にも	よく	分ることで，ありませう．併しながら飲食とい
	よ	173	11	はバタでも付いて居るやうで口へ通りも	よく	，滋養もありさうな心持ちがします．諸君はド
	よ	126	13	と思ふもので御坐ります．箇様な豪傑は	よく	「我が思ふには」「我がミコミに拠れば」など
よく	善	241	02	ふことが出来まいとも申されませぬから	善く	言ふも悪く言ふもナカナカ軽忽には言はれませ
	善	134	10	．この言葉は人々皆承知する所の道理に	善く	適ひたるものでは御坐りませぬか．原因と結果
	善	004	03	い．こちらで出来ないものを，あちらで	善く	拵へたり，こちらより上手に拵へたり．厭い物
	善	059	07	海軍で兵士の食物を改良し空気の通暢を	善く	し衛生に注意せらるゝので兵士の病気が減じた

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（よく）	善	115	17	といふことで第二の欲は今言つた品行を	善く	しようと，いふ欲で有りますが，ドウゾこの人
	善	080	07	く進歩するならば其の全体の社会が必ず	善く	進歩してゆく筈で御坐ります．一個人たるもの
	善	250	07	丁年者は則ち良民と唱へまして，終りを	善く	する者は死亡するまで良民を以て終わりまする
	善	069	14	修むる様にせよ，父兄たる者子弟たる者	善く	注意をせよ」と云ふ忠告を致しました．斯の如
	善	005	10	か知らぬが破裂丸を善く投げたり電気を	善く	使ふ奴が多くなればクルベー如きが，いくらク
	善	039	14	様になるから其れ故，殺さぬのは却りて	善く	ないことの様になりて居るのぢゃ．昔羅馬の初
	善	005	09	る奴だか書けぬ奴だか知らぬが破裂丸を	善く	投げたり電気を善く使ふ奴が多くなればクルベ
	善	114	16	ういふものを食へば身体が悪くなるとか	善く	なるとか，いふやうなことは犬猫には分らない
	善	163	17	だが酒を嗜んで昼夜酣飲して，おまけに	善く	飲む者があれば卑賤から取り立てゝ酒を飲む相
	善	124	09	卒業生といふものは今漸く世に出まして	善く	励んで基督教をのべ伝へるうちに必ず二た通り
よく	能	218	17	りはつたりのことは夢にも無い．しかし	能く	味つて見ると，云ふに云はれない面白みの有る
	能	088	05	す．これ等も亦基督教の緊要なることを	能く	顕はす故に其の中の重もなる所を申しませう．
	能	146	02	が有るかと言ふと随分利益も有る．また	能く	売れます．千部売れゝば大いなることは無けれ
	能	092	12	高尚なる教を心に得て身に行ふに由つて	能く	己れを進歩させる時は兼ねてまた貴国の社会を
	能	058	02	が曾て申しましたに「何でも総ての事を	能く	覚え能く忘れずに保存するにはオモシロミが大
	能	081	06	坐ります．若し其の内部の性質が何れも	能く	完全して居るならば外部の有様は自らにして完
	能	081	08	の賑かなること人の快楽を助けるもののの	能く	完全したこと商法と製造の隆盛なること国家の
	能	090	02	より貴いものが御坐りませぬ．基督教を	能く	心得たる人には目的が無く己れの貴いゆくさき
	能	214	14	と云ふものは天下の真の象と真の理とを	能く	探り得る美術てあつて，かの高尚な哲学の及ば
	能	084	16	の国においても其の総体の進歩は速力の	能く	定まつたもので御坐りませぬ．世の種々の国の
	能	184	12	我が邦に於て離縁の造作ないことは誰も	能く	知つて居ることで心ある者の常に憂へ且恥る所
	能	065	08	の方寸にあることです．先覚者たる者は	能く	事物の是非を淘汰し健康に害あるものは速に之
	能	088	07	なること不完全なること劣つたることを	能く	承知して居なければなりませぬ．若し自分が充
	能	088	17	歩しやうとするならば己れの不足な所を	能く	承知しなければなりませぬ．併しながら人の本
	能	080	07	まれたる一個人たるものが皆んな銘々に	能く	進歩するならば其の全体の社会が必ず善く進歩
	能	084	12	に当ります．また或る時は政治のことが	能く	進歩したことが御坐りました．これ則ち千六百
	能	089	08	せぬ．然らざれば己れが賤きを知つても	能く	進歩することは出来ませぬ．併しながら人の心
	能	083	10	仏国に於て学術美術新発明商法など誠に	能く	進んで居りますが道徳の進歩充分で有りませぬ
	能	162	09	て曰く農民は平日土物を愛し耕作を勤め	能く	其の父兄に事へ商賈は車牛を牽て遠きに往き其
	能	189	01	は必ず分けて御坐います．古代のことは	能く	存じませぬが神代の頃に八百万の神が集まつて
	能	090	15	ぬ．この浮世の荒野の中で基督の足跡を	能く	尋ね而して己れの足を之に合はして世渡りする
	能	216	12	，これなどは後世の子供だましの話しに	能く	似て居ります．尤も此のやうなことは支那の昔
	能	247	06	に向つては其の悪いと云ふことの理由を	能く	述べませぬと到底，其の心は改まることは出来
	能	081	16	無く其の種類多く御坐ります．たとへば	能く	人が智慧の進歩商法の進歩製造の進歩経済の進
	能	083	06	諸君御案内の通り支那では昔より儒学が	能く	開けて居りました．支那人決して愚人では御坐
	能	092	08	坐ります．「ある花園に咲いて居る花が	能く	勉強して自らを飾りながら思はず知らず自然と
	能	209	04	るなら宜う御坐りますが小さな星までも	能く	見えます．頭の所はドウで有るかと云ひますに
	能	085	14	の得益になる原素，人を貴くするものを	能く	養ひて盛んにすること．また一つは人が既に持
	能	080	14	益になる所人の品位を上げる所のものを	能く	養ふて盛んにするの仕方．また一つには現に成
	能	084	07	までの里数と一昼夜に船のはしる里数が	能く	分つて居り且蒸汽船が横浜をたつた日どりと時
	能	217	12	語で，此の作者は源の順だと云ひますが	能く	分りませぬ．物語に俊蔭の巻とか吹上の巻とか
	能	114	11	ウすれば身体の害にならぬといふことは	能く	分る．さて，かうすれば命に利が有る，かうす
	能	058	02	しましたに「何でも総ての事を能く覚え	能く	忘れずに保存するにはオモシロミが大切だ」と
よく	欲	113	13	だが其の必要なもので有るだけに，また	欲	が熾んに有るから之を節するのは甚だむつかしい
	欲	115	17	ふ欲で有りますが，ドウゾこの人類的の	欲	が動物的の欲即ち飲食の欲に勝つやうにしたいも
	欲	117	03	で節酒会といふものが出来て一つの高い	欲	が殖えて来た訳だから自分一人で節して居る時よ
	欲	117	07	有つてお互ひに約束した上に，この貴い	欲	が殖えて来てからは其れが為めに自然と低い飲食
	欲	115	17	すが，ドウゾこの人類的の欲が動物的の	欲	即ち飲食の欲に勝つやうにしたいもので有ります
	欲	116	17	破らぬといふことはヤッパリ人類の高い	欲	だからドウか約束を破らぬやうにしたい．ドウゾ
	欲	115	01	命の惜いといふ欲は飲食の欲よりも貴い	欲	で有ります．一体，人類といふものは低い欲より
	欲	115	15	るものだから，これが人類の第二の高い	欲	で有る．人類の第一の欲は前に言つた通り身命の
	欲	115	17	欲は今言つた品行を善くしようと，いふ	欲	で有りますが，ドウゾこの人類的の欲が動物的の
	欲	117	02	うにしたいといふは即ち人類的の上等の	欲	で，そこで節酒会といふものが出来て一つの高い
	欲	117	06	つては済まないといふのが人類的の貴い	欲	で有ります．此の会が有つてお互ひに約束した上
	欲	114	13	から，この命を惜しがる欲をば人類的の	欲	と言つて，飲食の欲の方は他の動物にも人類にも
	欲	114	14	物にも人類にも通じて有るから動物的の	欲	と言ふぢゃ．今，犬猫に向つて棒をふり上ぐれば
	欲	115	04	無い．其れだから人類的の欲を動物的の	欲	に勝たせなければならない．さて命が大切だと知
	欲	115	12	行の悪くなるを惜むといふは至つて高い	欲	に違ひは無いから其の高い欲を下等の欲に勝たす
	欲	115	12	欲に違ひは無いから其の高い欲を下等の	欲	に勝たするやうに，しなければならないけれども
	欲	116	01	この人類的の欲が動物的の欲即ち飲食の	欲	に勝つやうにしたいもので有ります．併し理屈づ
	欲	116	03	出来ないといふは実に全く低い動物的の	欲	に勝たれるからのことで，さういふことを矯むる
	欲	117	16	また願酒とて神様に祈らなければ下等の	欲	に打ち勝たれないといふやうな人が有ることぢゃ
	欲	034	17	大事業を仕遂げた人は何れも酒を慎んで	欲	の深い人で今日の行ひをよく省みて智慧を研き身

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（よく）	欲	035	01	みて智慧を研き身体を丈夫にし財を惜む	欲の深い人だと思はれます．小欲の人は酒を飲むこ
	欲	036	08	白いことです．どうか此の会も大いなる	欲の仲間にはいつて段々諸君のお力を以て益々盛大
	欲	114	13	がる欲をば人類的の欲と言つて，飲食の	欲の方は他の動物にも人類にも通じて有るから動物
	欲	115	02	体，人類といふものは低い欲よりは高い	欲の方を勝たせなければ人類たる甲斐はない．而し
	欲	115	03	ば人類たる甲斐はない．而して動物的の	欲の方は熾んなれども其の品等を言へば至つて低い
	欲	115	06	なければならないのにヤッパリ動物的の	欲の方が勝つて居て食ひ過ぎたり飲み過ぎたりする
	欲	035	12	「大いなる社会は大いなる欲，大いなる	欲は大いなる社会」といふことで即ち「グレートソ
	欲	036	01	「大いなる社会は大いなる欲，大いなる	欲は大いなる社会」と言ひますが若し「大いなる社
	欲	114	05	のものを食して腹が満つれば其の上には	欲は無いが人類は人類の手で食物をこしらふると，
	欲	115	01	，よいもので，さて其の命の惜いといふ	欲は飲食の欲よりも貴い欲で有ります．一体，人類
	欲	115	15	甲斐はあるまい．さて品行を惜むといふ	欲は人類ばかりに有るものだから，これが人類の第
	欲	115	16	類の第二の高い欲で有る．人類の第一の	欲は前に言つた通り身命の惜いといふことで第二の
	欲	115	16	つた通り身命の惜いといふことで第二の	欲は今言つた品行を善くしようと，いふ欲で有りま
	欲	054	11	其の外，天文，地理，本草，地質もつと	欲深く鉱物の学問，機械の学問，蒸気の学問，電信
	欲	114	06	結構なものが出来ると其れだけに飲食の	欲も他の動物より熾んになるのに其れを節すること
	欲	115	01	で，さて其の命の惜いといふ欲は飲食の	欲よりも貴い欲で有ります．一体，人類といふもの
	欲	115	02	有ります．一体，人類といふものは低い	欲よりは高い欲の方を勝たせなければ人類たる甲斐
	欲	067	14	．併しながら我々は隴を得て蜀を望むの	欲を抛つことが出来ませぬから諸君も今日の卒業を
	欲	113	01	からむことを熱望いたします．人類的の	欲をして動物的の欲を制せしむべし明治十八年六月
	欲	113	01	いたします．人類的の欲をして動物的の	欲を制せしむべし明治十八年六月二十七日大日本節
	欲	115	04	ものに違ひは無い．其れだから人類的の	欲を動物的の欲に勝たせなければならない．さて命
	欲	115	05	ならば命を長くするやうにして人類的の	欲を重んじなければならないのにヤッパリ動物的の
	欲	115	12	至つて高い欲に違ひは無いから其の高い	欲を下等の欲に勝たするやうに，しなければならな
	欲	117	07	めに自然と低い飲食の欲，即ち動物的の	欲を節することが出来ませう．其れでこそ此の会が
	欲	114	13	居るので其れだから，この命を惜しがる	欲をば人類的の欲と言つて，飲食の欲の方は他の動
	欲	035	12	ことでも無い「大いなる社会は大いなる	欲，大いなる欲は大いなる社会」といふことで即ち
	欲	036	01	ロソヒーでは「大いなる社会は大いなる	欲，大いなる欲は大いなる社会」と言ひますが若し
	欲	117	07	てからは其れが為めに自然と低い飲食の	欲，即ち動物的の欲を節することが出来ませう．其
	欲	036	07	せう．諸君は「大いなる社会は大いなる	欲」といふ方に御賛成の様に見ゆる，誠に面白いこ
よく	良	058	14	所が其の都府で下水を改良し水の通利を	良く してから其のチフス先生（先生ではない居候だ
よくじつ	翌	052	07	れをやられては困る．さて其の焼かれた	翌日 は新聞を読うと思つても新聞は無い，究理のこ
よくしん	欲	011	13	いもので其れから其れへと知りたいのは	欲心 で唯今久原君の講談にも有りました通り「砂糖
よくよく	よ	206	15	と今度は一つで子はつれて居りません，	よくよく 見るとヤハリ子も居るが大分，親とは離れ
よけい	余	004	12	つて居ることは日本人の上手な者よりは	余計 に知つて居るに違ひは無い．其れでもそんな目
	余	075	13	為めに希ふ所はＰｏｓｉｔｉｖｅの方が	余計 に出来てＮｅｇａｔｉｖｅの少ない方がよいと
	余	113	09	利も有り害も有るがドウ見ても害の方が	余計 に見ゆる．して見れば酒といふものは先づ悪い
	余	117	03	訳だから自分一人で節して居る時よりも	余計 に慎まなければならない．この位は飲み過ぎて
	余	122	09	者を調べたのには平常酒を多く飲む者が	余計 にコレラ病に罹つて死んだと云ふことで有りま
	余	247	08	ら早く死んだつて構ふことは無い，寧ろ	余計 に苦しめて彼奴を早く殺してしまふ方が刑の趣
	余	253	01	を要しまする．則ち監獄よりも教育だけ	余計 の用が有りまする．付てはこれ等の者の為めに
よげん	預	179	08	ザヤといふ預言者がキリストの御降臨を	預言 した語に「諸の谷は埋められ諸の岡は夷げられ
	預	179	08	さて紀元前およそ七百年頃イザヤといふ	預言 者がキリストの御降臨を預言した語に「諸の谷
	預	179	10	救をみん」とあり，またキリストも此の	預言 者の語を引て「我は貧しき者に福音を宣べ伝へ
よこ	横	052	08	でもモロコシの字を用ひたので無ければ	横 文字の書物より外は無いから英書か仏書の読める
よこかわ	横	239	08	上田追分等より有名なる碓氷峠を下りて	横川 に出で，其れより汽車に乗り八月二十八日の午
よこし	よ	164	05	作つた書物で其の人から私の所へ贈つて	よこし たが其の書物の中に酒のことに付て一つの話
よごし	よ	007	17	ば唐紙などはやぶるがよい．墨を付けて	よごし たものは，なほやぶるがよい．さればどうも
よこたはつ	横	065	10	．実に我が邦は内地雑居の大役が前途に	横たはつ て居るし，食物や家屋や人力車の濫用や丸
よこはま	横	084	06	に進み行く筈で御坐りませう．たとへば	横浜 から亜米利加のサンフランシスコまでの里数と
	横	110	16	ひ無きを得ませぬ．故に寧ろ其の管轄を	横浜 に移し以て世人の嫌疑を避くること英国政府の
	横	084	07	はしる里数が能く分つて居り且蒸汽船が	横浜 をたつた日どりと時間と知れてあつたならば向
よこみち	横	219	02	ませうか．さて，其れに付てチト話しが	横道 に入ります．其れは源氏物語の頃（一条天皇の
よさ	よ	200	10	な勘定をして其の軌道を調べなくても，	よさ さうなもんぢゃ」とおつしゃるに違ひ無い．如
	よ	219	07	娘が文を受け取つても親が不承知なら，	よさ せると云ふやうなことが有る．其れで妻は大か
よし	よ	058	09	一害で開化も亦開化の度に依つて種々の	よし あしが御坐います．試みに御覧なされ，私が今
	よ	008	17	もやらせるがよいが，むづかしい漢字は	よし て貰ひたい．そして傍ら仮名か羅馬字で綴つた
	よ	127	12	ませぬ．故に私もこの若い勇者の仕方を	よし とすることは出来ませぬ．第二．また或る説教
	よ	169	09	りませうが今日の題の外だから言ふのは	よし ませう．然るに此の両三年以来我が国の人心の
	よ	185	07	は三十位ある比例では有りますまいか．	よし や百に十の比例としても実に驚くべく憂ふべき
よし	善	088	01	ずして分らぬ御方は直に，この論じ方を	善し と致しませぬかも知らぬけれども，この御方若
よしあし	ヨ	219	04	めて公然と文をやり其の返書の体や歌の	ヨシアシ などを考へて気に入れば云ひより，また女
よしつね	義	220	05	曽我兄弟のことを書いた曽我物語だの，	義経 のことを書いた義経記などは事実よりも作り事
よしの	吉	145	12	たが演劇の作者が無い．尤も依田先生の	吉野 拾遺と云ふ作も有れど今の所ではこればかり．

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
よそ	余	i60	01	．カラダは土になるか灰になる外はなく	余所	へ行き天へ上りはしない．するとタマシヒのこ
よだ	依	145	12	金は集まつたが演劇の作者が無い．尤も	依田	先生の吉野拾遺と云ふ作も有れど今の所ではこ
よち	余	060	10	嫌ひ，田畑があつても耕すことを厭ひ，	余地	があつても桑を植ゑ蚕を養ふの利益をも考へず
	余	171	08	米利加合衆国は人がまだ多くなく，国に	余地	がある．また其の中にパナマの地峡でもスッカ
よっ	依	179	06	は最も親密な関係ある者で御坐ります．	依	て私はこれよりキリスト教と婦人の地位との関係
よっ	四	001	02	漢字やぶり明治十七年十一月	四	日仮名の会員の臨時懇親会東京芝公園地紅葉館に
	四	106	15	く所の法廷であります．想ふに去月二十	四	日の晩，彼の紀州大島沖に於て沈没しました彼の
よっ	由	077	05	へましても窃盗だとか詐偽取財だとかに	由	て其れを奪はれると矢張り己れの財産にはならな
	由	164	16	ふ莫し祇に徒手して帰るを得たり．此に	由	て之を観れば酒の事を誤るを見る可き也．我が日
よつ	よ	016	17	く少し位は有るかも知れませぬから事に	よつ	たら下等の動物位は居るかも知れませぬ．けれ
	よ	021	17	面の上には無いかも知れない．併し事に	よつ	たら火星の住民はズット野蛮で有るかも知れま
	よ	199	13	の軌道も抛物線のやうには見ゆるが事に	よつ	たら楕円の長いのでは無からうかと云ふ考へが
	よ	026	10	が分つて参ります．現に此の割り合ひに	よつ	て見ますと我々に見ゆる星は中には太陽よりは
	よ	034	08	ふものは皆このシビリザションの道理に	よつ	て分るもので有ります．然る他にかのナルコチ
	よ	067	11	る尽力と又諸君が多年の刻苦と勉強とに	よつ	て得られたる栄誉は只今この満場に於て喝采を
	よ	068	01	於て裁判官及び代言人は如何なる順序に	よつ	て如何なる資格を有するや又其の員数は如何，
	よ	070	10	統計により日本では千万人以上多い所に	よつ	て見れば余程の数を要せねばなりませぬ．然る
	よ	076	16	表の様に離れないもので有るから場合に	よつ	てハッキリとして限界の立てらるゝことも御坐
	よ	083	05	とポルトガルで御坐ります．また地理に	よつ	て諸君に近い国の例を申しますならば隣りの支
	よ	109	17	き事実が有る．只今申した数多の事実に	よつ	て考へて見れば日本人はミスミス溺れることを
	よ	117	12	人によりては酒の分量といふものは人に	よつ	て違ふ故に節酒と言つても其の程が分らないか
	よ	124	12	ナゼといふに使徒Ｐａｕｒｏの御言葉に	よつ	て見れば伝道の為めに働く者は皆，神と共に働
	よ	126	02	御坐ります．近来の学術と云ふ貴い名に	よつ	て基督教を破らむとする者の中には一向学術を
	よ	129	03	不意に起つて来る所の色々の新しき論に	よつ	て容易に惑はされませぬ．君子はシッカリした
	よ	129	13	は遂にドウなりませうか，斯の如き論に	よつ	て基督教が遂に滅びてしまふのでは有るまいか
	よ	130	11	論または設理，或は一人か二人の量見に	よつ	て滅びてしまふと云ふことは決して御坐りませ
	よ	130	17	大空が人の色々の新論，新説，新発明に	よつ	て容易に変ることは致しませぬ．また人間の心
	よ	131	01	所の道徳の法も人の色々の浅ましい論に	よつ	て容易に変るものでは無い．ドチラも神の変る
	よ	134	06	ことが御坐ります「人の善悪は其の実に	よつ	て之を知るべし」と仰せられました．または「
	よ	166	09	機械学，数学などの色々の学科の助けに	よつ	て世の中も益々開け行くこととなつて人間世界
	よ	173	14	と人の移住の権利といふものがあるとに	よつ	て其れならといつて止めることが出来ませぬ．
	よ	175	17	なり商売も上手になり運動も自在なのに	よつ	て今日の英国を為した訳であらうと思はれます
	よ	196	12	つても知つた積りで「朝，太陽が出たに	よつ	て今日は何事か有りはしないか，日がひつこん
	よ	196	13	風が吹きはしないか，宵の明星が出たに	よつ	て饑饉でも有りはしないか」などと思ふ人は一
	よ	200	15	正体を見顕はさうと思へば必ず其の道に	よつ	て考へて来なければいけません．随分厄介なも
	よ	202	05	とを勘定する式を与へました．其の式に	よつ	て勘定を仕出さうと云ふに随分大変な仕事でフ
	よ	210	14	て居るものですから．学者は各々持論に	よつ	て色々なことを言ひ「彗星が地球に突き当たつ
	よ	211	10	其の外のアタリハヅレを研究する学問に	よつ	て見ますと彗星の突き当る前には地球は老病で
	よ	219	05	り，また女の方でも男の文の体や風聞に	よつ	て，ゆかしくも，きらはしくも思ひ，また其の
	よ	240	09	ろで私に頼んで「何某の所に娘が有るに	よつ	て行つて見て来て貰ひたい」と云ふので私が其
	よ	253	06	ずる学理には一向，関係いたしませぬ．	よつ	て，この矯正院に於ては其の中の仕切りを三つ
	よ	259	13	であります．第三，救助の人数を時節に	よつ	て定限すること．これは濫りに誰でも来いと云
	よ	259	16	なければなりませぬ．尤も此の限り方に	よつ	ては時によつて変りますから時節によつて定限
	よ	259	16	ませぬ．尤も此の限り方によつては時に	よつ	て変りますから時節によつて定限すると云ふこ
	よ	259	16	よつては時によつて変りますから時節に	よつ	て定限すると云ふことに，きめたいもので有り
	よ	263	05	れとても年令，罪質，犯数，等の区別に	よつ	て其の雑居の分ちを為す位なもので有りまする
	よ	263	11	す．前に述べましたる四つの方法は国に	よつ	て其の用ひ方を異にして居りまするけれども皆
	よ	278	07	るから此の講談の範囲外でありまするに	よつ	て，こゝには申し述ることは出来ませぬ．前に
よつ	依	058	09	併し物は一利一害で開化も亦開化の度に	依つ	て種々のよしあしが御坐います．試みに御覧な
	依	107	12	正当に人を殺すこと或ひは上官の命令に	依つ	て人を殺すことなどであります．第二種をエキ
よつ	因	242	04	て貰ひたいと云ふお頼みが有りました．	因つ	て其の需に応じ八月二十日を以て副典獄，看守
	因	246	02	たから彼れは斯くの如き悪い事をした．	因つ	て牢屋に，はふりこんで早く殺してしまへと云
	因	246	07	実に万世不変の一大原則で有りまする．	因つ	て刑を適用すると云ふことは野蛮時代はイザ知
	因	268	05	すから自ら別の物になつて居りまする．	因つ	て軍事の監獄に関係しましたことは申し述べま
よつ	寄	191	03	あると論じましたが段々と種々の学者が	寄つ	て取り調べましたところがモンテスキューの言
	寄	193	16	い．斯の如くなければならぬのは人間が	寄つ	て国を為して居るといへば例へば家を建てて住
よつ	拠	217	15	だの普門品だのと云ふ品目を立てたのに	拠つ	たもので有りませう．其れは源氏物語の標目は
	拠	217	15	ませう．其れは源氏物語の標目は仏道に	拠つ	たと云ふ旧説の有るに倣つた私の臆測で御坐い
	拠	273	02	計局編纂の「日本帝国第五統計年鑑」に	拠つ	たものでありまする）府県監獄は百九十二箇所
	拠	109	16	では御坐りませぬか．また諸新聞紙等に	拠つ	て見ますと尚ほ一層怪しむべき事実が有る．只
よつ	由	064	03	ンのドクトルフュート氏は汽車の連乗に	由つ	て心臓の衰弱を起し婦人に在てはヒステリ症（
	由	064	07	のことでせうが是れ必竟努力疾行するに	由つ	て心臓病を発するが為めです．然るに如何なる
	由	081	10	もので御坐りませぬ．人の内部の進歩に	由つ	て自然に生ずる所の外部の結果で御坐ります．

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（よつ）	由	082	17	徳を知らず一体道に疎いものであつたに	由つ	てツマリ恥かしく衰徴いたしました．また其の
	由	083	08	を知らず道徳の進歩いたさずして居るに	由つ	て今日支那の全国中の有様は気の毒千万で御坐
	由	083	17	した通り進歩の中には種類がありますに	由つ	て社会の進歩と云ふものは常に一様に進んで行
	由	086	14	こと即ち基督教の必要はこれ等の質問に	由つ	て明らかになります．若し基督教に問ふならば
	由	087	17	りませぬ．其れ故にまた箇様な論じ方に	由つ	て見れば社会進歩の為め基督教の必要は必ず明
	由	090	03	りませぬ．知らぬことが御坐りませぬに	由つ	て進歩せぬと云ふことが御坐りませぬ．第四．
	由	092	01	坐りませぬ．今弁じた所の種々のことに	由つ	て見ればドコから見ても基督教は人間の完全な
	由	092	12	基督の高尚なる教を心に得て身に行ふに	由つ	て能く己れを進歩させる時は兼ねてまた貴国の
	由	276	13	害が起ることになりまする．何事にても	由つ	て起るところの原則が最も大事なるものであり
よっか	四	097	05	つたといふことでありますが先月の二十	四日	から今日まで，すておくとは随分長い話しでは
	四	226	02	た．行政法大意第三回明治二十年五月十	四日	スタチスチック社の定期講談会東京九段坂下靖
よつぎ	世	218	03	の作り物語が顕はれ後には栄花物語，続	世継	，水鏡などのやうな実事を書いたものにも巻々
よっつ	四	024	12	れにも眷属が沢山ありませうが天王星に	四つ	海王星に一つしか見えませぬ．太陽は親父で惑
	四	024	07	ました．次ぎに木星には月の様なものが	四つ	ついて居る．望遠鏡で木星を見ますとドンナけ
	四	024	09	四つの衛星が時としては玉を並べた様に	四つ	とも一直線に見えます．其の次ぎには土星これ
	四	028	09	と中には面白い星が有る，一つ二つ三つ	四つ	などとかたまつて居る星が有る．多くは散らば
	四	024	09	き形に見えます．此の筋と同じ向に彼の	四つ	の衛星が時としては玉を並べた様に四つとも一
	四	263	11	いかと考へられます．前に述べましたる	四つ	の方法は国によつて其の用ひ方を異にして居り
	四	263	12	ひ方を異にして居りまするけれども皆な	四つ	の中の一つを用ふるだけに止ります．さて，ま
よつて	よ	246	10	心を改良すると云ふ意味で御坐います．	よつて	監獄に於ては刑の執行を掌る即ち人心の改良
	よ	247	10	やうなことが起らないとも云へませぬ．	よつて	監獄に於ては二つの方法を以て人心の改良を
	よ	254	15	ものは容易ならざるもので御坐います．	よつて	監獄は決して賤しむべきものにあらずと申す
	よ	260	17	ふのを判断するのは容易いことで有る．	よつて	監督者が有れば一方にばかりしか銭を使ふと
	よ	249	08	ことは非常なることに立ち至りまする．	よつて	警察と裁判と監獄とは相鼎立して三つ共によ
	よ	255	16	云ふやうなことは決して有りますまい．	よつて	獄吏は此の趣意を最もよく心に銘して監獄の
	よ	226	10	規定すると云ふのが目的で御坐います．	よつて	此のことを講究しまするには先づ二部に分ち
	よ	261	07	なければなりませぬ次第で有りまする．	よつて	善良なる少年は学校の管轄と致し，不良なる
	よ	227	02	講究しなければならぬ次第になります．	よつて	第一部では両方一所に申し上げませう．先づ
	よ	259	14	訳になりまして甚だ不都合で有ります．	よつて	例へば東京の養育院ならば当分三百名とか二
	よ	241	02	言ふもナカナカ軽忽には言はれませぬ．	よつて	他人の為めに巡閲したることは善悪利害を問
	よ	232	05	ものは府県会に於て議決するを得ない．	よつて	中央政府の用では無い全く府県固有の用で有
	よ	257	15	との両性質を有するものも有りまする．	よつて	貧民救助の目的は次に述ぶる如くに定むべき
	よ	252	16	此奴には教育も与へなければならない．	よつて	未丁年の不良少年には教育を与へ教誨を施し
	よ	249	01	申すところに留め置くので有りまする．	よつて	未決者は至つて丁寧に取り扱はなければなり
よっぽど	ヨ	172	01	勧めて，くれなからうものなら日本人も	ヨッポド	阿片を飲むことになつて居ませう）外国の
よねはち	米	143	11	は人情本で有る，其の中でもよいと云ふ	米八	丹治郎の梅暦，小三金五郎の娘節用の如きもの
	米	143	13	之を擯斥する積りで有ります．たとへば	米八	丹治郎の本ならば之を見て男なら丹治郎になつ
	米	143	14	見て男なら丹治郎になつて見たい女なら	米八	になつて見たいと云ふ心が生じませう．然らば
よのなか	世	046	06	む限りは刑罰の無くなる時は無からう．	世の中	が開けて来ると黄金世界になるとか言ふ者も
	世	031	06	かたまりの様に見ゆるのも有り，又今日	世の中	にある極上の望遠鏡で見ても矢張り雲の様に
	世	060	06	つては休み，実にハヤ勝手至極な結構な	世の中	になりましたが併し私も絹衣を着し休日に休
	世	074	10	反して害を除く方で御坐んすが，これは	世の中	に快楽幸福が少なくて右に向いても左に向い
	世	079	10	．其の進歩すると云ふことは実にひろく	世の中	に行き渡つたもので，たゞ一個人にも御坐り
	世	098	06	ーヤが曾て申した言葉であります．さて	世の中	には随分おそろしいことが有りまするが彼の
	世	134	12	づ基督教は善の教で御坐りまする．即ち	世の中	に於て善の勢ひを以て総ての悪を止める為め
	世	137	05	はすは小説改良論で御坐りますが今日，	世の中	に改良と言ふことは甚だ流行いたしまして現
	世	168	16	に修繕を加へ改良をなして段々かういふ	世の中	にしましたが開化の勢ひが西から東に移つて
	世	079	07	先づ人間は進歩する動物で御坐ります．	世の中	の動物は数へも尽すことが出来ぬ程なれども
	世	131	12	が出来ませぬ．其の両方の論を読む者は	世の中	の色々の激しき論の為めに不安心なることは
	世	135	14	持つて而して聖書に説く所の高い所より	世の中	の有様を見れば天地の間の限り無き道理が実
	世	136	07	て申しまするならば人が下い所からして	世の中	の有様を見れば面白いことも少なく覚ること
	世	136	09	所からして憚りながら神の御眼を借りて	世の中	の有様を観れば面白いことは言はれぬ程にて
	世	166	09	，数学などの色々の学科の助けによつて	世の中	も益々開け行くこととなつて人間世界を調子
	世	119	12	が届いて西洋の学者などは其れが為めに	世の中	を救はうと云つて色々と骨折苦心をして居る
	世	007	04	て来て名筆を揮はれむことを請ふを競ふ	世の中	．なかなか漢字の貴いことを知つては居やう
よば	呼	214	03	従前小説家と云ふものは其の中で泰斗と	呼ば	れた馬琴や種彦でさへ傍ら狂歌師や川柳前句の
	呼	214	09	の俳優は誰も御存じの通り昔は河原者と	呼ば	れ穢多非人のやうに言ひ習はされ，天保年中の
よひ	酔	101	10	建制度を覆へし忽ちにして西洋の開化に	酔ひ	忽ちにして改良を主張し忽ちにして改革を計画
よび	呼	177	17	より俄かに飛びだして我れ之を発明すと	呼び	つゝシュラキセの市中をハダカにて，かけまは
よび	予	068	11	出来るものは年令満十八歳にして中学の	予備	科を卒業し其れより大学に入り三年間法律学科
	予	260	05	やうになりませう．第五，必需入額及び	予備	入額の備はりたる上は更に寄附を受けざること
	予	113	02	会の第一小集会東京神田区錦町東京大学	予備	門構内講義堂に於て加藤弘之君演説何でも物を
	予	119	02	会の第三小集会東京神田区錦町東京大学	予備	門構内講義室に於て杉亨二君演説今日は明治十

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（よび）	予	161	03	会の第二総集会東京神田区錦町東京大学	予備 門構内講義室に於て中村正直君演説酒といふも
	予	195	02	日理医学講談会東京神田区錦町東京大学	予備 門構内講義室に於て寺尾寿君講談諸君．丁度，
	予	199	08	で一席で言ひ尽せます位なら失礼ながら	予備 門から，はいつて大学までいくには及びません
よひたおれ	酔	035	05	にも世間にさういふ連中があつて往来に	酔ひ倒れ て警察官の厄介になつて，あとでは更に知
よへい	余	143	17	奴があります．併しこれ等は小説の末の	余弊 でありますから仕方が無い．彼の南宗北宗など
よぼう	予	259	05	する．斯くの如く貧民の救助は犯罪人の	予防 減少に大関係をもつて居りまするから此の救助
	予	096	02	ければなりませぬ．謀殺を以て問ふには	予謀 殺意及び殺害の所為が無ければなりませぬ．其
	予	252	10	して，また一方からするときは犯罪人を	予防 すると云ふのが趣意で有りまする．此の末丁年
	予	256	15	慈恵で有りまして第二の結果は犯罪人を	予防 すること，即ち貧民を其の儘に打ち捨て置くと
	予	172	02	になつて居ませう）外国の酒類の輸入を	予防 せしめたこと我が国の民間の教育に尽力して，
	予	254	09	するから，これ等の為めには慈恵と犯罪	予防 との二つの理由よりして放免者保護会社の如き
	予	257	12	を）するは一時の資本前貸しと犯罪人の	予防 との両性質を有するものでありまする．斯くの
	予	257	14	に止まるものも有り，又は救助と犯罪人	予防 との両性質を有するものも有りまする．よつて
	予	259	02	慈恵と云ふのが一つで，また慈恵と犯罪	予防 と云ふのが一つで，救助を施しますには或ひは
	予	261	08	監獄の管轄と致し，放免者は慈恵と犯罪	予防 との二点よりするところの放免者保護会社の管
	予	259	10	きを得て濫救の予防を主とし惰民製造の	予防 に注意すること．第二，土地の区域を定むるこ
	予	263	16	れまた四部となります．其の第一は犯罪	予防 部と申しまして，此の部に於ては不良の少年を
	予	266	02	で有りませう．此の表の中で第一の犯罪	予防 部の事業は二つの場所にて之を執行いたします
	予	120	01	のが有りますが其れ等は表に見ゆるから	予防 をすることも，かなへますが酒疫の方は内心に
	予	259	10	す．第一，救助其の宜しきを得て濫救の	予防 を主とし惰民製造の予防に注意すること．第二
	予	266	04	は放恣不良の幼年者を感化し以て犯罪の	予防 をすることで有ります．これ等に施す方法は教
	予	258	05	まする．第二，貧民の救助，兼犯罪人の	予防 ．此の両性質には別に甲乙は有りませぬ．此の
よほど	ヨ	262	16	る方法で有ります．然れども此の方法は	ヨホド 実際に困難でありまして多くの囚人を一つの
	ヨ	207	09	は少ない．雨と云つても今日の雨などは	ヨホド ひどかつたあんなでは実に大変で有りますが
	ヨ	236	17	尤も左様なる有様も御一新前になつては	ヨホド 減つては来たが，まだ決してウケのよい学問
	ヨ	201	05	が，そこにむつかしいことが有るので，	ヨホド 骨の折れるもので有ります．一体，彗星は長
	ヨ	236	04	引も無いし，読む本も無いと云ふ始末で	ヨホド 骨が折れて今ならば一月か二月かゝつて出来
	ヨ	211	09	こむことが有つても心にぶつつかるのは	ヨホド 稀なことと云はなければなりません．確には
	ヨ	256	03	ばなりませぬ．犯罪人と貧民との関係は	ヨホド 綿密なるもので有りまするから貧民救助のこ
	ヨ	208	06	るのは，むつかしいが運動を調べるのは	ヨホド 易い．大抵の人が時計を持つて汽車の出る時
	ヨ	195	04	講談諸君．丁度，只今から三年ほど前に	ヨホド 立派な彗星が出ました．諸君は定めて御記臆
よほど	余	026	09	がら，あの通りによく見ゆるからしては	余程 明るいもので，あんなに小さく見えても実は非
	余	122	11	れを醸したりするのも酒から起ることが	余程 多い様に思はれます．かういふ様なことは外の
	余	028	07	いふは唯明り使ひばかり，ことによると	余程 遅い新聞を受け取る様なことが有ります．そこ
	余	121	06	ませう．「酒を飲む為めに人間の品位が	余程 下つた」と西哲は言はれましたが国が文明にな
	余	083	03	ヤとポルトガルの二箇国が暫らくの間，	余程 盛んに開けてあつたが道徳の進歩がサツパリ無
	余	024	10	線に見えます．其の次ぎには土星これは	余程 贅沢な星で八つほど眷属を引きつれて居ります
	余	090	04	るには人の導きになる教，色々の教訓が	余程 大事なもので御坐ります．若し人が知識浅く天
	余	023	04	ありまして地球からの距離は太陽よりは	余程 遠い．其の次ぎに土星は三十一丁の所で木星よ
	余	123	08	さんの演説にも言はれた通り教育上にも	余程 な関係のあることだからドウか只今私の申した
	余	070	10	本では千万人以上多い所によつて見れば	余程 の数を要せねばなりませぬ．然るに前陳の如く
	余	014	08	ず俗に兎が餅を搗くのだと言ひます処が	余程 はつきり見えまして全く高い山や深い谷などで
	余	027	05	達するには時間を費すに違ひ無いが併し	余ほど 早いもので太陽から我々まで来ますに十分は
	余	014	04	．この月と云ふものは望遠鏡の開けます	余ほど 前からして円いもので時としては虧けたり時
	余	025	14	離は月の距離を測りますのから見ますと	余ほど むつかしくなります．第一今度は物さしが地
	余	116	15	をすれば自分一人で，きめて居るよりも	余程 よいといふは仲間で約束して虚言をつかないや
	余	132	11	違ひを駁つよりも真の道理を設ける方が	余程 よいもので御坐ります．若しあなた方，世の色
	余	020	07	をマトモに受けて満月の様に見ゆるので	余程 よく其の表面を観測することが出来る．天文学
よま	読	055	08	だと申せば漢字の本をやめて仮名の本を	読ま せたくも本が無いから涙を流して漢字をやらし
	読	215	08	が使つて「アダシゴトは，さておき」と	読ま せましたが私の此のお話しも「アダシゴトは，
	読	008	15	た一つには仮名か羅馬字で綴つた文章を	読ま せるがよい．これは少しづゝ時をかくれば覚え
	読	055	07	は楽にもなりませうが今の所では漢字を	読ま せるのは惜い月日だと思つても已むことを得ず
	読	144	15	り筆が流暢でも其の中には西洋の書物を	読ま ない者も有る．また西洋の小説を読んだ者は筆
よみ	読	060	09	かしき次第にて仮名つき新聞も満足には	読み 下すことも出来ぬくせに忽ち学者ぶりて働くこ
	読	138	06	ヒーを貸して呉れ之を寐しなに一ページ	読み たまへと申されました．私も妙な医者だと思ひ
	読	204	11	大きかつたものと見えます．万国史をお	読み になつたお方は御承知で御坐りませうが，千四
	読	137	16	のスペンサーやミル，ベンサム等の本を	読み ましたときには上下を着た人に小言を頂戴いた
	読	138	08	て，ぢきに眠つてしまひました．小説を	読み ましては斯様に眠つてしまふことは出来ません
	読	141	13	の智能力が入りまする．たとへば経書を	読み ましても其の意味通りに講じますは誰でも出来
	読	164	03	としてある．近ごろ西学考略といふ書を	読み ましたが，これは天道溯原を著述した丁韋良と
	読	131	11	ほどで御坐ります．たゞ一方の論のみを	読み まするお方はドコまでも基督教と学術との関係
	読	138	09	ません．ウ／ヲタースコットの本などを	読み まずると其の面白い話しに連れ後はドウなるか
	読	164	06	て一つの話しが載つて居た．今其の文を	読み ませう．余亜丁に在り聞く数年前，法君那波倫

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（よみ）	読	215	12	の小説は勿論，支那の小説とても深くは	読み	ませぬ故にたゞ持ち前の我が国のことばかりに
	読	220	08	のが多いから安宅の関で弁慶が勧進帳を	読み	，箱根で工藤祐経が箱王丸に対面して赤木の短
よみほん	読	222	01	トトギスと云ふ狂言なども種彦が作つた	読本	から出たものだが殊に残酷なものでは有りませ
	読	221	12	草双紙の作者で有りましたが後には画入	読本	と云ふものを作りました．其の趣向は重もに浄
	読	221	17	ます．さて京伝以来，三馬も種彦も画入	読本	と云ふものを作りましたが奇怪なことは勿論，
よむ	読	143	16	しき猥褻でもありませんが随分人の前で	読む	ことの出来ぬ奴があります．併しこれ等は小説
	読	270	06	て丁度五割三分ほどに当りまする．また	読む	ことだけを知つて居りまする者が千三百四十三
	読	270	07	て丁度一割六分ほどに当りまする．また	読む	ことと書くことを知つて居りまする者が千七百
	読	270	08	て丁度二割一分ほどに当りまする．また	読む	ことと書くことと算へることを知つて居ります
	読	236	03	では分らない．字を引く字引も無いし，	読む	本も無いと云ふ始末でヨホド骨が折れて今なら
	読	131	12	分ることが出来ませぬ．其の両方の論を	読む	者は世の中の色々の激しき論の為めに不安心な
	読	213	12	上のことで有るから其の面白みも文字を	読む	者に限り，また作者も多少の学問が無ければな
よめ	嫁	255	03	あれは監獄の役人で有る故におれの娘は	嫁	にやれない」などと考ふる者もあるさうですが，
	読	141	08	たらうが甚しきに至りては四書，五経も	読め	ないものが有る．学問が無くつて品行が悪くて
	読	138	02	リットンやスコットのドラマやノベルを	読め	ば寝ることを忘るゝ様なことも有り飯を喰ふの
よめる	読	052	08	字の書物より外は無いから英書か仏書の	読める	人は宜う御坐いませうが今まで翻訳書をあて
	読	144	16	ぬから日本の筆の立つ人と西洋の小説の	読める	者と此の二派を集めて筆の立つ人に西洋の智
よも	読	052	07	は困る．さて其の焼かれた翌日は新聞を	読	うと思つても新聞は無い，究理のことでも歴史で
よら	よ	001	04	日この席に於て演説をすることは思ひも	よら	ざることで御坐りました．然るに演説をするに
	よ	094	09	程，陳べられませうから私は英吉利法に	よら	ずして法理に付て考へを述べやうと思ひます．
	よ	196	06	らなくつて「何でもない」と言ふ．何に	よら	ず理屈が有るものか，無いものか，たゞして見
	よ	219	11	た所が妻とすべき女は容儀にも芸能にも	よら	ず，たゞ心が落ち付いて深切で夫の相談相手に
	よ	167	13	ヤッパリ新しい問題は新しい学問の力に	よら	なければ，ならぬのは勿論でありませう．我が
よら	依	181	02	人の地位を進むるにはキリスト教の力に	依ら	なければならぬことを堅く信ずる者で御坐りま
	依	184	14	で之を改むるには矢張キリスト教の力に	依ら	なければなりません．曾て或る人がキリストの
よら	寄	185	10	真正の幸福を得る等といふことは思ひも	寄ら	ぬことで御坐ります．全体，日本にはドウして
よら	籍	179	16	良にして直接か間接にキリスト教の力に	籍ら	ぬものは御坐りますまい．彼のジョン，ハワル
よら	由	091	12	．万国万民の救ひ主耶蘇基督の御功績に	由ら	ざれば人が此の罪悪を免れて本当の自由を得て
より	よ	239	06	島，宮城，岩手，青森に道を取り，其れ	より	秋田を経て山形に参り，山形より酒田に出で，
	よ	220	16	れから徳川時代になつて寛文，天和の頃	より	浅井了意が東海道名所記などを作り，井原西鶴
	よ	037	09	を動植物の如き有機物に比したことは昔	より	有りたことなれども昔の説は有機物に似て居る
	よ	062	17	に行くべき用事あるに当つて午后四時頃	より	家を出るときは充分先方に達し得べきに左なく
	よ	251	08	た者は仮出獄を許しまして，たゞ警察上	より	イクラかの監視を受くるだけで通常の良民と同
	よ	084	13	御坐りました．これ則ち千六百四十八年	より	以降のことで御坐りました．或は貴国の上で申
	よ	270	11	ゞの四厘に当りまする．また，小学教育	より	以上を受けたる者は一人もありませぬ．して見
	よ	073	07	何か一言する様にといふことを教師諸君	より	依託を受けて居りますゆゑ何か新奇なことを陳
	よ	028	04	星が有ります．今のαＣｅｎｔａｕｒｉ	より	一万倍乃至三万倍位の距離に居る星が確に有る
	よ	053	01	．其の間に平仮名を使つたのは草紙物語	より	出でまた漢文に訓読を下して，すて仮名を附け
	よ	095	01	さない所で御坐ります．今道徳上の原理	より	言ひますれば身を殺しても仁を為すといふこと
	よ	095	17	といふも其の説は取れませぬ．今法理上	より	言へば凡そ罪を組成するには内部と外部との元
	よ	132	05	々の反対論に答ふることが出来ます．昔	より	今に至るまで此の聖書の効力を滅ぼさうと思ふ
	よ	089	17	のミコゝロに基づいた宗教なれば，これ	より	上と申すものが御坐りませぬ．これより高尚な
	よ	236	06	は至つて小さいことで有つた．尤も其れ	より	追々に開けて漸々と学び易くはなつたなれども
	よ	268	01	る効能が有らうと存じます．さて，これ	より	欧洲の監獄の種類を述べませう．これには二つ
	よ	261	15	の論の目的とする所で有りまする．これ	より	欧米の監獄の事を一言いたしませう．初めにも
	よ	026	11	太陽よりは小さいのも有りませうが太陽	より	大きいのも有りますか知れませぬ．此の一番太
	よ	187	02	良友たることは明白で御坐りませう．今	より	大凡一千八百八十年前に処女マリヤが救世主の
	よ	185	16	於ては儒道仏道の行はれた結果として昔	より	男を尊び女を卑しむ風が御坐りますがキリスト
	よ	138	12	るには違ひないが，しかつめらしいもの	より	面白いものの方が間接に効能が著しい．馬琴若
	よ	172	17	す．其れはなぜかといふと我が国人は古	より	恩といふことで養はれて居り天恩，君恩，主恩
	よ	234	05	校は何の益にも立つことでは無い．其れ	より	か今少したつと留学生も帰つて来るし日本の大
	よ	222	03	に採るやうにしました．こゝが他の作者	より	学問が有つたから了簡がついたことと見えます
	よ	217	08	ひますが，さすれば当時，流行の仏説に	より	且は既に遊仙窟などと云ふ支那の小説文も舶来
	よ	164	11	なんぞぞ意はん英将，便に乗じ衣袋の内	より	紙を取りて数字を揮灑し某弁に頤指し施措を飛
	よ	003	16	らない様になつて居て字を知ることが何	より	彼より大切なことになつてあるが其れも此の国
	よ	274	07	大抵お分りになりましたらうから，これ	より	監獄の改良と申すことを一言いたしませう．監
	よ	079	16	る所へ賤き所より貴い所へ不完全なる所	より	完全なる所へ進み行くことでツマリ文明開化の
	よ	085	10	み賤い所より貴い所へ進み不完全なる所	より	完全なる所へ進み畢竟文明開化の所へ進み行く
	よ	062	16	茲に一の閑人あり今日の午后六時に番町	より	神田に行くべき用事あるに当つて午后四時頃よ
	よ	058	09	みに御覧なされ，私が今日数時間に東京	より	来て諸君に面会しお話しを致すことも出来，ま
	よ	239	08	名なる碓氷峠を下りて横川に出で，其れ	より	汽車に乗り八月二十八日の午後五時に上野着の
	よ	105	10	次第である」と言ひ或ひは「兵庫県知事	より	求刑したに付き神戸の英国領事庁に於て開かれ
	よ	179	07	関係ある者で御坐ります．依て私はこれ	より	キリスト教と婦人の地位との関係に就て聊か考

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（より）	よ	101	06	に通じないのである．これが矢張り彼等	より	軽侮軽蔑を受くる原因でありませう．まづ第一
	よ	034	16	などを見ましても酒を飲まない人は古へ	より	功を成し国家の為めになつた人が有りますが酒
	よ	093	09	を全うしたといふことが世上に現はれて	より	甚々或ひは之を筆に訴へ或ひは之を口に唱ふる
	よ	090	01	より上と申すものが御坐りませぬ．これ	より	高尚なものが御坐りませぬ．これより貴いもの
	よ	069	03	に年令満十八歳にて中学校を卒業し其れ	より	高等司法官吏に任用せらるゝまでは前三年，次
	よ	052	14	訳は全体この御国はもと古事記日本書紀	より	このかた漢文を用ひて公文は漢文で書くことに
	よ	080	02 |々と進んで行くことを申します．抑も昔	より	このかた人間社会の種々の進歩に気をつけて見
	よ	185	13	ぬ者のやうに見えます．兎に角に，これ	より	此の悪習を洗滌するには矢張キリスト教の力を
	よ	235	14	で先づ一番は医術，其れから砲術で其れ	より	今日の勢ひに移つて来たことで有りますが其の
	よ	239	06	，其れより秋田を経て山形に参り，山形	より	酒田に出で，酒田より蒸汽船にて新潟へ参り，
	よ	114	06	出来ると其れだけに飲食の欲も他の動物	より	熾んになるのに其れを節することが出来ないと
	よ	023	08	寸の玉を太陽の雛形一尺一寸ばかりの玉	より	三丁と十四間ほど離すと見れば海王星は本郷よ
	よ	202	16	二日に於てＣｌａｉｒａｎｔの勘定した	より	三十日ほど早く太陽に一番近い所に来ました．
	よ	133	03	ました．元来，基督教が起りました時節	より	三百年の間は基督教信徒が苦しめられて色々の
	よ	190	07	う手が届かない．また力も及ばぬといふ	より	して裁判所に委託してやらせるといふのが一般
	よ	139	14	家のサカレイと申したら上はクエン陛下	より	下は裏店社会のおかみさんまでが其のクシャミ
	よ	009	01	り，言葉より短い文章に移り，短い文章	より	次第に長い文章に移る様にして教へこんだなら
	よ	200	04	ｐｌｅｒの観測しました彗星，また其れ	より	七十五六年前即ち千五百三十一年にＡｐｉａｎ
	よ	062	14	則ち原因の三です．此の如き種々の原因	より	して人力車濫用の弊を生じ来り三助でもオサン
	よ	091	13	出来ませぬ．なぜなれば耶蘇基督は罪悪	より	して人を救ひ出す為めに此の世に生れ多くの艱
	よ	094	16	とです．併し此の悲歎と此の憤怒の感情	より	して証拠も無い者を以て有罪であるといふのは
	よ	214	01	した．其れから演劇と云ふものは維新前	より	してホンノ女子供の見るもので士分の者などは
	よ	215	10	立ちを申しませう．先づ小説の成り立ち	より	して来歴の次第を申しませう．しかし之を申す
	よ	254	10	為めには慈恵と犯罪予防との二つの理由	より	して放免者保護会社の如きものを設けて或ひは
	よ	256	06	すものは全国，又は府県，若しくは町村	より	して救助することで有りまして第二の私の救助
	よ	259	06	居りまするから此の救助の方法は監獄上	より	しても確にきめて貰はなければなりませぬ．私
	よ	148	02	候所といふものを設けて其の費用は国庫	より	支弁するとか府県会で出すとかいふことを行政
	よ	274	13	月五日の法律を以て府県監獄費をも国庫	より	支弁することと致し全国の監獄は総て中央政府
	よ	269	12	以下は百八十七人即ち二分二厘で，十歳	より	十二歳までは五百九十人，即ち七分で，十二歳
	よ	269	13	までは五百九十人，即ち七分で，十二歳	より	十六歳までは四千二百八十三人，即ち五割一分
	よ	269	13	千二百八十三人，即ち五割一分，十六歳	より	十八歳までは二千三百二十人，即ち二割八分，
	よ	269	15	厘で有りまする．して見ますると十二歳	より	十六歳までの間が一番，間違の出来やすい時で
	よ	269	16	ます，故に人の父母たる者は専ら十二歳	より	十八歳位までを非常に気を付けて監督養育しな
	よ	038	01	訳ゆゑ社会は全く動植物同様にＣｅｌｌ	より	集合したる所の一個の有機物ぢゃと云ふことを
	よ	083	06	坐ります．諸君御案内の通り支那では昔	より	儒学が能く開けて居りました．支那人決して愚
	よ	059	15	ありますから（無くては大変だ）今欧米	より	種々の物の輸入するけれども其の中で最も多く
	よ	239	07	山形に参り，山形より酒田に出で，酒田	より	蒸汽船にて新潟へ参り，新潟より長岡，高田を
	よ	163	04	来なかつたのは色々訳も有るだらうが論	より	証拠，酒を嗜んで狂乱の様子が有つた様だ．其
	よ	004	03	ものを，あちらで善く拵へたり，こちら	より	上手に拵へたり．廉い物を拵へたりする者が多
	よ	073	15	といふものは二個の全く反対したるもの	より	生ずるとの説を思ひ出しました．一体この説は
	よ	119	01	はただ其れだけのことで有ります．飲酒	より	生ずる弊害を調査するの方法を論ず明治十八年
	よ	079	16	ことばかりで御坐りませぬ．劣りたる所	より	優れたる所へ賤き所より貴い所へ不完全なる所
	よ	085	09	即ち社会の進歩と云ふものは劣りたる所	より	優れた所へ進み賤い所より貴い所へ進み不完全
	よ	022	11	ます．これは距離は二丁と二十間で地球	より	少し小さいですけれども，大凡は地球と同じと
	よ	201	11	チへ向いて答礼をしてくれますし，其れ	より	少しドウかした人はたゞチョット見てくれます
	よ	021	12	て見れば外の世界にはどれだけ人間世界	より	進んだものが有るかも知れない．段々と想像を
	よ	212	14	とで有りませう．其の時こそ学問も今日	より	進んで彗星の物理学上，何物たるかと云ふこと
	よ	261	09	致し，放免者は慈恵と犯罪予防との二点	より	するところの放免者保護会社の管轄と致し，将
	よ	179	15	を与へる者で御坐ります．恐らくは昔日	より	西洋諸国に於て行はれた種々様々の社会改良に
	よ	233	15	校を起さねばならぬが其れを起すには今	より	西洋の名家の書いた本を翻訳して其れを教科書
	よ	188	14	．フランスでは千七百八十九年の大革命	より	千八百七十一年まで即ち今の共和政治になりま
	よ	058	10	話しを致すことも出来，また諸君が東京	より	奏楽者を聘して奏楽をお聞きなさることも出来
	よ	073	04	めて本校の卒業式に出ましたが段々過刻	より	卒業証書の授与また卒業諸君の演説などが有り
	よ	180	17	尽せることでは御座りません．只私は是	より	其の二三の要点を挙げて婦人矯風会員方の御参
	よ	068	13	くも四年間実務の練習を致します．其れ	より	第二回の高等官吏登用大試験及第の後試補官に
	よ	068	12	十八歳にして中学の予備科を卒業し其れ	より	大学に入り三年間法律学科を専修し第一回の試
	よ	059	13	論なれども之と共にコレラ痘瘡等の悪病	より	煙草，酒其の他の贅沢品も亦輸入いたしたであ
	よ	041	09	まりては居らず，たゞ其の社会の風習に	より	為めになることなら賞せられて善いこととなり
	よ	017	14	えても月と太陽は非常な違ひで月は地球	より	小さいけれど太陽の方は地球よりも遙に大きい
	よ	023	05	．其の次ぎに土星は三十一丁の所で木星	より	小さい，幾ど九寸三分程で有ります．其の次ぎ
	よ	096	06	ねばなりませぬ．其の暗礁に乗りあげて	より	沈没に至るまで充分の時間があつたから救ひ得
	よ	038	15	ねばならず，又開けた国では其の有様に	より	て其の社会を維持し進歩を謀らねばならぬ．故
	よ	045	08	又議員を選挙する権も亜米利加のは州に	より	て普通選挙の国も有るが又制限を立てて丁年の

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（より）	よ	045	09	ことが出来ず租税其の外，種々のことに	より	て出来ると出来ぬの違ひが有る．して見れば只
	よ	117	12	会を盛んにしたいもので有ります．人に	より	ては酒の分量といふものは人によつて違ふ故に
	よ	166	08	ものか分りますまい．其れだから事実に	より	て色々に考へ種々様々な論説を出し問答研究し
	よ	130	07	且説く所の万物は同じく神の御心と御手	より	出て来るものだから学術が基督教の敵になり或
	よ	252	14	居りまする者は丁年以上の者，即ち出生	より	丁年になるまでの間に教育は先づ一と通り終つ
	よ	109	14	つて居つたら他の二十二名は必ず其の人	より	伝聞して其の効用を知るであらう．これ等の事
	よ	167	15	のは勿論でありませう．我が日本には昔	より	東漸といふことがあり支那印度などの文物制度
	よ	079	16	ぬ．劣りたる所より優れたる所へ賤き所	より	貴い所へ不完全なる所より完全なる所へ進み行
	よ	085	09	は劣りたる所より優れた所へ進み賤い所	より	貴い所へ進み不完全なる所より完全なる所へ進
	よ	090	01	れより高尚なものが御坐りませぬ．これ	より	貴いものが御坐りませぬ．基督教を能く心得た
	よ	022	04	ましたが其の中太陽から測りますと地球	より	遠いものも有れば近いものも有り，内の方を通
	よ	027	13	．これからして外の星と云ふものはこれ	より	遠い．遠いと云ふことは知れて居るがどれだけ
	よ	144	04	如きものは抑も末なるものとして美術上	より	遠ざけるが宜しい．日本今日の小説とて美術の
	よ	151	06	一般の利益に関することで上は天皇陛下	より	内閣，諸省，府県庁，郡区役所，戸長役場など
	よ	239	07	，酒田より蒸汽船にて新潟へ参り，新潟	より	長岡，高田を経て信州長野へと道を取り，其れ
	よ	187	06	来種々の圧制束縛を受けた婦人が，これ	より	永く真正の幸福を受る時が来たことを神に感謝
	よ	191	12	行権はドウ定まつて居るかといふと習慣	より	成り来つて居るので憲法といふものは無いが詔
	よ	189	09	に代議士だとかいふやうな国会議員など	より	成り立ち，執行権の方は皇帝のみで成り立つて
	よ	079	11	ゞ一個人にも御坐りまするし又多くの人	より	成り立つ社会の中にも御坐ります．又世界中の
	よ	193	05	居ります．政府は天皇陛下及び内閣大臣	より	成り立つて居る．政府の名義を以てやることは
	よ	267	08	ぬ．第四の出獄人授業部の事業は慈恵上	より	成り立つところの放免者保護会社に於て之を執
	よ	242	07	利益が有らうと考へられますから，これ	より	新潟監獄に於て演説いたしました趣意に従つて
	よ	070	10	七百六十四人で御坐います．この統計に	より	日本では千万人以上多い所によつて見れば余程
	よ	177	16	よき例あり．昔アリスメデスが入浴の内	より	俄かに飛びだして我れ之を発明すと呼びつゝシ
	よ	272	02	の宣告を受けたる者と両親，又は親族等	より	願ひ出でたる出願懲治者（未丁年）を懲治する
	よ	187	04	の使女の卑賤をも眷顧たまふが故なり今	より	後，万世まで人々我を福なるものと称ふべし」
	よ	187	09	崇め我が霊，我が救主なる神を喜ぶ，今	より	後，万世まで人々我を福ある者と称ふべし」と
	よ	004	12	字を知つて居ることは日本人の上手な者	より	は余計に知つて居るに違ひは無い．其れでもそ
	よ	016	03	易に勘定が出来ます．月の大きさは地球	より	は小さい．地球はさつき申しました通り其の直
	よ	020	15	星の大きさはどの位かと言ひますと地球	より	は少し小さい．小さいと云つても月と地球との
	よ	020	16	も月と地球との割り合ひ程では無い，月	より	は大きい，直径が地球の半分よりは大きいです
	よ	020	16	い，月よりは大きい，直径が地球の半分	より	は大きいです．前にも言ひました通り此の星も
	よ	022	15	星の雛形で有ります．これまでは皆地球	より	は小さいか大凡同し位の球で同し親類と看做せ
	よ	023	01	が其れでおしまひでは無い，化学の元素	より	は甚だしく毎年いくつも発見されますから今日
	よ	023	04	分の一ありまして地球からの距離は太陽	より	は余程遠い．其の次ぎに土星は三十一丁の所で
	よ	026	11	て見ますと我々に見ゆる星は中には太陽	より	は小さいのも有りませうが太陽より大きいのも
	よ	029	15	てたのは奇麗だからで有ります，併し銀	より	は立派です，銀が其れに譬へられて仕合せです
	よ	042	04	どとは大層違ふて居る，して見れば支那	より	は西洋の方が進んで居ると思はれることぢゃ．
	よ	047	06	うなりたいことは，なりたいなれど其れ	より	は各国が今日まで未だ一つの社会にならぬのが
	よ	047	08	ぬのを歎くのは順序を失して居る．其れ	より	は一つに寄りて大きな社会を拵へる様にしたい
	よ	054	16	は支那の本で修身を学んだが修身は支那	より	は日本がよい．其れ故矢張り仮名で書いた修身
	よ	100	05	盛んなる時代には「朕は王なり」といふ	より	は「われは羅馬人なり」といふ方が遙かに世間
	よ	107	16	殺人」と言ひますが私は「殺人」といふ	より	は「致死」即ち「死に致す」と言ふ方が宜しい
	よ	114	03	いものなれど人類といふものは他の動物	より	は違つて居るものだから其の人類が他の動物の
	よ	115	02	ります．一体，人類といふものは低い欲	より	は高い欲の方を勝たせなければ人類たる甲斐は
	よ	137	15	く無いか言はずと知れたことで四書五経	より	は馬琴の八犬伝や春水の梅暦の方が面白い．西
	よ	138	17	を云ひましたら小説の方が固くるしい本	より	は斯様なことは善い斯様なことはして悪いと自
	よ	169	13	亜米利加に行く者の方が欧羅巴に行く者	より	は多いに違ひありますまい．我が国人の欧羅巴
	よ	188	06	一言申し上げておきました．就ては今日	より	は全国行政といふ部を申し上げる順序で御坐い
	よ	206	07	．其の後発見しましたのはＥｎｃｋｅの	より	は大きな楕円を書いてＨａｌｌｅｙのよりも小
	よ	206	12	うで有りましたが，これは分れたと云ふ	より	は寧ろ子を生んだと云ふ方が宜しう御坐りませ
	よ	221	02	趣向を古めかしくして高尚に構へたもの	より	は却つて考証になることが多い．降つて正徳，
	よ	226	06	致しまることを申し上げました．今日	より	は純粋の行政部類に這入りまして第一に行政官
	よ	249	10	ければならないもので有りまする．これ	より	は監獄と教育との関係を述べませう．此のこと
	よ	271	07	八百五十六人となりまする．さて，これ	より	は日本の監獄のことを申しませう．付ては先づ
	よ	272	16	とに止まるのでありまする．さて，これ	より	は明治十七年十二月三十一日の監獄に関する実
	よ	008	17	ら仮名か羅馬字で綴つたものを短い言葉	より	始め，次第に長い言葉に移り，言葉より短い文
	よ	054	08	めの本，それを類を分けて見ますと御国	より	始めてモロコシ西洋の歴史，理学，化学，最も
	よ	147	08	は先づスタチスチックと行政法との関係	より	始めて並べて見るのも一つの順序でありませう
	よ	229	05	のが有ります．区は市街の大きな所を郡	より	引きはなして区と定めるので例へば東京市街を
	よ	043	16	開ける様になりて来たのぢゃ．若し初め	より	仏法の教が行はれたらば人類は亡びたであらう
	よ	021	10	表面にしか居ない，智慧と言ものは人間	より	ほかは持たない，人間の上は直に神だと思つて
	よ	005	17	ふことは知らない．兎角人は一方のこと	より	外は分らぬもので政治家は政治のことより外に

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（より）	よ	006	01	り外は分らぬもので政治家は政治のこと	より	外には取り合はず，仮名の会の凝り固まりは外
	よ	006	02	言つても取り合はない．兎角，人は一方	より	外には見ることを知らぬもの．併し考へて見れ
	よ	052	08	の字を用ひたので無ければ横文字の書物	より	外は無いから英書か仏書の読める人は宜う御坐
	よ	067	13	います，御愉快で御坐いませう」と申す	より	外は御坐いませぬ．併しながら我々は隴を得て
	よ	090	14	を完全なる所へ進ませる模範は耶蘇基督	より	外に御坐りませぬ．この浮世の荒野の中で基督
	よ	100	01	彼等は我々を軽蔑したものなりと考へる	より	外はない．彼等は実に我々日本人を同等の人間
	よ	107	01	極にして「情け無いことをした」といふ	より	外は私は言を尽すことが出来ませぬ．たゞこの
	よ	108	09	が出来ずして僅に新聞紙又は世間の報道	より	外に材料は御坐りませぬ．併しながら未だ知り
	よ	108	14	ければならないか．船長等の指図に従ふ	より	外はありますまい．然れば誰も彼も端艇に乗う
	よ	110	11	は公平な考へからして実に不思議と思ふ	より	外は無い．若しや我輩の疑ふ所をして事実に違
	よ	143	05	とで人の思想即ち無形の人情を写すは筆	より	外は無い．即ち小説の管内で御坐ります．凡そ
	よ	181	04	るには是非ともキリスト教の力を借りる	より	外は致し方がないと論ずる人が御坐りますが何
	よ	191	10	るものである．故に立法権力と執行権力	より	外に権力が無いといふことはモンテスキューは
	よ	259	04	或ひは私設救助に政府，又は府県，町村	より	補助するの仕方を以てやるべきもので有ります
	よ	221	07	赤本作者の手に落ち，其れから元禄の頃	より	前太平記，前々太平記などと云ふウソバナシを
	よ	271	14	時留め置く所でありまする．但し時宜に	より	ますると拘留の刑に処せられたる者を留め置く
	よ	009	01	より始め，次第に長い言葉に移り，言葉	より	短い文章に移り，短い文章より次第に長い文章
	よ	001	07	私は一向仮名のことに付ては不案内で私	より	も既に委しく説の有る方がおらつしゃることな
	よ	017	14	は地球より小さいけれど太陽の方は地球	より	も遙に大きい．其れのみならず月が地球のグル
	よ	023	09	と十四間ほど離すと見れば海王星は本郷	より	も王子よりもズット遠くの処に置かなければな
	よ	023	09	ど離すと見れば海王星は本郷よりも王子	より	もズット遠くの処に置かなければならない，其
	よ	032	13	これだけでは実は余り面白くない．これ	より	も此の世界は始めドンナであつて今にドンナこ
	よ	090	11	必要で御坐ります．併しながら耶蘇基督	より	も立派な模範が御坐りませぬ．仏蘭西のレナン
	よ	115	01	，さて其の命の惜いといふ欲は飲食の欲	より	も貴い欲で有ります．一体，人類といふものは
	よ	116	15	て約束をすれば自分一人で，きめて居る	より	も余程よいといふは仲間で約束して虚言をつか
	よ	117	03	て来た訳だから自分一人で節して居る時	より	も余計に慎まなければならない．この位は飲み
	よ	132	10	ナゼといふのに人の色々の間違ひを駁つ	より	も真の道理を設ける方が余程よいもので御坐り
	よ	132	14	督教の仕方で御坐りませぬ．僞りを倒す	より	も真を立てる方がよい仕方で御坐ります．第七
	よ	145	16	改良には賛成の方で有るが此の演劇改良	より	もまた小説改良の方が区域が広からうと思ひま
	よ	186	05	．何となればキリスト教に於ては女を男	より	も卑しい者ともせず尊い者ともせず全く同等な
	よ	196	08	東洋の方ばかりでは無く，西洋では東洋	より	も甚しく，こはがつたものと見え「箇様箇様の
	よ	206	08	りは大きな楕円を書いてＨａｌｌｅｙの	より	も小さいので有ります．其れからして，この外
	よ	220	06	，義経のことを書いた義経記などは事実	より	も作り事の方が沢山だらうと思はれます．しか
	よ	252	17	此の三つの方法を要しまする．則ち監獄	より	も教育だけ余計の用が有りまする．付てはこれ
	よ	063	08	を以て見れば欧米に在て車の比例は日本	より	素より多いなれども欧米に在ては非常に時間を
	よ	044	01	負かして勝を取りたからぢゃ．若し初め	より	耶蘇の教が行はれたらば文明は起らぬであらう
	よ	239	08	へと道を取り，其れから信州上田追分等	より	有名なる碓氷峠を下りて横川に出で，其れより
	よ	135	14	手に持つて而して聖書に説く所の高い所	より	世の中の有様を見れば天地の間の限り無き道理
	よ	070	17	輩出いたしますのは我が国家の大幸，之	より	喜ばしいことは無いと感ずることで御坐います
	よ	075	16	きは法律学と経済学と其の学科の性質上	より	論じて見まするに法律は消極的の価値を得ると
	よ	178	05	なりとせず相互に問答研究して学理の上	より	我が帝国の将来を知るの方法あらば何の仔細も
	よ	182	10	道の教は兎も角も実際一夫一婦は即ち古	より	我が日本国の風で妾を持つ者は真の万人に一人
	よ	187	07	謝した凱歌で御坐ります．然らば，これ	より	我が邦にもキリスト教が漸々行はれんとする時
	よ	242	03	中，新潟監獄に於て副典獄，福島武司氏	より	私に向つて司獄官吏の心得を演説して貰ひたい
	よ	130	10	で御坐ります．優勝劣敗の面白い法則に	より	，やがて二千年ぢかく生存したる基督教は迚も
	よ	133	06	歴史に明かに記して御坐ります．故に昔	より	，かういふ格言が御坐りました．「基督教の為
	よ	138	05	弱であり一滴や二滴のモルヒネを上げる	より	，もそつと善い薬が有ると申してスペンサーの
	よ	221	04	自笑などと云ふ作者が有つて西鶴の風に	より	，ますます俗耳を喜ばせるを手柄とし専ら遊里
より	因	141	06	に申せば作者に学問が無いと不品行とに	因り	且卓見が無いのと小説の本意と言ふものを知ら
	因	096	05	其の本務を怠りたること及び其の怠務に	因り	て人を殺したることは之を証せねばなりませぬ
	因	141	07	を知らずして之を進歩せしめざりしとに	因り	ませう．尤も馬琴，三馬，京伝などは少々学問
より	寄	047	09	は順序を失して居る．其れよりは一つに	寄り	て大きな社会を拵へる様にしたいものぢゃ．其
より	拠	107	10	法と不文法とありますが今其の不文法に	拠り	ますと人命を断つことをホミサイドと申し，こ
より	撰	145	05	．其の中にまた和漢洋兼備の先生たちを	撰り	出して委員と致し其の委員が好いと認めた新著
より	由	042	07	て分れて来たことぢゃが如何なる違ひに	由り	て道と法とが分れたかと申すに道は他を利し法
よりあひ	寄	042	12	て居る．丁度道と云ふものは親類同士の	寄り合ひ	で，法と云ふものは他人同士の寄り合ひと
	寄	042	13	寄り合ひで，法と云ふものは他人同士の	寄り合ひ	と云ふ様なものぢゃ．併しこれは極度を申
よる	よ	028	07	便りといふは唯明り使ひばかり，ことに	よる	と余程遅い新聞を受け取る様なことが有ります
	よ	229	07	ふのは大いなる市街と云ふ意味で，所に	よる	と，また其れをも数区に分つと云ふやうな意味
よる	依	103	03	真面目になり得べきか．私は宗教の力に	依る	の外に方便あるまじと思ひまする．日本人が保
よる	因	092	07	中に籠つて居る一個人たるものの進歩に	因る	と申したが，これに付て面白いタトへが御坐り
	因	064	12	に申した通り人力車濫用の弊を生ぜしに	因る	ものにしてツマリ人民が人力車のたゞチョット
よる	夜	196	17	るの念は減つて来るに違ひ有りません．	夜	闇い所で人に遇ひますと驚いてドロボウでは無い

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（よる）	夜	164	12	弁に頤指し施措を飛行し復た客と酌む.	夜　闌にして客始めて謝し去り且云く身，重寄にあた
	夜	211	14	りは昼で有つたがフランスやイギリスは	夜　で有つて其の時分寝て居る者は知らずに寝て居り
	夜	008	06	打ち揚げてヒュウヒュウポンポン. また	夜　になつて鹿鳴館に往て見ると賑で押し返されぬ程
	夜	217	05	おつしやつたが其れも否んで八月の十五	夜　に天人の迎ひに応じて天に昇つたと云ふ趣向で至
	夜	138	10	に連れ後はドウなるかと先き先きを見て	夜る　二時でも三時でも構はずトウトウ夜を明かして
	夜	063	16	し風雨を論ぜず奔走し昼は炎天にさらし	夜　は湿気に触れ漸く提灯を股に狭んでウタヽネし時
	夜	266	13	の囚徒同様の場所に於て仕事を致させ,	夜　は一房に一囚づゝ分けて入れます. 此の場合には
	夜	262	11	して，これは一房に一囚をおきまして,	夜　も昼も他の囚徒と面を見合すことも，話しをさせ
よる	由	080	05	第一. 凡そ社会の進歩は一個人の進歩に	由る　もので御坐ります. なぜなれば社会と云ふもの
よれ	よ	032	05	ぬからハッキリとは言へませぬ. ことに	よれ　ば第一の説の如く我々の見ることを得るだけ随
	よ	198	01	ました. Newtonの調べました所に	よれ　ば，太陽から引かれて居りますればいづれ抛物
よれ	拠	109	05	ー，アクト即ち船客条例の第二十七節に	拠れ　ば二百噸以上四百噸以下の商船は端艇二艘を備
	拠	126	14	はよく「我が思ふには」「我がミコミに	拠れ　ば」などと申されます. 而してたゞ自分のミコ
	拠	228	13	のは明治十八年十二月三十一日の調べに	拠れ　ば八百〇二あります. この郡には郡長と云ふも
よろい	鎧	061	02	たるを覚らるゝでありませう. 又緋縅の	鎧　や天保銭や丸髷島田を御覧のときは又未開化人の
よろこば	喜	221	05	有つて西鶴の風により，ますます俗耳を	喜ば　せるを手柄とし専ら遊里の事態などを書いた八
	喜	162	10	所得を用ひて其の父母を孝養し其の父母	喜ば　ゞ酒を家庭の間に用ひ献酬歓を承けて以て天倫
よろこばしい	悦	144	11	西洋の小説を多く読んで貰ひたい. 少し	悦ばしい　ことには此の節は追々西洋の本を読んだ然
よろこばしい	喜	054	10	生の奥方がお拵へになるさうですが真に	喜ばしい　ことでドウか幾何から三角術までも仮名で
	喜	070	17	いたしますのは我が国家の大幸，之より	喜ばしい　ことは無いと感ずることで御坐います. さ
よろこび	悦	059	14	で人間の性と云ふものは兎角便利な物を	悦び　奇麗な物を愛し，うまき物を好き楽を欲するも
よろこび	喜	177	07	何の国を好み何の政体を貴び何の風俗を	喜び　職業は何々に巧みで何々に拙いなどといふ種々
よろこぶ	悦	061	04	とで，たゞチョット見つきの良きものを	悦ぶ　のみで衛生上のことなどは夢にも考へませぬ.
よろこぶ	喜	045	06	ば亜米利加の共和政治と云ふて民権家は	喜ぶ　が其れでも男と女とは大分違ひが有る. 男には
	喜	187	03	我心主を崇め我が霊は我が救主なる神を	喜ぶ　是れ其の使女の卑賤をも眷顧たまふが故なり今
	喜	163	07	秀は飲めないと言つた. 光秀は飲めれば	喜ぶ　だらうが飲めないから七合入の盃には驚いたと
	喜	070	13	にお出来なさる様に願ひます. たゞ甚だ	喜ぶ　所は私は昨日は大学の卒業式に招かれまして出
	喜	187	08	我心主を崇め我が霊，我が救主なる神を	喜ぶ　，今より後，万世まで人々我を福ある者と称ふ
よろこん	喜	071	02	．さて今日は卒業諸君の鞏出せらるゝを	喜ん　で沈黙するに忍びず斯の如く陳べますが諸君益
	喜	107	05	した学生もあり或ひは結婚の約が整つて	喜ん　で旅だちした花嫁もあつたといふことであるが
	喜	127	15	らしい論，新らしい考へなどを誠とし且	喜ん　で受け容れます. 而して色々の骨折をして近来
	喜	127	17	の論を天の黙示，或は神の示現の如くに	喜ん　で受け容れて而して此の色々の新らしい論は決
	喜	129	01	ものでは御坐りませぬ. 国政家の中にも	喜ん　で色々の無証拠な設理を受け容るものが御坐り
	喜	134	01	来なかつたれど今，我が家の事一切皆な	喜ん　でこの人に任せて置きます. そこで私が基督教
よろしい	宜	263	10	みるもので有りまする. 此の方法が一番	宜しい　かと考へられます. 前に述べましたる四つの
	宜	003	17	其れも此の国独りで居れば今日の様でも	宜しい　が今日は我が国ばかりで成り立つことが出来
	宜	004	16	ばかり習つて居るのが支那におハムキは	宜しい　が今日は散切り坊主で，つゝつぽ袖を着てな
	宜	053	13	でも「あいうえお」でも「ほへと」でも	宜しい　がモロコシの字を知らないうちに仮名を教へ
	宜	002	12	といふ主義で仮名のみならず羅馬字でも	宜しい　漢字を廃さうといふものなら何でも左袒する
	宜	233	12	して日本語を以て教ふると云ふのが誠に	宜しい　ことで有ります. 丁度，今から十年余も前で
	宜	232	08	．此の種類の事柄は府県会に諮問しても	宜い　し諮問しなくても宜いとの考へは間違つて居る
	宜	107	16	は「致死」即ち「死に致す」と言ふ方が	宜しい　と思ふ. 此の犯罪は或ひは故意に出るもあり
	宜	232	08	県会に諮問しても宜いし諮問しなくても	宜い　との考へは間違つて居るので，諮問すると云ふ
	宜	232	09	諮問するだけの意味で，諮問しなくても	宜い　と云ふのでは学問上，決して御坐いますまい.
	宜	232	12	に於ては必ず其の意見を採用せずとも,	宜しい　と云ふのが学問上の精神で有らうと考へます
	宜	253	09	した如き者の為めには農業をさせるのが	宜しい　と云ふ実験が有ります. 其の故は種子を蒔い
	宜	267	16	なる学者たちの考へましたものを其の極	宜しい　所だけを引き抜いて申したので有りまするか
	宜	231	03	ツマリ天皇陛下御一人でおやりなされば	宜い　のですが，さうは御手が届かないと云ふので行
	宜	116	04	を矯むるには，この節酒会などは至つて	宜しい　ものだと思はれます. 其の訳は節酒会といふ
	宜	052	12	だ困る. 其の外一旦に大決断をやるのは	宜い　様で御坐りますが，いろいろまた困難のことも
	宜	022	12	けれども，大凡は地球と同じと言つても	宜しい　. 其の次ぎは地球で有ります. これは三丁半
	宜	096	16	なるに無罪と決するなら充分駁撃するが	宜しい　. 故に全国の人民は証拠を集め材料を確かめ
	宜	144	04	末なるものとして美術上より遠ざけるが	宜しい　. 日本今日の小説とて美術の旨意に適つたも
	宜	145	04	集めて一つの小説改良会を組み立てるが	宜しい　. そこで互に討究して智識を交換するが面白
	宜	205	11	ざつと一ダースばかり有ることと思へば	宜しい　. Halleyの次にEnckeの彗星と云
よろしう	宜	052	08	り外は無いから英書か仏書の読める人は	宜う　御坐いませうが今まで翻訳書をあてにした人は
	宜	036	10	一の大主義でよくためて，よくつかふが	宜う　御坐ります，これは誰もトガメテの無いことで
	宜	127	10	で御坐りませう. 故に先づ用心する方が	宜しう　御坐ります. よく熟した学者また熟練した理
	宜	128	08	坐ります. 故に先づ暫時の間，待つ方が	宜しう　御坐りませう. 即ち各国の学者皆よく互に同
	宜	128	09	来の色々の新論を承知するまで待つ方が	宜しう　御坐りませう. 其の外に学術の色々の論の中
	宜	128	12	したるもので有るか無いかと問ふことも	宜う　御坐りませう. 卒業生が各国の学者たちの判断
	宜	199	04	タッパウが開いてしまつたものと見れば	宜しう　御坐ります. さて，このやうな考へをNew
	宜	206	12	と云ふよりは寧ろ子を生んだと云ふ方が	宜しう　御坐りませう. 其れは丁度サトイモに子の出

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（よろしう）	宜	209	03	す．尾をすかして大きな星が見ゆるなら	宜う　御坐りますが小さな星までも能く見えます．頭
	宜	076	17	ｅｏｄ氏の如く積極消極と限界されたは	宜しう　御坐んすが実際に応用するに至つては実に錯
	宜	077	07	ば同一の業を為すものだとまで申しても	宜しう　御坐んす．故に我輩が諸君に望みまする所は
	宜	076	01	せうし経済の方は積極的の方と言つても	宜しう　御坐んせう．是れ等が則ち必要の点は同一に
よろしから	宜	117	14	れど其れは左様な会が有つたらば其れも	宜しから　うが私は其れには，はいらなくつてもよい
	宜	117	17	ぢゃから此の類の人は禁酒会を設くるも	宜しから　う．其れは決して悪いといふでは無いが此
	宜	121	03	ものだからよく事実を挙げて見せた方が	宜から　うと思はれます．事実を見せたら其れからし
	宜	122	14	ふ塩梅に只今私の申したことを調べたら	宜から　うか銘々最寄最寄ででも調べることにしたら
	宜	145	01	つ人に西洋の智識をつぎこむ様にしたら	宜しから　うと思ひます．其れも急激に致したとて間
	宜	176	09	決などの高尚なる所に及ぼして調べるが	宜しから　う．我が国人の外国へ出稼ぎ移住する有様
	宜	180	13	何かと問はゞ婦人の地位有様と答へても	宜から　うと存じます．然らば目下我が邦の社会改良
	宜	259	09	では貧民救助の方法は次の如く定めたら	宜しから　うと信じます．第一，救助其の宜しきを得
	宜	261	04	其の方法は異名又は番号を以て行つても	宜から　うと存じまする．前に段々と論じて参りまし
	宜	204	04	もらつた所が「これは天子の御身の上に	宜しから　んことが有るから功徳の為めに寺を建てて
よろしき	宜	182	01	一婦の教が行はれなければ男女の関係が	宜しき　に適ひません．男女の関係が宜しきに適はな
	宜	182	01	係が宜しきに適ひません．男女の関係が	宜しき　に適はなければ決して真の文明社会を見るこ
	宜	182	03	係は人間道徳の基礎で若し夫婦の間柄が	宜しき　に適はなければ親子の間柄も宜しきに適ひま
	宜	182	03	柄が宜しきに適はなければ親子の間柄も	宜しき　に適ひませんし親子の間柄が宜しきに適はな
	宜	182	03	柄も宜しきに適ひませんし親子の間柄が	宜しき　に適はなければ一家が治りません．然し一家
	宜	139	02	るものなれば其の感も強く且深くて誠に	宜しき　もので御坐ります．併しながら此の小説を利
	宜	248	06	のは，ツマリ懲戒にのみ偏して教誨其の	宜しき　を得ざると云ふことに基づくので有りませう
	宜	249	04	ど立派に整頓いたしましても監獄が其の	宜しき　を得ませぬければ警察も裁判も無効になりま
	宜	259	10	宜しからうと信じます．第一，救助其の	宜しき　を得て濫救の予防を主とし惰民製造の予防に
よろしく	宜	252	11	年の不良少年は監獄に入れまることは	宜しく　ありませぬ．と云ふものは監獄では罪悪の甚
	宜	261	06	相共に連絡しまするゆゑ各々其の釣合を	宜しく　し其の範囲をきめなければなりませぬ次第で
	宜	260	13	ると云ふやうなことが有りはすまいかは	宜しく　注意すべきもので有りまする．第六，監督者
	宜	249	05	なりまする．また，警察と監獄が何ほど	宜しく　とも裁判が悪いと警察と監獄が無効になりま
	宜	255	12	て尊卑を定めると昔の大名の中には随分	宜しく　ないことをして大名になつた先祖が無いとは
	宜	119	10	のお話しの有つた通り酒は多く飲んでは	宜しく　無いと云ふことは誰もよく承知して居ること
	宜	093	02	ルマントン号船長の罪を鳴らさんとせば	宜しく　先づ証拠蒐集に尽力すべし明治十九年十一月
	宜	093	06	ルマントン号船長の罪を鳴らさんとせば	宜しく　先づ証拠蒐集に尽力すべし」といふ題に付て
よろしけれ	宜	134	11	，本と末といふものが有りますが結果が	宜しけれ　ば其の原因は必ず善いもので有りまする．
よろず	万	245	08	用して，これ等のことをもやられる訳で	万　，已むを得ざるときは秩序安寧だけを重もにしな
よろん	輿	009	05	し廃さうでは無い，廃さない方が天下の	輿論　で有ります．さればこの演説も時勢に適せぬム
	輿	192	05	生に承りますと公論といふはお前の言ふ	輿論　と違ふ，当時大名といふものがあつて其の大名
	輿	192	06	の大名の論決するか議決するもので大名	輿論　といふのが正しいといふことでありましたが其
	輿	192	07	でありましたが其れは範囲の広い狭いで	輿論　といふことには違ひ無い．また明治二三年に公
	輿	086	08	し世の人々の自分の見込み，また一般の	輿論　に問ふならば明らかな返答は出来まいと存じま
	輿	192	12	といふこともありましたが，これも公議	輿論　に従ふといふことです．其の議決したことは天
	輿	095	12	の無い時はドウするか．証拠が無ければ	輿論　は何と言つても已むを得ず無罪にせぬければな
	輿	111	07	うと思はれる．故に我々は此の事に付て	輿論　を以て充分彼等の所業の不当なることを論じな
よわい	弱	083	04	へました．今日欧羅巴各国の中で至つて	弱い　国はイスパニヤとポルトガルで御坐ります．ま
	弱	043	17	又今日文明開化になりたのも強い人種が	弱い　人種を打ち負かして勝を取りたからぢゃ．若し
よわいせ	歯	237	13	うになつて西洋のことを学ばぬ人は世に	歯せ　られぬと云ふ有様になつて来ました．マルデ昔
よわき	弱	130	03	エ基督教と基督教の道徳法の基は決して	弱き　ものでは御坐りませぬ．基督教は則ち造物主の
よわく	弱	039	08	てはクラシが出来ぬ．殊に女子は身体も	弱く　て戦争も出来ぬから，なほさら殺さねばならぬ
	弱	040	01	いふ徳義にかなふた人でも其の時分には	弱く　ては徳義の人では無かりた．盗賊を賞するのと
	弱	044	12	と父と夫との権は強く臣と子と妻の権は	弱く　て君と父と夫は自ら利して其れに対する臣と子
	弱	168	08	に始まつたが其の頃は世界開化の勢ひが	弱く　て振ふことが出来なかつた．其の後，二百六七
	弱	173	15	ることが出来ませぬ．（動かない人民は	弱く　なつてしまふから）何にせよ早かれ遅かれ必ず
よわたり	世	090	09	ります．基督教を用ひ天の光りを受けて	世渡り　するものは必ず種々の進歩をする訳で御坐り
	世	090	16	能く尋ね而して己れの足を之に合はして	世渡り　するものは進歩せぬと云ふことが決して御坐
	世	088	11	全なることを知らで森林の中で弓を射て	世渡り　をして家を立ることを知らねども其の儘で満
よわつ	弱	116	11	胃痛がありて十二時間ばかり痛み続いて	弱つ　たことが有りましたが，あとで考へて見ると両
よわらし	弱	034	13	か知れませぬが私は酒を飲んでは身体を	弱らし　智慧を鈍くし財を費すことになつて種々様々
よん	呼	011	06	御尤で有ります．併し神保町の車屋でも	呼ん　で来て「貴様どこだ」と聞いたら「神保町だ」
よん	四	174	02	んだ数を除いたものと就籍等の増人数を	四　箇年に平均すると三十六万二千七百七十四人にな
	四	175	05	ありますか，是でありますか．また此の	四　箇年の間は国人の難儀な年柄でさえ人数の殖ゆる
	四	269	02	う．順序は前と違ひますが中央獄は二十	四　箇所ありまして其の中，六箇所が女子部で，アト
	四	269	04	は公立のもの十一箇所，私立のもの三十	四　箇所，合せて四十五箇所ありまして，そこに居り
	四	269	06	所，私立のもの二十二箇所，合せて二十	四　箇所ありまして，其の生徒の数は千六百三十七人
	四	273	10	す．此の外，東京，兵庫，宮城，三池の	四　箇所に仮留監と申しまするものが一箇所づゝ都合
	四	273	11	留監と申しまするものが一箇所づゝ都合	四　箇所ありまする．此の仮留監と申しまするものは

代表形	判	ページ	行				
（よん）	四	022	13	半，半は少し大げさで其の実は三丁と十	四		間程で大きさは即ち一寸の玉．其の次ぎが螢＊惑
	四	107	11	サイドと申し，このホミサイドを分つて	四		種としてあります．第一種をジャスチファイァブ
	四	108	02	あれば或ひは終身徒刑のもあります．第	四		種はマーダー即ち謀殺でありますが，これは日本
	四	258	10	ればなりませぬ．此の不良少年の種類は	四		種ありまして，其の一は出願懲治者，其の二は不
	四	109	06	噸以下は三艘，六百噸以上八百噸以下は	四		艘，八百噸以上一千噸以下は五艘，一千噸以上一
	四	022	13	ぎが螢＊惑星即ち火星で太陽の鑓形から	四		丁と五十五間先づザット六丁の処に五分三厘に足
	四	262	10	監獄の方法を略述しまするに其の方法が	四		通り有りまする．其の第一は分房法と云ひまして
	四	152	04	律規則を研究しなければなりませぬ．第	四		には全国，府県，町村を所有者，負債主，債主の
	四	174	03	箇年に平均すると三十六万二千七百七十	四		人になります．昨明治十九年一月には日本国の総
	四	174	05	の二倍即ち七千六百三十万二千四百三十	四		人の日本国人となりませう．一体，数字はシャレ
	四	063	05	力車一つの割合にして一千人に付き五個	四		の比例です．而して欧米の馬車の数は何程あると
	四	267	08	ず分房法を用ひなければなりませぬ．第	四		の出獄人授業部の事業は慈恵上より成り立つとこ
	四	244	11	政治を実際に行ふことで有りまする．第	四		は憲法の執行で，これは憲法に於て定めたことを
	四	258	11	は不論罪懲治者，其の三は幼年囚，其の	四		は徘徊する所の不良少年で有ります．これは前に
	四	263	07	は最も不完全なるもので有りまする．第	四		は階級法と申しまして，これは分房法と雑居法と
	四	264	10	を一時監禁しておくので有りまする．第	四		は出獄人授業部と申しまして，此の部に於ては罪
	四	268	15	こゝには刑期の長い者を入れて置き，第	四		は矯正院即ち感化院で有りまする．ところで，今
	四	254	12	には有りませぬから為めに再犯，三犯，	四		犯，五犯，六犯と云ふやうな者が随分あるやうに
	四	263	15	て実行せる監獄事業の分ち方はこれまた	四		部となります．其の第一は犯罪予防部と申しまし
	四	269	11	盗で其の数五千三百七十四人，即ち六割	四		分で有りまする．また年令を以て割合を申します
	四	013	02	きい処で僅か日本の三千二百四十八里と	四		分の一で一番小さい所は三千二百三十七里と八分
	四	205	12	ｃｋｅの彗星と云ふが有りますが三年と	四		分の一ごとには戻つて来るもので有ります．諸君
	四	061	08	です．則ち明治十一年には人力車の数十	四		万二千五百七十二でありましたが十三年には十五
	四	271	06	以上の諸監獄の在監人を合計しまするとと	四		万八千八百五十六人となりまする．さて，これよ
	四	270	10	たる者が三十四人ありまして丁度たゞの	四		厘に当りまする．また，小学教育より以上を受け
	四	260	01	ふことに，きめたいもので有ります．第	四		，救助費の額を定むること．これは最も必要なこ
	四	272	03	末丁年）を懲治する所でありまする．第	四		，已決監．こゝには懲役の刑，及び禁錮の刑に処
	四	081	15	．また鞏固ならぬもので御坐ります．第	四		．人間の器量は様々にして其の常に為す所また勉
	四	090	03	進歩せぬと云ふことが御坐りませぬ．第	四		．また人の進歩を助くるには人の導きになる教，
	四	131	06	方は如何なるもので御坐りませうか．第	四		．其の一つの至極よい仕方はこれで御坐ります．
よん	読	133	08	ことが御坐りました．漸く昨日新聞紙で	読ん		だことで御坐ります．一人の宣教師は支那のズ
	読	144	12	ばしいことには此の節は追々西洋の本を	読ん		だ然るべき人たちがソロソロ西洋の小説を訳し
	読	144	15	を読まない者も有る．また西洋の小説を	読ん		だ者は筆先が鈍し．兎角双方旨く参らぬから日
	読	103	12	感ぜらるゝに相違なし．而して日蓮記を	読ん		で見ても昔しの人が物事を深く信じて疑はざる
	読	138	07	だと思ひましたが其の意に随ひ其の本を	読ん		で居りますと果して，ぢきに眠つてしまひまし
	読	139	01	ことはして悪いと自分が面白いと思つて	読ん		で居る中に自然と感ずるものなれば其の感も強
	読	144	11	第一入りまする．また西洋の小説を多く	読ん		で貰ひたい．少し悦ばしいことには此の節は追
	読	167	12	ひつくりかへして見ても漢土の本を万巻	読ん		で見ても分りますまい．ヤッパリ新しい問題は
	読	177	12	たことがありますが今其の書いたものを	読ん		で，この演説をしまひませう．右は一席の演説
	読	191	08	したのでも無い．モンテスキューの説を	読ん		で見ましても裁判をするは法律を執行するに止
	読	235	14	有りますが其の始めにオランダの書物を	読ん		で，さうして医者になると云ふ人の辛苦したこ
	読	235	16	難事は二た通りで有つた．第一は書物を	読ん		で事柄を知ると云ふことが容易で無かつた．先
よんじゅう	四	228	10	が行はれ段々と一定しまして今では三府	四十		一県と北海道庁とになりました．この府と云ふ
	四	070	09	万九千百十一人，日本の人口は三千七百	四十		五万千七百六十四人で御坐います．この統計に
	四	269	04	一箇所，私立のもの三十四箇所，合せて	四十		五箇所ありまして，そこに居りまする生徒の数
	四	064	08	之を営業するかと云ふに先づ二十歳以上	四十		歳以下のものにして随分他に立派な業を営み得
	四	270	06	ことだけを知つて居りまする者が千三百	四十		三人ありまして丁度一割六分ほどに当りまする
	四	273	15	四千二百二十二人，已決囚は五万六千〇	四十		二人，懲治者は百二十一人ありまして其の外，
	四	013	01	径は一番大きい処で僅か日本の三千二百	四十		八里と四分の一で一番小さい所は三千二百三十
	四	016	03	さつき申しました通り其の直径三千二百	四十		八里で有りますが月の直径は八百八十七里ほか
	四	084	13	たことが御坐りました．これ則ち千六百	四十		八年より以降のことで御坐りました．或は貴国
	四	274	04	現在人員に割り当てまするとと一人に付き	四十		八円ほどになりまする．実に莫大の費用と云は
	四	063	07	き五個の割合，一千八百八十年に於ては	四十		六万三千個にして一千人に付き十五個の割合で
	四	274	02	及び地方税支弁にて明治十七年度は三百	四十		六万九千四百五十五円となりまする．而して其
よんせん	四	110	08	に其れのみで無い．今日の新聞で船長は	四千		弗の保釈金を出し其の外の者も保釈を許された
	四	269	13	，即ち七分で，十二歳より十六歳までは	四千		二百八十三人，即ち五割一分，十六歳より十八
	四	273	14	在監人の数を見まするとと，未決者は一万	四千		二百二十二人，已決囚は五万六千〇四十二人，
	四	174	10	の衣食の費用ばかりでも一箇年に十一億	四千		万円になりませう．ドウでありませう，其の「
	四	270	05	のを見まするとと一丁字をも知らざる者が	四千		四百七十二人ありまして丁度五割三分ほどに当
	四	271	03	数は三百八十二箇所，其の在監人は二万	四千		六百九十九人でありまする．尤も此の在監人の
よんどころ	拠	055	05	無ければならないといふ様なことがあり	拠ろ		無く漢字を使はなければならない様な訳で私ど
	拠	273	17	郷旅費が無いとか足りないとか云ふので	拠ろ		無く監獄に置いてある者で御坐います．これ等
	拠	102	08	れは即ち日本人を警戒するが故であつて	拠ろ		のない話し．日本だからと申しても制度文物の

代表形	判	ページ	行		出現文脈
よんひゃく	四	122	13	有りませう．就ては此の節酒会の会員も	四百 五十人ばかりも有ることだからドウいふ塩梅に
	四	204	08	大きいのは千五百三十一年の前，即ち千	四百 五十六年に出ました彗星で有ります．この彗星
	四	204	11	つたお方は御承知で御坐りませうが，千	四百 五十六年はトルコ人がコンスタンチノプルを取
	四	274	03	弁にて明治十七年度は三百四十六万九千	四百 五十五円となりまする．而して其れを監獄現在
	四	174	05	らずで其の二倍即ち七千六百三十万二千	四百 三十四人の日本国人となりませう．一体，数字
	四	273	07	監は百六十一，懲治監は百〇三，合せて	四百 三十九の監舎となりまする．五箇所の集治監は
	四	069	06	百七十八年には登用大試験を願ひたる者	四百 七十人に過ぎませぬでしたが千八百八十一年に
	四	270	05	見まするとと一丁字をも知らざる者が四千	四百 七十二人ありまして丁度五割三分ほどに当りま
	四	269	08	九箇所ありまして，其の生徒の数が八千	四百 十四人となりまする．さて，只今申した八千四
	四	269	09	人となりまする．さて，只今申した八千	四百 十四人の幼年者の罪質を区別して見まするとと謀
	四	270	04	しいものと見えまして，前に申した八千	四百 十四人の者の教育の度合ひを其の入院の時に調
	四	109	05	客条例の第二十七節に拠れば二百噸以上	四百 噸以下の商船は端艇二艘を備へ，四百噸以上六
	四	109	05	上四百噸以下の商船は端艇二艘を備へ，	四百 噸以上六百噸以下は三艘，六百噸以上八百噸以
	四	157	13	には保証が出来ませんが其れから，まだ	四百 年にはなりませんテネ．其のお弟子のガリレオ
ら	等	009	03	ずの論を唱へる人も無からう．この子供	等 がオトナになつて千年の後には仮名が便利になり
	等	076	01	の方と言つても宜しう御坐んせう．是れ	等 が則ち必要の点は同一にして必要なる所以の点に
	等	111	06	に違ひ無い．即ち今回の事件の如きは彼	等 が平常我々を虐待する種々様々なる一部分であら
	等	253	12	ことは考へませぬやうになります．これ	等 が則ち農民の中には盗賊が少ないと云ふことの原
	等	109	02	に残つて居ることを甘んじませうや．彼	等 乗客は水夫等は船の事を知つて居るから其の言ふ
	等	087	13	本は何処に在るかと基督教に問はばこれ	等 即ち神のノリまた基督の総ての高尚なる仰せを書
	等	107	05	花嫁もあつたといふことであるが，これ	等 男女の父母たり兄弟たり将た良人たる人々の心情
	等	111	05	之を蔑視するの極，之を虐待して殆ど彼	等 と同種類の人類でないと思つて居るに違ひ無い．
	等	100	02	同等の人間と思はぬに相違なし．若し彼	等 にして我々を同等の人間と考へたるならば其の平
	等	266	04	犯罪の予防をすることで有ります．これ	等 に施す方法は教育と教誨と懲戒との三つで有りま
	等	028	09	受け取る様なことが有ります．そこで此	等 の星を観測して見ると中には面白い星が有る，一
	等	062	05	どと評するもの往々あります．故にこれ	等 の人はイヤでもオーでも門外に出るには必ず車に
	等	075	06	に挙げて算ふべからざることで則ち其れ	等 のことが消極的のものであつて害を除く方に付て
	等	082	13	プトとペルシヤの国が御坐ります．これ	等 の国は立派に開けた国で御坐りましたが道徳の進
	等	086	01	お話し申したで御坐ります．さて，これ	等 の種々の事柄は演題の確実なこと，また其の間違
	等	086	03	ものは何で御坐りませうか，また，これ	等 の善き性質，人の益になる原素，人を貴くする所
	等	086	09	の学問は誠に大切なものなれども，これ	等 の高尚なものを充分に説きませぬ．これ等の大切
	等	086	09	の高尚なものを充分に説きませぬ．これ	等 の大切なものは此の世の権威と勢力また人の立て
	等	086	11	はらぬもので御坐ります．さらば，これ	等 のものは如何にして知ることが出来ませうかイヅ
	等	086	14	べからざること即ち基督教の必要はこれ	等 の質問に由つて明らかになります．若し基督教に
	等	086	16	なつて居る聖書を開き見るならば，これ	等 の事柄がサッパリ分らぬと云ふことが御坐りませ
	等	086	17	分らぬと云ふことが御坐りませぬ．これ	等 の高尚なる事柄を世の人に委しく教ゆる為めに基
	等	087	01	れたので御坐ります．基督教は丁度これ	等 の貴きものに付て人の心を照す為めに万民の中に
	等	087	03	れの信仰と品行とのノリとする者はこれ	等 の大事なものに付て誤ること，つまづくことは容
	等	087	07	なるものかと基督教に問ふならば，これ	等 のもの皆な天地万物を造り且之をつかさどりたま
	等	087	10	は如何なるものかと基督教に問はばこれ	等 のもの皆な全知全能の神にして即ち人に進歩する
	等	087	15	己の信仰と品行とのノリとする人はこれ	等 の大切なるものに付て或は間違ふこと或はつまづ
	等	108	05	自分は今ノルマントン号の船長ドレーキ	等 の所為は何に当るといふことを審究するのが必要
	等	108	14	ことを攻究しなければならないか．船長	等 の指図に従ふより外はありますまい．然れば誰も
	等	109	14	伝聞して其の効用を知るであらう．これ	等 の事実であるに同胞が端艇に乗ることを肯じなか
	等	110	09	を持つて居る人もあるに違ひ無い．これ	等 のことに付て考へて見ても疑はしいことである．
	等	111	07	に我々は此の事に付て輿論を以て充分彼	等 の所業の不当なることを論じなければならぬと思
	等	124	05	して終に卒業する積りである故に，これ	等 の為めにも全く無益で有るまいと希望いたします
	等	125	17	基督教を承諾することが出来ぬと．これ	等 の色々の不承知を言ふお方の中に，よく熟したる
	等	127	04	とは滅多に御坐りませぬ．一般にはこれ	等 の人は随分タシカな人で有ります．また其の論は
	等	127	06	之に勝つことは出来ますまい．勿論これ	等 の専門家が其の専門と致した所のことを論ぜず色
	等	129	07	教の大敵とするもので御坐ります．これ	等 の人の思ふには近来盛んに開けた所の学術の為め
	等	132	08	ルシの残らぬもので御坐りました．これ	等 の色々の敵は既に久しき以前に世を去りましたも
	等	134	05	て悪を行ふものと言へる世の人をして爾	等 の善き行ひを見て神を崇めしめむ為めなり」また
	等	134	08	所はこれで御坐ります．「人々の前に爾	等 の光りを耀かせ，さすれば人々爾等の善き行ひを
	等	134	09	に爾等の光りを耀かせ，さすれば人々爾	等 の善き行ひを見て天に在す爾等の父を崇むべし」
	等	134	09	ば人々爾等の善き行ひを見て天に在す爾	等 の父を崇むべし」と．この言葉は人々皆承知する
	等	135	03	督教をのみ研究し且弁論するならば我れ	等 の区域，我れ等の趣意が至つて狭いものにはなり
	等	135	03	し且弁論するならば我れ等の区域，我れ	等 の趣意が至つて狭いものにはなりはせぬかといふ
	等	135	11	御坐ります．ナゼといふのに人間のこれ	等 の大事なもの多くは皆な基督教に係はるもので御
	等	147	15	すとかいふのは行政法であります．これ	等 の事実をスタチスチックで調べるのは行政法の便
	等	177	16	ることなりと笑ふ人もあらん．若し是れ	等 の人ありとせば，よき例あり．昔アリスメデスが
	等	210	11	文のことを調べる人はショッチュウ其れ	等 の迷ひを解くことを書いて居りますが，日本など
	等	245	08	有りまするから幸に之を利用して，これ	等 のことをもやられる訳で万，已むを得ざるときは

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（ら）	等	247	03	獄に入れたと御覧なさい．其の母親は右	等	のことに無頓着で有りますから「おれが子をおれ
	等	247	05	とだ」と思つて居るで有りませう．此れ	等	の人物に向つては其の悪いと云ふことの理由を能
	等	253	01	だけ余計の用が有りまする．付てはこれ	等	の者の為めに矯正院を設くることになつて居りま
	等	254	09	罪人と云ふ虞れが有りまするから，これ	等	の為めには慈恵と犯罪予防との二つの理由よりし
	等	255	14	うなことも無いではありますまい．これ	等	の為めに今日の華族は皆な賤しむべきもので有る
	等	278	12	の必要が有ると確信いたしますから其れ	等	のことは追つて著書に於て論ずることと致しませ
	等	060	02	を用ひない所は少ないと云ふは必竟これ	等	は便利であるからです．又田舎では以前は絹衣な
	等	074	07	て家賃を取るなどと申すことなど，これ	等	は皆な金を出しまするものか，便
	等	099	08	ふ二字に過ぎないことであらう．即ち彼	等	は我々を軽侮するの心あり彼等は我々を軽蔑する
	等	099	09	．即ち彼等は我々を軽侮するの心あり彼	等	は我々を軽蔑する心あるのが此のことの原因とな
	等	099	17	いふ所から見たときには如何にしても彼	等	は我々を軽蔑したものなりと考へるより外はない
	等	100	01	したものなりと考へるより外はない．彼	等	は実に我々日本人を同等の人間と思はぬに相違な
	等	105	12	報道するものもあります．然れどもこれ	等	は総て誤謬たるを免れませぬ．我輩は固より英国
	等	109	02	ことを甘んじませうや．彼等乗客は水夫	等	は船の事を知つて居るから其の言ふ通りにしたら
	等	109	12	ことで御坐ります．して見れば，この人	等	は端艇の効用を知つて居つたに違ひ無い．然るに
	等	110	12	の疑ふ所をして事実に違はざらしめば彼	等	はマーダーの犯罪たることは免るゝを得ますまい
	等	111	04	事たる決して之に止まりませぬ．元来彼	等	は一般に日本人其の他東洋人を蔑視し之を蔑視す
	等	120	01	などと云ふ色々なものが有りますが其れ	等	は表に見ゆるから予防をすることも，かなへます
	等	141	16	の外，学者になつたものも有る．併し是	等	はたとひ学問は有つても其れを運用することの出
	等	143	16	むことの出来ぬ奴があります．併しこれ	等	は小説の末の余弊でありますから仕方が無い．彼
	等	147	10	境界を調べるといふことがあるが，これ	等	は何等の為めに調べるかといふに日本帝国の境界
	等	161	08	て比干の心を剖いて見たりしたが，これ	等	は畢竟，酒を飲むといふことから導かれたものと
	等	189	02	つて政を議したさうで御坐います．これ	等	は議政といふ立法権の種類に属すべきものであり
	等	224	10	，強盗や情死の仕組は止みませぬ．これ	等	は風俗にも関係することで有りますが此の頃，貴
	等	241	09	して公有物の部に属しまするから，これ	等	は述るに於て聊か不都合は無い．また成るべく世
	等	245	07	，等沢山に有りまする．然れども，これ	等	は行政権と申す立派な道具が有りまするから幸に
	等	254	04	してしまふ者が多く有りますから，これ	等	は再たび盗賊でも働かなければならぬやうになり
	等	255	03	などと考ふる者もあるさうですが，これ	等	は昔の人の為めに我々の受ける迷惑で有らうと考
	等	257	07	助と云ふに止まるもので有ります．これ	等	は親族なきに於ては已むを得ず公けの救助と私の
	等	082	03	どは皆んな其の通りで御坐ります．これ	等	皆な至極善きもの至極有益なるもので御坐りま
	等	088	05	め種々の必要なものが御坐ります．これ	等	も亦基督教の緊要なることを能く顕はす故に其の
	等	252	05	いときはナホあぶないと云ふので，これ	等	も懲治しなければなりませぬ．之を二た通りに分
	等	101	06	国に通じないのである．これが矢張り彼	等	より軽侮軽蔑を受くる原因でありませう．まづ第
	等	134	04	世に在りて善き行ひを為すべし，これ爾	等	を誹りて悪を行ふものと言へる世の人をして爾等
	等	273	12	差し回すと云ふ趣意でありまする．これ	等	を合しまするに監獄の数は総体にて二百〇一箇所
	等	274	01	監獄に置いてある者で御坐います．これ	等	を合しまするに在監人の総数は七万二千二百五十
	等	134	04	ばPeteroが仰せられまするに「爾	等	，世に在りて善き行ひを為すべし，これ爾等を誹
らい	来	033	11	なつて居ります．さて酒は世間に数千年	来	行はれてありますが酒を以て国を亡ぼすといふ方
	来	187	05	ず世界万国の婦人の代表者として数千年	来	種々の圧制束縛を受けた婦人が，これより永く真
	来	102	09	ある．日本は野蛮の国では無い．二千年	来	特別の開化をして居るから国情さへ西洋へ通ずれ
らいかい	来	057	13	生会の声を聞くのみならず今日の如きも	来会	せらるゝ者一千余名もある様ですが斯く衛生の
らいじゅう	来	149	03	か其の他，離婚のこと結婚のこと，また	来住	のこと往住のことなどを調べるにしてもドレだ
らいちょう	来	222	12	舞など云ふ固有の舞が有りました．三韓	来朝	の後，三韓とモロコシから伝はつた舞楽が追々
らいどう	雷	101	15	ば反対を試みるものもなくて直ちに之に	雷同	し，また直ちに之を打ち捨ててしまふ様です．
らいねん	来	006	16	ウで有うか仮名の会は俄に盛にならうか	来年	位には世の人多く漢字の不便を覚らうかと．私
らいれき	来	213	07	から，たゞ小説なり演劇なりに付て故事	来歴	の大略を演るまでで決して当今流行の改良をは
	来	215	10	しませう．先づ小説の成り立ちよりして	来歴	の次第を申しませう．しかし之を申すには西洋
	来	222	09	を耻るやうな様子が有りました．小説の	来歴	はこれまでとして，これから演劇のことを述べ
らく	楽	055	06	ればならない様な訳で私どもも孫の頃は	楽	にもなりませうが今の所では漢字を読ませるのは
	楽	124	16	道師の仕事は皆残らず順風に助けられて	楽	の出来るものでは御坐りませぬ．逆風に妨げられ
	楽	059	14	を悦び奇麗な物を愛し，うまき物を好き	楽	を欲するものでありますから（無くては大変だ）
らくこく	洛	162	13	偽書が有るといふことだがこの酒詰だの	洛詰	だの無逸だのは正銘なもので決して間違ひの無
らくちゃく	落	219	12	になるのを第一にすることにツマリ論が	落着	しました．して見ると昔の風俗は自由結婚に近
らしい	ら	005	08	い．この間の戦争に誰か少しばかり戦争	らしい	ことをやつたのはアメリカへ留学したもので
らしく	ら	221	08	太平記などと云ふウソバナシをサモ本当	らしく	作り，後には真田三代記とか難波戦記とか伊
	ら	155	10	とマア学問の献立をならべなければ学者	らしく	見えない．先づ学問といふものは御存じの御
	ら	209	06	中に明りを通すと云ふ方が多くして尤も	らしく	，通さないと云ふ方が怪しいやうで有ります
らてん	ラ	242	09	スではプリゾンと申しまして其の字義は	ラテン	語に基づきまするとツカマヘルと云ふ意味で
らむぷ	ラ	018	03	来て居るので有ります，こゝに燭します	ラムプ	も，そこでたいてありますストーヴも皆太陽
ららんど	ラ	202	06	うと云ふに随分大変な仕事でフランスの		Lalande と云ふ人とHortenseLep
らるる	ら	076	16	場合によつてハッキリとして限界の立て	らるゝ	ことも御坐んせうが其の間，髪を容れぬので
	ら	107	03	に如何なる種類の人があつたかを記憶せ	らるゝ	であらう．即ち暫く東京に遊学して居つて今
	ら	202	04	の他の惑星からは何日ばかり時間を費せ	らるゝ	と云ふことを勘定する式を与へました．其の

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（らるる）	ら	062	01	するに人力車に乗らざるときは貧乏視せ	らるゝ	とか或は軽蔑せらるゝとか思ふ所の卑屈心を
	ら	062	02	るときは貧乏視せらるゝとか或は軽蔑せ	らるゝ	とか思ふ所の卑屈心を生ぜしめたるは原因の
	ら	266	14	感化も其の効があらはれましたと看認め	らるゝ	ときに至りましては雑居法を用ひまして其の
	ら	103	12	しならむ」と弘法大師の非凡なるを感ぜ	らるゝ	に相違なし．而して日蓮記を読んで見ても昔
	ら	162	05	り西国に在られしとき庶邦の官長に戒め	らるゝ	には惟々，祭祀は則ち酒を用ふべし蓋し天の
	ら	057	11	す．然るに今当路者が斯く衛生に注意せ	らるゝ	のは実に有り難いことで此の近県の様子を見
	ら	059	07	改良し空気の通暢を善くし衛生に注意せ	らるゝ	ので兵士の病気が減じたと云ふも，これ皆開
	ら	069	03	を卒業し其れより高等司法官吏に任用せ	らるゝ	までは前三年，次四年，次三年で都合十年間
	ら	141	10	道を知らぬ．斯様なことで有れば卑しめ	らるゝ	も当然なることで有りませう．之を改良する
	ら	243	10	上部を握られて天下の事を御親裁あらせ	らるゝ	もので御坐います．さて，執行権の中には政
	ら	057	13	声を聞くのみならず今日の如きも来会せ	らるゝ	者一千余名もある様ですが斯く衛生の盛んな
	ら	179	11	福音を宣べ伝へ心の傷める者を医し圧制	らるゝ	者を放たんために世に遣されたり」と仰せら
	ら	179	14	も曲りたるは直くし嶮しきは易くし圧制	らるゝ	者は之を放ち凡て世の不釣合不平均を取り除
	ら	071	02	坐います．さて今日は卒業諸君の輩出せ	らるゝ	を喜んで沈黙するに忍びず斯の如く陳べます
られ	ら	067	15	て足れりとせず益々法律に経済に従事せ	られ	赫々の光華を得られむことを望みます．而して
	ら	007	08	有りませう．字が書けると地方でも賞め	られ	書けぬと百姓町人までが馬鹿にする．其れだか
	ら	096	07	至るまで充分の時間があつたから救ひ得	られ	さうなものであるに之を救ふことの出来なかつ
	ら	052	10	かへてしまふ．其の外秦の始皇に出かけ	られ	たと思ふと大層な不都合が出て来て当分は手紙
	ら	061	01	か又東京に於ても支那の公使館の門を見	られ	たならば必ず古代未開時の風たるを覚らるゝで
	ら	087	02	付て人の心を照す為めに万民の中に設け	られ	たもので御坐ります．この故に聖書と云ふもの
	ら	185	15	同等の教で御坐ります．前の弁士も述べ	られ	た通り我が邦に於ては儒道仏道の行はれた結果
	ら	205	07	ットして何公が死んだとか誰宰相が黜け	られ	たとか其の外，人間社会に災の有ることも一年
	ら	235	07	せぬが諸君の刻苦勉励で今日の栄誉を得	られ	たことで実に感ずべきことで有ります．しかし
	ら	236	16	学をした為めに藩を逐はれ，また苦しめ	られ	た者も沢山有りました．尤も左様なる有様も御
	ら	240	04	実際の有様を巡閲して来れ」と私に命ぜ	られ	たときには該景況は則ち内務大臣に代つて之を
	ら	272	07	，島地の集治監は単に徒刑，流刑に処せ	られ	た者だけを集治いたします所でありまする．さ
	ら	067	06	した．且法律経済の二科に就て卒業をせ	られ	たる所の数十人の諸君が卒業証書を得られまし
	ら	067	11	又諸君が多年の刻苦と勉強とによつて得	られ	たる栄誉は只今この満場に於て喝采を得られた
	ら	067	11	たる栄誉は只今この満場に於て喝采を得	られ	たる諸君の身辺に充満して居ること故更に私が
	ら	131	01	ことは致しませぬ．また人間の心に植え	られ	たる所の道徳の法も人の色々の浅ましい論によ
	ら	141	03	なれども其の他の小説家は概して卑しめ	られ	たるもので有ります．さて日本で学者が此の小
	ら	271	14	但し時宜によりますると拘留の刑に処せ	られ	たる者を留め置くこともありまする．第二，監
	ら	272	03	こゝには懲役の刑，及び禁錮の刑に処せ	られ	たる者を拘禁して置きまする．第五，集治監．
	ら	272	04	これは徒刑，流刑，及び禁獄の刑に処せ	られ	たる者を集治する所で有りまする．尤も集治監
	ら	278	02	た．これで監獄全体に係る事柄は了解せ	られ	たることと存じます．尤も此の講談に於ては前
	ら	029	16	併し銀よりは立派です，銀が其れに譬へ	られ	て仕合せです，迚も銀などの及ぶことでは無い
	ら	041	09	会の風習により為めになることなら賞せ	られ	て善いこととなり，為めにならぬものは悪いこ
	ら	071	04	だ卒業に至らざる諸君は益々刻苦勉励せ	られ	て他日の成業を期待せられ又学科上に就て教師
	ら	071	05	執らるゝ方は一層の勉励と培育とを加へ	られ	て共に我が国の文明の基礎となるべき機関を製
	ら	110	05	のかといふに，たゞ風の為めに吹き寄せ	られ	て来たのだといふ．然らば船長其の他の人々が
	ら	124	16	若い伝道師の仕事は皆残らず順風に助け	られ	て楽の出来るものでは御坐りませぬ．逆風に妨
	ら	133	03	節より三百年の間は基督教信徒が苦しめ	られ	て色々のひどい目にあはされたことは実に甚し
	ら	140	17	作者だ人情本書きだなどと世間で卑しめ	られ	て居たから此の故で有つたでせう．馬琴尚ほ且
	ら	144	02	画くものも有る甚だしきに至つては禁ぜ	られ	て今は無けれども春画の如きも有る．斯様な画
	ら	193	12	これ皆な王政復古といふことを度々述べ	られ	てありますから政治上の原則は開闢以来の原則
	ら	223	09	どと云ふものか有りましたが共に停止せ	られ	て承応年中に物真似狂言尽しと名称を改め，京
	ら	236	01	ンダ通事も初めは蘭字を習ふことは禁ぜ	られ	て蘭語を仮名で書いたことださうで有ります．
	ら	040	15	見れば悪人とも云ふべき者が却りて賞め	られ	貴ばれたので其れに反して今日から見れば善人
	ら	102	01	プーと怒る．怒ることは怒るが長く耐へ	られ	ない．日本人はヤマアラシであるから支那人の
	ら	103	03	る．日本人が保守の心勘なく物事に耐へ	られ	ないのは宗教が衰へたからである．古への日本
	ら	212	09	者などに取つては金剛石や金銀にもかへ	られ	ない程の品物を得ることが出来るかも知れませ
	ら	057	10	如何にも身体が健康でなければ幸福は得	られ	ぬもので其の健康を得やうとするには衛生が必
	ら	210	02	となるかも知れません．これも説を述べ	られ	ぬ一つの理由で有ります．其れからモウ一つ世
	ら	220	03	ふものは児島某と云ふ小説家の作で信ぜ	られ	ぬことが多く楠正成の桜井のことだの或ひは後
	ら	236	10	医者などが西洋医者になつても人に信ぜ	られ	ぬのみならず始終，人に悪まれて少しも自分の
	ら	237	13	なつて西洋のことを学ばぬ人は世に歯せ	られ	ぬと云ふ有様になつて来ました．マルデ昔とウ
	ら	241	04	ぬ．所有権の点に於ては無論，言ふを得	られ	ぬものと存ぜられます．尤も私の巡閲したる途
	ら	179	09	夷げられ曲りたるは直く嶮しきは易くせ	られ	人々みな神の救をみん」とあり，またキリスト
	ら	179	09	た語に「諸の谷は埋められ諸の岡は夷げ	られ	曲りたるは直く嶮しきは易くせられ人々みな神
	ら	051	07	字の不便なこと仮名の便利なことを述べ	られ	ましたから今日私はそこは申しませぬ．たゞ愈
	ら	067	07	れたる所の数十人の諸君が卒業証書を得	られ	ましたのを観まして大いに感ずる所が御坐いま
	ら	090	08	御自分に「我れは世の光りなり」と仰せ	られ	ましたことも有ります．なぜなれば所謂聖書は
	ら	125	14	よく言ふＳｐｅｎｃｅｒ氏が何々と仰せ	られ	ました故に学術と基督教は決して相符合するに

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（られ）	ら	133	10	外其の村の戸長の如き役人に深切に迎へ	られ	ました．かの宣教師が「アゝこの役人は既に基
	ら	134	06	は其の実によつて之を知るべし」と仰せ	られ	ました．または「悪き木は善き実を結ぶこと能
	ら	134	07	は善き実を結ぶこと能はず」などと仰せ	られ	ましたことも御坐ります．尚ほ明かな所はこれ
	ら	179	11	を放たんために世に遣されたり」と仰せ	られ	ましたが千八百年以来の歴史をみて此の言の決
	ら	185	02	る者も亦，姦淫を行ふ者である」と仰せ	られ	ましたが，これが即ちキリスト教の結婚の道で
	ら	240	01	如何，何々何々と矢をつく如くに詰問せ	られ	ました．けれども元来，上官又は他人の命，又
	ら	275	09	政官達第八十一号を以て監獄則を発表せ	られ	ましてから非常の改良を加へました．其の後，
	ら	029	05	回つて居る惑星があると云ふことが察せ	られ	ます．そこで我々の太陽の同士が即ち此の星と
	ら	031	15	ります．こゝに至つて説が二た通りつけ	られ	ます．或はアマノガハと云ふものは我々の見る
	ら	192	10	いふものもありますし，今に国会も立て	られ	ますが，ツマリ二つ以上の頭を以て万事を議す
	ら	241	04	於ては無論，言ふを得られぬものと存ぜ	られ	ます．尤も私の巡閲したる途中で福島県の道路
	ら	241	10	に知らしむるに於て利益あるものと存ぜ	られ	ます．故に実際に至りますとコレコレは述べ
	ら	242	07	に敷衍するに於ても利益が有らうと考へ	られ	ますから，これより新潟監獄に於て演説いたし
	ら	257	17	は次に述ぶる如くに定むべきものと考へ	られ	ます．第一，貧民の救助．これに二つの種類が
	ら	263	10	まする．此の方法が一番宜しいかと考へ	られ	ます．前に述べましたる四つの方法は国によつ
	ら	270	15	は皮想の考へで取るに足らない説と存じ	られ	ます．今度，述べまするのは留置場で其の数は
	ら	278	09	分か諸君を益したることであらうと存ぜ	られ	ます．若し果して幾分か諸君を益したらば私の
	ら	068	14	等官吏登用大試験及第の後試補官に任ぜ	られ	まする順序で御座います．（この試補官と申し
	ら	134	03	御坐ります．例へばＰｅｔｅｒｏが仰せ	られ	まするに「爾等，世に在りて善き行ひを為すべ
	ら	275	14	間の有志者，有力者に於て非常に尽力せ	られ	まするの時機にまで到りましたから，これも遠
	ら	051	11	だけでは，これで盛大になつたとは考へ	られ	ませぬ．会にお集まりなされた方が使へるだけ
	ら	094	09	英吉利法のことは大谷木君が後程，陳べ	られ	ませうから私は英吉利法によらずして法理に付
	ら	097	11	とは大谷木君が英国の法律に照して論ぜ	られ	ませうから．真正の改良明治十九年十一月十八
	ら	199	07	分ると云ふことは，こゝで一席には述べ	られ	ません，若しこゝで一席で言ひ尽せます位なら
	ら	071	04	々刻苦勉励せられて他日の成業を期待せ	られ	又学科上に就て教師の任を執らるゝ方は一層の
	ら	067	15	法律に経済に従事せられ赫々の光華を得	られ	むことを望みます．而して私は法律科卒業の諸
	ら	071	06	文明の基礎となるべき機関を製造陶冶せ	られ	むことを望みまする．又我が国に於て新聞記者
	ら	077	12	めに利を興し害を除き蒼生の幸福を進め	られ	むことを切に希望いたします．基督教は社会進
	ら	071	03	すが諸君益々進んで学識を実業に利用せ	られ	明裁判官明代言人とならむことを望み未だ卒業
	ら	179	09	の御降臨を預言した語に「諸の谷は埋め	られ	諸の岡は夷げられ曲りたるは直く嶮しきは易く
	ら	224	09	維新以来は官からも不都合のことは禁ぜ	られ	，また世上にも色々と風評が有つて俳優や作者
られる	ら	172	15	．コッチに，そんなことが無ければ責め	られる	がコッチにもあるから先づ五分五分と見てよ
	ら	095	16	までは長い間であるから，この間に助け	られる	だらうといふも実は推測に過ぎないことで御
	ら	011	11	先き「地球は何の一部分だ」と問ひ詰め	られる	と分るものが半分，知らないものが半分かも
	ら	124	16	来るものでは御坐りませぬ．逆風に妨げ	られる	所もあらう．卒業生の助けになるものが多け
	ら	227	16	つて居られた姿では無かつたかとも存じ	られる	所も有ります．其れなら徳川のやうな将軍は
	ら	046	05	事をした人から云へば政府の為めに害せ	られる	のぢゃ．して見れば他を害することを行ふて
	ら	210	17	て寒える」と言ふ人も有りました．ゆで	られる	のも寒えさせられるのもドツチも有り難くな
	ら	210	17	も有りました．ゆでられるのも寒えさせ	られる	のもドツチも有り難くない．また「地球が彗
	ら	216	10	に人に射殺されてカラダに塩をふりかけ	られる	前表で有らう」と答へましたが果して牡鹿は
	ら	234	15	出来ない，自分の国の言葉は学問に用ひ	られる	もので無いと思つて居ました．其れが段々開
	ら	246	16	とをすると，訳が分らなくつて，いぢめ	られる	やうになつて其の心は益々ねぢくれるもので
	ら	008	16	よい．これは少しづゝ時をかくれば覚え	られる	．漢字もやらせるがよいが，むづかしい漢字
らんがく	蘭	238	05	事実などはお話ししませぬが杉田先生の	蘭学	事始と云ふ書などを見るとオランダの医術を伝
	蘭	235	12	たい．昔の西洋のことを学ぶと云ふのは	蘭学	で，ワザは医術，其の後，砲術に移りました．
らんきゅう	濫	259	10	信じます．第一，救助其の宜しきを得て	濫救	の予防を主とし惰民製造の予防に注意すること
らんご	蘭	236	02	ます．其の様の次第で有つたことゆゑ，	蘭語	の稽古も実にむつかしいことで一つの言葉を知
	蘭	236	01	事も初めは蘭字を習ふことは禁ぜられて	蘭語	を仮名で書いたことださうで有ります．其の様
らんごく	乱	162	15	ことの有るのはチト苛酷に過ぎた様だが	乱国	を治めるには重き典を用ふるといふことがある
らんじ	蘭	236	01	習つたのだが其のオランダ通事も初めは	蘭字	を習ふことは禁ぜられて蘭語を仮名で書いたこ
らんしょう	濫	223	01	てすることとなりました．これが演劇の	濫觴	とも云ふべきもので有りませう．足利の始めに
	濫	222	11	なりましたと先づ大要を申して次に其の	濫觴	をザット述べませう．先づ我が国の上古には久
らんよう	濫	062	15	ヤミヤタラに乗りあるき，殊に甚だしき	濫用	と申すは例へば茲に一の閑人あり今日の午后六
	濫	063	03	はなければなりますまい．所で私が斯く	濫用	と申す証拠には日本の人力車は大約二十万にし
	濫	061	11	ともありませうが現今に至つては非常に	濫用	の弊を生じて斯の如き必要の場合にのみ使用せ
	濫	061	16	必ず乗車せしむるあり．斯の如く人力車	濫用	の弊たる我が邦人をして暗々裏に健康を害する
	濫	061	17	いなるものと思ひます．所で斯く人力車	濫用	の弊を生じたる所以を考るに其の原因となるべ
	濫	062	14	す．此の如き種々の原因よりして人力車	濫用	の弊を生じ来り三助でもオサンドンでもダルマ
	濫	063	03	を空費し無理に人力に乗るとは実にハヤ	濫用	の極と云はなければなりますまい．所で私が斯
	濫	063	12	力車あるときは非常の多数にしてツマリ	濫用	の多きシルシでありませう．されば人力車濫用
	濫	063	13	多きシルシでありませう．されば人力車	濫用	の弊たるや国民衛生上頗る有害なることで又人
	濫	064	12	所以のものは必竟前に申した通り人力車	濫用	の弊を生ぜしに因るものにしてツマリ人民が人
	濫	065	11	たはつて居るし，食物や家屋や人力車の	濫用	や丸髷島田の窮屈髷や長袖広帯のナマケ服など

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
り	り	067	14	ませぬから諸君も今日の卒業を以て足れ	り	とせず益々法律に経済に従事せられ赫々の光華を
り	利	074	17	極的の価値で御坐んす．前の方には大分	利	が多う御坐んすが只今申した方のは疾病に罹ると
	利	102	02	とがある．支那人は豚であるから苟くも	利	があると見たなれば必ずそれを外さない．糞汁も
	利	114	10	知つて居れども，かうすれば自分の命に	利	が有るか害が有るかといふことは分らない．然る
	利	114	12	ことは能く分る．さて，かうすれば命に	利	が有る，かうすれば害が有るといふことを知るは
	利	169	07	本の海外貿易の利は東に益があつて西に	利	が見えないやうだのに我が国の人心は西に向つて
	利	048	04	と万国公法と言ふものが有るなれど己の	利	これ見ると云ふ有様でやりて居る．併し国と国と
	利	076	15	文字で書く様に判然と参るもので無い．	利	で無ければ害，害で無ければ利で着物の裏表の様
	利	076	15	で無い．利で無ければ害，害で無ければ	利	で着物の裏表の様に離れないもので有るから場合
	利	169	08	だのに我が国の人心は西に向つて貿易の	利	とは反対を示すやうに見えます．これには色々な
	利	169	07	疑ふといふものは我が日本の海外貿易の	利	は東に益があつて西に利が見えないやうだのに我
	利	113	08	お話しの有つた通りのことで，これには	利	も有り害も有るがドウ見ても害の方が余計に見ゆ
	利	044	11	ゃ．支那は道徳の国なれども決して己の	利	をすてて他人の為めにすると云ふ主義が本当には
	利	074	03	全く反対するといふ其の一のものは全く	利	を興す所のもので其の一のものは之に反して害を
	利	074	04	除くといふもので御坐んする．なるほど	利	を興すの必要と害を除くの必要と，必要は同じこ
	利	074	04	くの必要と，必要は同じことではあるが	利	を興すと害を除くと其の事柄に至つては同じもの
	利	074	05	其の事柄に至つては同じものではない．	利	を興すことに付き譬へば学者ならば書物を求める
	利	075	15	加へぬ其の儘の説で御坐んす．兎も角も	利	を興す方のガハに使用するのは積極的のもので害
	利	076	04	ますと経済学はドウいふものかといふに	利	を興す為めで御坐んせうが貧弱なる国の富強にな
	利	076	14	ので御坐んす．さて私が考へて見ますに	利	を興すといふことと害を除くといふことは口で言
	利	077	01	ては実に錯雑を致します．害を除くのが	利	を興すのであり利を興すのが害を除くのである様
	利	077	02	します．害を除くのが利を興すのであり	利	を興すのが害を除くのである様のことが社会の事
	利	077	03	と法律は害を除くものであるとか経済は	利	を興すものであるとかいふ様にも参りませぬ．浅
	利	077	09	が各々学び得たる所を以て社会の為めに	利	を興し害を除きまますることが恰も電気の積極消極
	利	077	11	消極的の学科を以て同一に社会の為めに	利	を興し害を除き蒼生の幸福を進められむことを切
	利	170	14	ますまい．支那や朝鮮はたゞ商売の地で	利	を争ふばかり位なことであらうと思はれます．其
	利	237	05	様で有つたから昔の学者は決して自分の	利	を図る為めに西洋学を学ぶので無くて西洋のこと
	裏	061	16	人力車濫用の弊たる我が邦人をして暗々	裏	に健康を害すること頗る大いなるものと思ひます
	里	017	07	ませぬ．今日の所でも三千七百八十五万	里	余といふことは知れて居ます．箇様に夥しい距離
	里	014	16	ひますと地球の中心から月の中心まで何	里	あると云ふことを調べるので有ります．「ドウし
	里	013	15	ます．併し若しも我々が非常に近眼で五	里	か十里先きのものが見えなかつたら地球の外にド
	里	013	07	有りませぬが今日ではまごついて二三千	里	位のむだ足はしても僅か八十日間か百日で地球を
	里	013	15	併し若しも我々が非常に近眼で五里か十	里	先きのものが見えなかつたら地球の外にドンナも
	里	016	03	申しました通り其の直径三千二百四十八	里	で有りますが月の直径は八百八十七里ほか有りま
	里	017	10	見ますと直径は三十五万二千六百二十三	里	で地球の直径の百八倍半ほど有ります．さつきの
	里	022	06	方に居るのが海王星で十一億三千七百万	里	で有ります．そんな大きな数を持ち出しても例の
	里	023	07	球で太陽を距ること二里二十五丁幾ど三	里	で有ります．地球の鑼形の一寸の玉を太陽の鑼形
	里	026	03	から太陽までの距離が三千七百八十五万	里	で随分大きなものですが，こんな大きな物さしを
	里	015	09	までの距離が日本の里数で九万七千五百	里	です．九万七千五百里と云つては数が余り大き過
	里	015	16	さて地球から月までの距離を唱へるには	里	でも間に合ひかねるから物さしをズット大きくし
	里	013	01	番大きい処で僅か日本の三千二百四十八	里	と四分の一で一番小さい所は三千二百三十七里と
	里	013	02	分の一で一番小さい所は三千二百三十七	里	と八分の一です．其れで地球は立派な球では無い
	里	015	10	数で九万七千五百里です．九万七千五百	里	と云つては数が余り大き過ぎて見当がつけにくい
	里	015	15	間に合はなけりゃ町，町が小さすぎれば	里	と段々に物さしを大きくして参ります．さて地球
	里	023	06	王星，これは三寸八九分の玉で距離は一	里	二十六丁の処にあり，海王星は三寸八分の球で太
	里	023	07	王星は三寸八分の球で太陽を距ること二	里	二十五丁幾ど三里で有ります．地球の鑼形の一寸
	里	023	12	球は誠に小さいものだ．周囲が僅か一万	里	ばかりと申しましたのはこゝです．私は大きなこ
	里	026	05	の鑼形を用ひますと海王星を太陽から三	里	ばかりの所へ置きまして此の星をば一万九千九百
	里	026	06	所へ置きまして此の星をば一万九千九百	里	ばかりの所に置かなければなりませぬ．こんな長
	里	013	05	測つて見ますと長い所が僅か一万二百五	里	ほかない．私は僅かだと申しました．なぜだとい
	里	016	04	八里で有りますが月の直径は八百八十七	里	ほか有りませぬ．其れ故に地球の直径十一分の三
	里	027	07	な間に来ます，僅か一秒時間に七万六千	里	ほど走りますから地球のかたつ方の端から，かた
	里	015	02	分ります．地球上で測量をしますにも十	里	も二十里も先きを一々間縄を打つたり足ぶみをし
	里	015	02	．地球上で測量をしますにも十里も三十	里	も先きを一々間縄を打つたり足ぶみをして調べは
	里	025	15	の直径ではいけなくなります．三千二百	里	も有る物さしが最早間に合はなくなつて来ますか
	里	023	13	す．私は大きなことが言ひたいから一万	里	を小さいと言つたのでは無い，海王星の距離など
りいがく	理	011	02	る．地球の位置明治十八年三月二十一日	理医学	講談会東京神田区錦町東京大学講義室に於て
	理	018	05	てくれるので有ります．此のことはこの	理医学	講談会に続いてお出でになるお方は忘れてお
	理	195	02	のです．彗星の話明治十八年十月十六日	理医学	講談会東京神田区錦町東京大学予備門構内講
りえき	利	241	10	．また成るべく世間に知らしむるに於て	利益	あるものと存ぜられます．故に実際に至ります
	利	061	10	りませう．所で，この人力車がドウいふ	利益	があるかと云ふに如何にも商業上其の他のこと
	利	146	0	とも出来る．また其の小説をこしらへて	利益	が有るかと言ふと随分利益も有る．また能く売
	利	242	07	せば右心得方を充分に敷衍するに於ても	利益	が有らうと考へられますから，これより新潟監

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（りえき）	利	047	03	自分の利益と他の利益と合はねば自分の	利益	だけ謀ればよい，他の利益を顧みる訳には参ら
	利	047	03	は自分の利益を謀るだけでありて自分の	利益	と他の利益と合はねば自分の利益だけ謀ればよ
	利	047	03	益を謀るだけでありて自分の利益と他の	利益	と合はねば自分の利益だけ謀ればよい，他の利
	利	226	09	を適用すると云ふことと一個人の権利，	利益	と全国の利益との関係を規定すると云ふのが目
	利	226	09	云ふことと一個人の権利，利益と全国の	利益	との関係を規定すると云ふのが目的で御坐いま
	利	237	15	よい所へ骨を折つて，オマケに己れの大	利益	となることだから申し分は無い．其れだから今
	利	151	06	きめては官は行政府で其れは全国一般の	利益	に関することで上は天皇陛下より内閣，諸省，
	利	151	07	郡区役所，戸長役場など総て全国一般の	利益	に関するものは官と言ひ戸長も官吏であれば戸
	利	212	06	すが，其れは学問の為めには，どの位，	利益	にならうか測り知れません．観測をしたくも十
	利	236	11	ならず始終，人に悪まれて少しも自分の	利益	になることは無かつた．豪傑の士が自分の志を
	利	243	16	て居りまして其の他の法律，即ち全国の	利益	に関する行政上の法律規則等は総て行政権で執
	利	244	14	権に属しまする．其れから第六は全国の	利益	に関することを総て執行いたしまする．其の中
	利	260	16	の行政官に於てはコレコレまでは全国の	利益	になる，此の度合ひを超ると惰民製造の弊を来
〃	利	061	11	至急を要する場合に於ては随分大いなる	利益	の有ることもありませうが現今に至つては非常
	利	262	12	とも有りませぬ．此の方法は悔悟遷善の	利益	は有りまするけれども長く一房一囚に致しておも
	利	146	02	をこしらへて利益が有るかと言ふと随分	利益	も有る．また能く売れます．千部売れゝば大い
	利	146	04	つて金を集めることはイヤだ．この方は	利益	も有ることで資本も多くかゝらないことだから
	利	042	17	て貰めると云ふことは無い．たゞ自分の	利益	を謀ることは固より許すが其れが為めに人の害
	利	044	14	はれる．其れぢゃから他人を利して己の	利益	を顧みる勿れと云ふ主義も本当に行はれるもの
	利	047	02	る．社会を為して居らぬからには自分の	利益	を謀るだけでありて自分の利益と他の利益と合
	利	047	03	はねば自分の利益だけ謀ればよい，他の	利益	を顧みる訳には参らぬことぢゃ．其れは固より
	利	060	10	ひ，余地があつても桑を植ゑ蚕を養ふの	利益	をも考へず，たゞ権利とか自由とか聞きかぢり
	利	172	12	銀貨の価の不平均なのに乗じて大いなる	利益	を攫み去つたことがあつて其の仕方は子供を，
りえん	離	185	07	いたしませんが恐らくは結婚が百あれば	離縁	が二十或は三十位ある比例では有りますまいか
	離	185	06	姻は致しません．現今，我が邦の結婚と	離縁	との比例は如何程であるか只今諳記いたしませ
	離	167	06	うになりませう．さつきの宇川さんの「	離縁	の話し」なども，まだよく分らぬことだが段々
	離	184	11	ながら恐らくは世界中に我が邦のやうに	離縁	の多い所は有りますまい．其れは兎に角に今日
	離	184	12	まい．其れは兎に角に今日我が邦に於て	離縁	の造作ないことは誰も能く知つて居ることで心
りがい	利	048	01	界の痛痒相感ずる様な有様になりて互に	利害	の関係が有る．そこで今日国と国との間には道
	利	137	12	社会の教育上に関係が有つて大いに其の	利害	の有ることと思はれます．私は此の小説のこと
	利	048	05	近来は交際が益々盛んになりて来たから	利害	を感ずることが多い．故に電信だの郵便だの互
	利	237	07	底，望みは無かつた．けれども左様なる	利害	を顧みず志を堅くして右の二大難事を遂げて来
	利	241	03	つて他人の為めに巡閲したることは善悪	利害	を問はず其の人の許可を得て言ふことと致さな
	利	237	08	は実に感服の外ありませぬ．実に今日と	利害	，幸不幸を異にすることは驚くべきことで有り
りがく	理	021	13	見るとハテシが無い位で有ります．今日	理学	や其の外の学問をする人が満足する有様に至ら
	理	054	08	と御国より始めてモロコシ西洋の歴史，	理学	，化学，最も入り用なのは算術，算術も仮名ば
りく	陸	091	15	れども私は年たけて居りまして．海にも	陸	にも旅をして二回ばかり地球を周りましたが耶蘇
	陸	020	10	の様に精密には知れない．併し海も有り	陸	も有ることは確に知れて居るです．月の観測の時
	陸	020	11	云ふことを申しましたが火星を見ますと	陸	も有れば海も有る，海が有れば蒸発気が有るから
りくかいぐん	陸	244	17	序安寧の中，内乱，外乱に関することは	陸海軍	を用ひ，日々の取締に関することには警察を
りくぐん	陸	268	04	は普通の監獄で有ります．軍事の監獄は	陸軍	及び海軍にありまするものですから自ら別の物
	陸	278	03	此の講談に於ては前にも申しました通り	陸軍	海軍の監獄と国事犯のことは一切述べませぬで
	陸	230	05	．また，この区画を色々に利用しまして	陸軍	に於ては数多の県を合せて一つの軍管を置いて
	陸	059	06	くなること請け合ひます．又近くは我が	陸軍	や海軍で兵士の食物を改良し空気の通暢を善く
	陸	244	15	ことが著しきもので，之を維持せむには	陸軍	，又は海軍を用ひ，或ひは警察を用ひ，また監
りくつ	理	196	06	つて「何でもない」と言ふ．何によらず	理屈	が有るものか，無いものか，たゞして見なけれ
	理	116	02	勝つやうにしたいもので有ります．併し	理屈	づめでは何とでも言へるが実際には至つて，む
	理	053	05	か船の出るのだか分らない．其れと同じ	理屈	で「しぶんくゎい」と言ふとカラウタの会だと
	理	053	06	て其の字を見ると「斯文」と言つた様な	理屈	で仮名にすると口で言つた様になる．さういふ
	理	116	02	際には至つて，むつかしいことで誰でも	理屈	の半分も行ふことは出来ない．併し其れが出来
	理	041	04	ると漸々に其れを知る様になる」と云ふ	理屈	は立たなくなる．中華と誇る国でも文明を以て
	理	060	11	，たゞ権利とか自由とか聞きかぢりの不	理屈	を唱ひ父兄の言ふことをも用ひずして酒を呑み
	理	196	04	別儀で御坐ります）．今日は兎角，物の	理屈	を知らないで居ながら「何でもないことだ」と
	理	196	05	いことだ」と言ふのが流行りまして旧は	理屈	を知らなくつて「こはい」と言つたものが，今
	理	196	06	つて「こはい」と言つたものが，今では	理屈	を知らなくつて「何でもない」と言ふ．何によ
りこう	利	210	05	云ふ説の日本に行はれないのは日本人が	利口	で取り合はないからだと云ふのでは無く，マル
りごう	理	167	08	けのことは分りますまい．西洋に往つて	理合	をつめて来たからこそ分つたのに違ひない．ア
りこん	離	149	03	生のことにしても公生私生とか其の他，	離婚	のこと結婚のこと，また来住のこと往住のこと
りざい	理	155	14	理学，哲学，倫理学，道徳学，政治学，	理財	学，法律学，社会学，史学，文学まだ此の外に
りし	利	044	13	と子と妻の権は弱くて君と父と夫は自ら	利し	て其れに対する臣と子と妻を害して居ることぢ
	利	044	14	るものと思はれる．其れぢゃから他人を	利し	て己の利益を顧みる勿れと云ふ主義も本当に行
	利	045	12	法が立ちて有るのぢゃ．則ち一方の人を	利し	て一方の人に不利なる法律が立ちて居るのぢゃ
	利	042	07	て道と法とが分れたかと申すに道は他を	利し	法は己を利すると云ふことで分れたのぢゃ．道

代表形	判	ページ	行		出現文脈
りすう	里	084	07	シスコまでの里数と一昼夜に船のはしる	里数　が能く分つて居り且蒸汽船が横浜をたつた日ど
	里	015	09	の中心から月の中心までの距離が日本の	里数　で九万七千五百里です．九万七千五百里と云つ
	里	084	06	から亜米利加のサンフランシスコまでの	里数　と一昼夜に船のはしる里数が能く分つて居り且
りする	利	042	09	己を利するの心を抱いてはならぬ，己を	利する　心はすてて只管他人の為めになることをせね
	利	042	10	らぬと云ふこと，又法と云ふものは己を	利する　ことを許すは固よりなれども唯其の為めに他
	利	044	16	義通りには行はれぬことぢゃ．即ち己を	利する　ことを許すなれども他を害してはならぬと云
	利	237	07	学べば自分の身を害することは有つても	利する　ことは到底，望みは無かつた．けれども左様
	利	042	07	分れたかと申すに道は他を利し法は己を	利する　と云ふことで分れたのぢゃ．道と云ふものは
	利	042	09	てはならぬと云ふことが本趣意で，己を	利する　の心を抱いてはならぬ，己を利する心はすて
りつ	律	197	15	ります．Ｎｅｗｔｏｎから惑星の運動の	律　が分りました．そこでＮｅｗｔｏｎは惑星の運動
りっけん	立	188	11	スではパウァーと言ひます．即ちこれを	立憲　権力と言ひます．この立憲権力といふものは他
	立	188	11	．即ちこれを立憲権力と言ひます．この	立憲　権力といふものは他の二つの大権力を定める．
	立	191	16	ら色々面白いことがありませう．其れで	立憲　権力即ち一国に関することをきめる権力といふ
りっしん	立	076	11	された方が何の学科であつて見ても各々	立身　の道を得て積極的の結果を得て参りますゆゑ其
りっとん	リ	138	01	を頂載いたす様な心持ちも有りませうが	リットン　やスコットのドラマやノベルを読めば寝る
りっぱ	立	241	07	せぬ．また監獄のことにしましても塀が	立派　で有つたとか，場所が高かつたとか低かつたと
	立	029	15	は奇麗だからで有ります，併し銀よりは	立派　です，銀が其れに譬へられて仕合せです，迚も
	立	013	02	三十七里と八分の一です．其れで地球は	立派　な球では無い，ひつこんだ所とふくれた所が有
	立	064	09	歳以上四十歳以下のものにして随分他に	立派　な業を営み得べき屈撓な壮年男子です．然るに
	立	064	16	人は犬馬の如き業を廃し国益となるべき	立派　な他の業を営むことも出来ませう．又従つて二
	立	081	07	行くもので御坐ります．たとへば屋敷の	立派　なこと機械の盛大なこと新発明の賑かなること
	立	088	15	世話を致しましたがヤハリいけませぬ．	立派　な家を建て家財を備へてやつてもソコに住居い
	立	090	10	種々の進歩を致さうと思ふ人には一つの	立派　な手本一つの高尚なる模範即ちｉｄｅａｌが必
	立	090	12	御坐ります．併しながら耶蘇基督よりも	立派　な模範が御坐りませぬ．仏蘭西のレナンと云ふ
	立	092	10	別だに無きものも思はず知らず斯の如き	立派　な結果が御坐りますならば況して尚ほ智慧を備
	立	130	15	尊敬す．この二つのものは則ち遙か上に	立派　な天体を具へて居る大空と人の霊魂の中に住む
	立	195	04	君．丁度，只今から三年ほど前にヨホド	立派　な彗星が出ました．諸君は定めて御記臆で御坐
	立	195	09	ネムサをこらへて彗星を御覧になつて「	立派　な彗星が出ました」と言つて互に御挨拶をなさ
	立	195	11	これが只今から三年前で有りますから「	立派　な彗星だ」と言つて済みましたが，若しもこれ
	立	195	12	が天保年間ででも有りましたら，たゞ「	立派　な彗星だ」と言つただけでは済まなかつたかも
	立	212	12	はＨａｌｌｅｙの彗星の戻つて来る時で	立派　な彗星が肉眼で見ゆるであらうと思ひます．お
	立	224	17	せうが，小説の方は，これまでと違つて	立派　な人の仕事となりまして看る人の意も，これま
	立	245	07	する．然れども，これ等は行政権と申す	立派　な道具が有りまするから幸に之を利用して，こ
	立	273	09	院に当るものでありまするけれども未だ	立派　なものと申す訳には参りますまいかのやうに思
	立	069	16	増しました時には政府に取つては容易に	立派　なる裁判官其の他の人を得ることが出来ませう
	立	032	09	ち「我々はどこに居るか」といふ問題は	立派　に解けませぬが我々が今日の学力で解けるだけ
	立	082	13	ルシヤの国が御坐ります．これ等の国は	立派　に開けた国で御坐りましたが道徳の進歩が無か
	立	082	16	ンスの町を御覧なされ．アデンスの町は	立派　に開けたもので御坐りましたが其の人民が真の
	立	088	03	からず基督教の必要に付て疑ひが皆んな	立派　に晴れて来ませうと心得ます．けれども既に演
	立	142	04	仕組をこしらへたる上に仕上げまでをも	立派　にやらなければならぬから凡才では中々いけま
	立	249	03	係で有りますから，警察と裁判が何ほど	立派　に整頓いたしましても監獄が其の宜しきを得ま
	立	260	11	ごろ婦人慈善会と云ふ会が東京で大層，	立派　に行はれまするが，これは救助がソレゾレ平均
りっぽう	律	184	05	教に於ては結婚を以て神の定めたまふた	律法　とすることで御坐ります．一夫一婦の教の大切
りっぽう	立	188	12	定める．其の二つの大権力といふものは	立法　権と執行権といふものである．この立法権と執
	立	188	12	立法権と執行権といふものである．この	立法　権と執行権とは全く相異つて居るものでドウし
	立	188	15	織となる憲法を十一度取り変へましたが	立法　権と執行権とは分別して混雑したことは無いこ
	立	189	02	さうで御坐います．これ等は議政といふ	立法　権の種類に属すべきものでありませう．其れか
	立	189	06	主義に違ひ無いやうに見えます．其れで	立法　権といふものは執行権と相対して独立して居る
	立	189	06	して独立して居るものであります．即ち	立法　権は法律をきめるものであり，執行権の方は立
	立	189	07	法律をきめるものであり，執行権の方は	立法　権できめましたことを実際に行ふといふ趣意で
	立	189	09	に行ふといふ趣意で御坐います．然るに	立法　権の方はおもに代議士だとかいふやうな国会議
	立	189	11	の政治に関係のありまするものですから	立法　権にも執行権が関係することがあります．例へ
	立	189	12	には政府の委員が出て討論をする．また	立法　権で法律を議決したときには執行権者が裁可す
	立	189	13	可する．裁可して布告するといふやうに	立法　権の事柄にも執行権で干渉することがあり，ま
	立	189	14	渉することがあり，また執行権の方にも	立法　権が干渉することがある．といふものは内閣大
	立	189	17	は皇帝といふことである．この執行権は	立法　権の議決したることを執行するに付て執行権者
	立	191	02	といふ学者が社会には三大権がある即ち	立法　権と行政権と司法権とあると論じましたが段々
	立	191	12	が及んで居ります．日本の現在の有様で	立法　権と執行権はドウ定まつて居るかといふと習慣
	立	192	03	の有様即ち昔からの有様であるのです．	立法　権は誰に在るかといふと天皇陛下に在る．明治
	立	192	13	子みづから御親裁といふことて，これが	立法　権は天子にあるといふことで御坐います．其れ
	立	194	03	御趣意は一向変つて居らない．斯の如く	立法　権者と執行権者との原則を定めたから，これか
	立	243	04	るもので国民全体の望みを表はすものを	立法　権と云ひ，また右の望みを執行するものを執行
	立	243	05	行するものを執行権と申しまする．この	立法　権及び執行権を相合したるものは主権と名づけ

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（りっぽう）	立	243	06	では主権者は天皇陛下でありまするから	立法 権も執行権も皆な天皇陛下に在りまする．けれ
	立	244	01	なつて居りまする．前に申しまする如く	立法 権事務は元老院，又は国会を設けて之を行ひ，
	立	244	08	もので有りまする．法律に至つては必ず	立法 権の制定に係るもので御坐います．其れから第
	立	191	10	合して執行権力になるものである．故に	立法 権力と執行権力より外に権力が無いといふこと
	立	188	17	つて居ります．また日本におきましても	立法 上のことと執行上のこととは必ず分けて御坐い
りべつ	離	183	15	も守るに及ばず，妻が貞操を破れば忽ち	離別 されるけれども夫が放蕩をしたり或は妾を蓄ひ
	離	185	04	とひ如何やうなことが出来しても決して	離別 することを許しません．尤もキリスト信徒は其
りゃく	略	164	03	者は古来歴々としてある．近ごろ西学考	略 といふ書を読みましたが，これは天道溯原を著述
りゃくじゅつ	略	262	10	所で有りまする．今欧米の監獄の方法を	略述 しまするに其の方法が四通り有りまする．其の
りゅう	流	038	10	に表裏反対して居るかと云へば昔の支那	流 で言ふと開けぬ者は智慧が有らぬゆゑ天然に定ま
	流	007	02	が，はやって来て字を書くことだの支那	流 の道徳だの禮式だの品行だのといふものが今日盛
	流	145	03	ます．先づ現今の小説に志す人々は日本	流 の人も西洋流の人も敢て論ぜず多く集めて一つの
	流	145	03	今の小説に志す人々は日本流の人も西洋	流 の人も敢て論ぜず多く集めて一つの小説改良会を
りゆう	理	149	17	を知りたいといふ考へで講究するといふ	理由 で御坐います．今日は行政法はドウいふもので
	理	210	02	れません．これも説を述べられぬ一つの	理由 で有ります．其れからモウ一つ世間にやかまし
	理	252	13	のは至つて危険でありまするのが一つの	理由 であるのと，また監獄に這入つて居りまする者
	理	186	14	位を高くし且，之に真正の幸福を与へる	理由 は種々御坐りますが細かいことは挙げんでも以
	理	254	10	等の為めには慈恵と犯罪予防との二つの	理由 よりして放免者保護会社の如きものを設けて或
	理	247	06	の人物に向つては其の悪いと云ふことの	理由 を能く述べませぬと到底，其の心は改まること
りゅうあ	流	142	13	説の盛んなる時で其の後は大体，馬琴の	流亜 を汲んで勧善懲悪と云ふ桁をこしらへ悉く其の
りゅうがく	留	005	08	戦争らしいことをやつたのはアメリカへ	留学 したものでトルピドへ破裂丸を投げつけたは誰
	留	005	07	てチャンチャン坊主の毛をきり支那から	留学 生の一万人も二万人も西洋へ行く様にしたい．
	留	214	13	る所，近年追々と西洋風が流行つて来て	留学 生や又は洋行の人などが帰朝するに従つて小説
	留	234	05	ことでは無い．其れよりか今少したつと	留学 生も帰つて来るし日本の大学の卒業生も出来る
りゅうかん	留	273	10	，東京，兵庫，宮城，三池の四箇所に仮	留監 と申しまするものが一箇所づゝ都合四箇所あり
	留	273	11	箇所づゝ都合四箇所ありまする．此の仮	留監 と申しまするものは徒刑，流刑の者を一時，仮
りゅうこう	流	137	05	が今日，世の中に改良と言ふことは甚だ	流行 いたしまして現に只今も書き方改良の説明もあ
	流	144	06	のは無いでは無いが随分不都合なものが	流行 して居る．今日の小説家は皆な学問あり才識あ
	流	221	05	態などを書いた八文字屋本と云ふものが	流行 し其れから明和，天明の時分には一変して洒落
	流	223	16	の上手も出来，浄瑠璃と云ふものが段々	流行 して其れに合して人形を遣ふことになりました
	流	120	04	ｅｒと云ふ人は「酒を飲むことが世界に	流行 する所を見れば各の住民は，ほとんど飲酒家の
	流	213	08	故事来歴の大略を演るまでで決して当今	流行 の改良をはかるなどと云ふ面白い話しでは有り
	流	217	08	つたものと云ひますが，さすれば当時，	流行 の仏説により且は既に遊仙窟などと云ふ支那の
	流	119	17	之を解して見ると人心に伝染する内密の	流行 病を生ずるもので有つて御承知の通り流行病に
	流	119	17	行病を生ずるもので有つて御承知の通り	流行 病には疱瘡，コレラ，チフスなどと云ふ色々な
	流	120	03	はれぬから酒疫は人心に伝染する内密の	流行 病で有ると解して然るべきことと思はれます．
	流	213	13	社会までも見るものだから第一に世間の	流行 を追つて時の好みに応じなければならないもの
りゅうせい	流	207	04	バに帰つて来る時分だと云ふ時に非常に	流星 が多く御坐りました．私は日本で此の流星を見
	流	207	08	ふやうなことが有ります，あれのことが	流星 でありまして，秋の頃，沢山に「ソラ飛んだ，
	流	207	16	其の星が隕ちたと云ふのは今言ひました	流星 と同じことと思はれます．して見るとＢｉｅｌ
	流	208	01	たものと見えます．このごろでは段々と	流星 と彗星との関係が分り出しました．しかし，こ
	流	207	17	星は失せてしまつたのでは無く，化けて	流星 になつたものと見えます．このごろでは段々と
	流	208	01	係が分り出しました．しかし，これから	流星 のことを言ひますと長くなりますから先づこの
	流	212	02	は地球がショッチュウ通つて居ります．	流星 は彗星のこわれたのだとすれば，彗星が家なら
	流	212	02	こわれたのだとすれば，彗星が家ならば	流星 は古材木の様なもので有りますから，本当の彗
	流	207	05	星が多く御坐りました．私は日本で此の	流星 を見たと云ふ人は知りませず，私は其の頃はま
りゅうせい	隆	081	08	るものの能く完全したこと商法と製造の	隆盛 なること国家の確立したこと政体の鞏固なるこ
	隆	180	10	前の世界に於てギリシヤやローマが文物	隆盛 を極めた時の婦人の有様とキリスト教文明国の
りゅうち	留	258	16	の無い者，又は帰郷旅費の無い者は別房	留置 者と名づけまして監獄の中に置いてあります．
	留	273	15	者は百二十一人ありまして其の外，別房	留置 者と申す者が千八百六十七人あります．これは
	留	249	06	悪いとムヤミに誰でも拘引して警察署の	留置 場，又は監獄の未決監に入れて置くと云ふこと
	留	266	17	．第三の未決者監禁部の事業は警察署の	留置 場，及び各地方の未決監則ち監倉と申しまする
	留	268	09	．普通の監獄を別ちますると其の第一は	留置 場と申しまして，これは各警察署，又は憲兵署
	留	270	17	と存じられます．今度，述べまするのは	留置 場で其の数は三千〇五十箇所，其の人員は僅か
	留	271	13	せう．普通の監獄を別ちますると第一，	留置 場．これは裁判所，及び警察署に属するもので
	留	272	14	中，集治監だけは内務大臣之を直轄し，	留置 場，監倉，懲治場，巳決監は東京府に於ては警
りゅうちょう	流	144	14	数の中には和漢の古今に通じて居り筆が	流暢 でも其の中には西洋の書物を読まない者も有る
	流	142	07	御坐ります．小説家もたとひ其の文章が	流暢 なばかりではいけません．学問が有つて非凡な
りゅうてい	流	098	09	ものはなく殊に其の非命の死を聞きては	流涕 長大息いたさぬものは殆んどありますまい．然
りゅうは	流	143	03	水の現象を写すが如きもので有る．其の	流派 にも南北宗或ひは狩野派其の他種々の流派も有
	流	143	04	派にも南北宗或ひは狩野派其の他種々の	流派 も有れど，これは皆な有形上のことで人の思想
	流	138	13	間接に効能が著しい．馬琴若しくは其の	流派 を汲む人が書いた小説は重もに勧善懲悪が主眼
	流	141	01	有つたでせう．馬琴尚ほ且然り況や其の	流派 を酌んで居るものは見るに忍びぬ程で有つたと

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
りょう	両	169	10	だから言ふのはよしませう．然るに此の	両	三年以来我が国の人心の東に向くシルシがあるや
	両	257	13	は一時の資本前貸しと犯罪人の予防との	両	性質を有するものでありまする．斯くの如く貧民
	両	257	15	ものも有り，又は救助と犯罪人予防との	両	性質を有するものも有りまする．よつて貧民救助
	両	258	05	二，貧民の救助，兼犯罪人の予防．此の	両	性質には別に甲乙は有りませぬ．此の二かどを以
	両	170	05	で欧羅巴へ行く者の方は金も千両なら千	両	揃へて持つてゆきませうが亜米利加へ行く者の方
	両	170	05	ると官費で欧羅巴へ行く者の方は金も千	両	なら千両揃へて持つてゆきませうが亜米利加へ行
りょう	料	110	10	た外国の例に保険附きの船を沈めて保険	料	を取うといふこともある．我々は公平な考へから
	料	140	11	がカケトリに来れば，まだ本屋から草稿	料	を呉れないから待つて呉れろと手をついて言訳を
りよう	利	154	04	スチックと合はないとスタチスチックの	利用	が出来ないといふことに付ては色々の奇談もあ
	利	230	04	らで有ります．また，この区画を色々に	利用	しまして陸軍に於ては数多の県を合せて一つの
	利	245	07	す立派な道具が有りまするから幸に之を	利用	して，これ等のことをもやられる訳で万，已む
	利	139	03	ので御坐ります．併しながら此の小説を	利用	することを誤りますと随分，道徳を破壊してし
	利	071	03	陳べますが諸君益々進んで学識を実業に	利用	せられ明裁判官明代言人とならむことを望み未
りょうあ	了	214	05	時は当時有名の雑学者の喜多静廬や村田	了阿	などの所へ買ひ出しに行きました．さう云ふ訳
りょうい	了	220	16	川時代になつて寛文，天和の頃より浅井	了意	が東海道名所記などを作り，井原西鶴が一代男
りょうい	霊	216	14	ので有りませう．其れから我が国に古く	霊異	記だの感霊録だのと云ふ仏法の霊験を書物に著
りょうかい	了	276	13	．其の他，何事につけても此の大原則を	了解	しませぬと色々な害が起ることになりまする．
	了	278	02	べました．これで監獄全体に係る事柄は	了解	せられたることと存じます．尤も此の講談に於
りょうかい	領	094	04	州沖であります．紀州沖であれば日本の	領海	なれば裁判法理に照せば日本の裁判権理に付す
	領	094	03	と言つても地理学上で言ふ土地では無く	領海	も土地にはいつて居るもので此の度の船の沈没
りょうけん	了	222	04	．こゝが他の作者より学問が有つたから	了簡	がついたことと見えます．箇様な訳で有るから
	了	225	02	とが出来ませうが演劇の方はまだ見物の	了簡	が強盗や情死でなくては面白がりませぬ．其れ
りょうけん	昰	130	11	新しき論または設理，或は一人か二人の	量見	によつて滅びてしまふと云ふことは決して御坐
りょうごく	両	067	02	七月十一日専修学校卒業証書授与式東京	両国	中村楼に於て三好退蔵君演説諸君．私はこの専
	両	073	02	七月十一日専修学校卒業証書授与式東京	両国	中村楼に於て細川潤次郎君演説私はこのたび始
りょうじ	療	216	04	取つて池に散らし其の上に，ころがして	療治	話しで御坐います．大己貴の神は医薬を始めた
	療	216	05	す．大己貴の神は医薬を始めた神だから	療治	をしたかも知れませぬが，これは子供などに話
りょうじ	領	105	06	ン号の沈没事件に付ては神戸在留の英国	領事	が今月の五日に言ひ渡しました判決に付て或る
	領	106	09	分を為すべし」といふことがあるが英国	領事	が言ひ渡したる裁判は此の条例に基いて為した
	領	095	09	雖も罪人とすることは出来ませぬ．英国	領事	裁判所に於て被告人のみを審問して無罪を言ひ
	領	105	10	庫県知事より求刑したに付き神戸の英国	領事	庁に於て開かれたる法廷を以て船長等の再審を
	領	106	14	らむことを冀望する場所は則ち今回神戸	領事	庁に於て更に開く所の法廷であります．想ふに
	領	094	06	今日は治外法権が存して居るから英国の	領事	に於て支配することになつて居ります．既に英
	領	094	06	することになつて居ります．既に英国の	領事	に於て支配することであれば法律学上に於て研
	領	110	13	上述るが如くでありますから我輩は英国	領事	に向つて充分なる審理を尽し以て公平至当なる
	領	105	12	謬たるを免れませぬ．我輩は固より英国	領事	の裁判を以て至当なるものとは看做さず実に疎
	領	105	09	うなものだのに不当にも神戸在留の英国	領事	は之を判決して無罪としたのは実以て言語同断
	領	105	16	庫県知事が如何なる求刑をするとも英国	領事	は決して法廷を開く訳は御坐りますまい．然る
	領	105	17	すまい．然るに諸君も知らるゝ如く英国	領事	は兵庫県知事の請求を容れ現に法廷を開き船長
	領	110	14	望いたします．然れども神戸在留の英国	領事	は既に一旦船長を怠慢なしと認めたるものであ
りょうしん	両	252	04	の如き両親に任して置いても覚束なく，	両親	が無いときはナホあぶないと云ふので，これ等
	両	252	02	人では有りませぬが，かういふ者は先づ	両親	等に於て其の懲治を掌りまするけれども元来，
	両	107	04	に遊学して居つて今度久しぶりに故郷の	両親	に会はうといつて出立した学生もあり或ひは結
	両	252	04	かないからで有りまするから斯くの如き	両親	に任して置いても覚束なく，両親が無いときは
	両	184	09	と云つては出し，自分には気に入つても	両親	の気に入らぬと云つては出ししたら，ドウして
	両	252	03	も元来，斯くの如き子供があるのは則ち	両親	の家庭教育が行き届かないからで有りまするか
	両	250	04	教育，即ち徳育は重もに家庭教育，即ち	両親	，其の他に於て之を掌り，また身体の教育，即
	両	272	01	於て不論罪懲治者の宣告を受けたる者と	両親	，又は親族等より願ひ出でたる出願懲治者（未
りょうじん	猟	216	10	で有らう」と答へましたが果して牡鹿は	猟人	に殺されたと云ふ話しが堂々たる古事記，日本
りょうじん	良	107	06	が，これ等男女の父母たり兄弟たり将た	良人	たる人々の心情は果して如何であらうか実に気
りょうたん	両	026	01	太陽の距離を取りませう．此の物さしの	両端	から測量して見ても大かたの星の距離は大き過
	両	033	10	「酒は百薬の長」とも言はれまして説が	両端	になつて居ります．さて酒は世間に数千年来行
りょうち	領	140	08	言ふものは大層なもので恰も諸侯の如き	領地	を購ひ城郭の如き家に住んで居たと申すが其の
りょうて	両	017	12	の指ででもまはりますが一丈一尺の玉は	両手	でも抱きまはすことは出来ませぬ．同じ大きさ
りょうど	両	116	11	とが有りましたが，あとで考へて見ると	両度	とも二三日も続いて酒を過したあとで，あつた
りょうぶん	領	227	13	で云へばプレンス即ち藩主で有つて其の	領分	内に於ては殆んど天子とも異なる所は無かつた
	領	047	12	けた印度も奪ふてしまひ，近頃は朝鮮の	領分	の巨文島を勝手に取りてしまひ，安南でも緬甸
りょうほう	両	227	02	らぬ次第になります．よつて第一部では	両方	一所に申し上げませう．先づ第一に行政上の土
	両	210	13	き当らないとも言へません．なぜなれば	両方	ともムヤミにあるいて居るものですから．学者
	両	211	04	も無い」と言ふ者も有りました．しかし	両方	とも極端に走つた説で有ります．心は堅いと云
	両	131	12	当の道理は分ることが出来ませぬ．其の	両方	の論を読む者は世の中の色々の激しき論の為め
りょうみん	良	250	07	のを丁年者と申しまする．丁年者は則ち	良民	と唱へまして，終りを善くする者は死亡するま
	良	251	09	りイクラかの監視を受くるだけで通常の	良民	と同様に其の身を立つることが出来まること

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（りょうみん）	良	251	01	罪人が学期を終りますと卒業してモトの	良民　に立ちかへります．然るところ「お前の説は至
	良	276	07	ありまして何卒して不良なる心を改めて	良民　にしてやりたいと云ふ原則でありまする．これ
	良	250	07	して，終りを善くする者は死亡するまで	良民　を以て終わりまする．只今，申したのは本街道
りょうめい	両	219	09	定めと云つて源氏の君，頭の中将，外に	両名　ばかり集つて世間の女の品定めをし女の種姓の
りょうゆう	良	186	16	に於ては非常の勢力ある者で殊に婦人の	良友　たることは明白で御坐りませう．今より大凡一
りょうりつ	両	159	16	くい．西洋では学問と教法とウラハラで	両立　して居るけれどもたとひ天主，天国があるにも
りょく	力	084	11	開けた頃が御坐りました．これ則ち蒸汽	力　が発明された時に当ります．また或る時は政治の
	力	141	13	は仕組と言ふものが大切ゆゑ非常の智能	力　が入りまする．たとへば経書を読みましても其の
	力	173	08	北亜米利加の人と親しんだなら其の親和	力　は実にドコまでの度合ひに及ぶか定めて，うまい
りょこう	旅	018	12	とタッタ二人づれで毎年太陽のグルリを	旅行　する訳のものか，これは調べなければならない
	旅	242	03	ない方が無いとは云はれますまい．曾て	旅行　中，新潟監獄に於て副典獄，福島武司氏より私
	旅	239	14	ナカナカ沢山なことで有りました．此の	旅行　を畢りまして帰京しまするとスタチスチック
りょしゅく	旅	241	05	福島県の道路が善かつたとか，宮城県の	旅宿　の取扱が丁寧で有つたとか，岩手県の山景は麗
りょひ	旅	273	17	しても行きどころが無いとか，又は帰郷	旅費　が無いとか足りないとか云ふので拠ろ無く監獄
	旅	258	15	ます．現在は引取人の無い者，又は帰郷	旅費　の無い者は別房留置者と名づけまして監獄の中
りりんふえるど	リ	037	11	．私の知りて居る所ではＳｐｅｎｃｅｒ	Ｌｉｌｉｅｎｆｅｌｄ　Ｓｃｈäｆｆｌｅ等の人々が
りろん	理	127	10	坐ります．よく熟した学者また熟練した	理論　者にあらざれば西洋の専門家の論は非難し易い
りん	厘	022	09	三分七厘少し余で有ります，即ち三分七	厘　余の玉を一丁十五間の所に置いたのが水星の雛形
	厘	022	09	星は距離が一丁と十五間で直径が三分七	厘　少し余で有ります，即ち三分七厘余の玉を一丁十
	厘	269	12	すると十歳以下は百八十七人即ち二分二	厘　で，十歳より十二歳までは五百九十人，即ち七分
	厘	269	15	での者は千〇三十四人，即ち一割一分八	厘　で有りまする．して見まするとと十二歳より十六歳
	厘	022	14	と五十五間先づザット六丁の処に五分三	厘　に足りない玉が有るのが火星の雛形で有ります．
	厘	270	10	る者が三十四人ありまして丁度たゞの四	厘　に当りまする．また，小学教育より以上を受けた
	厘	016	07	すると其の玉から三尺離して直径二分七	厘　の玉をおきましたのが月の雛形になります．距離
	厘	254	08	たる放免者と名づける者は十分の九分九	厘　は将来の犯罪人と云ふ虞れが有りまするから，こ
	厘	270	09	者が七百八十七人ありまして丁度九分六	厘　ばかりに当りまする．また小学の教育を受けたる
りんご	林	178	03	通り過ぎしならん．ネウトンのつむりに	林檎　の落ちしも痛みしならんと笑ふの類に止まるは
りんじ	臨	096	04	ーキが日本人を殺さうと予め考へたとか	臨時　殺さうと思ふたとかいふことはまだ現はれて来
	臨	001	02	ぶり明治十七年十一月四日仮名の会員の	臨時　懇親会東京芝公園地紅葉館に於て外山正一君演
りんしょく	吝	036	09	思ひます．財を貯へると言つても決して	吝嗇　になるといふのでは無い，エコノミーの大主義
りんせき	臨	001	09	併し仮名の会の懇親会に付て参議方も御	臨席　になるとのことなれば此の機会失ふべからず．
	臨	001	06	なつたに付き懇親会を催して参議方の御	臨席　を願ふに付ては其の方にも席上の演説をせよと
りんり	倫	155	14	理学，其れから心の方で心理学，哲学，	倫理　学，道徳学，政治学，理財学，法律学，社会学
る	る	263	14	ます．さて，また欧米諸国に於て実行せ	る　監獄事業の分ち方はこれまた四部となります．其
	る	277	13	欧米の監獄の方法欧米諸国に於て実行せ	る　監獄事業欧洲の監獄の種類仏国に於ける千八百八
	る	180	04	ばなり，此の兄弟の最微者の一人に行へ	る　は即ち我に行へしなり」と教へ玉ふたイエス，キ
	る	105	14	言渡を以て一箇の刑事裁判の如く誤認せ	る　論者に対しては一言其の妄を弁ぜねばなりませぬ
	る	053	15	な」とはこんなものだと教へ「み」と「	る　」で「みる」，其の間に「を」を加へて「はなを
る、	ル	203	16	有りますが其の時フランスにＬｏｕｉｓ	ｌｅ　Ｄébｏｎｎａｉｒｅと云ふ帝がありましたが
るい	ル	204	05	をお殖しなさい」と言ひました．そこで	Ｌｏｕｉｓ　オヒトヨシは大心配をされて，色々くだ
	ル	203	16	出た彗星で有りますが其の時フランスに	Ｌｏｕｉｓ　ｌｅＤébｏｎｎａｉｒｅと云ふ帝があ
るい	類	131	09	，独逸国などに毎年出版になる所の書籍	類　も実に夥しう御坐ります．今日も其の色々の書名
	類	054	07	れから第三種は慰みの為めの本，それを	類　を分けて見ますと御国より始めてモロコシ西洋の
るいじ	類	031	02	では見えませぬ．其れからして又其れと	類似　したもので矢張り肉眼で見ては見えず望遠鏡で
るけい	流	272	07	しますので，島地の集治監は単に徒刑，	流刑　に処せられた者だけを集治いたします所であり
	流	273	11	．此の仮留監と申しまするものは徒刑，	流刑　の者を一時，仮りに留め置いて追つて島地の集
	流	272	04	きまする．第五，集治監．これは徒刑，	流刑　，及び禁獄の刑に処せられたる者を集治する所
	流	272	06	監とありまする．本地の集治監は徒刑，	流刑　，禁獄，及び旧法の懲役終身の者を集治いたし
るす	留	006	07	講義でも植物学の講義でも実物の方はお	留守　で字の講釈に止るのが有る．諸県へお役で出た
	留	003	15	習ひ，コレラ病の原因を見出すこともお	留守　にして字を習はなければならない様になつて居
るちん	縷	276	15	最も大事なるものでありまする．以上に	縷陳　いたしましたることを約説しまするとと監獄の行
るぽーと	ル	202	06	ｌａｎｄｅと云ふ人とＨｏｒｔｅｎｓｅ	Ｌｅｐａｕｌｔ　夫人と三箇月の間，寝食を廃する位
るる	る	071	05	待せられ又学科上に就て教師の任を執ら	るゝ　方は一層の勉励と培育とを加へられて共に我が
	る	057	15	に謝し又諸君が斯る幸福なる県下に居ら	るゝ　ことを賀する訳で御坐います．次で本題を陳べ
	る	182	06	も必要なことは一夫一婦の教の普く行は	るゝ　ことで御坐りますがキリスト教は即ち此の教を
	る	105	17	訳は御坐りますまい．然るに諸君も知ら	るゝ　如く英国領事は兵庫県知事の請求を容れ現に法
	る	061	05	などは夢にも考へませぬ．我が邦に行は	るゝ　人力車の如きも其れと同じことでチョット便利
	る	011	05	い問題だ，誰でも答へが出来る」と言は	るゝ　で御坐いませう．成るほど一応は御尤で有りま
	る	061	02	たならば必ず古代未開時の風たるを覚ら	るゝ　でありませう．又緋縅の鎧や天保銭や丸髷島田
	る	041	16	支那とは大いに違ふて居る．諸君も知ら	るゝ　通り支那の君臣父子夫婦と云ふことなどは西洋
	る	248	03	ことは悪かつた，如何にも教誨師の言は	るゝ　通りで有るから斯くの如く現在，地獄の責めに
	る	074	13	か或ひは油断をして居ると人に金を取ら	るゝ　とかいふことが断えず御坐んすが斯の如きこと
れ	れ	214	09	優は誰も御存じの通り昔は河原者と呼ば	れ　穢多非人のやうに言ひ習はされ，天保年中の老中

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（れ）	れ	216	04	神が通りかゝってかわいさうだと思召さ	れ　かまのはなを取つて池に散らし其の上に，ころが
	れ	094	12	うが）我が同胞二十五人が水中に葬むら	れ　魚の腹を肥したのは我輩に於て悲歎に堪へぬこと
	れ	162	05	れば汝の皇考文王方伯と為り西国に在ら	れ　しとき庶邦の官長に戒めらるゝには惟々，祭祀は
	れ	202	04	つて居るうちに木星からどの位後らかさ	れ　其の他の惑星からは何日ばかり時間を費せらるゝ
	れ	241	01	君の配偶者になるべきものを他人に望ま	れ　其の配偶者となると云ふことが出来まいとも申さ
	れ	215	01	ゆゑ西洋に於ては小説作者は非常に尊ま	れ　其れから劇場に見物に行くのにも礼服を着けて見
	れ	019	04	は太白と言つて酒飲みの詩人で世に知ら	れ　た人で有ります．併しコンナむづかしいことを言
	れ	019	09	は歳星とも唱へます．支那では昔し貴ま	れ　たもので，正月元日の或る時刻に此の星の居る方
	れ	040	15	人とも云ふべき者が却りて賞められ貴ば	れ　たので其れに反して今日から見れば善人とも云ふ
	れ	052	06	日其れをやられては困る．さて其の焼か	れ　た翌日は新聞を読うと思つても新聞は無い，究理
	れ	100	06	馬人なり」といふ方が遙かに世間に尊ま	れ　たといふことである．諸君今試みに，この王の如
	れ	110	08	の保釈金を出し其の外の者も保釈を許さ	れ　たといふからには現に大金を持つて居る人もある
	れ	123	08	云ふことは先刻湯本さんの演説にも言は	れ　た通り教育上にも余程な関係のあることだからド
	れ	129	11	各国の慣習と風俗に係るものなりと言は	れ　た，これから我が道徳法がドウなりませうか」と
	れ	133	03	が苦しめられて色々のひどい目にあはさ	れ　たことは実に甚しう御坐りました．けれども其の
	れ	134	13	を以て総ての悪を止める為めに世に起さ	れ　た宗教で御坐ります．故に神学卒業生は常に基督
	れ	135	08	りませぬ前きに其の弟子たちに仰せ置か	れ　た所は多分諸君皆お聞きなされたで御坐りませう
	れ	149	08	二先生がスタチスチック課長をして居ら	れ　たときにも政表といふ字を使つて居ました．日本
	れ	155	04	ハリバンが悪くつて，ドンジマリに出さ	れ　たが落語家ならシンウチとか何とか云つていいの
	れ	161	09	等は畢竟，酒を飲むといふことから導か	れ　たものと見ゆる．酒といふものは丁度，鉄炮にお
	れ	179	16	．恐らくは昔日より西洋諸国に於て行は	れ　た種々様々の社会改良にして直接か間接にキリス
	れ	185	02	の女を娶る者は姦淫を行ふ者で其の出さ	れ　た婦を娶る者も亦，姦淫を行ふ者である」と仰せ
	れ	185	16	れた通り我が邦に於ては儒道仏道の行は	れ　た結果として昔より男を尊び女を卑しむ風が御坐
	れ	192	04	五箇条の御公論に決すといふことを言は	れ　た．これを其の時分からの先生に承りますと公論
	れ	196	02	．婦人方などは「イヤな彗星だ」と言は	れ　たかも知れません，（尤も婦人方と云ふのは一般
	れ	214	03	小説家と云ふものは其の中で泰斗と呼ば	れ　た馬琴や種彦でさへ傍ら狂歌師や川柳前句の点者
	れ	216	10	と答へましたが果して牡鹿は猟人に殺さ	れ　たと云ふ話しが堂々たる古事記，日本紀に書いて
	れ	220	13	や，鉢かつぎの草紙と云つて継母に悪ま	れ　たムスメの話しや，文正の草紙と云つて常陸の国
	れ	227	14	ります．其れならば天子は何をして居ら	れ　たかと云ふと真正の主権者なるは勿論なれど其の
	れ	227	15	名に対しては或ひは管轄権を有つて居ら	れ　た姿では無かつたかとも存じられる所も有ります
	れ	236	10	云ふことが其の時分の社会の為めに嫌は	れ　たので医者などが西洋医者になつても人に信ぜら
	れ	275	11	獄取扱上の細密なることを打ち合せ致さ	れ　たとのことで有りまする．これ，また非常に監獄
	れ	043	17	たのぢゃ．若し初めより仏法の教が行は	れ　たらば人類は亡びたであらう．又今日文明開化に
	れ	044	01	からぢゃ．若し初めより耶蘇の教が行は	れ　たらば文明は起らぬであらう．併しあまり残忍の
	れ	179	11	し圧制らるゝ者を放たんために世に遣さ	れ　たり」と仰せられましたが千八百年以来の歴史を
	れ	080	06	ので御坐ります故に人間社会の中に含ま	れ　たる一個人たるものが皆んな銘々に能く進歩する
	れ	100	07	ある．諸君今試みに，この王の如く尊ま	れ　たる羅馬人がノルマントン号の乗客なりしと考へ
	れ	105	11	したに付き神戸の英国領事庁に於て開か	れ　たる法廷を以て船長等の再審を為すものである」
	れ	106	12	トン号の沈没した為め紀海の魚腹に葬ら	れ　たる我が同胞二十五名の霊魂を慰め其の遺族の怨
	れ	133	07	が御坐りました．「基督教の為めに殺さ	れ　たる者の血は却つて基督教の種となりました．」
	れ	246	03	へが有りました．然れども孔夫子の言は	れ　たる如く，人には多く過ちの有るものであるから
	れ	256	11	水，暴風雨等の為めに田を流し畑を荒さ	れ　たる等の時に起るもので，これは日本では備荒儲
	れ	228	10	定するに付て廃藩置県と云ふことが行は	れ　段々と一定しまして今では三府四十一県と北海道
	れ	003	14	に稲を植るヒマも水車改正の時もへづら	れ　て電信機の改正もせずに机の前に坐つて字を習ひ
	れ	004	08	もならない，其れこそアカンベーとやら	れ　てしまふ．フランスはまだイクサを始めたといは
	れ	005	04	手にするといふ様なら支那の通りにやら	れ　てしまはなければならない．其れだから支那人に
	れ	033	11	居ります．さて酒は世間に数千年来行は	れ　てありますが酒を以て国を亡ぼすといふ方には世
	れ	044	17	の文明と云ふ欧羅巴でも実際に十分行は	れ　て居らぬ．啻に道徳が行はれぬのみならず法律の
	れ	045	01	行はれぬのみならず法律の本趣意も行は	れ　て居らぬぢゃ．僕の考へでは今日行はれぬのみで
	れ	052	06	をいたすと思ひなさい．今日其れをやら	れ　ては困る．さて其の焼かれた翌日は新聞を読うと
	れ	053	07	所からして，いろいろ今秦の始皇にやら	れ　ては不都合が有ると思はれます．私は漸進家で気
	れ	093	14	日我が国には治外法権といふものが行は	れ　て居ります．併し純理上から言へば今回の事件の
	れ	096	10	御坐ります．徳川の頃は情況裁判が行は	れ　て居りましたが今では証拠裁判で無ければなりま
	れ	137	13	る事柄の改良を教育会の外から持ち出さ	れ　ては済まないことと思ひまして今日其のお話しを
	れ	139	08	居りますが西洋では小説家が非常に貴ま	れ　て居る．現に西洋人に古今の豪傑はと問はばナポ
	れ	139	11	彼のスペンサー先生などは日本では貴ま	れ　て居ますが西洋では其の名を知らぬ人も有るとか
	れ	139	13	のことなれば高尚の学者社会にては貴ま	れ　て居りませうが，さほど人望家で無いと申します
	れ	152	17	の大革命の時からのものがイマダに行は	れ　て居ます．憲法では例へば皇帝は一人で主権は此
	れ	167	17	令文書の往復まで先づドウかカウか行は	れ　て居ますが若し今すぐに此の文字を取られて御覧
	れ	168	01	て居ますが若し今すぐに此の文字を取ら	れ　て御覧なさい，日本はヤミになりませう．其の外
	れ	173	01	と我が国人は古より恩といふことで養は	れ　て居り天恩，君恩，主恩，父母の恩，また長老朋
	れ	177	14	し．殊に初めての趣向なれば胡乱に思は	れ　て箇様なることならば世間に有り来りの未来記に
	れ	184	01	は御坐りませんか．此のごとき風が行は	れ　て居る中は決して婦人が正当の地位を占め真正の

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（れ）	れ	185	09	せん．斯様に軽々しく妻を出す風が行は	れ　て居る中は婦人が正当の地位を占め真正の幸福を
	れ	198	01	の調べました所によれば，太陽から引か	れ　て居りますればいづれ抛物線か楕円の形ちに運動
	れ	210	16	当れば我々はズット寒い所に持つて行か	れ　て寒える」と言ふ人も有りました．ゆでられるの
	れ	216	09	れは大かた出てあるくときに人に射殺さ	れ　てカラダに塩をふりかけられる前表で有らう」と
	れ	216	16	とと思ひます．其れから山城に都を遷さ	れ　てから仮名文章と云ふものが起り，物語と云ふツ
	れ	222	17	りましたが北条時代には田楽が盛に行は	れ　て其の舞の中に故事などを交ぜてすることとなり
	れ	231	07	から言ひますと，天皇陛下が内閣に居ら	れ　て政を為さると其の下に大臣会議と云ふものが有
	れ	233	04	通りに此の専修学校は明治十三年に開か	れ　てアシカケ八年になり其の間，卒業が今度で第八
	れ	236	11	に信ぜられぬのみならず始終，人に悪ま	れ　て少しも自分の利益になることは無かつた．豪傑
	れ	236	12	傑の士が自分の志を堅く立てて人に嫌は	れ　ても忌まれても，やり遂げやうと云ふので其の大
	れ	236	12	分の志を堅く立てて人に嫌はれても忌ま	れ　ても，やり遂げやうと云ふので其の大難事も追々
	れ	238	07	．呉々も諸君，さう云ふやうに力を尽さ	れ　て勉強されたときには昔に百倍する功績の有るの
	れ	241	15	とを知らずしてカタッパシのことを聞か	れ　ても何も役に立ちますまい．例へば或る人の邸を
	れ	243	09	皇陛下が此の二大政権事務の上部を握ら	れ　て天下の事を御親裁あらせらるゝもので御坐いま
	れ	097	08	君充分に力を合して証拠蒐集に力を尽さ	れ　道徳上の罪人なる船長ドレーキをして亦法律上の
	れ	117	16	神様に祈らなければ下等の欲に打ち勝た	れ　ないといふやうな人が有ることぢゃから此の類の
	れ	155	13	，星学，化学，地質学（中々覚へて居ら	れ　ないから書いて来たが）其れから植物学，動物学
	れ	156	08	ふのだらうが，所が其れが出るとは言は	れ　ない．地が円いのだから地の方で回つて，いくの
	れ	156	11	ネ．地が回ると聞いてはヂットして居ら	れ　ない，血の道がおこるテネ．いよいよ地が回ると
	れ	156	12	なると天が円いだの天が回るのとは言は	れ　ない．地が一昼夜の間にグルリと回つて而して猫
	れ	159	11	い．天地を天主がこしらへたことは言は	れ　ない．地が動くのをビックリすると同じことで軍
	れ	210	05	行はれません．さう云ふ説の日本に行は	れ　ないのは日本人が利口で取り合はないからだと云
	れ	218	17	．しかし能く味つて見ると，云ふに云は	れ　ない面白みの有るのは今の学者の云ふ真の理と云
	れ	163	03	も益々盛んになつたから明智光秀に弑さ	れ　なかつたら大閤様も其の天下を取ることもむづか
	れ	181	17	す．ナゼなれば若し一夫一婦の教が行は	れ　なければ男女の関係が宜しきに適ひません．男女
	れ	008	07	なつて鹿鳴館に往て見ると賑で押し返さ	れ　ぬ程の騒ぎ．其れは豆粒の中の盛なので外を見れ
	れ	044	11	の為めにすると云ふ主義が本当には行は	れ　ぬことぢゃ．前に云ふ君臣父子夫婦でも君と父と
	れ	044	16	ず法律の主義も矢張り主義通りには行は	れ　ぬことぢゃ．即ち己を利することを許すなれども
	れ	045	01	に十分行はれて居らぬ．啻に道徳が行は	れ　ぬのみならず法律の本趣意も行はれて居らぬぢゃ
	れ	045	02	れて居らぬぢゃ．僕の考へでは今日行は	れ　ぬのみで無く，いつまでも極十分には行はれぬで
	れ	045	02	のみで無く，いつまでも極十分には行は	れ　ぬであらうと思ふ．例へば英国は自由国ぢゃが貴
	れ	045	14	なことぢゃから決して悪いこととは申さ	れ　ぬぢゃ．又いつまでも，やまぬであらうと云ふこ
	れ	046	10	た様な訳なれども併し全く十分には行は	れ　ぬに相違ないと申すのぢゃ．これから肝腎の話し
	れ	047	07	行はれねば其の時こそ始めて道徳の行は	れ　ぬのを歎くがよい．今各国の間に道徳が行はれぬ
	れ	047	08	を歎くがよい．今各国の間に道徳が行は	れ　ぬのを歎くのは順序を失して居る．其れよりは一
	れ	047	10	が歎息の順序で其の後に猶ほ道徳が行は	れ　ぬならば其の時こそ其の事を歎息すべきことぢゃ
	れ	048	16	道理が無い．今日各国の間に道徳の行は	れ　ぬは決して怪むに足らぬことぢゃ．道徳は社会の
	れ	049	01	，社会を為さぬ者同士の間に其れが行は	れ　ぬのは当然のことぢゃ．さて此の事に就ては猶ほ
	れ	102	16	また一方に於ては我が日本の国情が知ら	れ　ぬといふことがノルマントン号事件の起るべき大
	れ	136	09	世の中の有様を観れば面白いことは言は	れ　ぬ程にて覚ることは実に明かで御坐ります．日本
	れ	175	13	出来ず，出来ぬからとて食はずには居ら	れ　ぬので共食ひ同士倒れになり我が日本国の将来も
	れ	186	01	りでは御坐りません．キリスト教の行は	れ　ぬ国では何処でも男尊女卑の風習の行はれぬ所は
	れ	186	02	ぬ国では何処でも男尊女卑の風習の行は	れ　ぬ所は御坐りません．印度や土耳其の婦人の事な
	れ	047	07	各国が一つの社会になりても道徳が行は	れ　ねば其の時こそ始めて道徳の行はれぬのを歎くが
	れ	173	05	す．我が国の人はこの恩といふ教に養は	れ　不潔を嫌ひ潔白を好み進むことを好んで退くこと
	れ	033	10	」と言はれ又「酒は百薬の長」とも言は	れ　まして説が両端になつて居ります．さて酒は世間
	れ	067	04	はこの専修学校の始めての卒業式に招か	れ　ましたことが御坐いました．其の後はコチラに居
	れ	070	14	喜ぶ所は私は昨日は大学の卒業式に招か	れ　まして出席いたしましたがアチラでも十一人ほど
	れ	121	06	人間の品位が余程下つた」と西哲は言は	れ　ましたが国が文明になるに随つて人間の品位が段
	れ	125	15	た或る人はＨｕｘｌｅｙ氏が何々と申さ	れ　ました故に基督教は素より全く間違つたもので御
	れ	130	13	名なる哲学者Ｋａｎｔといふお人が申さ	れ　ましたことをお聞きなされ．「天地の間に二つの
	れ	134	06	り」また耶蘇基督御自分にも明かに申さ	れ　ましたことが御坐ります「人の善悪は其の実によ
	れ	138	07	之を寐しなに一ページ読みたまへと申さ	れ　ました．私も妙な医者だと思ひましたが其の意に
	れ	168	14	やうに騒ぎ立て大抵古いものは押し倒さ	れ　ました．丁度私が二十四五の時のことだから今で
	れ	204	07	其の疲れかしてトウトウ三年の後に死な	れ　ました．其の後に出ました一番の大きいのは千五
	れ	214	06	目からは何でもないもののやうに見下さ	れ　ました．馬琴や種彦でさへ，さうだから，まして
	れ	220	04	置の夢見のことなどは作り物語だと云は	れ　ましたが如何にも文章の面白いだけにお負け話し
	れ	224	12	志の人々が演劇改良会と云ふものを起さ	れ　ましたのは定めて此の弊を矯正しやうと云ふので
	れ	246	06	悪んで其の人を悪まずと云ふことを言は	れ　ました．是れ実に万世不変の一大原則で有ります
	れ	272	09	の改革のときに北海道庁に監獄署を置か	れ　ましたので北海道の集治監も通常の監獄も皆な北
	れ	275	11	即ち監獄長を集めまして典獄会議を開か	れ　まして監獄取扱上の細密なることを打ち合せ致さ
	れ	028	16	を持たない眷属が多分有るだらうと思は	れ　ます．して見れば全く太陽系と同じ様な世界で有
	れ	032	06	の中にあるものでは無からうかとも思は	れ　ます．若しも其の通りで有ると始めにお話しを申

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（れ）	れ	035	02	を丈夫にし財を惜む欲の深い人だと思は	れ	ます．小欲の人は酒を飲むことを好んで前に述べ
	れ	053	02	々一種の真片仮名文になつたものと思は	れ	ます．もと漢学の開け始まりは漢語を用ひた方が
	れ	053	07	の始皇にやられては不都合が有ると思は	れ	ます．私は漸進家で気の短い様な気の長い様な性
	れ	069	02	と及び代言人たるの難いことが想ひやら	れ	ます．箇様に年令満十八歳にて中学校を卒業し其
	れ	092	04	歩を成就したる人はドコにも無いと思は	れ	ます．あまり御話しが長くなりますから先づこゝ
	れ	100	09	てこの様なつらきことは無からうと思は	れ	ます．畢竟するに二十有余名の同胞は羅馬人の如
	れ	116	05	節酒会などは至つて宜しいものだと思は	れ	ます．其の訳は節酒会といふ申し合せが有ると，
	れ	116	14	見れば全く酒を節した効能だらうと思は	れ	ます．かく自分一人でも酒を節することは出来ぬ
	れ	120	03	行病で有ると解して然るべきことと思は	れ	ます．世界に名高い経済学者Ｒｏｓｃｈｅｒと云
	れ	120	13	其の一原因となつたことであらうと思は	れ	ます．併しながらモノゴトはたゞ論ばかりでは人
	れ	120	14	人に感じさすることが割合に少なく思は	れ	ます．今，申したのは西洋の学者が西洋の飲酒の
	れ	121	03	事実を挙げて見せた方が宜からうと思は	れ	ます．事実を見せたら其れからして論も起らうし
	れ	121	09	たらば弥々節酒の効能も起らうかと思は	れ	ます．其れに就ては酒の弊害の及ぶ箇条が有りま
	れ	122	02	はドコでも少いことでは有るまいと思は	れ	ます．其の外に売淫女などが殖えます．これは外
	れ	122	11	のも酒から起ることが余程多い様に思は	れ	ます．かういふ様なことは外のことからも起りま
	れ	126	14	は」「我がミコミに拠れば」などと申さ	れ	ます．而してたゞ自分のミコミを以てＤａｒｗｉ
	れ	137	12	有つて大いに其の利害の有ることと思は	れ	ます．私は此の小説のことに委しくは無いが凡そ
	れ	140	15	せうが多くは作者自ら為したことと思は	れ	ます．其の時分には日本ではまだ小説の地位と言
	れ	144	03	言ふものは全く卑しむべきものとは言は	れ	ますまい．これと同じことで所謂る人情本の猥褻
	れ	168	17	か地球の引力にでも関係がある様に思は	れ	ます．ところが我が国人の心は西の方へばかり向
	れ	170	10	とで後日に至つてよく分りませうと思は	れ	ます．さて日本人が一たび海外に移住の運動を始
	れ	170	15	利を争ふばかり位なことであらうと思は	れ	ます．其れならばオースタラリヤに行かうか，ど
	れ	171	02	いふことはドウもむづかしいやうに思は	れ	ます．たとひ出かけて行つても，よく新聞紙など
	れ	172	17	れずして恩を報ずることがあらうと思は	れ	ます．其れはなぜかといふと我が国人は古より恩
	れ	173	09	ぶか定めて，うまい味ひがあらうと思は	れ	ます．かつえたるときは素パンでも食はなければ
	れ	174	15	トのことだからドウでもよいやうに思は	れ	ますがさうでは無く我が日本国民の年齢の一代ぐ
	れ	176	01	て今日の英国を為した訳であらうと思は	れ	ます．我が国人も近来，海外出稼ぎのキザシがあ
	れ	176	03	ョイと考へると愛国心が無いやうに思は	れ	ますが，さうで無い．移住出稼ぎは日本帝国を広
	れ	183	01	御坐りませう．其の結果は実に思ひ遣ら	れ	ます．また我々の最も不思議に思ふのは世間で妾
	れ	207	15	無理に分らなくしてしまつたやうに思は	れ	ます．其の星が隕ちたと云ふのは今言ひました流
	れ	207	16	のは今言ひました流星と同じことと思は	れ	ます．して見るとＢｉｅｌａの彗星は失せてしま
	れ	219	14	有つたから，まして下等の風は思ひやら	れ	ます．しかし箇様な風俗は当時，漢文で書いたも
	れ	220	06	実よりも作り事の方が沢山だらうと思は	れ	ます．しかしながら猿楽の能から今の雑劇に至る
	れ	220	15	どの話しも此の頃に出来たものかと思は	れ	ます．其れから徳川時代になつて寛文，天和の頃
	れ	221	16	も洒落本の口調から変化したものと思は	れ	ます．さて京伝以来，三馬も種彦も画入読本と云
	れ	224	15	いなる関係が有つて離れないことと思は	れ	ます．さて当今，演劇は申すに及ばず小説とても
	れ	238	03	つては小成に安んずる基にならうと思は	れ	ます．諸君は何卒，昔の人の二大難事に耐へて其
	れ	241	14	方は如何，女囚の取扱方は如何など云は	れ	ますけれども監獄全体は如何と云ふことを知らず
	れ	242	02	獄の如何をも知らない方が無いとは云は	れ	ますまい．曾て旅行中，新潟監獄に於て副典獄，
	れ	255	12	をして大名になつた先祖が無いとは言は	れ	ますまい．或ひは自分の妻を将軍へ妾同様に売り
	れ	273	10	申す訳には参りますまいかのやうに思は	れ	ます．此の外，東京，兵庫，宮城，三池の四箇所
	れ	035	15	とで有ります．今日世界の大変動と思は	れ	まする殖民政略などのことも大慾で有りますが独
	れ	260	11	善会と云ふ会が東京で大層，立派に行は	れ	まするが，これは救助がソレゾレ平均を得たるも
	れ	008	11	んな人が少ないから漢字はなかなか廃さ	れ	ませぬ．さて漢字を廃するなら方法は如何といふ
	れ	061	03	きは又未開化人の用ゆるものたるを知ら	れ	ませう．故に概して言ふときは半開化人の好むも
	れ	073	13	と言ふに至つては必ずしも同一とは言は	れ	ませぬ．其の同一で無いと言ふことに付ては一己
	れ	122	04	はチョイと考へると其の関係が妙に思は	れ	ませう．また其の為めに最も恐るべき徴毒が殖え
	れ	129	02	学術家の中にも箇様なものが無いと言は	れ	ませぬ．けれども君子なる政治家と学者と教師は
	れ	137	08	，外務省には条約の改正，中々数へ尽さ	れ	ません．私などは専門が法律で，職業が政事新聞
	れ	144	13	りましたがタカが少数で中々満足いたさ	れ	ません．小説を書く人が多数の中には和漢の古今
	れ	210	04	ります．日本では幸にソンナ風説は行は	れ	ません．さう云ふ説の日本に行はれないのは日本
	れ	213	05	リとした名説でも有るやうに諸君が思は	れ	ませうが其れならば大違ひ．私は性来，不才だか
	れ	227	10	は行政上，正しくいつて居つたとは云は	れ	ませぬ．足利尊氏などは自分で将軍になつたと云
	れ	241	01	者となると云ふことが出来まいとも申さ	れ	ませぬから善く言ふも悪く言ふもナカナカ軽忽に
	れ	241	02	言ふも悪く言ふもナカナカ軽忽には言は	れ	ませぬ．よつて他人の為めに巡閲したることは善
	れ	033	10	世酒を以て国を亡ぼす者あらむ」と言は	れ	又「酒は百薬の長」とも言はれまして説が両端に
	れ	007	04	直に毛氈と唐紙を持つて来て名筆を揮は	れ	むことを請ふを競ふ世の中．なかなか漢字の貴い
	れ	235	08	に安んずるとイケヌから益々進歩を謀ら	れ	むことを希望しまするといふことを一言いたしま
	れ	187	07	れより我が邦にもキリスト教が漸々行は	れ	んとする時に当つて日本の婦人方もマリヤと共に
	れ	214	10	者と呼ばれ穢多非人のやうに言ひ習はさ	れ	，天保年中の老中，水野越前守が大層政事を改正
	れ	223	17	様，世に義太夫と云ふ浄瑠璃が盛に行は	れ	，其れゆゑ近松門左衛門だの竹田出雲だのと云ふ
	れ	236	14	は鎖国攘夷の論が盛んだから世間に嫌は	れ	，中には之が為めに自分の命まで取られるやうな
	れ	236	16	．其の外，西洋学をした為めに藩を逐は	れ	，また苦しめられた者も沢山有りました．尤も左

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
れい	○	070	01	の数は何程かと言ふと裁判官が三千九百	○	一人，代言人が二千百十一人で御坐います．これ
	○	273	13	を合しますると監獄の数は総体にて二百	○	一箇所となりまする．而して其の在監人の数を見
	○	212	11	言して此の講談を終りませうが，千九百	○	九年，即ち今から二十六年後にはＨａｌｌｅｙの
	○	270	17	，述べまするのは留置場で其の数は三千	○	五十箇所，其の人員は僅かに三十七人であります
	○	239	11	，県庁，郡役所，戸長役場，等合せて百	○	三箇所でありまして，其の外，参考上に見ました
	○	273	06	七十五，已決監は百六十一，懲治監は百	○	三，合せて四百三十九の監舎となりまする．五箇
	○	269	14	八歳以上丁年即ち二十一歳までの者は千	○	三十四人，即ち一割一分八厘で有りまする．して
	○	200	03	し出た彗星の道に違はない．昔し千六百	○	七年にＫｅｐｌｅｒの観測しました彗星，また其
	○	228	13	八年十二月三十一日の調べに拠れば八百	○	二あります．この郡には郡長と云ふものを置いて
	○	069	11	百八十五年即ち昨年の八月五日までに千	○	二十人と云ふ非常なる数に増加して居ります．故
	○	273	15	万四千二百二十二人，已決囚は五万六千	○	四十二人，懲治者は百二十一人ありまして其の外
	○	174	10	せう．ドウでありませう，其の「三八，	○	○○，○○○」の数字なるシャレ骨にたゞ一つ銭
	○	174	10	う．ドウでありませう，其の「三八，○	○	○，○○○」の数字なるシャレ骨にたゞ一つ銭と
	○	174	10	ウでありませう，其の「三八，○○○，	○	○○」の数字なるシャレ骨にたゞ一つ銭といふ皮
	○	174	10	でありませう，其の「三八，○○○，○	○	○」の数字なるシャレ骨にたゞ一つ銭といふ皮肉
	○	070	06	人たらずで有りませう．又判事補は九百	○	六人，代言人は千○六十五人で内に法学士が十二
	○	269	03	で有りまする．此の所には一万五千七百	○	六人の囚徒がありました．矯正院即ち感化院は男
	○	070	06	う．又判事補は九百○六人，代言人は千	○	六十五人で内に法学士が十二人御坐います，これ
	○	174	10	．ドウでありませう，其の「三八，○○	○	，○○○」の数字なるシャレ骨にたゞ一つ銭とい
	○	174	11	ありませう，其の「三八，○○○，○○	○	」の数字なるシャレ骨にたゞ一つ銭といふ皮肉を
れい	例	177	16	らん．若し是れ等の人ありとせば，よき	例	あり．昔アリスメデスが入浴の内より俄かに飛び
	例	152	15	す．けれど実地に就て見ますと仏蘭西の	例	で言へば国体の変るに従ひ憲法は度々変りますが
	例	230	09	は此の中を外れて居ります．フランスの	例	でも外れて居りますが日本でも郡には郡有財産と
	例	193	13	，アーいふことをするといふのは外国の	例	などを見てこれをも参照して細則をきめるだけで
	例	110	10	見ても疑はしいことである．また外国の	例	に保険附きの船を沈めて保険料を取うといふこと
	例	015	07	は地球の上で或る距離を測る時の通りに	例	の角度で月までの距離を測り出します．随分此の
	例	022	06	ります．そんな大きな数を持ち出しても	例	の通り見当が分り兼ねますから雛形を以て解き明
	例	025	13	いかも知れない，大きい小さいの争ひは	例	の距離の知れた上でなければ論にならない．星の
	例	091	05	が御坐ります．併しながら古今に箇様な	例	は実に夥しう御坐ります．第七．併し人間社会の
	例	039	02	であらう．今申した野蛮の有様に付て一	例	を挙れば盗賊を働いたり強盗などをする者を貴ぶ
	例	077	04	あるとかいふ様にも参りませぬ．浅近の	例	を挙げて見ますと勉強して金を拵へましても窃盗
	例	082	12	りまして甚だ明らかで御坐ります．昔の	例	を挙ぐればエジプトとペルシヤの国が御坐ります
	例	082	15	とペルシヤで御坐ります．また少し後の	例	を挙ぐればギリシヤの国また其の中のアデンスの
	例	083	02	な御存じで御坐りませう．欧羅巴中古の	例	を申しますならばイスパニヤとポルトガルの二箇
	例	083	05	ます．また地理によつて諸君に近い国の	例	を申しますならば隣りの支那で御坐ります．諸君
	例	083	09	気の毒千万で御坐ります．また時の近い	例	を申しますならば彼の仏蘭西の国を御覧なされ仏
	例	147	09	スチックと行政法との関係に付て直ちに	例	を挙げて見るとスタチスチックで日本帝国の境界
	例	186	12	の別なきことを教へます．其の他に尚ほ	例	を挙ればキリスト教に於ては女子の教育を勤める
れい	礼	057	06	向つて祝し且会頭及び幹事諸君に厚くお	礼	を陳べなければならぬことが御坐います．総て我
	礼	162	07	を作らしむるは郊社宗廟の大祭に灌献の	礼	を行はしむるが為めのみ文王また群臣の小子に教
れい	霊	187	03	た時に神を讃美して「我心主を崇め我が	霊	は我が救主なる神を喜ぶ是れ其の使女の卑賤をも
	霊	187	08	人方もマリヤと共に「我心主を崇め我が	霊	，我が救主なる神を喜ぶ，今より後，万世まで人
れいげん	霊	216	14	古く霊異記だの感霊録だのと云ふ仏法の	霊験	を書物に著したものの中には小説めいたことも
れいこん	霊	081	05	御坐りませぬ．全く物体上のことで無く	霊魂	上のことで御坐ります．若し其の内部の性質が
	霊	130	16	上に立派な天体を具へて居る大空と人の	霊魂	の中に住む所の道徳法で御坐ります」と．実に
	霊	105	08	下乗組海員に対して我々同胞二十五名の	霊魂	を慰め遺族の怨みを晴らすべき判決が有りさう
	霊	106	13	の魚腹に葬られたる我が同胞二十五名の	霊魂	を慰め其の遺族の怨みを晴すべき公平正当の裁
れいしき	禮	007	02	来て字を書くことだの支那流の道徳だの	禮式	だの品行だのといふものが今日盛になつて来る
れいぞく	隷	231	02	は行政官は総て執行権，即ち天皇陛下に	隷属	すると云ふことの二原則で有ります．施政はツ
	隷	231	05	ので御坐んすから行政官は総て執行権に	隷属	するもので有ります．其れから，また施政は，
れいふく	礼	215	01	尊まれ其れから劇場に見物に行くのにも	礼服	を着けて見物に行くと云ふことで殊に近日西洋
れきし	歴	032	14	ンナことになるかと云ふ話し即ち世界の	歴史	だと大層面白くなる．併しどの国の歴史を書く
	歴	173	12	君はドウいふ味がしますか．これは後の	歴史	で無くは，説（即ち考へ）だから分りませぬ．
	歴	052	07	と思つても新聞は無い，究理のことでも	歴史	でもモロコシの字を用ひたので無ければ横文字
	歴	034	11	世間で酒を飲む人はどんな人が多いかと	歴史	などから考へて見ますと酒を飲む人は無欲の人
	歴	034	15	無い，大慾の人は余り酒を用ひませぬ．	歴史	などを見ましても酒を飲まない人は古へより功
	歴	227	11	などは自分で将軍になつたと云ふことが	歴史	などに見えて居ります．大名は何であるかと云
	歴	133	05	其の行義の正しいことに感服したことは	歴史	に明かに記して御坐ります．故に昔より，かう
	歴	204	09	た彗星で有ります．この彗星は日本では	歴史	に載つて居ましたかドウだか支那では出て居さ
	歴	205	14	眼では見えません．この十一二の彗星の	歴史	はナカナカ面白いと云ふことですが私はさうは
	歴	219	16	の後までも其の風俗を知ることが出来て	歴史	編纂などの大いなる資けとなります．其れから
	歴	C32	14	歴史だと大層面白くなる．併しどの国の	歴史	を書くにも先づ其の国の地図から始めるが順序
	歴	100	05	ざる所であらうと考へまする．つらつら	歴史	を案ずるに昔し羅馬の盛んなる時代には「朕は

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（れきし）	歴	101	12	変遷でよく分つて居ります．西洋各国の	歴史	を見まするに何れの国にても一事の改革をはか
	歴	128	06	なくなるべきものも御坐ります．学術の	歴史	を調ぶれば暫くの間，盛んにはやりて不意に消
	歴	179	12	り」と仰せられましたが千八百年以来の	歴史	をみて此の言の決して僞りで無いことが知れま
	歴	054	08	見ますと御国より始めてモロコシ西洋の	歴史	，理学，化学，最も入り用なのは算術，算術も
れきちょう	歴	043	02	居る．併し支那でも三代時分と其の後の	歴朝	とは大いに違ひ，次第に後世に至るに及び法律
れきれき	歴	164	02	一人も無し，亡国廃家に至つた者は古来	歴々	としてある．近ごろ西学考略といふ書を読みま
れっこく	列	227	17	居つたのでも無い．諸侯の一つで丁度，	列国	の一国主が其の列国の世話をして居たと云ふや
	列	228	01	諸侯の一つで丁度，列国の一国主が其の	列国	の世話をして居たと云ふやうなものです．何に
れっする	列	067	06	は存じませぬが今日は幸ひに此の盛場に	列する	の栄を得ました．且法律経済の二科に就て卒
れっぱい	劣	130	10	符合すべき筈のもので御坐ります．優勝	劣敗	の面白い法則により，やがて二千年ぢかく生存
れなん	レ	090	12	も立派な模範が御坐りませぬ．仏蘭西の	レナン	と云ふ不信者さへも耶蘇基督の性質と其の行
れふれんだる	レ	068	08	見習はなければなりませぬ．（見習生は	Referendar	と申します）これを四年いた
	レ	069	08	た者が御坐いました．随つて見習生即ち	Referendar	の数も千八百七十五年七月一
れる	れ	116	04	といふは実に全く低い動物的の欲に勝た	れる	からのことで，さういふことを矯むるには，こ
	れ	042	04	支那よりは西洋の方が進んで居ると思は	れる	ことぢゃ．Buckleの言ふ様に進歩が無い
	れ	048	14	くなりて来て，そこで道徳も大いに行は	れる	こととなるであらう．尤も其れは実に夢の様な
	れ	193	05	の名義を以てやることは天皇陛下のなさ	れる	ことである．其れから裁判のことも無論，天子
	れ	237	02	思つても口出しすれば謀叛人同様に思は	れる	ことで有つた．私などが西洋学を始めたのは今
	れ	193	07	です．其れから行政のことも天子がなさ	れる	ですが行政府のことは今日の講談の目的であり
	れ	046	15	の社会を為さぬ者同士の間に道徳の行は	れる	と云ふことは無い道理ぢゃ．西洋人が亜米利加
	れ	077	05	だとか詐僞取財だとかに由て其れを奪は	れる	と矢張り己れの財産にはならない．そこで法律
	れ	193	06	其れから裁判のことも無論，天子がなさ	れる	といふことは前にも申し上げた通りのことです
	れ	209	01	ん．なぜなれば地球は他の惑星から引か	れる	と，感じますが彗星はイクラ引つばつたとて地
	れ	224	12	正しやうと云ふので，強ち西洋風を移さ	れる	と云ふばかりでは御坐いますまい．右のやうな
	れ	048	16	して，居るから其の間に道徳の十分行は	れる	道理が無い．今日各国の間に道徳の行はれぬは
	れ	214	08	だから自ら幇間みたやうになり人に尊ば	れる	などと云ふことは有りませんだつた．また演劇
	れ	135	04	答へますには若し世界が狭いものと言は	れる	ならば基督教の趣意も亦狭いもので御坐りませ
	れ	044	15	益を顧みる勿れと云ふ主義も本当に行は	れる	もので無い．其れのみならず法律の主義も矢張
	れ	238	04	二大難事に耐へて其の時分の学者と云は	れる	ものになつた者のことを想像されて其の志を以
	れ	151	11	る権理と義務を行政上の法律規則で行は	れる	やうにするのです．第三は無形人即ちモーラル
	れ	236	14	れ，中には之が為めに自分の命まで取ら	れる	やうな人が有つた．高野長英や渡辺華山なども
	れ	048	11	申した法律の主義と云ふものは無論行は	れる	様になるであらう．さうすれば世界が大きな一
	れ	245	08	に之を利用して，これ等のことをもやら	れる	訳で万，已むを得ざるときは秩序安寧だけを重
	れ	009	03	には仮名が便利になりはせまいかと思は	れる	．漢字を廃さうとならば先づかういふ方法．併
	れ	039	03	の様な社会では強盗をする者が一番貴ば	れる	．其れのみならず強盗をする者が善で，せぬ者
	れ	044	14	は支那の道徳にかなふて居るものと思は	れる	．其れぢゃから他人を利して己の利益を顧みる
	れ	047	02	同士の間では当然のことであらうと思は	れる	．社会を為して居らぬからには自分の利益を謀
	れ	047	16	ぬ当然の処置であるからであらうと思は	れる	．さりながら今日，世界の有様を見ると各国の
	れ	048	10	では段々其の運びになるであらうと思は	れる	．さうしたら先刻申した法律の主義と云ふもの
	れ	048	15	様な話しなれども間違ひ無いことと思は	れる	．其れまでの間は各国が何分にも社会を異にし
	れ	111	07	する種々様々なる一部分であらうと思は	れる	．故に我々は此の事に付て輿論を以て充分彼等
	れ	161	17	を亡ぼした元祖は殷の紂王だらうと思は	れる	．武王はふかく其れに感じたものと見えて殷を
	れ	192	16	下に在るので執行は天子がなさつて居ら	れる	．其の下に文武百官を使つても執行権は天子が
	れ	192	16	官を使つても執行権は天子が持つて居ら	れる	．其れで今日まで執行権は天子となつて居りま
	れ	220	02	るだけに小説が交つては居らぬかと思は	れる	．既に先日，学士会院でも重野先生が太平記と
れんが	煉	145	15	六万円あるさうで二三年の中には大きな	煉瓦	の芝居も立つさうです．私は金は出さねども此
れんごう	聯	230	11	が有つて一郡を組成し其の十五の町村が	聯合	して共有して居るのを郡の共有と云ふのが多い
れんしゅう	練	068	13	受けて見習生となり少くも四年間実務の	練習	を致します．其れより第二回の高等官吏登用大
れんじょう	連	064	03	ロンドンのドクトルフュート氏は汽車の	連乗	に由つて心臓の衰弱を起し婦人に在てはヒステ
れんちゅう	連	035	05	ます．私どもの実験にも世間にさういふ	連中	があつて往来に酔ひ倒れて警察官の厄介になつ
れんびん	憐	276	07	がありましたけれども，今日では却つて	憐愍	と云ふやうな意味がありまして何卒して不良な
れんらく	連	261	06	すると学校と慈恵と監獄とは皆な相共に	連絡	しまするゆゑ各々其の釣合を宜しくし其の範囲
ろう	楼	067	02	日専修学校卒業証書授与式東京両国中村	楼	に於て三好退蔵君演説諸君．私はこの専修学校の
	楼	073	02	日専修学校卒業証書授与式東京両国中村	楼	に於て細川潤次郎君演説私はこのたび始めて本校
	楼	093	03	没事件学術討論演説会」東京浅草井生村	楼	に於て薩埵正邦君演説諸君．私は「ノルマントン
	楼	098	02	没事件学術討論演説会」東京浅草井生村	楼	に於て高田早苗君演説「あな，おそろしきかな，
	楼	105	02	没事件学術討論演説会」東京浅草井生村	楼	に於て大谷木備一郎君演説当今世上の一大問題と
	楼	155	02	月十日梅檀社員大演説会東京浅草井生村	楼	に於て原坦山君演説今日はマハリバンが悪くつて
ろう	牢	157	06	奴だ」と言つて，トウトウふんじばつて	牢	に入れました．さうすると友達や親類が集つてア
	牢	255	01	と云ふ風も有りまするが其の原因は昔の	牢	番人が悪かつたので，監獄が悪いのでは決して有
ろう	聾	257	02	天然の貧民で有りまして，例へば盲人，	聾	，唖，癈疾，不具者，等で第二の種類は社会上の
	聾	257	06	ます．而して天然の貧民に属する盲人，	聾	，唖，癈疾，不具者は祖先父母等に於て之を養ふ
	聾	258	01	二つの種類が有りまして第一種は盲人，	聾	，唖，癈疾，不具者にして親族の救助し能はざる

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ろう）	聾	261	11	人となる恐れなき天然の貧民即ち盲人，	聾 ，唖，癈疾，不具者の如きは訓盲唖院，又は養育
ろう	隴	067	14	り外は御坐いませぬ．併しながら我々は	隴 を得て蜀を望むの欲を抛つことが出来ませぬから
ろうかく	楼	217	09	へ合せて然るべき学者が始めて此の空中	楼閣 の話しを作つたものと見えます．しかしながら
ろうごく	牢	254	17	ことに注意致さねばなりませぬ．古来，	牢獄 と名づけました牢屋の前を通ると家へ帰つて門
ろうし	老	159	07	時分には欧羅巴の教法は渡りませんから	老子 と孔子と釈迦を三聖と唱ひ其の時分には老子の
	老	159	08	と孔子と釈迦を三聖と唱ひ其の時分には	老子 の学問とも老子の教とも言ひ，孔子の学問とも
	老	159	08	三聖と唱ひ其の時分には老子の学問とも	老子 の教とも言ひ，孔子の学問とも孔子の教とも言
	老	159	06	して今日は繁昌になりましたが支那では	老子 ，孔子，釈迦を三教と唱へました。弘法大師は
ろうじゅう	老	214	10	非人のやうに言ひ習はされ，天保年中の	老中 ，水野越前守が大層政事を改正した時に「楽屋
ろうじょう	籠	060	13	極め身を過まり家を亡ぼし遂には獄内に	籠城 するか又はモルヒネ往生等に極を結ぶ者多くあ
ろうじん	老	039	09	ら，なほさら殺さねばならぬ訳ぢゃ．又	老人 などが役に立たぬ様になると殺す社会が有るこ
	老	040	17	子供を殺したり夫婦の配偶をせなんだり	老人 や親などを殺すのさへも其の時には善い事にも
ろうばい	狼	168	11	たつたの騒ぎたゝないのでは無い大変な	狼狽 を始めて日本を焦土としても戦ふとか何とかイ
ろうびょう	老	211	11	て見ますと彗星の突き当る前には地球は	老病 で死んでしまふから非業の死は遂げやしないと
ろうま	羅	002	12	ら左袒するといふ主義で仮名のみならず	羅馬 字でも宜しい漢字を廃さうといふものなら何で
	羅	006	02	のことには構はず夢中になつて居るから	羅馬 字のことを言つても取り合はない．兎角，人は
	羅	008	13	ふことは出来ないが若し幾年から仮名か	羅馬 字を用ふると国会設立の様にしたいといふなら
	羅	008	14	ふなら明治百年か千年になつたら仮名か	羅馬 字になるだらう．其の用意には今から子供に教
	羅	008	15	は成るたけ教へず，また一つには仮名か	羅馬 字で綴つた文章を読ませるがよい．これは少し
	羅	008	17	字はよして貰ひたい．そして傍ら仮名か	羅馬 字で綴つたものを短い言葉より始め，次第に長
	羅	100	06	は「朕は王なり」といふよりは「われは	羅馬 人なり」といふ方が遙かに世間に尊まれたとい
	羅	100	07	諸君今試みに，この王の如く尊まれたる	羅馬 人がノルマントン号の乗客なりしと考へよ．若
	羅	100	07	マントン号の乗客なりしと考へよ．若し	羅馬 人にして彼のノルマントン号の乗客でありしな
	羅	100	09	れます．畢竟するに二十有余名の同胞は	羅馬 人の如く尊敬されざるは勿論，英人の如く尊敬
	羅	042	14	当は今日でもさうはなりて居らぬ．希臘	羅馬 で道と法とが始めて分れて来た．政治上のこと
	羅	083	01	．また其の後の時代において彼の盛んな	羅馬 帝国が其の通りに成り果てたことは諸君皆な御
	羅	039	15	くないことの様になりて居るのぢゃ．昔	羅馬 の初めに「剛勇」と云ふ字と「徳義」と云ふ字
	羅	100	05	へまする．つらつら歴史を案ずるに昔し	羅馬 の盛んなる時代には「朕は王なり」といふより
	羅	156	17	向ふ鉢巻で驚いた．さうすると西洋には	羅馬 法皇と言つて，やかましい人が教法を握つて居
	羅	157	02	の親方だつたが今は其れも無いが，モト	羅馬 法皇は天主の代理だといふから実に強気なもの
	羅	157	03	に強気なものさネ．西洋各国の天子様が	羅馬 法皇の御免許を受けないと天子様になれないと
	羅	157	04	が変りましたが）若し地が回るとなると	羅馬 法皇の，仏教で申したら法華経とか三部経とか
ろうや	牢	242	09	し上げることと致しませう．監獄は昔は	牢屋 と申しました．フランスではプリゾンと申しま
	牢	246	02	彼れは斯くの如き悪い事をした．因つて	牢屋 に，はふりこんで早く殺してしまへと云ふやう
	牢	275	05	新前のことは実に論ずるに足りませぬ．	牢屋 に入れますると牛馬同様に取り扱ひ未決中の者
	牢	254	17	なりませぬ．古来，牢獄と名づけました	牢屋 の前を通ると家へ帰つて門前で塩をかけると云
ろうりょく	労	074	01	．需要といふものが価値を生じ其れ故に	労力 が生ずるといふことを言ふたもので御坐んす．
	労	074	15	は人を雇はんければならぬ．而じて其の	労力 に向つて報酬の金を払ふ其の労力を供給してく
	労	146	03	ることは無けれども資本の取りかへしと	労力 の償ひはつきます．私はドッカの鼻いきを，う
	労	073	16	を思ひ出しました．一体この説は前人に	労力 は則ち価値なりといふ説が御坐んすが必ずしも
	労	074	15	て其の労力に向つて報酬の金を払ふ其の	労力 を供給してくれる人は其れを供給してもらふ人
ろーま	ロ	180	10	キリスト降世前の世界に於てギリシヤや	ローマ が文物隆盛を極めた時の婦人の有様とキリス
	ロ	234	14	ばならない．エウロッパの昔もギリシャ	ローマ が盛んで有つたから近世に至つてもギリシャ
	ロ	234	14	で有つたから近世に至つてもギリシャや	ローマ の言葉を貴んで其れで無ければ学問は出来な
	ロ	234	16	た．其れが段々開けて今日ではギリシャ	ローマ の言葉を用ひないでも自国の言葉で十分，学
	ロ	234	17	説くことが出来るやうになり，ギリシャ	ローマ の言葉は半分は飾りものになつて来ました．
	ロ	204	14	の頃は非常に驚いたものと見えまして，	ローマ 法皇は「毎日正午には鍾を鳴らせ，彗星とト
ろく	ロ	263	01	訳には参りませぬ．其れで話しをすると	ロク なことは稽古しないと云ふことになりまするか
ろく	六	230	02	云ふもの即ち内地の郡の如きものが三十	六 あります．また村と，村のやうな島が五百八十九
	六	057	02	坐ります．半開化は衛生の害明治十九年	六 月十三日大日本私立衛生会埼玉支会の第三総会埼
	六	113	02	て動物的の欲を制せしむべし明治十八年	六 月二十七日大日本節酒会の第一小集会東京神田区
	六	124	02	坐います．神学卒業生の心得明治十九年	六 月二十二日神学校生徒卒業式場東京京橋区木挽町
	六	239	04	年十月十五日宇川盛三郎君講演私は本年	六 月，福島県，宮城県，岩手県，青森県，秋田県，
	六	239	05	七県の監獄巡閲の命を受けまして，去る	六 月九の午前六時に上野発の汽車にて東京を出立い
	六	269	13	五百九十人，即ち七分で，十二歳より十	六 歳までは四千二百八十三人，即ち五割一分，十六
	六	269	13	は四千二百八十三人，即ち五割一分，十	六 歳より十八歳までは二千三百二十人，即ち二割八
	六	269	15	りまする．して見ますると十二歳より十	六 歳までの間が一番，間違の出来やすい時で有るも
	六	062	16	すは例へば茲に一の閑人あり今日の午后	六 時に番町より神田に行くべき用事あるに当つて午
	六	239	05	閲の命を受けまして，去る六月九の午前	六 時に上野発の汽車にて東京を出立いたし，福島，
	六	211	13	現にアリアリと彗星の尾の中に五時間が	六 時間，居つたに違ひ有りません．其の時に日本あ
	六	109	07	艘，一千噸以上一千五百噸以下のものは	六 艘の端艇を備へなければならぬことにきまつて居
	六	022	14	陽の雛形から四丁と五十五間先づザット	六 丁の処に五分三厘に足りない玉が有るのが火星の
	六	023	06	これは三寸八九分の玉で距離は一里二十	六 丁の処にあり，海王星は三寸八分の球で太陽を距

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ろく）	六	059	02	で又開化の徳でありませう．此の県下で	六　伝染病中チフスの居候が最も沢山あると云ひます
	六	273	08	でありまするから已決監の総数は百六十	六　となりまする．此の所に於て懲治監と申しまする
	六	165	02	するの説及び其の方法明治二十年一月十	六　日スタチスチック社の第一総集会東京九段坂下靖
	六	195	02	ますのです．彗星の話明治十八年十月十	六　日理医学講談会東京神田区錦町東京大学予備門構
	六	203	06	ました所が今度は十三日と言つたのが十	六　日に来ました，丁度七十五六年の中で僅か三日の
	六	070	06	たらずで有りませう．又判事補は九百〇	六　人，代言人は千〇六十五人で内に法学士が十二人
	六	269	03	有りまする．此の所には一万五千七百〇	六　人の囚徒がありました．矯正院即ち感化院は男子
	六	271	06	監人を合計しますると四万八千八百五十	六　人となりまする．さて，これよりは日本の監獄の
	六	174	04	毎年三十六万人づゝ殖えるとしますと百	六　年たらずで其の二倍即ち七千六百三十万二千四百
	六	204	08	は千五百三十一年の前，即ち千四百五十	六　年に出ました彗星で有ります．この彗星は日本で
	六	204	11	は御承知で御坐りませうが，千四百五十	六　年はトルコ人がコンスタンチノプルを取つて三年
	六	206	04	穿鑿をしました所，其の前に千七百八十	六　年，千七百九十五年，千八百十五年に出ましたの
	六	212	12	せうが，千九百〇九年，即ち今から二十	六　年後にはＨａｌｌｅｙの彗星の戻つて来る時で立
	六	244	14	の中の行政権に属しまする．其れから第	六　は全国の利益に関することを総て執行いたします
	六	270	07	者が千三百四十三人ありまして丁度一割	六　分ほどに当りまする．また読むことと書くことを
	六	063	07	個の割合，一千八百八十年に於ては四十	六　万三千個にして一千人に付き十五個の割合です．
	六	174	02	籍等の増人数を四箇年に平均すると三十	六　万二千七百七十四人になります．昨明治十九年一
	六	174	04	百十五万一千二百十七人で大約毎年三十	六　万人づゝ殖えるとしますと百六年たらずで其の二
	六	274	02	地方税支弁にて明治十七年度は三百四十	六　万九千四百五十五円となりまする．而して其れを
	六	270	09	る者が七百八十七人ありまして丁度九分	六　厘ばかりに当りまする．また小学の教育を受けた
	六	269	11	，強盗で其の数五千三百七十四人，即ち	六　割四分で有りまする．また年令を以て割合を申し
	六	260	14	宜しく注意すべきもので有りまする．第	六　，監督者を設くること．これは相当の方法が立ち
	六	090	16	ぬと云ふことが決して御坐りませぬ．第	六　．併しながら種々の進歩を成就する為めには骨折
	六	132	04	この仕方の益は少なく御坐りませぬ．第	六　．また総て神学卒業生は常に研究する所の新旧約
ろく	録	216	14	．其れから我が国に古く霊異記だの感霊	録　だのと云ふ仏法の霊験を書物に著したものの中に
ろくしち	六	206	10	ｅｌａの彗星と云ふて，この人がイツも	六七　年目には戻つて来ると言ひましたが，しかし其
ろくしちじゅう	六	168	08	振ふことが出来なかつた．其の後，二百	六七十　年すぎて北亜米利加合衆国の人が和親貿易を
ろくじゅう	六	026	16	随分遠い．モウ一つは白鳥宮といふ所の	六十　一号の星で今申した星から見ますと三倍ばかり
	六	273	06	まると未決監は百七十五，已決監は百	六十　一，懲治監は百〇三，合せて四百三十九の監舎
	六	269	07	数を合せますと男子の部と女子の部とで	六十　九箇所ありまして，其の生徒の数が八千四百十
	六	070	06	．又判事補は九百〇六人，代言人は千〇	六十　五人で内に法学士が十二人御坐います，これは
	六	273	15	て其の外，別房留置者と申す者が千八百	六十　七人あります．これは監獄にて放免になりまし
	六	063	06	は一千八百三十年に於ては車数八千五百	六十　にして人民千人に付き五個の割合，一千八百八
	六	070	04	前判事と唱へる奏任以上の者は僅に三百	六十　四人で御坐いまして其の中に法学士の称を持つ
	六	070	09	，日本の人口は三千七百四十五万千七百	六十　四人で御坐います．この統計により日本では千
	六	273	08	決監でありまするから已決監の総数は百	六十　六となりまする．此の所に於て懲治監と申しま
ろくせん	六	269	05	りまして，そこに居りまする生徒の数は	六千　七百七十七人ありました．女子の部は公立のも
	六	271	04	人でありまする．尤も此の在監人の中，	六千　七百五十三人は未決者と控訴上告中の者とで有
	六	027	07	る位な間に来ます，僅か一秒時間に七万	六千　里ほど走りますから地球のかたつ方の端から，
	六	273	14	は一万四千二百二十二人，已決囚は五万	六千　〇四十二人，懲治者は百二十一人ありまして其
ろくだか	禄	255	13	分の妻を将軍へ妾同様に売り付けて其の	禄高　を増して貰つたと云ふやうなことも無いではあ
ろくめい	鹿	008	07	ヒュウヒュウボンボン．また夜になつて	鹿鳴　館に往て見ると賑で押し返されぬ程の騒ぎ．其
ろしあ	魯	101	16	ある，英吉利人は獅子の様な勇がある，	魯西亜　人は虎の様な威があるが日本人はヤマアラシ
ろしあ	露	132	13	滅ぼすこと，また破ることと駁つことは	露西亜　の虚無党の仕方で有ります．基督教の仕方で
ろっ	六	027	09	αＣｅｎｔａｕｒｉから来るには三年と	六　ケ月かゝり白鳥宮からは其れの幾ど三倍で九年と
	六	269	02	中央獄は二十四箇所ありまして其の中，	六　箇所が女子部で，アトの十八箇所が男子部で有り
	六	254	12	ぬから為めに再犯，三犯，四犯，五犯，	六　犯と云ふやうな者が随分あるやうにも聞きまする
ろつしえる	ロ	120	04	とと思はれます．世界に名高い経済学者	Ｒｏｓｃｈｅｒ　と云ふ人は「酒を飲むことが世界に
ろっぴゃく	六	271	03	三百八十二箇所，其の在監人は二万四千	六百　九十九人でありまする．尤も此の在監人の中，
	六	174	05	ますと百六年たらずで其の二倍即ち七千	六百　三十万二千四百三十四人の日本国人となりませ
	六	269	07	十四箇所ありまして，其の生徒の数は千	六百　三十七人ありました．此の数を合せますと男子
	六	162	17	のと見える．今申した酒詰の原文は大凡	六百　字あまりも有るが今のは私がアラマシを書いた
	六	109	05	下の商船は端艇二艘を備へ，四百噸以上	六百　噸以下は三艘，六百噸以上八百噸以下は四艘，
	六	109	06	を備へ，四百噸以上六百噸以下は三艘，	六百　噸以上八百噸以下は四艘，八百噸以上一千噸以
	六	017	09	に勘定して見ますと直径は三十五万二千	六百　二十三里で地球の直径の百八倍半ほど有ります
	六	199	17	ｅｗｔｏｎの友だちのＨａｌｌｅｙが千	六百　八十二年の八月に出ました彗星で勘定をしまし
	六	084	12	歩したことが御坐りました．これ則ち千	六百　四十八年より以降のことで御坐りました．或は
	六	200	03	で昔し出た彗星の道に違はない．昔し千	六百　〇七年にＫｅｐｌｅｒの観測しました彗星，ま
ろん	論	128	10	の論の中にたゞ一人か二人が起した所の	論　が多う御坐りまする．箇様な論は遂に本当のもの
	論	128	12	な近来の色々の論を承知するときは此の	論　が我が宗教に関係したるもので有るか無いかと問
	論	159	15	は出来ますまい．アチラでも，さういふ	論　が有りますとサ．東洋では教法と学問と切り放す
	論	219	12	相手になるのを第一にすることにツマリ	論　が落着しました．して見ると昔の風俗は自由結婚
	論	224	16	今，演劇は申すに及ばず小説とても改良	論　が盛で有りますから共に体面を改めるやうになり

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（ろん）	論	236	13	たが，ヤハリ御一新前までは鎖国攘夷の	論	が盛んだから世間に嫌はれ，中には之が為めに自
	論	130	08	を滅ぼすものなりなどのことは誠に拙き	論	で御坐ります．学術と宗教との出所は一つのもの
	論	137	04	出して諸君のお聞きを煩はすは小説改良	論	で御坐りますが今日，世の中に改良と言ふことは
	論	125	08	りませうか．伝道師が度々聞く所の反対	論	といふものはドコから起つて来るもので有りませ
	論	125	12	者で御坐りませぬ．基督教の色々の反対	論	といふものは，おもに学術と基督教との関係また
	論	025	13	の争ひは例の距離の知れた上でなければ	論	にならない．星の距離は月の距離を測りますのか
	論	126	08	ことが出来ませうか．学術の色々の反対	論	に答へるには色々の仕方が御坐りまするが其の中
	論	127	04	ヵな人で有ります．また其の論はかたい	論	にして中に面白いことも，また有益有用なること
	論	129	03	師は不意に起つて来る所の色々の新しき	論	によつて容易に惑はされませぬ．君子はシッカリ
	論	129	13	約書は遂にドウなりませうか，斯の如き	論	によつて基督教が遂に滅びてしまふのでは有るま
	論	131	01	たる所の道徳の法も人の色々の浅ましい	論	によつて容易に変るものでは無い．ドチラも神の
	論	131	05	坐ります．されば学術に本づいたる反対	論	に答ふるに，よく適当したる仕方は如何なるもの
	論	131	08	西洋の学者の論を以て西洋の学者の反対	論	に答へることは誠によい仕方で御坐ります．基督
	論	132	05	約聖書の明文を以て基督教の色々の反対	論	に答ふることが出来ます．昔より今に至るまで此
	論	132	16	仕方で御坐ります．第七．基督教の反対	論	に答へるには最もよいものが御坐ります．即ち卒
	論	134	15	拠を立てねばなりませぬ．基督教の反対	論	に答へむには其の外にまだ色々の仕方が御坐りま
	論	245	04	有りまするから私の述ぶる所の此の監獄	論	に於ては総て普通の罪人，即ち常事犯のことを申
	論	021	16	とか消したとか消さないとか子供の水懸	論	の様なことをして果は大戦争に及ぶと云ふ様なこ
	論	128	03	云ふならば西洋の学者の色々の新らしい	論	の中に無証拠な設理即ち後の穿鑿を助ける為めに
	論	128	05	ます．近来盛んに起つて来る所の色々の	論	の中に追々と学術のかたい事実となるものも御坐
	論	128	09	う御坐りませう．其の外に学術の色々の	論	の中にたゞ一人か二人が起した所の論が多う御坐
	論	131	12	方の論を読む者は世の中の色々の激しき	論	の為めに不安心なることは滅多に御坐りませぬ．
	論	261	13	の如きものの管轄と致すと云ふのが私の	論	の目的とする所で有りまする．これより欧米の監
	論	131	10	来ませぬほどで御坐ります．たゞ一方の	論	のみを読みまするお方はドコまでも基督教と学術
	論	014	14	有るから唯見た計りでは大きい小さいの	論	は立ちませぬから先づ距離を測るのが第一番のこ
	論	125	09	ませうか．所謂る書生が起す所の色々の	論	は多く何に本づいたもので有りませうか．傍聴人
	論	127	04	は随分タシカな人で有ります．また其の	論	はかたい論にして中に面白いことも，また有益有
	論	127	11	した理論者にあらざれば西洋の専門家の	論	は非難し易いものでは御坐りませぬ．故に私もこ
	論	128	01	で受け容れて而して此の色々の新らしい	論	は決して基督教に逆らつて居らぬと頻りに務めて
	論	128	07	んにはやりて不意に消えてしまつた所の	論	は随分多う御坐ります．故に先づ暫時の間，待つ
	論	128	10	した所の論が多う御坐りまする．箇様な	論	は遂に本当のものになるか或は誤つたものである
	論	120	14	思はれます．併しながらモノゴトはたゞ	論	ばかりでは人に感じさすることが割合に少なく思
	論	121	01	たことで有りますが私はドウも日本でも	論	ばかりでは人に感じさすることが，むづかしくて
	論	121	08	ましきことでは有りますまいか．何でも	論	ばかりではいけませぬから，よく事実を穿鑿した
	論	130	11	督教は迚も近来不意に起つた所の新しき	論	または設理，或は一人か二人の量見によつて滅び
	論	137	01	は実に明かで御坐ります．日本小説改良	論	明治二十年一月九日大日本教育会の常集会東京神
	論	239	01	れだけのことを御忠告いたします．監獄	論	明治二十年十月十五日宇川盛三郎君講演私は本年
	論	121	04	はれます．事実を見せたら其れからして	論	も起らうし，また弊害が有ると云ふことが分れば
	論	163	04	出来なかつたのは色々訳も有るだらうが	論	より証拠，酒を嗜んで狂乱の様子が有つた様だ．
	論	009	02	んだなら遂には誰も漢字廃すべからずの	論	を唱へる人も無からう．この子供等がオトナにな
	論	126	13	の智力を以て総て学術に本づきたる反対	論	を駁つことが出来ると思ふもので御坐ります．箇
	論	127	08	坐ります．けれども卒業生が其の未熟な	論	を以て彼の専門家のよく熟したる論を駁つと云ふ
	論	127	09	熟な論を以て彼の専門家のよく熟したる	論	を駁つと云ふことは迚も出来ぬことで御坐りませ
	論	127	17	ます．この様な教師が学者たちの色々の	論	を天の黙示，或は神の示現の如くに喜んで受け容
	論	128	11	．若し遂に各国の学者皆な近来の色々の	論	を承知するときは此の論が我が宗教に関係したる
	論	128	16	す．頻りに色々の新らしい説，新らしい	論	を求めて風見の如くに今，不意に吹き出した所の
	論	131	07	す．洋学を致した卒業生は基督教の反対	論	を駁つ為めに西洋の学者が著はした本を研究して
	論	131	07	はした本を研究して而して西洋の学者の	論	を以て西洋の学者の反対論に答へることは誠によ
	論	131	08	によい仕方で御坐ります．基督教の反対	論	を駁つ為めに英国，米国，独逸国などに毎年出版
	論	131	12	理は分ることが出来ませぬ．其の両方の	論	を読む者は世の中の色々の激しき論の為めに不安
	論	127	14	に出す所の色々の新らしい説，新らしい	論	，新らしい考へなどを誠とし且喜んで受け容れま
	論	128	04	る為めに学者が仮りに設ける所の色々の	論	，未だ学者たちでさへも学術の事実とせぬことが
ろんきゅう	論	191	11	スキューは同意に違ひ無いといふことに	論究	が及んで居ります．日本の現在の有様で立法権
	論	278	12	，構造，教誨などに関することは学術上	論究	するの必要が有ると確信いたしますから其れ等
ろんけつ	論	192	05	当時大名といふものがあつて其の大名の	論決	するか議決するもので大名輿論といふのが正し
ろんご	論	158	09	と，をかしいが，あの雷のことに付ては	論語	に「迅雷風烈には必ず変ず」とあるから孔子様
	論	163	13	．「小，忍びざれば則ち大謀を乱る」と	論語	にもあるが信長などは大望の有る身でありなが
	論	158	10	ビックリしたに違ひない．後世，朱子が	論語	の集註を書いた時分に天の怒りだと書いたのを
ろんじ	論	087	17	易に御坐りませぬ．其れ故にまた箇様な	論じ	方に由つて見れば社会進歩の為め基督教の必要
	論	088	01	く研究せずして分らぬ御方は直に，この	論じ	方を善しと致しませぬかも知らぬけれども，こ
	論	119	15	が酒が人間社会に害の有ると云ふことを	論じ	たことは色々有りますが其の中にもＺｓｃｈｏ
	論	120	16	此の事に就ては今まで誰も深く注意して	論じ	た者は無くたゞ「随分飲んでもいゝものだ」と
	論	219	10	ことや芸能のこと或ひは心ざまのことを	論じ	た所が妻とすべき女は容儀にも芸能にもよらず

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ろんじ）	論	065	04	類を挙げますれば沢山ありて一朝一夕に	論じ	尽すことは容易でありませぬから大概にして止
	論	180	16	ながら是は一大問題で中々一席の演説に	論じ	尽せることでは御座りません．只私は是より其
	論	075	16	法律学と経済学と其の学科の性質上より	論じ	て見まするに法律は消極的の価値を得るといふ
	論	191	05	し違ひたので同氏がイギリス国の制度を	論じ	て申したのにイギリスには力の種類が三つある
	論	261	05	ても宜からうと存じまする．前に段々と	論じ	て参りました所をひつくるめて申しまするに学
	論	111	07	を以て充分彼等の所業の不当なることを	論じ	なければならぬと思ふ．而して将来再たび斯の
	論	064	04	ステリ症（俗に血の道）を発することを	論じ	ましたが乗車する人ですら斯の如く心臓病を発
	論	076	12	とはたゞ二個の学科の学術上の性質から	論じ	まして右の通りになるといふことを申しました
	論	191	03	る即ち立法権と行政権と司法権とあると	論じ	ましたが段々と種々の学者が寄つて取り調べま
	論	194	04	ぎには行政官権，行政議会，行政裁判を	論じ	ませう．今日は少し講旨と離れて居ることでは
ろんしゃ	論	143	10	ならぬ極高尚なもので有ります．或ひは	論者	が有つて貴様は小説を貴ぶが小説と云ふものは
	論	105	14	渡を以て一箇の刑事裁判の如く誤認せる	論者	に対しては一言其の妄を弁ぜねばなりませぬ．
	論	232	03	ことを得ると云ふことが有ります．或る	論者	になりますと地方税規則第三条掲載の事項は府
	論	105	15	弁ぜねばなりませぬ．若し該言渡にして	論者	の思惟さるゝ如く果して刑事裁判ならしめたら
	論	105	06	の五日に言ひ渡しました判決に付て或る	論者	は「我々の同胞二十五名を彼の一件に付て失つ
ろんじゅつ	論	278	05	此の上は我が国の現在の監獄上のことを	論述	すべきやの順序ではありまするが現在のことは
ろんす	論	105	01	考へまする．ノルマントン号沈没事件を	論す	明治十九年十一月十八日「ノルマントン号沈没
ろんず	論	119	01	飲酒より生ずる弊害を調査するの方法を	論ず	明治十八年十二月二十日大日本節酒会の第三小
	論	155	01	先づやめませう．学問と宗教との極点を	論ず	明治十八年十月十日栴檀社員大演説会東京浅草
ろんずる	論	127	03	門とする所の区域に限つて天然のものを	論ずる	間は間違ひに陥ることは滅多に御坐りませぬ
	論	127	07	の外の廉に移りて天地の間の道理を広く	論ずる	間には，なみの人の如くに色々の間違ひに陥
	論	278	12	すから其れ等のことは追つて著書に於て	論ずる	ことと致しませう．
	論	155	08	大きすぎますナ．学問と宗教との極点を	論ずる	といふのだから口はゞつたい訳さネ．極点と
	論	165	13	総体の上に関係することを説くのだから	論ずる	所も大きくなります．この人間の組み合つて
	論	275	05	す．我が国に於ては維新前のことは実に	論ずる	に足りませぬ．牢屋に入れまするに牛馬同様
	論	076	03	らぬといふのはこれは事業上の性質から	論ずる	ので徹頭徹尾違ふといふ訳では御坐んせぬ．
	論	181	04	教の力を借りるより外は致し方がないと	論ずる	人が御坐りますが何故にキリスト教には此の
	論	128	01	基督教に逆らつて居らぬと頻りに務めて	論ずる	もので有りまする．これ亦随分ケンノンな仕
	論	099	13	りて殊に義侠の心を生ずるものなること	論ずる	を俟たず．且船長は幾多船客の生命を保護す
ろんせ	論	251	14	ろで弁別心なくして行つた者は其の罪を	論せ	ずして，たゞ懲治場と云ふものを設けて，こゝ
ろんぜ	論	061	13	用せずして事の緩急に拘らず道の遠近を	論ぜ	ず乗り回る様になり甚しきに至つては終日安居
	論	063	15	なくして炎暑厳寒を厭はず疾駆し風雨を	論ぜ	ず奔走し昼は炎天にさらし夜は湿気に触れ漸く
	論	091	06	併し人間社会の進歩は一個人と社会とを	論ぜ	ず一体，人の進歩を妨げて最も大いなる邪魔を
	論	127	07	の専門家が其の専門と致した所のことを	論ぜ	ず色々の外の廉に移りて天地の間の道理を広く
	論	145	04	す人々は日本流の人も西洋流の人も敢て	論ぜ	ず多く集めて一つの小説改良会を組み立てるが
	論	097	10	きことは大谷木君が英国の法律に照して	論ぜ	られませうから．真正の改良明治十九年十一月
ろんせつ	論	166	08	から事実によりて色々に考へ種々様々な	論説	を出し問答研究し，また物理学，機械学，数学
ろんてい	論	191	07	あるとも，また二つあるとも云ふことを	論定	したのでも無い．モンテスキューの説を読んで
ろんどん	ロ	211	05	へばロンドンならロンドンに突き当れば	ロンドン	が無くなる位なことは有るかも知れません
	ロ	211	05	堅いと云ふことで有りますから，例へば	ロンドン	ならロンドンに突き当ればロンドンが無く
	ロ	211	05	とで有りますから，例へばロンドンなら	ロンドン	に突き当ればロンドンが無くなる位なこと
	ロ	064	03	ニするもの頗る多くありますが曾て英国	ロンドン	のドクトルフュート氏は汽車の連乗に由つ
わ	和	145	05	を交換するが面白からう．其の中にまた	和	漢洋兼備の先生たちを撰り出して委員と致し其の
わいざつ	猥	224	07	組み根が下等の人の見るもので有るから	猥雑	なことで無ければ面白がらぬから，前に申した
わいせつ	猥	143	16	ければなりません．右等は未だ甚だしき	猥褻	でもありませんが随分人の前で読むことの出来
	猥	144	04	まい．これと同じことで所謂る人情本の	猥褻	なる如きものは抑も末なるものとして美術上よ
わが	我	180	02	になさしめた者は何で御坐りますか．「	我が	飢し時に我に食はせ我が渇せし時，我に飲ませ
	我	126	13	もので御坐ります．箇様な豪傑はよく「	我が	思ふには」「我がミコミに拠れば」などと申さ
	我	187	03	に神を讃美して「我心主を崇め我が霊は	我が	救主なる神を喜ぶ是れ其の使女の卑賤をも眷顧
	我	187	08	もマリヤと共に「我心主を崇め我が霊，	我が	救主なる神を喜ぶ，今より後，万世まで人々我
	我	172	11	と，よく分ります．たゞ北亜米利加人が	我が	金銀貨の価の不平均なのに乗じて大いなる利益
	我	003	10	間になるのは知れきつたこと．それで今	我が	国の有様を見るにドコへ時が一番かゝつて居る
	我	003	13	こと，考へなければ分らない．それで今	我が	国の有様で居ますと文字を習ふヒマの為めに稲
	我	003	17	りで居れば今日の様でも宜しいが今日は	我が	国ばかりで成り立つことが出来ない．天下万国
	我	005	11	支那の今日の通りになつたのは当り前．	我が	国にも二十年ほど前にさういふことが有りまし
	我	052	03	の仕事を尤もと思ひこんで（但しこれは	我が	国のことでは無い話しとして）数字の外はモロ
	我	054	13	つて居ります．さて又今まで修身の道は	我が	国では孝経をたのみにして居るのですが漢字が
	我	054	16	うなると耶蘇を用ひなければならない．	我が	国は支那の本で修身を学んだが修身は支那より
	我	070	03	様は斯の如くで御坐いますが眼を転して	我が	国の裁判官代言人の有様を観ますれば従前判事
	我	071	05	は一層の勉励と培育とを加へられて共に	我が	国の文明の基礎となるべき機関を製造陶冶せら
	我	071	06	製造陶冶せられむことを望みまする．又	我が	国に於て新聞記者が「最早法律学士の供給は既
	我	093	14	陳べむと欲することになりました．今日	我が	国には治外法権といふものが行はれて居ります
	我	093	15	し純理上から言へば今回の事件の如きは	我が	国に於て之を裁判するのが順序でありませう．

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（わが）	我	169	03	も無いものと見えます．丁度この時分に	我が 国の人心が印度や支那の旧物に倦んで，いや気
	我	169	07	益があつて西に利が見えないやうだのに	我が 国の人心は西に向つて貿易の利とは反対を示す
	我	169	10	のはよしませう．然るに此の両三年以来	我が 国の人心の東に向くシルシがあるやうで，其の
	我	170	09	りはありますまい，して見れば，これは	我が 国の大勢に関係することで後日に至つてよく分
	我	171	13	始まつたら益々便利になりませう．また	我が 国の人民は北亜米利加に向つて行く因縁があり
	我	171	15	北亜米利加合衆国人が我が国人に対して	我が 国，開港の先導者となつたこと我が国，の第二
	我	171	16	して我が国，開港の先導者となつたこと	我が 国，の第二海外貿易の道を開いたこと我が国人
	我	172	03	）外国の酒類の輸入を予防せしめたこと	我が 国の民間の教育に尽力して，くれたこと耶蘇正
	我	173	04	りを絶つのが今日民間の常であります．	我が 国の人はこの恩といふ教に養はれ不潔を嫌ひ潔
	我	173	17	らぬことがあります．其の訳はといふと	我が 国の人数が年々増しに増して来ます．現在人別
	我	177	06	との出来工合を明かに調べた上は将来，	我が 国の人心の向ふ所は何の国を好み何の政体を貴
	我	186	03	堪へぬことどもが多く御坐ります．幸に	我が 国には其れ程のことはありませんが矢張男尊女
	我	215	12	ても深くは読みませぬ故にたゞ持ち前の	我が 国のことばかりに付て申しませう．先づ我が国
	我	215	14	国のことばかりに付て申しませう．先づ	我が 国の小説は昔話しから出たもので小説の原とも
	我	216	14	て始まつたもので有りませう．其れから	我が 国に古く霊異記だの感霊録だのと云ふ仏法の霊
	我	217	11	などと云ふ古めかしい趣向が有るだけに	我が 国で先づ小説を編み立つた始めで有らうと思ひ
	我	221	10	と云ふ説が有りますが此の時分になつて	我が 国の小説は全く地に墜ちたものと見えます．其
	我	222	05	たことと見えます．箇様な訳で有るから	我が 国の小説は却つて昔物語の中で源氏などは今云
	我	222	11	次に其の濫觴をザット述べませう．先づ	我が 国の上古には久米舞，吉志舞など云ふ固有の舞
	我	243	06	相合したるものは主権と名づけまする．	我が 国では主権者は天皇陛下でありまするから立法
	我	274	06	ませう．これにて欧米の監獄のことと，	我が 国の監獄のことは大抵お分りになりましたらう
	我	275	05	なる有様であるとのことで御坐います．	我が 国に於ては維新前のことは実に論ずるに足りま
	我	275	16	なりませうと考へまする．之を要するに	我が 国の現在の監獄改良は維新前の監獄と異なる点
	我	278	05	一切述べませぬでありました．此の上は	我が 国の現在の監獄上のことを論述すべきやの順序
	我	033	12	百薬の長だといふ方には賛成者が多い．	我が 邦では子が生れるにも酒，縁組をするにも酒，
	我	058	11	出来ると云ふのは何でありませう．必竟	我が 邦が開化して鉄道が出来た為めでありませう．
	我	059	11	です．さて其の半開化の害といふは先づ	我が 邦が開化に赴きし以来如何なるものが舶来した
	我	061	05	衛生上のことなどは夢にも考へませぬ．	我が 邦に行はるゝ人力車の如きも其れと同じことで
	我	062	08	のと云ふことを知らざる野蛮人の多きと	我が 邦人民の身体の価直の廉なるとは原因の二です
	我	065	05	大概にして止めやうと思ひますがツマリ	我が 邦今日の有様は未だ半開化の人物が多く文明の
	我	065	10	むとするは則ち先覚者の義務です．実に	我が 邦は内地雑居の大役が前途に横たはつて居るし
	我	180	14	へても宜からうと存じます．然らば目下	我が 邦の社会改良を謀り殊に婦人に正当の地位と真
	我	181	09	は決して許さぬことで御坐ります．今日	我が 邦の社会に於て改良を加ふべきことは色々あつ
	我	184	11	に恥かしいことながら恐らくは世界中に	我が 邦のやうに離縁の多い所は有りますまい．其れ
	我	184	12	所は有りますまい．其れは兎に角に今日	我が 邦に於て離縁の造作ないことは誰も能く知つて
	我	185	06	して軽々しく婚姻は致しません．現今，	我が 邦の結婚と離縁との比例は如何程であるか只今
	我	185	15	御坐ります．前の弁士も述べられた通り	我が 邦に於ては儒道仏道の行はれた結果として昔よ
	我	187	07	た凱歌で御坐ります．然らば，これより	我が 邦にもキリスト教が漸々行はれんとする時に当
	我	168	15	となくモノスゴイやうな心地がします．	我が 国人が必死になつて防ぎとめ色々とモノゴトに
	我	169	01	も関係がある様に思はれます．ところが	我が 国人の心は西の方へばかり向ひて東の方には向
	我	169	14	行く者よりは多いに違ひありますまい．	我が 国人の欧羅巴に行くのと亜米利加に行くのとは
	我	171	14	とを申しますれば北亜米利加合衆国人が	我が 国人に対して我が国，開港の先導者となつたこ
	我	171	17	が国，の第二海外貿易の道を開いたこと	我が 国人に阿片の禁を勧めたこと（あれが若し勧め
	我	172	13	と譏る人もありますが，この類のことは	我が 国人同士でもありさうなことと思へば，あなが
	我	172	16	た箇条箇条がタシカで間違ひが無ければ	我が 国人は永く之を忘れずして恩を報ずることがあ
	我	172	17	うと思はれます．其れはなぜかといふと	我が 国人は古より恩といふことで養はれて居り天恩
	我	173	14	ち考へ）だから分りませぬ．併しながら	我が 国人は，世界の道理に従ふと人の移住の権利と
	我	176	02	英国を為した訳であらうと思はれます．	我が 国人も近来，海外出稼ぎのキザシがありますか
	我	176	10	なる所に及ぼして調べるが宜しからう．	我が 国人の外国へ出稼ぎ移住する有様を調べること
	我	172	10	，よくは存じませぬ．また北亜米利加は	我が 国産の第一なる製茶，生糸などの大得意先きで
	我	065	09	き，益あるものは力めて之を奨励し以て	我が 国民の健康を満足せしめむとするは則ち先覚者
	我	187	03	なつたことを知つた時に神を讃美して「	我 心主を崇め我が霊は我が救主なる神を喜ぶ是れ其
	我	187	08	に当つて日本の婦人方もマリヤと共に「	我 心主を崇め我が霊，我が救主なる神を喜ぶ，今よ
	我	070	17	斯の如く法律学者の輩出いたしますのは	我が 国家の大幸，之より喜ばしいことは無いと感ず
	我	128	12	来の色々の論を承知するときは此の論が	我が 宗教に関係したるもので有るか無いかと問ふこ
	我	131	16	ます．さすれば学術といふものは決して	我が 宗教の害にならず却つて大いに其の益になりま
	我	094	13	．他の乗組人は大抵助かつて居りながら	我が 人民は助からぬといふは実に憤怒に堪へぬこと
	我	162	06	惟々，祭祀は則ち酒を用ふべし蓋し天の	我が 民に酒を作らしむるは郊社宗廟の大祭に灌献の
	我	169	04	りをしやうとて其れには彼れの長を取り	我が 短を補はなければならない何でもやらなければ
	我	096	09	して充分の証拠とは看做せませぬ．既に	我が 治罪法にも情況の裁判は禁じて御坐ります．徳
	我	178	05	とせず相互に問答研究して学理の上より	我が 帝国の将来を知るの方法あらば何の仔細もなき
	我	067	10	の前に申し述べようと思ひます．諸君は	我が 天父の無形なる愛護と教師諸君の深切なる尽力
	我	129	11	俗に係るものなりと言はれた，これから	我が 道徳法がドウなりませうか」と．また或る人が

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（わが）	我	094	11	は言はずとも御承知で御坐りませうが）	我が	同胞二十五人が水中に葬むられ魚の腹を肥した
	我	095	04	ませぬ．然るをノルマントン号の船長は	我が	同胞を助けなかつたのは実に道徳上に於て罪す
	我	096	15	では御坐りませぬか．然れば今日吾人が	我が	同胞の為めに尽すべき第一の職分は証拠の蒐集
	我	099	17	るものなることを考へ而して二十五名の	我が	同胞を棄てた放擲したウッチャッタといふ所か
	我	106	12	の沈没した為め紀海の魚腹に葬られたる	我が	同胞二十五名の霊魂を慰め其の遺族の怨みを晴
	我	107	02	語の無きを憾むのみであります．諸君は	我が	同胞中に如何なる種類の人があつたかを記憶せ
	我	111	02	ゞ船長の卑怯にして義気に乏しきを悪み	我が	同胞及び印度人の不幸なる厄難に際会したるを
	我	093	08	船ノルマントン号が紀州沖に於て沈没し	我が	日本人二十五名といふものが助からずして船長
	我	098	13	なるも蓋し当然のことであります．全体	我が	日本人は友愛のこゝろに富むで居りまするから
	我	101	13	には必ず二三の反対のあるものであるが	我が	日本は然らず．苟くも改良といひ仮りにも改革
	我	102	16	目でないといふこと，また一方に於ては	我が	日本の国情が知られぬといふことがノルマント
	我	165	01	之を観れば酒の事を誤るを見る可き也．	我が	日本帝国人民の将来を前知するの説及び其の方
	我	165	09	お聴きなすつて下さい．して其の題は「	我が	日本帝国人民の将来を前知するの説と方法」と
	我	167	15	ければ，ならぬのは勿論でありませう．	我が	日本には昔より東漸といふことがあり支那印度
	我	168	07	に望みはありますまい．その新しい物の	我が	日本に入り来つたのは三百年ばかり前に葡萄牙
	我	169	06	違ひない．そこにまた疑ふといふものは	我が	日本の海外貿易の利は東に益があつて西に利が
	我	173	07	無いやうになつたので知れませう．若し	我が	日本の国人と北亜米利加の人と親しんだなら其
	我	174	16	もよいやうに思はれますがさうでは無く	我が	日本国民の年齢の一代ぐらゐなもので百年とい
	我	175	13	には居られぬので共食ひ同士倒れになり	我が	日本国の将来も望みの無いことになりませう．
	我	177	08	いふ種々様々なる事実を知つて本国なる	我が	日本帝国を広く大きくする手段を運らすに至つ
	我	182	10	教は兎も角も実際一夫一婦は即ち古より	我が	日本国の風で妾を持つ者は真の万人に一人か，
	我	105	16	ゝ如く果して刑事裁判ならしめたら仮令	我が	兵庫県知事が如何なる求刑をするとも英国領事
	我	061	16	むるあり．斯の如く人力車濫用の弊たる	我が	邦人をして暗々裏に健康を害すること頗る大い
	我	175	01	務の体」と言ひますから義務が何も彼も	我が	身にかゝつて来ます．若し義務を欠くと人が人
	我	126	14	．箇様な豪傑はよく「我が思ふには」「	我が	ミコミに拠れば」などと申されます．而してた
	我	172	04	教育に尽力して，くれたこと耶蘇正教を	我が	民間に（大層な金を使つて）布いてくれたこと
	我	134	01	人に任せることは出来なかつたれど今，	我が	家の事一切皆な喜んでこの人に任せて置きます
	我	059	06	ず無くなること請け合ひます．又近くは	我が	陸軍や海軍で兵士の食物を改良し空気の通暢を
	我	187	03	知つた時に神を讃美して「我心主を崇め	我が	霊は我が救主なる神を喜ぶ是れ其の使女の卑賤
	我	187	08	の婦人方もマリヤと共に「我心主を崇め	我が	霊，我が救主なる神を喜ぶ，今より後，万世ま
わかい	若	127	05	益有用なることも多う御坐ります．故に	若い	卒業生が迚も，たやすく之に勝つことは出来ま
	若	124	15	実に幸ひなことで御坐ります．けれども	若い	伝道師の仕事は皆残らず順風に助けられて楽の
	若	125	02	私今専ら弁じたいと思ひまする所は則ち	若い	伝道師の妨げまた其の務めの邪魔になるもので
	若	125	07	思ふ所で御坐ります．されば今頃，よく	若い	伝道師を困らせるものは何で御坐りませうか．
	若	116	08	い，僅に一合か二合しか飲めない．勿論	若い	時から好きは好きだが今まで酒の為めに大いに
	若	127	11	いものでは御坐りませぬ．故に私もこの	若い	勇者の仕方をよしとすることは出来ませぬ．第
わかき	若	126	11	兼ねて其の得失を弁じませう．第一．年	若き	卒業生の中に珍らしい勇者が御坐ります．この
わかく	若	089	02	の不完全なることを教ゆるには基督教に	若く	は御坐りませぬ．基督教に双ぶものは御坐りま
わかじに	ワ	064	02	起し肺病に罹り其の他種々の病を発して	ワカジニ	するもの頗る多くありますが曾て英国ロン
	ワ	064	10	同様の業を営み新造病否心臓病等に罹り	ワカジニ	するとは真にハヤ憫然の至りでありませう
わかしゅ	若	223	09	きもので有ります．其の後，女歌舞伎，	若衆	歌舞伎などと云ふものか有りましたが共に停止
わかた	分	063	17	ざるに食ひ時ならざるに飲み昼夜寤寐を	分た	ず実に人間たるものの得て為すべき業に非ず犬
わかち	分	230	06	に分ち，海軍では全国を五つの海軍区に	分ち	各海軍区に一つの鎮守府を置いてあります．其
	分	263	15	また欧米諸国に於て実行せる監獄事業の	分ち	方はこれまた四部となります．其の第一は犯罪
	分	226	11	此のことを講究しまするには先づ二部に	分ち	まして第一部は行政，第二部は行政裁判と云ふ
	分	252	05	しなければなりませぬ．之を二た通りに	分ち	まして親族，又は関係者から願ひ出る者を出願
	分	263	05	質，犯数，等の区別によつて其の雑居の	分ち	を為す位なもので有りまする．此の方法は最も
	分	230	05	せて一つの軍管を置いて全国を七軍管に	分ち	，海軍では全国を五つの海軍区に分ち各海軍区
	分	264	01	る方法を用ひます．則ち幼年者を数組に	分ち	，長幼の別を正しくし以て教育感化することに
	分	264	03	へば百人の囚人あれば之を二十人づゝに	分ち	，五つの家族の如きものをこしらへて其の各家
わかち	別	268	08	かるべき筈で有りまする．普通の監獄を	別ち	ますると其の第一は留置場と申しまして，これ
	別	271	12	ことだけ申し述べませう．普通の監獄を	別ち	ますると第一，留置場．これは裁判所，及び警
わかつ	分	008	10	が本当に分らぬからのこと，若し其れが	分つ	たならばなかなか箇様に温かい褥の上に坐つて
	分	167	09	西洋に往つて理合をつめて来たからこそ	分つ	たのに違ひない．アーいふことがチャント分る
	分	202	17	学に於て同じ彗星の二度現はれることの	分つ	た始めで有ります．今度また七十五六年後には
	分	026	10	に大きく無ければならないと云ふことが	分つ	て参ります．現に此の割り合ひによつて見ます
	分	034	07	しょつて居るものでは無いといふことが	分つ	て来ます．また今日智慧を研き身体を丈夫にし
	分	084	07	の里数と一昼夜に船のはしる里数が能く	分つ	て居り且蒸汽船が横浜をたつた日どりと時間と
	分	101	12	の覚悟なきことは二十余年の変遷でよく	分つ	て居ります．西洋各国の歴史を見まするに何れ
	分	107	11	をホミサイドと申し，このホミサイドを	分つ	て四種としてあります．第一種をジャスチファ
	分	147	06	全国行政，地方行政，町村行政の三つに	分つ	て（二三回で済むやうに）御一所に講究して見
	分	166	05	骨折り最中で其の事実といふものが半は	分つ	ても，まだ半は分りませぬ．たとへば引力の働
	分	166	05	半は分りませぬ．たとへば引力の働きは	分つ	て居るがドウして其の引力が出来て居るといふ

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（わかつ）	分	166	07	一分りますまい．時といふことも半分は	分つ	て居る様なもののこれから後，幾年あるといふ
	分	177	01	に男女の人数，年齢，職業などの種類を	分つ	て其の国々にまとめ何年の調べとして五年も積
	分	208	17	は軽いもので有る，稀薄なもので有ると	分つ	て居る，至つて軽いもので有るに違ひ有りませ
	分	229	08	味で，所によると，また其れをも数区に	分つ	と云ふやうな意味で有ります．して区と云ふも
わがはい	我	077	07	だとまで申しても宜しう御坐んす．故に	我輩	が諸君に望みまする所は法律と経済との学科の
	我	225	06	から其の辺のことにトント勝手を知らぬ	我輩	などが漫りに喙を容れる所では無いと思ひます
	我	094	12	人が水中に葬むられ魚の腹を肥したのは	我輩	に於て悲歎に堪へぬことで御坐ります．他の乗
	我	095	14	ればなりますまい．而して今新聞紙上，	我輩	に知らする所は充分にノルマントン号船長のこ
	我	110	11	実に不思議と思ふより外は無い．若しや	我輩	の疑ふ所をして事実に違はざらしめば彼等はマ
	我	094	14	に憤怒に堪へぬことであります．これは	我輩	のみならず諸君も定めて御同感で御坐りませう
	我	094	11	付て考へを述べやうと思ひます．諸君．	我輩	は日本人で御坐ります（これは言はずとも御承
	我	097	03	罪跡が現はれないことはありますまい．	我輩	は此の事に付て疑つて居つたが此の頃或る新聞
	我	105	12	もこれ等は総て誤謬たるを免れませぬ．	我輩	は固より英国領事の裁判を以て至当なるものと
	我	110	13	すまい．以上述るが如くでありますから	我輩	は英国領事に向つて充分なる審理を尽し以て公
	我	111	01	の処置であらうと信じます．終りに臨み	我輩	は一言すべきことが御坐ります．若し今回の事
	我	111	02	に今回の事変のみに止まらしむるなれば	我輩	はたゞ船長の卑怯にして義気に乏しきを悪み我
わがはい	余	008	09	にでもならなければならない位の違ひ．	余輩	の如きも気違ひにならぬのは此の違ひが本当に
わから	分	014	07	ので肉眼で見ては唯ボンヤリして何だか	分ら	ず俗に兎が餅を搗くのだと言ひます処が余程は
	分	102	12	更に分らぬさうであります．国の実況が	分ら	ず国の名さへも知らぬ様では軽蔑も無理はない
	分	247	13	現在の地獄の苦みを受けると云ふことを	分ら	せるので有りまする．たゞ道理を講釈するだけ
	分	003	13	，考ふれば直に分ること，考へなければ	分ら	ない．それで今我が国の有様で居ますと文字を
	分	006	03	し考へて見れば外の方も分る，考へても	分ら	ないでは無からう，考へさへすれば分るだらう
	分	012	04	ウこれから先きは今日の学問の有様では	分ら	ない所まではいきたいものです．このことにつ
	分	013	16	たら地球の外にドンナものが有るか一向	分ら	ないで有りませうが幸に我々は眼が随分遠くき
	分	015	14	どと言つては，どの位の距離だか少しも	分ら	ない．だから寸や尺で間に合はない処は間で測
	分	025	10	さいのが果して小さいので有るかドウか	分ら	ない．家根の上から下をあるく人を見れば小さ
	分	029	02	で無ければ本当に回つて居るか居らぬか	分ら	ない様ですが肉眼では見えないがよく調べると
	分	053	04	ふ訳で見ると言葉は漢字を知らなければ	分ら	ない．「しゅっぱん」と言つても本を版にする
	分	053	05	も本を版にすることだか船の出るのだか	分ら	ない．其れと同じ理屈で「しぶんくゎい」と言
	分	114	10	命に利が有るか害が有るかといふことは	分ら	ない．然るに人類には其れが出来る．人類はド
	分	114	17	くなるとか，いふやうなことは犬猫には	分ら	ない．して見ると本当に命の惜いといふことを
	分	117	12	よつて違ふ故に節酒と言つても其の程が	分ら	ないからイツソのことに禁酒の方がよいと言ふ
	分	153	12	は無いといふが行政法では符牒が無いと	分ら	ないから名前をムヤミに変ることを禁じます．
	分	210	06	いからだと云ふのでは無く，マルデ訳が	分ら	ないから騒がないのかも知れません．方々で「
	分	236	03	で一つの言葉を知るにも容易なことでは	分ら	ない．字を引く字引も無いし，読む本も無いと
	分	247	05	其れをムヤミにおれをいぢめるのは訳の	分ら	ないことだ」と思つて居るで有りませう．此れ
	分	247	14	りまする．たゞ道理を講釈するだけでは	分ら	ない位な者で有りますから此の外部の道具じか
	分	207	15	が有ることか知りませんが何だか無理に	分ら	なくしてしまつたやうに思はれます．其の星が
	分	246	16	けて之を懲らしめることをすると，訳が	分ら	なくつて，いぢめられるやうになつて其の心は
	分	004	09	ランスはまだイクサを始めたといはぬを	分ら	ぬことと思ふ者もあれど実はまだイクサになら
	分	005	17	知らない．兎角人は一方のことより外は	分ら	ぬもので政治家は政治のことより外には取り合
	分	008	09	も気違ひにならぬのは此の違ひが本当に	分ら	ぬからのこと，若し其れが分つたならばなかな
	分	034	09	飲んで食物と同様に思ふのは実に条理が	分ら	ぬことでは有りませぬか誠に不思議な訳では有
	分	086	16	き見るならば，これ等の事柄がサッパリ	分ら	ぬと云ふことが御坐りませぬ．これ等の高尚な
	分	088	01	ます．未だ基督教を委しく研究せずして	分ら	ぬ御方は直に，この論じ方を善しと致しませぬ
	分	089	05	らば先づ新約書旧約書を研究するならば	分ら	ぬことが御坐りますまいと存じます．第二．ま
	分	102	12	ウいふ国やら日本は支那の属国やら更に	分ら	ぬさうであります．国の実況が分らず国の名さ
	分	136	02	庭を見ますれば誠に面白くも無く，また	分ら	ぬやうに見えます．けれども遂に二階に上つて
	分	167	07	さんの「離縁の話し」なども，まだよく	分ら	ぬことだが段々気が付て来たから，おつつけ分
わかり	分	029	08	す．段々先きへ行くに従つてチットづゝ	分り	かねて参ります．併しモウ少し分るものが有る
	分	022	06	大きな数を持ち出しても例の通り見当が	分り	兼ねますから雛形を以て解き明しませう．先づ
	分	113	13	ので至つて必要なものだと，いふことは	分り	きつたことだが其の必要なもので有るだけに，
	分	201	04	様に分ることなら何月何日と云ふことも	分り	さうなもの」とお疑ひになりませうが，そこに
	分	037	13	機物の規則に随ふものぢゃと云ふことが	分り	た．動植物の生理心理は矢張り社会の生理心理
	分	147	07	たいといふことで，あります．諸君がお	分り	になつて居るには違ひありますまいが今日は先
	分	245	12	何なる部分に属するかと云ふことは，お	分り	になりましたらうから，こゝに於て監獄の目的
	分	264	13	御覧になると監獄学の一斑は一目してお	分り	になることで有りませう．此の表の中で第一の
	分	267	14	ば監獄に於て執行すべき事業は明瞭にお	分り	になるで有りませう．前に申した方法は二百年
	分	274	06	のことと，我が国の監獄のことは大抵お	分り	になりましたらうから，これより監獄の改良と
	分	037	04	之君演説「社会外に道徳なし」とは甚だ	分り	にくき題なるべしと考ふることゆゑ先づ初めに
	分	198	04	．この抛物線と楕円と云ふことは若しお	分り	の無い方があるといけませんから，話しに枝は
	分	016	02	三十倍ほどで有ります．してこの距離が	分り	ました上は其の大きさは容易に勘定が出来ます
	分	197	04	ら出てドコに帰ると云ふことがアラマシ	分り	ましたが其れをお話しする前にチョット惑星の

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（わかり）	分	197	15	す．Ｎｅｗｔｏｎから惑星の運動の律が	分り	ました．そこでＮｅｗｔｏｎは惑星の運動のこ
	分	200	06	に現はれた彗星に違ひないと云ふことが	分り	ました．と言ひましたら，こゝで諸君がお疑ひ
	分	203	09	惑星と同じ様なもので有ると云ふことが	分り	ました．抛物線を書いて居る間は彗星と云ふも
	分	203	11	を書いて居るのも有ると云ふことまでが	分り	ました．このやうな発見が出来ましてからは，
	分	015	01	ます．併し測量術を少し心得て居るなら	分り	ます．地球上で測量をしますにも十里も二十里
	分	029	06	ち此の星と云ふもので有るといふことが	分り	ます．其の同士は非常に沢山あるのですから太
	分	152	13	の関係をきめるものと言つてもチョイと	分り	ますが併し憲法と密接して居りますから憲法の
	分	166	06	して其の引力が出来て居るといふとサー	分り	ますまい．時といふことも半分は分つて居る様
	分	166	08	りませぬ．人間はドコまで開けるものか	分り	ますまい．其れだから事実によりて色々に考へ
	分	166	17	ドウして出来たものか，たゞ一見しては	分り	ますまい．併し之をこはしてケミストリーで見
	分	167	08	て日本に居つては迚もあれだけのことは	分り	ますまい．西洋に往つて理合をつめて来たから
	分	167	13	して見ても漢土の本を万巻読んで見ても	分り	ますまい．ヤッパリ新しい問題は新しい学問の
	分	172	11	意先きで，これは貿易表を見ると，よく	分り	ます．たゞ北亜米利加人が我が金銀貨の価の不
	分	208	08	ば，何時間にどの位，走ると云ふことが	分り	ます．しかし一体，汽車とはドンナものか，人
	分	012	07	追々お話しします中に問題の趣意もよく	分り	ませう．話しをあとに戻しまして日本は亜細亜
	分	014	12	云ふと，これは其の遠さが知れない間は	分り	ませぬ．総て物は同じ大きさに見えても大きく
	分	027	11	と三ケ月たつて始めて分る，其れまでは	分り	ませぬ明りが途中でまごついて居るから．これ
	分	035	08	で酒を飲む者は無欲だといふことがよく	分り	ませう．己れの大切なる智慧までも徳利の中へ
	分	079	14	せうか．先づ進歩と云ふ漢字の和訓でも	分り	ませう．即ちスヽミユクと云ふことで御坐りま
	分	109	03	だらうといふことはドンナ愚鈍の者でも	分り	ませう．千八百五十五年に英国政府にて頒布さ
	分	128	11	なるか或は誤つたものであるか未だ一向	分り	ませぬ．若し遂に各国の学者皆な近来の色々の
	分	165	15	か其の事を書いたものも無いから誰にも	分り	ませぬ．人間社会のことを説くのは今研究中で
	分	166	04	とにて，この様なるアサハカな話しでは	分り	ませぬが併し畢竟，人間生活の真理を発明しや
	分	166	05	実といふものが半は分つても，まだ半は	分り	ませぬ．たとへば引力の働きは分つて居るがド
	分	166	07	ののこれから後，幾年あるといふことは	分り	ませぬ．人間はドコまで開けるものか分ります
	分	166	16	や茶碗は土瓶や茶碗だといふことは見て	分り	ませうがドウして出来たものか，たゞ一見して
	分	167	01	をこはしてケミストリーで見ると，よく	分り	ませう．見たばかりでは事実も道理も分りませ
	分	167	01	りませう．見たばかりでは事実も道理も	分り	ませぬ．さて，昔のは事実と道理とハナレバナ
	分	170	09	大勢に関係することで後日に至つてよく	分り	ませうと思はれます．さて日本人が一たび海外
	分	170	16	スタラリヤに行かうか，どんな所かよく	分り	ませぬ．一人や二人が知つたからといつて行く
	分	173	12	の歴史で無くは，説（即ち考へ）だから	分り	ませぬ．併しながら我が国人は，世界の道理に
	分	174	01	来ます．現在人別調べのことが無いから	分り	ませぬが戸籍の調べで積ると明治十五年から同
	分	202	01	に戻つては来ますが，どの位後れるかが	分り	ませんでした．ところがＨａｌｌｅｙのあとに
	分	208	10	違ふかと云ふことはたゞ旅をした位では	分り	ません．其れと同じことで彗星はドンナものか
	分	211	09	ことと云はなければなりません．確には	分り	ませんが双六や其の外のアタリハヅレを研究す
	分	217	01	来始の親と記して有ります．其の作者は	分り	ませぬが文体の古雅な所を見れば延喜以前のも
	分	217	12	，此の作者は源の順だと云ひますが能く	分り	ませぬ．物語に俊蔭の巻とか吹上の巻とか云ふ
わかりだし	分	208	01	のごろでは段々と流星と彗星との関係が	分り出し	ました．しかし，これから流星のことを言
わかる	分	003	13	喋々といふにも及ばない，考ふれば直に	分る	こと，考へなければ分らない．それで今我が国
	分	101	09	疑ひがあるかも知れぬが，これは直ちに	分る	ことで日本人民は忽ちにして封建制度を覆へし
	分	113	10	ならぬことぢゃといふことは誰にもよく	分る	ことで，ありませう．併しながら飲食といふも
	分	131	11	も基督教と学術との関係の本当の道理は	分る	ことが出来ませぬ．其の両方の論を読む者は世
	分	136	05	ります．下から見れば面白いことも無く	分る	ことも御坐りませぬ．二階の高い所から見れば
	分	201	04	も諸君の疑団の一つになつて「其の様に	分る	ことなら何月何日と云ふことも分りさうなもの
	分	006	04	分らないでは無からう，考へさへすれば	分る	だらう．また今日漢字を用ふるが為めに教育上
	分	040	03	ゃから随ふて字が一つぢゃと云ふことが	分る	であらう．又大古は夫婦の配偶と云ふものは全
	分	086	12	とが出来ませうかイヅクに尋ねたならば	分る	であらうかドコを探したならば之を求めること
	分	167	09	のに違ひない．アーいふことがチャント	分る	と，どの位，人世に大功徳を及ぼすか知れます
	分	199	06	道の勘定をしました．勘定してドウして	分る	と云ふことは，こゝで一席には述べられません
	分	200	09	先のと今度のと其の形ちを比べれば直に	分る	筈ぢゃ，何も面倒な勘定をして其の軌道を調べ
	分	011	11	球は何の一部分だ」と問ひ詰められると	分る	ものが半分，知らないものが半分かも知れませ
	分	029	08	づゝ分りかねて参ります．併しモウ少し	分る	ものが有る．其れは何で有りますかと云ふと一
	分	034	08	は皆このシビリザションの道理によつて	分る	もので有ります．然る他にかのナルコチカを飲
	分	167	07	とだが段々気が付て来たから，おつつけ	分る	やうになりませう．宇川さんだつて日本に居つ
	分	029	11	何かの部分を為して居るといふことが粗	分る	様で有ります．諸君御存じで有りませうが秋の
	分	006	03	知らぬもの．併し考へて見れば外の方も	分る	，考へても分らないでは無からう，考へさへす
	分	015	12	言へば，どの位の長さと云ふことがよく	分る	，けれどもちつと長いものになりますと，寸で
	分	027	11	ても其れから九年と三ケ月たつて始めて	分る	，其れまでは分りませぬ明りが途中でまごつい
	分	114	11	れば身体の害にならぬといふことは能く	分る	．さて，かうすれば命に利が有る，かうすれば
わかれ	分	042	07	ぢゃが如何なる違ひに由りて道と法とが	分れ	たかと申すに道は他を利し法は己を利すると云
	分	042	08	は他を利し法は己を利すると云ふことで	分れ	たのぢゃ．道と云ふものは何でも人の為めにし
	分	043	06	居る様ぢゃ．其れぢゃからドウも本当に	分れ	たとは申せぬことぢゃ．道徳は教法者が大層骨
	分	206	12	も尾も同じやうで有りましたが，これは	分れ	たと云ふよりは寧ろ子を生んだと云ふ方が宜し

代表形	判	ページ	行			
（わかれ）	分	028	12	様に見えますが望遠鏡で見ますと二つに	分れ	て見え，多くは一つは大きく今一つは小さく，
	分	041	10	いこととなりた．其れも進化した国では	分れ	て来るのが当然ぢゃが進化せぬうちには，たゞ
	分	042	06	如くモトは分れなんだが開けるに従ふて	分れ	て来たことぢゃが如何なる違ひに由りて道と法
	分	042	14	て居らぬ．希臘羅馬で道と法とが始めて	分れ	て来た．政治上のことは法律でゆく様になりた
	分	189	03	りませう．其れから執行権の事は絶えず	分れ	て居つたやうに考へます．現に維新の時の五箇
	分	042	06	さて法と道とは先刻も申した如くモトは	分れ	なんだが開けるに従ふて分れて来たことぢゃが
	分	121	04	起らうし，また弊害が有ると云ふことが	分れ	ば自然と節酒する人も殖えませうし随つて西洋
	分	206	10	言ひましたが，しかし其れが突然二つに	分れ	ましたことが有ります．同じやうな形ちで一つ
	分	227	05	きました所では日本の極古いときは郡に	分れ	まして各郡に其の時分には何と云ひましたか知
	分	226	08	のことと行政裁判のこととは事柄が全く	分れ	まする．然れども行政と云ひ行政裁判と云ひ何
わかれ	別	150	02	にしませう．凡そ法律は公法と私法とに	別れ	私法といふものは人民の一個人と一個人との関
わかん	和	144	14	れません．小説を書く人が多数の中には	和漢	の古今に通じて居り筆が流暢でも其の中には西
	和	214	04	などをしたもので馬琴などは初めの中は	和漢	の故事が入り用の時は当時有名の雑学者の喜多
わき	脇	032	02	ら其れへ移るのは丁度我々の太陽系から	脇	の太陽系に移る様なものであるかも知れませぬ．
わくせい	惑	022	17	が離れて来ます．其の間に非常に小さな	惑星	が有ります．其の数は夥しいことで今日まで発
	惑	024	04	で有ります．地球の外にも眷属を持つた	惑星	が有るかと云ふに随分有る．先づ第一に火星に
	惑	025	07	ふことで有ります）学者の眼から見ると	惑星	が地球の党類で有ると同様に星が太陽の党類で
	惑	029	04	は皆太陽で其のグルリに多分回つて居る	惑星	があると云ふことが察せられます．そこで我々
	惑	197	06	位置」と云ふ題で太陽系の中にはドンナ	惑星	があると云ふことをお話ししましたが，あの時
	惑	203	02	い．天王星と云つて土星の先きに大きな	惑星	が有りますがＨａｌｌｅｙの時までは知れなん
	惑	202	04	ちに木星からどの位後らかされ其の他の	惑星	からは何日ばかり時間を費せらるゝと云ふこと
	惑	209	01	違ひ有りません．なぜなれば地球は他の	惑星	から引かれると，感じますが彗星はイクラ引つ
	惑	198	08	づ円のやうなものですが細長いもので，	惑星	即ち木星土星などのあるいて居る道で太陽に近
	惑	018	14	ました，其の地球の同士は学者は其れを	惑星	と名づけまする．いくらも有りますが最も名高
	惑	024	01	陽は大きい熱い明るい玉で其のグルリを	惑星	と言ふ世界が回つて居る．或は遠く或は遅く或
	惑	025	04	有るまいかと云ふに天の中には日と月と	惑星	と其外に星と言ふものが有る．先づ星と言ふも
	惑	197	17	しんで居る所の彗星と云ふものは若しや	惑星	と同じ種類のものでは有るまいかと云ふ考へを
	惑	198	14	はコンナ形ちで有ります．そこで彗星が	惑星	と同じもので有りますなら是非，其のあるく道
	惑	203	08	て見ますと，この彗星と云ふものは先づ	惑星	と同種類のもので有る，全く惑星と同じ様なも
	惑	203	08	は先づ惑星と同種類のもので有る，全く	惑星	と同じ様なもので有ると云ふことが分りました
	惑	203	10	て，チョイと来てすゞ帰る，其れだけが	惑星	と違ふ所だと言つて居ましたが今度は楕円を書
	惑	208	12	むつかしいもので有ります．また彗星は	惑星	と違つてボーットしたもの故に一部分一部分に
	惑	020	14	地球と同じ事です．其れから火星と云ふ	惑星	の大きさはどの位かと言ひますと地球よりは少
	惑	028	15	りを持つたものが二つは有りますが外に	惑星	の様に明りを持たない眷属が多分有るだらうと
	惑	197	04	ましたが其れをお話しする前にチョット	惑星	のことをお話ししなければなりません．私はイ
	惑	197	15	ｏｎからで有ります．Ｎｅｗｔｏｎから	惑星	の運動の律が分りました．そこでＮｅｗｔｏｎ
	惑	197	16	律が分りました．そこでＮｅｗｔｏｎは	惑星	の運動のことを発明したのみで満足をしないで
	惑	024	12	星に一つしか見えませぬ．太陽は親父で	惑星	は子，衛星は孫であります．其の中で地球は第
	惑	197	09	した．今，あのことに立ちかへつて……	惑星	は我々の地球と同じことで太陽のグルリを回つ
	惑	196	11	物の性質が知れないからで有つて，他の	惑星	や太陽や月なとは皆な性質を知らなくつても知
	惑	197	10	る，太陽は夥しいもので地球や其の外の	惑星	をひつぱりますのは，丁度，地球が他の物をひ
わくん	和	079	14	御坐りませうか．先づ進歩と云ふ漢字の	和訓	でも分りませう．即ちスゝミユクと云ふことで
わけ	わ	118	03	束をするのとは約束をした方が固くなる	わけ	ゆゑ此の節酒会にても成るたけ堅く約束を守る
わけ	ワ	079	13	と云ふものは何で御坐りませうか．其の	ワケ	はドウいふもので御坐りませうか．先づ進歩と
わけ	分	103	11	ことあらむに心中に於て「かゝる深山に	分け	入りて，この山を開きしは，さぞ困難なことな
	分	054	08	ら第三種は慰みの為めの本，それを類を	分け	て見ますと御国より始めてモロコシ西洋の歴史
	分	152	04	，町村を所有者，負債主，債主の三つに	分け	て研究しなければなりませぬ．其れで憲法との
	分	188	17	も立法上のことと執行上のこととは必ず	分け	て御坐います．古代のことは能く存じませぬが
	分	266	13	於て仕事を致させ，夜は一房に一囚づゝ	分け	て入れます．此の場合には専ら感化をつとめま
	分	231	06	，議政は数人でやるのです．之を四段に	分け	まして上から言ひますと，天皇陛下が内閣に居
	分	232	14	第二には府県行政，第三には町村行政と	分け	まして其の各自に就いて其の行政官権及び行政
	分	253	06	矯正院に於ては其の中の仕切りを三つに	分け	まして出願懲治者の部，不論罪懲治者の部，幼
わけ	訳	039	07	ぬ者が却りて悪人ぢゃ．其れは如何なる	訳	かと云ふと開けぬ社会には人口が増してはクラシ
	訳	039	10	す社会が有ることぢゃが其れは如何なる	訳	かと云ふと其の様な社会では若し他の社会から攻
	訳	146	05	ら十軒ばかりの本屋が集まつて出したら	訳	が無からうと思ひます．斯様いたしまして其の小
	訳	210	06	はないからだと云ふのでは無く，マルデ	訳	が分らないから騒がないのかも知れません．方々
	訳	216	08	が多く降つて私のカラダを覆つたが何か	訳	が有るだらうか」と云つた所が牝鹿の云ふに「そ
	訳	246	16	名づけて之を懲らしめることをすると，	訳	が分らなくつて，いぢめられるやうになつて其の
	訳	155	08	点を論ずるといふのだから口はゞつたい	訳	さネ．極点といふのは日本の言葉では極上無類飛
	訳	002	15	の様に漢字を嫌ふといふはまた如何なる	訳	ぞといふに，いづれも方にも定めし御存じで御坐
	訳	117	03	ものが出来て一つの高い欲が殖えて来た	訳	だから自分一人で節して居る時よりも余計に慎ま
	訳	166	01	精神があるから身体の様なる物質もある	訳	だといふ学派もあり，また身体の様なる物質があ
	訳	166	14	がタシカで「ハゝアなるほど，かういふ	訳	だナ」と誰でも信じるやうになつて来ます．事実

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（わけ）	訳	039	09	も出来ぬから，なほさら殺さねばならぬ	訳	ぢゃ．又老人などが役に立たぬ様になると殺す社
	訳	045	17	は悪い事をした人の為めには実に迷惑の	訳	ぢゃ．悪い事をしたから刑罰に処するが当然ぢゃ
	訳	002	08	ふ仮名組だからといつて左祖したといふ	訳	でも無い．たゞ月の部は人数が多い，雪の部や花
	訳	006	15	つたことでは御坐りませぬか．さういふ	訳	で有るから私は一刻も早く漢字を無くなしたいと
	訳	016	17	間は居る気づかいは無い．尤も全く無い	訳	ではなく少し位は有るかも知れませぬから事によ
	訳	034	10	らぬことでは有りませぬか誠に不思議な	訳	では有りませぬか．かういふ所から私共も説を立
	訳	038	09	とする所は全く表裏反対ぢゃ．如何なる	訳	で其の様に表裏反対して居るかと云へば昔の支那
	訳	039	16	て行ひの正しい人を徳義の有る人と云ふ	訳	では無く強い人を徳義の有る人と云ふのぢゃから
	訳	046	03	むことを得ず立てた法ぢゃ．当然と云ふ	訳	では無けれども社会の維持と進歩との為めに必要
	訳	046	08	に夢の様な話しで国が有れば刑罰が有る	訳	で刑罰の有る上は悪い事をした人は到底害を受け
	訳	053	03	語が日本の言葉になりました．さういふ	訳	で見ると言葉は漢字を知らなければ分らない．「
	訳	055	06	ろ無く漢字を使はなければならない様な	訳	で私どもも孫の頃は楽にもなりませうが今の所で
	訳	057	15	る幸福なる県下に居らるゝことを賀する	訳	で御坐います．次で本題を陳べやうと思ひますが
	訳	069	01	判官となるには三箇年を待たねばならぬ	訳	で有ります．之を以て孛漏生国の司法官吏たるこ
	訳	076	03	性質から論ずるので徹頭徹尾違ふといふ	訳	では御坐んせぬ．其の訳は右の如く申して参りま
	訳	080	09	所の社会は必ず進歩せいで止まつて居る	訳	で御坐りませう．第二．人間の進歩の働き方，其
	訳	090	10	世渡りするものは必ず種々の進歩をする	訳	で御坐ります．第五．種々の進歩を致さうと思ふ
	訳	136	06	ら見れば面白いこと覚ること誠に感心の	訳	で御坐ります．之に擬へて申しまするならば人が
	訳	140	04	らい人が小説家と言ふに日本では左様な	訳	で無し．日本で馬琴が専ら筆を執つて居ります時
	訳	145	02	ます．其れも急激に致したとて間に合ふ	訳	でも無いから徐々と計らなければなりませぬ．併
	訳	167	11	とではありませぬか．前に申したやうな	訳	で新しい問題は古い学問では解くことは出来ます
	訳	176	01	も自在なのによつて今日の英国を為した	訳	であらうと思はれます．我が国人も近来，海外出
	訳	177	11	昌させることが出来ませう．先づ箇様な	訳	で先日も学士会院で演説しましたが其の時，其の
	訳	182	16	一婦の風はこれが真理だから守るといふ	訳	ではなく実は止むを得ざるに出でたことと申さな
	訳	206	16	つたので，先づスダチしたと云ふやうな	訳	で，燕が子を生んで其の子がスダチして一所に故
	訳	214	05	の所へ買ひ出しに行きました．さう云ふ	訳	で有るから上等の学者の目からは何でもないもの
	訳	214	17	極意を写し出す真の美術だと云ふやうな	訳	で其れゆゑ西洋に於ては小説作者は非常に尊まれ
	訳	219	01	今の学者の云ふ真の理と云ふものに近い	訳	でも有りませうか．さて，其れに付てチト話しが
	訳	222	05	ら了簡がついたことと見えます．箇様な	訳	で有るから我が国の小説は却つて昔物語の中で源
	訳	240	17	人に言ふときには良い評判を漏らしたる	訳	ではありますが，為めに競争者が出来て遂に○○
	訳	245	08	を利用して，これ等のことをもやられる	訳	で万，已むを得ざるときは秩序安寧だけを重もに
	訳	246	05	ら何十年の間，死ぬまでも悪い人と云ふ	訳	では決して無い．則ち其の所行が悪いので有るか
	訳	251	02	者があるが，これは死ぬまで稽古をする	訳	であるか」と云ふ疑ひを起す人が有りませうけれ
	訳	251	03	人が有りませうけれども決してさういふ	訳	では有りませぬ．昔では人を殺したとか云ふやう
	訳	253	13	大坂の如き大都府に沢山製造されまする	訳	で有りまする．其れから放免囚即ち監獄を出まし
	訳	012	01	有りますまい．実に其れまでも知りたい	訳	ですが中々今の有様では知れないから先づ其れま
	訳	020	12	，海が有れば蒸発気が有るから雲も有る	訳	です，又現に有るです．雲が有る位だから空気も
	訳	205	01	もので有るのに，あのやうにこはがつた	訳	と云ふものは彗星の出ました度ごとにドコかに何
	訳	005	14	よからう．漢字と西洋字と競争が出来る	訳	なら鎗や具足にしておくがよい．かたつぽうが替
	訳	007	17	や名筆では外国と競争が出来ないといふ	訳	ならば唐紙などはやぶるがよい．墨を付けてよご
	訳	004	13	に違ひは無い．其れでもそんな目にあふ	訳	なれば其れにも及ばない日本人が西洋人と競争せ
	訳	046	09	道徳との本主義を云へば先刻言ふた様な	訳	なれども併し全く十分には行はれぬに相違ないと
	訳	003	07	強する．其の八時間を百般のことに使ふ	訳	にはいかない．されば此の八時間の使ひ様で此の
	訳	014	17	，物さしをあてたり間縄を打つたりする	訳	にはいくまいが」と疑ふ人が有ります．併し測量
	訳	046	03	たことか．これは社会の為めにすておく	訳	にゆかぬから悪い事をせぬ人が已むことを得ず立
	訳	047	03	利益だけ謀ればよい，他の利益を顧みる	訳	には参らぬことぢゃ．其れは固より当り前のこと
	訳	123	09	今私の申したことを諸君がお調べ下さる	訳	にはいくまいかと云ふ御相談を致すので有ります
	訳	142	09	は品行も直せ学問も急に上達せよと云ふ	訳	にも参らず，これは徐々と計つて行かなければな
	訳	202	13	した．しかしドコからでも見ゆると云ふ	訳	にはいけませんでフランスやイギリスなどでは雰
	訳	240	12	を知ると云ふことは○○君之を知りたる	訳	にして私が知るのでは有りませぬ．故に○○君の
	訳	240	13	他人に向ひ其の性質の如何を申し上げる	訳	には参りませぬ．尤も右の如きことでも中には他
	訳	250	12	まする．此の不良民は其の儘にして置く	訳	には参りませぬから再たび之を学校へやつて其の
	訳	259	14	と云ふやうに救助しては惰民を製造する	訳	になりまして甚だ不都合で有ります．よつて例へ
	訳	262	17	をさせるときは如何しても話しをしない	訳	には参りませぬ．其れで話しをするとロクなこと
	訳	273	09	りまするけれども未だ立派なものと申す	訳	には参りますまいかのやうに思はれます．此の外
	訳	275	01	で右から左へと云ふやうに総体を変へる	訳	には参りませぬ．また其の次に重もなる者は幼年
	訳	018	12	二人づれで毎年太陽のグルリを旅行する	訳	のものか，これは調べなければならない．然るに
	訳	247	05	か，其れをムヤミにおれをいぢめるのは	訳	の分らないことだ」と思つて居るで有りませう．
	訳	006	08	ウだとか言つて虫の講釈をするにも虫の	訳	は説かないで字の講釈をするのが多い．動物学の
	訳	052	13	いろまた困難のことも起つて来る．其の	訳	は全体この御国はもと古事記日本書紀よりこのか
	訳	076	04	徹尾違ふといふ訳では御坐んせぬ．其の	訳	は右の如く申して参りますと経済学はドウいふも
	訳	105	16	をするとも英国領事は決して法廷を開く	訳	は御坐りますまい．然るに諸君も知らるゝ如く英
	訳	116	05	至つて宜しいものだと思はれます．其の	訳	は節酒会といふ申し合せが有ると，なるたけ酒を

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（わけ）	訳	169	10	心の東に向くシルシがあるやうで，其の	訳	は亜米利加へ行く者が年々に多くなるやうに見え
	訳	173	16	なければ，ならぬことがあります．其の	訳	はといふと我が国の人数が年々増しに増して来ま
	訳	181	06	私の考へではキリスト教に此の力がある	訳	は先づ第一に一夫一婦の教で御坐ります．即ち一
	訳	163	04	を成就することの出来なかつたのは色々	訳	も有るだらうが論より証拠，酒を嗜んで狂乱の様
	訳	169	08	を示すやうに見えます．これには色々な	訳	もありませうが今日の題の外だから言ふのはよし
	訳	038	01	ｅｌｌと全く同じことぢゃ．其の様なる	訳	ゆゑ社会は全く動植物同様にＣｅｌｌより集合し
	訳	174	13	ものと存じます．さて今，申したやうな	訳	ゆゑ百年の後に其の衣食の費用は二倍して二十二
わけがら	訳	024	15	陽系と付けましたのも私の言つた通りの	訳柄	だからで有ります．」さてこれでズット前に言
わざ	ワ	063	02	もなきのみならず衛生に害ある囲碁等に	ワザ	と時間を空費し無理に人力に乗るとは実にハヤ
	ワ	235	12	の西洋のことを学ぶと云ふのは蘭学で，	ワザ	は医術，其の後，砲術に移りました．尤も天文
わざ	業	063	14	ものです．諸君御覧なされ，人力車夫の	業	たるや農工商等の如く時を定めて営業すること少
	業	214	16	サラ真の理をして見せるものゆゑ文筆の	業	では及ばない所の人情の極意を写し出す真の美術
	業	064	01	たるものの得て為すべき業に非ず犬馬の	業	と云はなければなりますまい．さて営業既に斯の
	業	064	15	車なり何なり拵へて御覧なされ人力車を	業	として居る二十余万の人は犬馬の如き業を廃し国
	業	063	17	分たず実に人間たるものの得て為すべき	業	に非ず犬馬の業と云はなければなりますまい．さ
	業	064	09	四十歳以下のものにして随分他に立派な	業	を営み得べき屈撓な壮年男子です．然るに斯の如
	業	064	10	年男子です．然るに斯の如く犬馬同様の	業	を営み新造病否心臓病等に罹りワカジニするとは
	業	064	15	業として居る二十余万の人は犬馬の如き	業	を廃し国益となるべき立派な他の業を営むことも
	業	064	16	如き業を廃し国益となるべき立派な他の	業	を営むことも出来ませう．又従つて二十余万の人
	業	065	01	が開けて来たならば斯の如き犬馬同様の	業	を営むものは自から減少して来ませう．故に私は
	業	069	14	ら兎も角も生計の道にはいけぬから他の	業	を修むる様にせよ，父兄たる者子弟たる者善く注
	業	077	07	に相須つて用を為すものであれば同一の	業	を為すものだとまで申しても宜しう御坐んす．故
わざわい	災	019	01	蛍＊惑がどこそこに来ると，どこそこに	災	か起るなどと言つて恐れたもので有ります．其れ
	災	205	03	が有つた，イツ彗星の出た時はかう云ふ	災	が有つたと，イツでも前のことを証拠に引いて，
	災	205	04	で有りますが，其れは彗星が出た為めに	災	が有るので無く人間社会には災が絶えずに有るの
	災	205	05	た為めに災が有るので無く人間社会には	災	が絶えずに有るので有ります．近頃，望遠鏡の発
	災	205	08	の故，イツもイツも彗星の出る度ごとに	災	が有ると云つて，こはがつたものと見えます．さ
	災	236	15	英や渡辺華山なども西洋学をした為めに	災	にかゝつたので有つた．其の外，西洋学をした為
	災	205	02	は彗星の出ました度ごとにドコかに何か	災	の無いことは無いから，この前に彗星の出た時に
	災	205	07	相が黜けられたとか其の外，人間社会に	災	の有ることも一年に三度位はキット有りませう．
わしん	和	168	09	六七十年すぎて北亜米利加合衆国の人が	和親	貿易を請ひに来ました．丁度私が二十四五の時
わしんとん	ワ	024	06	衛星と言ひます．これは近頃亜米利加の	ワシントン	の天象台の教師ＡｓａｐｈＨａｌｌと言
わずか	僅	013	05	．地球の周囲を測つて見ますと長い所が	僅か	一万二百五里ほかない．私は僅かだと申しまし
	僅	023	12	べると地球は誠に小さいものだ．周囲が	僅か	一万里ばかりと申しましたのはこゝです．私は
	僅	027	06	こゝまで人力車で来る位な間に来ます，	僅か	一秒時間に七万六千里ほど走りますから地球の
	僅	061	15	又運動を必要とする男女学校生徒にして	僅か	近傍の学校に通学するに必ず乗車せしむるあり
	僅	013	05	い所が僅か一万二百五里ほかない．私は	僅か	だと申しました．なぜだといふに此の位の距離
	僅	070	11	要せねばなりませぬ．然るに前陳の如く	僅	で御坐いまして斯の如き需要供給の不平均で御坐
	僅	235	13	ました．尤も天文も渡りましたが其れは	僅か	で先づ一番は医術，其れから砲術で其れより今
	僅	124	07	併しまた若し図らず今度のお話しの序に	僅	でも其の他の聴衆諸君の御為めになることが御坐
	僅	070	04	すれば従前判事と唱へる奏任以上の者は	僅	に三百六十四人で御坐いまして其の中に法学士の
	僅	070	12	坐いますから失敬では御坐いますが今日	僅	に二十四人の卒業生では，まだまだ遺憾と思ひま
	僅	108	09	ればならぬが未だ取り調べが出来ずして	僅	に新聞紙又は世間の報道より外に材料は御坐りま
	僅	116	08	ては居るが元来，私は大酒家では無い，	僅	に一合か二合しか飲めない．勿論若い時から好き
	僅	222	13	て上古から伝はつたのは衰へまして今は	僅か	に東舞と倭舞の類を存し，また神楽，催馬楽に
	僅	268	10	まする．此の所に於ては拘引したる者を	僅か	に数日の間，留め置き之を他の監獄に送り付け
	僅	270	17	で其の数は三千〇五十箇所，其の人員は	僅か	に三十七人でありまする．斯くの如く人員の少
	僅	013	01	と私は申します．直径は一番大きい処で	僅か	日本の三千二百四十八里と四分の一で一番小さ
	僅	013	06	ました．なぜだといふに此の位の距離は	僅か	の間に通ることの出来るものです．昔はさうで
	僅	211	12	突こんだことが現に有つたのです．尤も	僅	の間では有りますが現にアリアリと彗星の尾の中
	僅	013	07	まごついて二三千里位のむだ足はしても	僅か	八十日間か百日で地球を一周することが出来ま
	僅	203	07	六日に来ました，丁度七十五六年の中で	僅か	三日の違ひで有りました．して見ますと，この
わずらはし	煩	146	08	貰ひたいと思ひまして聊か諸君のお耳を	煩はし	たことで御坐ります．行政法大意第一回明治
	煩	225	08	古るめかしいことを述べて諸君のお耳を	煩はし	ました．行政法大意第三回明治二十年五月十
わずらはす	煩	137	04	は妙な問題を持ち出して諸君のお聞きを	煩はす	は小説改良論で御坐りますが今日，世の中に
わするる	忘	138	02	トのドラマやノベルを読めば寝ることを	忘るゝ	様なことも有り飯を喰ふのが面倒な思ひも有
わすれ	忘	058	02	したに「何でも総ての事を能く覚え能く	忘れ	ずに保存するにはオモシロミが大切だ」と云ふ
	忘	172	16	で間違ひが無ければ我が国人は永く之を	忘れ	ずして恩を報ずることがあらうと思はれます．
	忘	018	05	医学講談会に続いてお出でになるお方は	忘れ	てお出でにはなりますまい，即ちＳｔｅｐｈｅ
わた	綿	062	11	足を疲らし殊に婦人の如きは裾の方には	綿	を入るゝこと恰も飾り餅を付けたるが如く左右に
わたくし	私	125	02	邪魔になるものも亦少なからず．そこで	私	今専ら弁じたいと思ひまする所は則ち若い伝道師
	私	012	04	はいきたいものです．このことについて	私	が知つて居るだけを今日諸君に御話しをしようと
	私	012	05	今日諸君に御話しをしようと思ひます．	私	が「地球の位置」と題をつけて致します演説は先

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（わたくし）	私	024	14	ひます．系は系図の系の字で有りまして	私が親子眷属に譬へましたのは決して無理では無い
	私	057	14	の尽力多きに居るものと思ひます．是れ	私が当路者に謝し又諸君が斯る幸福なる県下に居ら
	私	058	09	あしが御坐います．試みに御覧なされ，	私が今日数時間に東京より来て諸君に面会しお話し
	私	063	03	の極と云はなければなりますまい．所で	私が斯く濫用と申す証拠には日本の人力車は大約二
	私	067	12	る諸君の身辺に充満して居ること故更に	私が諸君に向つて言ふことは御坐いませぬ．たゞ「
	私	067	16	諸君に特に望む所の事が御坐いますから	私が見聞致しました独逸国，殊に孛漏生に於て裁判
	私	076	14	ふことを申しましたので御坐んす．さて	私が考へて見ますに利を興すといふことと害を除く
	私	085	05	れから段々之を弁じませう．併しながら	私が思ふに此の演題を証拠だてるには種々の新しい
	私	093	13	究したものを見ませぬ．故に已むを得ず	私が一言，諸君に陳べむと欲することになりました
	私	097	07	三の人を以て為し得べきことで無いから	私が諸君に願ふ所は諸君充分に力を合して証拠蒐集
	私	103	01	ところの弊を矯め直さねばならぬ．即ち	私が示したる二個の要点に非常の改良を加へねばな
	私	118	04	の多く有るやうに致したいと思ひます．	私が今日申すのはただ其れだけのことで有ります．
	私	122	07	酒を飲むことが子孫に遺伝して「例へば	私が酒飲みだと私の子が酒を飲み孫が亦酒を飲むと
	私	125	05	で而して之を成るたけ委しく説くことは	私が今いたしたいと思ふ所で御坐ります．されば今
	私	134	02	喜んでこの人に任せて置きます．そこで	私が基督教を見たので有ります」と答へました．只
	私	138	03	飯を喰ふのが面倒な思ひも有りまする．	私が或るとき病気にて眠ることが出来ませんでした
	私	162	03	面白い文章では有るが，むづかしいから	私が其の大意をひらたく申して見れば汝の皇考文王
	私	162	17	原文は大凡六百字あまりも有るが今のは	私がアラマシを書いたのだ．また酒の為めに大事業
	私	165	06	でモウ充分だから私は別に述べませぬ．	私が今日述べやうと思ふのは矢張りスタチスチック
	私	168	09	の人が和親貿易を請ひに来ました．丁度	私が二十四五の時だつたが其の時は大あらしの様で
	私	168	14	大抵古いものは押し倒されました．丁度	私が二十四五の時のことだから今でも時々思ひ出す
	私	187	10	ために御尽力あるべきことと存じます．	私が婦人矯風会の会員方に望む所も即ちこれで御坐
	私	233	06	すが一番初めの卒業の年で有りましたか	私が参つて祝辞を述べましたが其の後ち段々盛んに
	私	234	01	らないと云ふことを言ひました．そこで	私が答へましたには其れは甚だヲカシイことで有る
	私	239	15	人等が屡々私の茅屋をお尋ね下されて，	私が巡閲したる監獄の有様は如何，国事犯等の景況
	私	240	03	とは其の注文者の所有物で有りますから	私が勝手に申し上げることは出来ませぬ．例へば内
	私	240	10	て行つて見て来て貰ひたい」と云ふので	私が其の娘を見に参つて性質が温良か然らざるかを
	私	240	12	云ふことは○○君之を知りたる訳にして	私が知るのでは有りませぬ．故に○○君の許可なく
	私	241	12	ふことは沢山に有りまする．其れで先づ	私が諸君にお話し致しまることは前に申しました
	私	216	02	．さて因幡の地へ上つた所が鰐は「兎が	私たちをだました」と云つて怒つて兎の皮を剝いで
	私	125	16	はＴｙｎｄａｌｌ氏が何々と示した故に	私とても基督教を承諾することが出来ぬと．これ等
	私	035	05	れませぬが私は面白いことと思ひます．	私どもの実験にも世間にさういふ連中があつて往来
	私	035	11	た方は何とお思ひなさるか知れませぬが	私どもは善いと思ひます．其れは外のことでも無い
	私	055	06	く漢字を使はなければならない様な訳で	私どもも孫の頃は楽にもなりませうが今の所では漢
	私	130	06	うして変ることの無いもので有ります．	私ども常に陳る所の宗教の基また学者が常に調べ且
	私	135	02	学卒業生で御坐るかも知れませぬ．若し	私ども専らに基督教をのみ研究し且弁論するならば
	私	034	11	な訳では有りませぬか．かういふ所から	私共も説を立てて見て世間で酒を飲む人はどんな人
	私	117	14	私は其れには，はいらなくつてもよい．	私などは若し禁酒会にはいつて全く酒を禁じたらば
	私	137	08	は条約の改正，中々数へ尽されません．	私などは専門が法律で，職業が政事新聞記者であり
	私	156	05	言つて支那以来のおキマリになつて居て	私なども子供のとき孔子様の学問をした時分には天
	私	237	03	ば謀叛人同様に思はれることで有つた．	私などが西洋学を始めたのは今から三十年ばかり前
	私	051	14	あがりませぬでは名簿ばかりでは盛大と	私に於ては思へない．そんなら一旦に仮名のみを用
	私	157	13	なりましたが実は地が回るか回らないか	私には保証が出来ませんが其れから，まだ四百年に
	私	158	12	をたてゝ臍を隠したか，ドウだか其れは	私にはお請け合ひは出来ないが其の雷先生が今日で
	私	159	01	た．今日の学問の極度であるかドウかは	私には保証が出来ないが実際人々の精神に，のみこ
	私	233	13	十年余も前で有りましたらうが或る人が	私に申しまするには今，西洋語を以て教ふる大学と
	私	240	04	が「監獄実際の有様を巡閲して来れ」と	私に命ぜられたときには該景況は則ち内務大臣に代
	私	240	09	，此の人は未だ配偶者が無い．ところで	私に頼んで「何某の所に娘が有るによつて行つて見
	私	241	13	した区別の趣意で致しまするが，諸君の	私にお問ひなさることが，区々になつて私も甚だ惑
	私	242	03	新潟監獄に於て副典獄，福島武司氏より	私に向つて司獄官吏の心得を演説して貰ひたいと云
	私	001	14	なれども少し申します．この四五日前に	私の所へ今日この席に居らるゝ愛媛県高松の郡長兼
	私	002	04	，いろは会か，そんなことは知らないが	私のはいつたのは仮名の会の月の部といふので其れ
	私	012	10	大層大事な学問で有ります．併し其れは	私の目的で有りませぬから，地理学の初歩は御存じ
	私	018	07	を桜井先生が講談になりました．其れが	私の今申しましたことと同じ趣意で御坐います．し
	私	024	15	では無い他人が太陽系と付けましたのも	私の言つた通りの訳柄だからで有ります．」さてこ
	私	032	08	つけたかも知れませぬ．いづれにしても	私の最初に持ち出しました問題即ち「我々はどこに
	私	037	11	真実の有機物ぢゃと云ふことになりた．	私の知りて居る所ではＳｐｅｎｃｅｒＬｉｌｉｅｎ
	私	053	12	せぬ．と言つて油断してはすみませぬ．	私の工夫は小学校の初等科の生徒に先づ仮名ばかり
	私	055	01	るさへ骨が折れるもので御坐ります．今	私の申した目録だけの書物を拵へるのは口で言へば
	私	067	08	れ故に私は聊か諸君に祝辞を呈し併せて	私の感ずる所を諸君の前に申し述べようと思ひます
	私	097	10	することに尽力されむことを願ひます．	私の演説は此に止めませう．尚ほ委しきことは大谷
	私	098	17	て地下に瞑するに違ひなし．併しながら	私の考へまするには今このノルマントン号のことに
	私	099	07	原因が無ければなるまいと考へまする．	私のおもへらく，此の度の事件の大原因は「軽蔑」

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（わたくし）	私	120	08	ら麦酒などが移住して来まして此の節は	私 の居る神保町近辺を通つて見ても麦酒屋が沢山に
	私	120	09	見ても麦酒屋が沢山に出来ました．昔は	私 の居る近辺は大抵，旗下屋敷で有つて神保町辺か
	私	121	14	りの人に尋ねたところが（尤も，これは	私 の事で尋ねたのでは無いが）警視庁では随分其の
	私	122	07	子孫に遺伝して「例へば私が酒飲みだと	私 の子が酒を飲み孫が亦酒を飲むと云ふ様になつて
	私	122	14	りも有ることだからドウいふ塩梅に只今	私 の申したことを調べたら宜からうか銘々最寄最寄
	私	123	09	余程な関係のあることだからドウか只今	私 の申したことを諸君がお調べ下さる訳にはいくま
	私	144	08	を嘗めずに一機軸を出したと言ふものは	私 の眼力が無く眼界が狭くつてまだ見当りませんが
	私	164	05	し支那へ帰つて作つた書物で其の人から	私 の所へ贈つてよこしたが其の書物の中に酒のこと
	私	171	10	ませう．一昨日，亜米利加に行つて居る	私 の次男から手紙が着きましたが今度合衆国では蒸
	私	181	06	て其の改革が出来るので御坐りますか．	私 の考へではキリスト教に此の力がある訳は先づ第
	私	181	12	らざることで御坐りませう．然しながら	私 の考へには禁酒禁煙は抑も末でまだ其の上に弊害
	私	215	09	シゴトは，さておき」と読ませましたが	私 の此のお話しも「アダシゴトは，さておき」と致
	私	215	17	，鰐と相談をして「貴様の眷族が多いか	私 の眷族が多いか眷族の多少競べをしやう」と云ひ
	私	216	08	には「昨夜，夢を見たが霜が多く降つて	私 のカラダを覆つたが何か訳が有るだらうか」と云
	私	217	16	仏道に拠つたと云ふ旧説の有るに倣つた	私 の臆測で御坐います．其れから色々の物語が出来
	私	227	04	の区画と云ふことが大事で御坐います．	私 の聞きました所では日本の極古いときは郡に分れ
	私	239	15	校員生徒，其の他の諸友人知人等が屢々	私 の茅屋をお尋ね下されて，私が巡閲したる監獄の
	私	240	05	つて之を視察したるもので有りますから	私 の見たるところは私の目を通つて内務大臣の目の
	私	240	05	もので有りますから私の見たるところは	私 の目を通つて内務大臣の目の中に這入つたもので
	私	240	06	入つたもので有りまするゆゑ，該景況は	私 の所有権で無くして内務大臣の所有権で有ります
	私	240	08	を他人に言ふことは出来ませぬ．例へば	私 の友人に○○と云ふ人が有りまして，此の人は未
	私	241	04	ふを得られぬものと存ぜられます．尤も	私 の巡閲したる途中で福島県の道路が善かつたとか
	私	245	04	れども無きが如きもので有りまするから	私 の述ぶる所の此の監獄論に於ては総て普通の罪人
	私	253	05	が，其れは名前のところは御相談次第で	私 の講ずる学理には一向，関係いたしませぬ．よつ
	私	256	05	有りまして，第一は公けの救助，第二は	私 の救助で有ります．其れで第一の公けの救助と申
	私	256	08	りして救助することで有りまして第二の	私 の救助と申しますものは一私人，又は数私人，若
	私	257	08	族なきに於ては已むを得ず公けの救助と	私 の救助とを以て救助をしなければなりませぬ．ま
	私	259	03	には或ひは公けの救助を以てし，或ひは	私 の救助を以てし，或ひは私設救助に政府，又は府
	私	259	06	も確にきめて貰はなければなりませぬ．	私 の考へまする所では貧民救助の方法は次の如く定
	私	261	13	児院の如きものの管轄と致すと云ふのが	私 の論の目的とする所で有りまする．これより欧米
	私	278	10	す．若し果して幾分か諸君を益したらば	私 の幸ひは実に此の上も無きことに御坐います．な
	私	001	07	其の方にも席上の演説をせよとのこと．	私 は一向仮名のことに付ては不案内で私よりも既に
	私	001	08	く説の有る方がゐらつしゃることなれば	私 は演説をしたいことは無い．併し仮名の会の懇親
	私	002	03	員ださうだが見込を聞きたいとの仰せ．	私 は別に見込は無いと申したら，一体お前は元の「
	私	002	04	は何で有るかとのお尋ねで有りました．	私 は「かなのとも」か，いろは会か，そんなことは
	私	002	06	そんならナゼ月の部へはいつたといふに	私 は別にこれぞといふ考へも無く，昔の通りに仮名
	私	006	15	御坐りませぬか．さういふ訳で有るから	私 は一刻も早く漢字を無くなしたいと申した所が，
	私	006	17	は世の人多く漢字の不便を覚らうかと．	私 は惘てしまつた．なかなか世間の人にそんな見込
	私	012	13	君が既に御存じのことと看做しませう．	私 は唯其れから先きのことをお話しします積りで有
	私	013	01	きいものでは無い，至つて小さいものと	私 は申します．直径は一番大きい処で僅か日本の三
	私	013	05	と長い所が僅か一万二百五里ほかない．	私 は僅かだと申しました．なぜだといふに此の位の
	私	023	12	万里ばかりと申しましたのはこゝです．	私 は大きなことが言ひたいから一万里を小さいと言
	私	032	12	で地理書は地球の中の事を調べる学問で	私 は地球の外へ出て言つたので有ります．これだけ
	私	032	15	其の国の地図から始めるが順序ですから	私 は今日「地球の位置」と言ふ題で全世界の地理を
	私	033	05	田区北神保町神保園に於て杉亨二君演説	私 は杉亨二と申す者で節酒会賛成者の一人で御坐り
	私	034	13	す．諸君はドウ思し召すか知れませぬが	私 は酒を飲んでは身体を弱らし智慧を鈍くし財を費
	私	035	04	諸君はドウお考へなさるか知れませぬが	私 は面白いことと思ひます．私どもの実験にも世間
	私	051	04	神田区錦町学習院に於て近藤真琴君演説	私 はとんと演説を致したことは御坐りませぬ．たゞ
	私	051	07	の便利なことを述べられましたから今日	私 はそこは申しませぬ．たゞ愈々広く益々盛んに此
	私	053	07	やられては不都合が有ると思はれます．	私 は漸進家で気の短い様な気の長い様な性質で気を
	私	057	05	越町喜多院に於て渡辺鼎君演説諸君よ．	私 は今日此の大日本私立衛生会埼玉支会の第三総会
	私	058	05	に這入らぬときは何にもなりませぬから	私 は極めて俗語で陳べます．併しあまり俗語すぎて
	私	060	15	れ則ち半開化の害でありませう．されば	私 は尚ほ一層進んで其の害を詳論しやうと思ひます
	私	065	02	むものは自から減少して来ませう．故に	私 は人力車や丸髷島田の増減は日本男女の文明如何
	私	067	04	両国中村楼に於て三好退蔵君演説諸君．	私 はこの専修学校の始めての卒業式に招かれました
	私	067	08	いに感ずる所が御坐いました．其れ故に	私 は聊か諸君に祝辞を呈し併せて私の感ずる所を諸
	私	067	16	光華を得られむことを望みます．而して	私 は法律科卒業の諸君に特に望む所の事が御坐いま
	私	070	13	なさる様に願ひます．たゞ甚だ喜ぶ所は	私 は昨日は大学の卒業式に招かれまして出席いたし
	私	073	04	東京両国中村楼に於て細川潤次郎君演説	私 はこのたび始めて本校の卒業式に出ましたが段々
	私	091	15	御坐ります．申すも憚り有る様なれども	私 は年たけて居りまして．海にも陸にも旅をして二
	私	093	06	草井生村楼に於て薩埵正邦君演説諸君．	私 は「ノルマントン号船長の罪を鳴らさんとせば宜
	私	094	08	要するは英吉利法で御坐りませう．併し	私 は英吉利法は職違ひで御坐りますゆゑ知りませぬ
	私	094	09	は大谷木君が後程，陳べられませうから	私 は英吉利法によらずして法理に付て考へを述べや

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（わたくし）	私	099	06	幸なことが起つたとお考へなさるゝか.	私	は何か此のことには隠然たる原因が無ければなら
	私	099	11	ならば斯くの如き事件は起り得べきや.	私	はあまり船乗につきあつて見たことは無いが其の
	私	102	06	いのがこれ亦軽蔑の一原因であります.	私	は固より日本人であるから斯くひどく攻撃する様
	私	103	02	ならば日本人は真面目になり得べきか.	私	は宗教の力に依るの外に方便あるまじと思ひます
	私	107	01	「情け無いことをした」といふより外は	私	は言を尽すことが出来ませぬ. たゞこの感情を言
	私	107	16	で，これは世間で「殺人」と言ひますが	私	は「殺人」といふよりは「致死」即ち「死に致す
	私	116	07	年から此の会にはいつては居るが元来,	私	は大酒家では無い，僅に一合か二合しか飲めない
	私	117	14	様な会が有つたらば其れも宜しからうが	私	は其れには，はいらなくつてもよい. 私などは若
	私	121	01	酒の弊害を見て説いたことで有りますが	私	はドウも日本でも論ばかりでは人に感じさするこ
	私	123	05	ふことが慣はしになつて居るさうです.	私	は先刻始めて其の話しを聞きましたが実に妙な慣
	私	126	09	大きに誤つたものも御坐ります. 今から	私	は其の色々の仕方を順に従つて申し上げ，また兼
	私	133	14	ましたれば，かの役人が答へまするに「	私	は内に随分，奉公人を多勢使ひますが中に一人の
	私	137	12	いに其の利害の有ることと思はれます.	私	は此の小説のことに委しくは無いが凡そ教育に関
	私	143	12	男女の痴情を書いたものだと申しますが	私	は斯様なものを貴ぶのでは有りません，斯様なも
	私	145	15	には大きな煉瓦の芝居も立つさうです.	私	は金は出さねども此の演劇改良には賛成の方で有
	私	146	03	の取りかへしと労力の償ひはつきます.	私	はドッカの鼻いきを，うかゞつて金を集めること
	私	153	17	に長じた人が講究するでありませうから	私	は申しませぬ. 憲法と行政法との関係はこれ位に
	私	162	14	正銘なもので決して間違ひの無いものと	私	は思ふ. この酒詰の中に酒を飲んだ者を死刑に処
	私	165	05	ますが祝詞は皆さんのでモウ充分だから	私	は別に述べませぬ. 私が今日述べやうと思ふのは
	私	179	06	も親密な関係ある者で御坐ります. 依て	私	はこれよりキリスト教と婦人の地位との関係に就
	私	180	17	に論じ尽せることでは御座りません. 只	私	は是より其の二三の要点を挙げて婦人矯風会員方
	私	195	06	，ドコの国からもよく見えました. 当時	私	はこゝからチト遠方のアメリカの熱帯地方に旅を
	私	197	06	のことをお話ししなければなりません.	私	はイツカ「地球の位置」と云ふ題で太陽系の中に
	私	201	08	りは有りませんが，譬へて言ひますと,	私	は封建時代から居つた者で有りますが其の頃，私
	私	201	09	時代から居つた者で有りますが其の頃,	私	は身が軽くつてイツもスタスタあるきましたが途
	私	205	15	歴史はナカナカ面白いと云ふことですが	私	はさうは言へません. なぜだと言ひますと天文学
	私	207	05	ふ時に非常に流星が多く御坐りました.	私	は日本で此の流星を見たと云ふ人は知りませず,
	私	207	05	此の流星を見たと云ふ人は知りませず,	私	は其の頃はまだ気をとめませんで有りましたが…
	私	209	12	これは随分むづかしいことで有ります.	私	は先年フランスのＦａｙｅの彗星の説を訳して東
	私	213	05	君が思はれませうが其れならば大違ひ.	私	は性来，不才だから新しい見解を立てゝ議論をす
	私	215	11	並べてお話しをしなければ面白くないが	私	は西洋の小説は勿論，支那の小説とても深くは読
	私	239	04	明治二十年十月十五日宇川盛三郎君講演	私	は本年六月，福島県，宮城県，岩手県，青森県,
	私	245	09	重もにしなければなりませぬ. と申して	私	は何も土木，衛生，勧業，教育，等は一切，行政
	私	060	06	至極な結構な世の中になりましたが併し	私	も絹衣を着し休日に休むといふことを強ち悪く言
	私	073	09	関係といふことで御演説が御坐んしたが	私	もその法律と経済との関係に付て一つのお話しを
	私	116	07	健康になり品行もよくなるに違ひ無い.	私	も昨年から此の会にはいつては居るが元来，私は
	私	127	11	非難し易いものでは御坐りませぬ. 故に	私	もこの若い勇者の仕方をよしとすることは出来ま
	私	138	07	に一ページ読みたまへと申されました.	私	も妙な医者だと思ひましたが其の意に随ひ其の本
	私	145	14	云ふので思ひの外，金のダシテが有つて	私	も一万円私も二万円を出しませうとてモハヤ十五
	私	145	14	ひの外，金のダシテが有つて私も一万円	私	も二万円を出しませうとてモハヤ十五六万円ある
	私	241	13	私にお問ひなさることが，区々になつて	私	も甚だ惑ひます. といふものは例へば国事犯罪人
	私	001	07	. 私は一向仮名のことに付ては不案内で	私	よりも既に委しく説の有る方がゐらつしゃること
わたつ	渉	222	07	. また徳川時代の戯作者は人情には随分	渉つ	たが事柄が卑しかつたからツマリ婦女子のモテ
わたつ	渡	216	02	一つ二つと勘定をしながら行く中に海を	渡つ	てしまつた. さて因幡の地へ上つた所が鰐は「
わたなべ	渡	236	14	取られるやうな人が有つた. 高野長英や	渡辺	華山なども西洋学をした為めに災にかゝつたの
	渡	057	04	三総会埼玉県入間郡川越町喜多院に於て	渡辺	鼎君演説諸君よ. 私は今日此の大日本私立衛生
わたら	渡	215	15	疋の兎があつた所が其の兎が内地の方へ	渡ら	うと思つても海を渡ることが出来ない. ソコデ
わたり	渡	159	05	と，さうはいけない. 明の頃に天主教が	渡り	まして今日は繁昌になりましたが支那では老子
	渡	235	13	其の後，砲術に移りました. 尤も天文も	渡り	ましたが其れは僅かで先づ一番は医術，其れか
	渡	159	07	ひましたが其の時分には欧羅巴の教法は	渡り	ませんから老子と孔子と釈迦を三聖と唱ひ其の
わたる	渡	215	16	の兎が内地の方へ渡らうと思つても海を	渡る	ことが出来ない. ソコデ計略を考へて或る日,
わつ	割	217	02	取物語の大意は竹取の翁と云ふ人が竹を	割つ	た所が中から奇麗なムスメが出たから其れを養
	割	016	05	径十一分の三，即ち地球の直径を十一に	割つ	て其の三つにほか当りませぬ. そこでザット地
わに	鰐	215	17	少競べをしやう」と云ひました. ソレデ	鰐	が眷族を連れて来て隠岐から因幡の方へ一パイに
	鰐	215	16	出来ない. ソコデ計略を考へて或る日,	鰐	と相談をして「貴様の眷族が多いか私の眷族が多
	鰐	216	02	てしまつた. さて因幡の地へ上つた所が	鰐	は「兎が私たちをだました」と云つて怒つて兎の
わふく	和	062	09	せざることです. 諸君試みに御覧なされ	和服	を着て歩行するときは裾は常に脛脚にからまり
わぶん	和	218	01	なり殊に源氏物語は非凡の大筆で今以て	和文	を作るにも言語の学問をするにも必要なもので
わらふ	笑	063	10	ても五分も待つて居るときは人皆な之を	笑ふ	位の忙しき所にて日本にては五分はオロカ一時
	笑	178	03	つむりに林檎の落ちしも痛みしならんと	笑ふ	の類に止まるは面白からず. 其の頃の時代なれ
	笑	177	15	同様なることを言ふ愚かなることなりと	笑ふ	人もあらん. 若し是れ等の人ありとせば，よき
わり	割	269	13	十六歳までは四千二百八十三人，即ち五	割	一分，十六歳より十八歳までは二千三百二十人,
	割	269	15	十一歳までの者は千〇三十四人，即ち一	割	一分八厘で有りまする. して見まするとと十二歳よ

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（わり）	割	270	08	る者が千七百七十八人ありまして丁度二	割	一分ほどに当りまする．また読むことと書くこと
	割	270	05	者が四千四百七十二人ありまして丁度五	割	三分ほどに当りまする．また読むことだけを知つ
	割	269	14	り十八歳までは二千三百二十人，即ち二	割	八分，十八歳以上丁年即ち二十一歳までの者は千
	割	269	11	強盗で其の数五千三百七十四人，即ち六	割	四分で有りまする．また年令を以て割合を申しま
	割	270	07	る者が千三百四十三人ありまして丁度一	割	六分ほどに当りまする．また読むことと書くこと
わりあい	割	182	14	出来ませうか．上へ往けば往くほど其の	割合	が多くなるではありませんか．シテ見れば今の
	割	182	14	か．上等にも中等にも矢張万人に一人の	割合	だといふことが出来ませうか．上へ往けば往く
	割	063	08	六万三千個にして一千人に付き十五個の	割合	です．之を以て見れば欧米に在て車の比例は日
	割	063	05	ると人民百八十五人に付き人力車一つの	割合	にして一千人に付き五個四の比例です．而して
	割	120	14	たゞ論ばかりでは人に感じさすることが	割合	に少なく思はれます．今，申したのは西洋の学
	割	269	11	六割四分で有りまする．また年令を以て	割合	を申しますると十歳以下は百八十七人即ち二分
	割	063	07	千五百六十にして人民千人に付き五個の	割合	，一千八百八十年に於ては四十六万三千個にし
わりあて	割	274	03	りまする．而して其れを監獄現在人員に	割り当て	ますると一人に付き四十八円ほどになりま
わりあひ	割	026	10	と云ふことが分つて参ります．現に此の	割り合ひ	によつて見ますと我々に見ゆる星は中には
	割	020	15	小さい．小さいと云つても月と地球との	割り合ひ	程では無い，月よりは大きい，直径が地球
わりゆー	ワ	074	09	の金の使ひ方を原語でＰｏｓｉｔｉｖｅ	Ｖａｌｕｅ	即ち積極的の価値といふことになります
	ワ	074	17	有するので其の価値はＮｅｇａｔｉｖｅ	Ｖａｌｕｅ	即ち消極的の価値で御坐んす．前の方に
わるい	悪	248	05	．然るを監獄に這入りましてからは益々	悪い	上に悪い者になると云ふことが実際に有ります
	悪	246	15	のが当り前のところ，其の所行の善いか	悪い	かは言はずして，たゞムヤミに強役，強役と名
	悪	211	07	何か化学の試験をする時に壜が破裂して	悪い	瓦斯がソコラにちらかるやうになつて地球に疫
	悪	041	10	て善いこととなり，為めにならぬものは	悪い	こととなりた．其れも進化した国では分れて来
	悪	045	13	は其の社会に必要なことぢゃから決して	悪い	こととは申されぬぢゃ．又いつまでも，やまぬ
	悪	052	01	しまつたらドウだといふに其れは順序の	悪い	ことで順序が悪いときには効が無い．例へば仮
	悪	161	15	で家来などを斬つたことが有つた．実に	悪い	ことは酒に基かないものは無いくらゐだ．夏の
	悪	183	17	出来ぬのみか，彼れ是れいふのは却つて	悪い	ことになつて居ました．ナント無理な教では御
	悪	045	15	政府が刑罰の権をもちて居ることぢゃ．	悪い	事をした人を害するに首を斬るとか又は懲役に
	悪	045	17	するとか禁獄に処するとかするが其れは	悪い	事をした人の為めには実に迷惑の訳ぢゃ．悪い
	悪	045	17	をした人の為めには実に迷惑の訳ぢゃ．	悪い	事をしたから刑罰に処するが当然ぢゃと云ふ説
	悪	046	01	に処するが当然ぢゃと云ふ説も有らうが	悪い	事をしたとて同じ人間同士で有りながら一方の
	悪	046	03	は社会の為めにすておく訳にゆかぬから	悪い	事をせぬ人が已むことを得ず立てた法ぢゃ．当
	悪	046	04	持と進歩との為めに必要な事ぢゃ．併し	悪い	事をした人から云へば政府の為めに害せられる
	悪	046	08	が有れば刑罰が有る訳で刑罰の有る上は	悪い	事をした人は到底害を受けるのぢゃ．其れぢゃ
	悪	245	17	．就ては刑とは何かと申しますると昔は	悪い	事をした者が有れば之を罰するに刑を以てする
	悪	246	01	が沢山ありましたから彼れは斯くの如き	悪い	事をした．因つて牢屋に，はふりこんで早く殺
	悪	246	03	，人には多く過ちの有るものであるから	悪い	事をしたとて其の人が頭から足の先きまで悪い
	悪	246	04	先きまで悪いと云ふことでも無し，また	悪い	事をした日から何十年の間，死ぬまでも悪い人
	悪	247	13	，これは所謂，道具じかけで有りまして	悪い	事をしたから斯くの如き現在の地獄の苦みを受
	悪	250	11	て申し上げませう．即ち丁年以上の者が	悪い	事をすると不良民，所謂る罪人となりまする．
	悪	117	17	会を設くるも宜しからう．其れは決して	悪い	といふでは無いが此の会はこれでよいと思ひま
	悪	139	01	りは斯様なことは善い斯様なことはして	悪い	と自分が面白いと思つて読んで居る中に自然と
	悪	246	04	をしたとて其の人が頭から足の先きまで	悪い	と云ふことでも無し，また悪い事をした日から
	悪	247	06	りませう．此れ等の人物に向つては其の	悪い	と云ふことの理由を能く述べませぬと到底，其
	悪	249	05	，警察と監獄が何ほど宜しくとも裁判が	悪い	と警察と監獄が無効になりまする．また，裁判
	悪	249	06	監獄が何ほどよく整頓しましても警察が	悪い	とムヤミに誰でも拘引して警察署の留置場，又
	悪	047	14	．耶蘇教師などは小さき事には善いとか	悪い	とか喧しく言ふくせに，さういふ大きなことに
	悪	052	01	といふに其れは順序の悪いことで順序が	悪い	ときには効が無い．例へば仮りに秦の始皇の様
	悪	002	14	になる．仮名にはよい所が有り漢字には	悪い	所が有るか，其の様に漢字を嫌ふといふはまた
	悪	246	05	云ふ訳では決して無い．則ち其の所行が	悪い	ので有るから其の罪を悪んで其の人を悪まずと
	悪	255	02	因は昔の牢番人が悪かつたので，監獄が	悪い	のでは決して有りませぬ．今でも「あれは監獄
	悪	246	05	事をした日から何十年の間，死ぬまでも	悪い	人と云ふ訳では決して無い．則ち其の所行が悪
	悪	113	09	見ゆる．して見れば酒といふものは先づ	悪い	方に勘定をしなければ，ならないので酒を節す
	悪	250	10	また時としては此の本街道を外れて他の	悪い	道に飛び込むことが有りまする．此の悪い道に
	悪	250	10	い道に飛び込むことが有りまする．此の	悪い	道に飛び込みまする者を年齢を以て二つに区分
	悪	161	05	て中村正直君演説酒といふものは大変な	悪い	もので其の為めに身を亡ぼし家を亡ぼし国を亡
	悪	248	05	監獄に這入りましてからは益々悪い上に	悪い	者になると云ふことが実際に有りまするのは，
	悪	252	01	外に，まだ罪人とはなりませぬが根性の	悪い	者，また悪事の何たるを知らざる者が有ります
	悪	267	05	なことが有りますし，また非常に性質の	悪い	者とサホドで無い者とを一所に置くことになり
	悪	267	06	サホド性質の悪く無い者が非常に性質の	悪い	者のしたことを学ぶといふやうなことになりま
	悪	247	16	まして其の目的は「汝の為したる所業は	悪い	，人間の行ひはコレコレにしなければならぬ」
	悪	159	10	造するが西洋の教へ方で東洋には向きが	悪い	．天地を天主がこしらへたことは言はれない．
	悪	196	01	では無く，中には「凄い」とか「気味が	悪い	」とか云ふ位の考へは起した人が有るかも知れ
わるかつ	悪	246	14	が這入りまするとに対して其の所行の	悪かつ	たことを嚙んで，くゝめるやうに説諭して其
	悪	248	01	の教誨法が有るので始めて己れの所業の	悪かつ	たことを覚り，一方では懲戒法で苦痛を受け

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（わるかつ）	悪	248	02	於て始めて「ナルホドおれのしたことは	悪かつ	た，如何にも教誨師の言はるゝ通りで有るか
	悪	255	01	も有りまするが其の原因は昔の牢番人が	悪かつ	たので，監獄が悪いのでは決して有りませぬ
	悪	255	09	は有りませぬ．されば昔のオカッピキは	悪かつ	たから今の警察官は賤しむべきかと云ふと決
	悪	255	10	でありませう．然るを監獄ばかり先祖が	悪かつ	たと云つて賤しめるものでは有りますまい．
	悪	266	07	初は分房法を用ひ沈黙させて其の所為の	悪かつ	たことを回想せしめ之を悔るやうに致させま
わるく	わ	173	10	味の加減で奥歯に，はさまるやうで気味	わるく	東から来るパンはバタでも付いて居るやうで
わるく	悪	060	07	絹衣を着し休日に休むといふことを強ち	悪く	言ふのではありませぬが斯の如く贅沢を行ふ人
	悪	241	02	来まいとも申されませぬから善く言ふも	悪く	言ふもナカナカ軽忽には言はれませぬ．よつて
	悪	116	09	好きだが今まで酒の為めに大いに身体を	悪く	したと思ふことも無く，また酒の為めに品行を
	悪	113	07	に余り度を過すときは其の為めに身体を	悪く	するやうなことが有るので知れる．さて酒のこ
	悪	141	09	ないものが有る．学問が無くつて品行が	悪く	て之を改良する道を知らぬ．斯様なことで有れ
	悪	267	06	置くことになりますると，サホド性質の	悪く	無い者が非常に性質の悪い者のしたことを学ぶ
	悪	114	16	なれども，かういふものを食へば身体が	悪く	なるとか善くなるとか，いふやうなことは犬猫
	悪	115	11	類は酒を飲む．然るに人類が其の品行の	悪く	なるを惜むといふは至つて高い欲に違ひは無い
わるくつ	悪	122	06	て居ますが多く虚弱で酒を飲んで行ひが	悪くつ	て罪を犯す者が多い．而して其の酒を飲むこ
	悪	155	04	に於て原坦山君演説今日はマハリバンが	悪くつ	て，ドンジマリに出されたが落語家ならシン
われ	わ	100	05	時代には「朕は王なり」といふよりは「	われ	は羅馬人なり」といふ方が遙かに世間に尊まれ
われ	我	180	02	坐りますか．「我が飢し時に我に食はせ	我	が渇せし時，我に飲ませ旅せし時，我を宿らせ裸
	我	162	12	ことなく尽く執へて以て宗周に送るべし	我	この群飲の者を以て死刑に処すべしといふのだ．
	我	130	14	．「天地の間に二つの感心なものあり．	我れ	此の二つのものを深く思へば思ふほど我れ之に
	我	130	14	れ此の二つのものを深く思へば思ふほど	我れ	之に感服しまた之を尊敬す．この二つのものは
	我	177	17	メデスが入浴の内より俄かに飛びだして	我れ	之を発明すと呼びつゝシュラキセの市中をハダ
	我	187	05	し」と謳ひましたが思ふに此はマリヤが	我れ	知らず世界万国の婦人の代表者として数千年来
	我	180	02	者は何で御坐りますか．「我が飢し時に	我	に食はせ我が渇せし時，我に飲ませ旅せし時，我
	我	180	02	我が飢し時に我に食はせ我が渇せし時，	我	に飲ませ旅せし時，我を宿らせ裸なりし時，我に
	我	180	03	ませ旅せし時，我を宿らせ裸なりし時，	我	に衣せ病みし時，我を見まひ獄にありし時，我に
	我	180	03	せ病みし時，我を見まひ獄にありし時，	我	に来ればなり，此の兄弟の最微者の一人に行へる
	我	180	04	此の兄弟の最微者の一人に行へるは即ち	我	に行へしなり」と教へ玉ふたイエス，キリストの
	我	090	07	が御坐ります．また耶蘇基督御自分に「	我れ	は世の光りなり」と仰せられましたことも有り
	我	179	10	またキリストも此の預言者の語を引て「	我	は貧しき者に福音を宣べ伝へ心の傷める者を医し
	我	135	03	に基督教をのみ研究し且弁論するならば	我れ	等の区域，我れ等の趣意が至つて狭いものには
	我	135	03	研究し且弁論するならば我れ等の区域，	我れ	等の趣意が至つて狭いものにはなりはせぬかと
	我	180	03	せ我が渇せし時，我に飲ませ旅せし時，	我	を宿らせ裸なりし時，我に衣せ病みし時，我を見
	我	180	03	宿らせ裸なりし時，我に衣せ病みし時，	我	を見まひ獄にありし時，我に来ればなり，此の兄
	我	187	04	たまふが故なり今より後，万世まで人々	我	を福なるものと称ふべし」と謳ひましたが思ふに
	我	187	09	なる神を喜ぶ，今より後，万世まで人々	我	を福ある者と称ふべし」と此の凱歌を唱へつゝ神
われわれ	我	100	13	と考へる．若し果して，さうだとすれば	我々	今の際に当りて啻に二十五名がウタカタの泡と
	我	013	14	ことに自然と眼が着きます．併し若しも	我々	が非常に近眼で五里か十里先きのものが見えな
	我	017	16	今までは月を附属にして居つたが今度は	我々	が太陽の家来と言はざるを得んです．太陽と云
	我	018	04	皆太陽がたいてくれるので有ります．又	我々	が手を動かすも足を動かすも皆太陽が動かして
	我	030	06	りまいて居ます．して見ますと其の中に	我々	がはいつて居るに違ひない．大方アマノガハと
	我	032	10	るか」といふ問題は立派に解けませぬが	我々	が今日の学力で解けるだけはドウかカウか解い
	我	096	12	れば証拠が明かでなければいけませぬ．	我々	がこれだけの罪になるといふに充分なる証拠を
	我	098	17	には今このノルマントン号のことに付て	我々	が共同して二十五名の人の不幸を悲しみ又外国
	我	099	02	つて其の罪を鳴らしたからとても其れで	我々	が満足するといふことは出来まい．我々は何故
	我	100	16	に多くの考へが無くてはなるまじ．即ち	我々	が斯く軽蔑されたる原因を深くたづね遠く慮り
	我	103	13	深く信じて疑はざるところは明治今日の	我々	が及ぶところで無きことが明瞭であります．斯
	我	108	07	ローターに当るかといふに当時の実況は	我々	が想像に止まることで果してマーダーになるか
	我	108	12	る．併しかゝることを為したかドウかは	我々	が粗々判定することが出来ませう．船が今沈没
	我	211	08	流行るかも知れません．しかし尾の中に	我々	が這入りこむことが有つても心にぶつつかるの
	我	098	10	ものは殆んどありますまい．然るに今や	我々	同胞二十五名の人はウタカタの泡と消え海底の
	我	100	12	ものといはねばならぬ蓋しこれが為めに	我々	同胞二十五名の人が斯くの如き非命の死を遂げ
	我	105	08	ては船長ドレーキ以下乗組海員に対して	我々	同胞二十五名の霊魂を慰め遺族の怨みを晴らす
	我	108	10	敢て難いことでは無い．船長運転手等は	我々	同胞に再三端艇に乗ることを勧めたが我々同胞
	我	108	11	々同胞に再三端艇に乗ることを勧めたが	我々	同胞は固く拒んで乗り移らなかつたといふこと
	我	110	07	はあぶないからと言つて或ひは船室から	我々	同胞を出さぬかつたかも知れない．啻に其れの
	我	013	13	からして学者が天のことを調べます序に	我々	には天の中で別にツレは有るまいか同士は有る
	我	026	10	す．現に此の割り合ひによつて見ますと	我々	に見ゆる星は中には太陽よりは小さいのも有り
	我	099	10	みに思へ．若しノルマントン号の船長が	我々	日本人民を西洋人と同等の人間と見しならば斯
	我	100	01	なりと考へるより外はない．彼等は実に	我々	日本人を同等の人間と思はぬに相違なし．若し
	我	101	04	もするが長く奮発することが出来ない．	我々	日本人は索撒人種の如く長く耐へることの出来
	我	012	02	は知れないから先づ其れまでいつたら，	我々	の物知りたがりも暫く満足せねばならないです
	我	012	16	球の大きさのことで御坐います．地球は	我々	の身体に比べると非常に大きなものです．我々

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（われわれ）	我	012	16	身体に比べると非常に大きなものです．	我々	の住つて居る都府，我々の住つて居る国などに
	我	012	16	きなものです．我々の住つて居る都府，	我々	の住つて居る国などに比べても随分大きい．さ
	我	013	09	なければならないで御坐います．これが	我々	の住つて居る場所で有ります．この住つて居る
	我	013	10	ものでタカの知れたハゞの見えたもので	我々	の住つて居る所で無いものは何と言ふものかと
	我	014	01	から眼が益々遠ぎゝする様になりまして	我々	の世界の外にも別に之に似たものが有るといふ
	我	014	03	お話し致しませう．天の中にありて一番	我々	の眼に着くものは大陽，月，星，アマノガハな
	我	016	13	若し有りましても分量が甚だ少くて迚も	我々	の測量に届かないです．其れでは月の世界には
	我	017	01	我々みた様なものは居ない．して見ると	我々	の家来の月は形から大きさもよく地球に似たも
	我	017	02	地球に似たもので有りますが其の表面に	我々	の党類は住つて居ない，申さば明き家みた様な
	我	017	05	に居るものが有るか知らんと言ひますと	我々	の目につくものは太陽で有ります．太陽は距離
	我	018	08	じ趣意で御坐います．して見ると太陽は	我々	の為めの生活の根元で有りまして随分主人親分
	我	020	01	う．今までお話ししました星の中で一番	我々	のよく観測の出来ます星は火星即ち螢＊惑星で
	我	021	01	ますと火星が外を回つて居ます．これが	我々	の第二の道づれで有ります．道づれどこでは無
	我	021	07	却つて解しにくい．そこで地球の表面に	我々	の住つて居ると同様に火星の表面の上にも人間
	我	025	01	系は何の中か」と言ひますに先づ第一に	我々	の地球などに比べると夥しい大きいもので有り
	我	025	05	とを言はなければなりませぬ．さて星が	我々	の太陽の様なものでは無からうかと云ふ疑ひが
	我	028	07	ると思つて居るです．箇様な遠方に若し	我々	の親類が居ても便りといふは唯明り使ひばかり
	我	029	01	ますのが有ります．して見ますと果して	我々	の太陽系は外にツレがあるのです．色々な星の
	我	029	05	あると云ふことが察せられます．そこで	我々	の太陽の同士が即ち此の星と云ふもので有ると
	我	029	10	てどの辺には少ないといふことからして	我々	の眼に見ゆる星は何かの部分を為して居るとい
	我	030	10	の形をして居るとしまして，そこの中に	我々	の太陽系がはいつて居るとしますと或る向には
	我	031	16	られます．或はアマノガハと云ふものは	我々	の見る所の限りで総てあるとあらゆるものは星
	我	032	01	雲でアマノガハから其れへ移るのは丁度	我々	の太陽系から脇の太陽系に移る様なものである
	我	032	05	へませぬ．ことによれば第一の説の如く	我々	の見ることを得るだけ随つて知ることを得る限
	我	057	07	なければならぬことが御坐います．総て	我々	の健康と云ふものは実に必要なもので曾てウ／
	我	098	13	る否な故意に出でたのであるとありては	我々	の悲しみは変じて憤怒となるも蓋し当然のこと
	我	104	07	英語を以て著述し英語を以て演説すれば	我々	の目的は達するのであります．之を要するにノ
	我	105	06	言ひ渡しました判決に付て或る論者は「	我々	の同胞二十五名を彼の一件に付て失つた，此の
	我	183	02	．其の結果は実に思ひ遣られます．また	我々	の最も不思議に思ふのは世間で妾や権妻といふ
	我	197	09	今，あのことに立ちかへつて……惑星は	我々	の地球と同じことで太陽のグルリを回つて居る
	我	211	06	位なことは有るかも知れません．彗星が	我々	の所へ這入つて来ると丁度何か化学の試験をす
	我	255	03	るさうですが，これ等は昔の人の為めに	我々	の受ける迷惑で有らうと考へます．コンナこと
	我	011	04	京大学講義室に於て寺尾寿君講談諸君．	我々	はどこに居るかかういふ問題をかけましたら「
	我	013	16	有るか一向分らないで有りませうが幸に	我々	は眼が随分遠くきゝます．殊に物理学の進歩し
	我	017	16	始終グルグルと回つて居る．さうすると	我々	はモウ威張れない．今までは月を附属にして居
	我	018	09	元で有りまして随分主人親分と貴んでも	我々	は恥る所は有りませぬ．そこで太陽のグルリを
	我	028	06	三万年の昔こんな星が無くなつて居ても	我々	は今に有ると思つて居るです．箇様な遠方に若
	我	032	09	も私の最初に持ち出しました問題即ち「	我々	はどこに居るか」といふ問題は立派に解けませ
	我	067	13	申すより外は御坐いませぬ．併しながら	我々	は隴を得て蜀を望むの欲を抛つことが出来ませ
	我	099	02	我々が満足するといふことは出来まい．	我々	は何故斯くの如き事件が起つたか何故斯くの如
	我	110	10	沈めて保険料を取うといふこともある．	我々	は公平な考へからして実に不思議と思ふより外
	我	111	07	々なる一部分であらうと思はれる．故に	我々	は此の事に付て輿論を以て充分彼等の所業の不
	我	181	02	会員方の御参考に供へやうと存じます．	我々	は固より婦人の地位を進むるにはキリスト教の
	我	193	10	かいふ保証をなされたことがあるです．	我々	は古代の事に暗い．古代の事に暗いから明治以
	我	210	16	有れば，また「地球が彗星に突き当れば	我々	はズット寒い所に持つて行かれて寒える」と言
	我	027	05	ひ無いが併し余ほど早いもので太陽から	我々	まで来ますに十分はかゝらない幾ど八分と少し
	我	017	01	動物位は居るかも知れませぬ．けれども	我々	みた様なものは居ない．して見ると我々の家来
	我	099	08	字に過ぎないことであらう．即ち彼等は	我々	を軽侮するの心あり彼等は我々を軽蔑する心あ
	我	099	09	ち彼等は我々を軽侮するの心あり彼等は	我々	を軽蔑する心あるのが此のことの原因となりし
	我	100	01	所から見たときには如何にしても彼等は	我々	を軽蔑したものなりと考へるより外はない．彼
	我	100	02	間と思はぬに相違なし．若し彼等にして	我々	を同等の人間と考へたるならば其の平常，義侠
	我	111	06	い．即ち今回の事件の如きは彼等が平常	我々	を虐待する種々様々なる一部分であらうと思は
わんりょく	腕	103	05	藤清正の如き人もある．なるほど弁慶は	腕力	があつたかも知れないが併しながら弁慶があの
	腕	091	02	のが御坐りませぬ．基督教は人間の権力	腕力	などのものを怖れぬ豪傑を育てる為めには至極
ゐらつしゃる	ゐ	001	08	案内で私よりも既に委しく説の有る方が	ゐらつしゃる	ことなれば私は演説をしたいことは無
ゐらい	ゐ	140	03	張り小説で御坐ります．斯様に西洋では	ゐらい	人が小説家と言ふに日本では左様な訳で無し
ゐーでん	亜	164	07	載つて居た．今其の文を読みませう．余	亜丁	に在り聞く数年前，法君那波倫第三，提督をし
	亜	164	08	主どるなしを経略せんと欲す．一日行て	亜丁	に抵る英将の邀飲を被り以て地主の情を修む．
を	を	243	05	権と申しまする．この立法権及び執行権	を	相合したるものは主権と名づけまする．我が国で
	を	059	14	云ふものは兎角便利な物を悦び奇麗な物	を	愛し，うまき物を好き楽を欲するものでありま す
	を	162	08	た民の小子を戒めて曰く農民は平日土物	を	愛し耕作を勤め能く其の父兄に事へ商賈は車牛を
	を	005	02	る奴だからイクラすまして居ても支那人	を	相手にすると西洋人を相手にするとは違ふ．支那
	を	005	02	して居ても支那人を相手にすると西洋人	を	相手にするとは違ふ．支那人を相手にする気では

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（を）	を	005	03	と西洋人を相手にするとは違ふ．支那人	を	相手にする気ではいかない，西洋人を相手にする
	を	005	03	人を相手にする気ではいかない，西洋人	を	相手にする気で無ければならない．若し支那人を
	を	005	04	する気で無ければならない．若し支那人	を	相手にするといふ様なら支那の通りにやられてし
	を	169	15	巴に行く者の方は学術研究の為めで官費	を	仰ぐ者か，または華族とか何とか云ふやうな金持
	を	138	10	夜る二時でも三時でも構はずトウトウ夜	を	明かしてしまふことも有りました．なるほど経書
	を	140	08	ものは大層なもので恰も諸侯の如き領地	を	購ひ城郭の如き家に住んで居たと申すが其の著作
	を	134	09	爾等の善き行ひを見て天に在す爾等の父	を	崇むべし」と．この言葉は人々皆承知する所の道
	を	134	05	る世の人をして爾等の善き行ひを見て神	を	崇めしめむ為めなり」また耶蘇基督御自分にも明
	を	187	03	ことを知つた時に神を讃美して「我心主	を	崇め我が霊は我が救主なる神を喜ぶ是れ其の使女
	を	187	08	て日本の婦人方もマリヤと共に「我心主	を	崇め我が霊，我が救主なる神を喜ぶ，今より後，
	を	019	09	，正月元日の或る時刻に此の星の居る方	を	あき方とか何とか唱へて賞翫したものです．これ
	を	089	04	の有様を示しまた人の種々の不足不完全	を	明らかに教ゆる宗教で御坐ります．人若し己れの
	を	177	06	かに知れます．この常と変との出来工合	を	明かに調べた上は将来，我が国の人心の向ふ所は
	を	248	10	さて，こゝで監獄と警察と裁判との関係	を	明らかに示すことが必要で有ります．警察に於て
	を	039	02	あらう．今申した野蛮の有様に付て一例	を	挙れば盗賊を働いたり強盗などをする者を貴ぶ社
	を	082	12	まして甚だ明らかで御坐ります．昔の例	を	挙ぐればエジプトとペルシヤの国が御坐ります．
	を	082	15	ペルシヤで御坐ります．また少し後の例	を	挙ぐればギリシヤの国また其の中のアデンスの町
	を	186	12	別なきことを教へます．其の他に尚ほ例	を	挙ればキリスト教に於ては女子の教育を勤めるこ
	を	065	04	ひます．諸君如何です．さて斯の如き類	を	挙げますれば沢山ありて一朝一夕に論じ尽すこと
	を	077	04	るとかいふ様にも参りませぬ．浅近の例	を	挙げて見ますと勉強して金を拵へましても窃盗だ
	を	096	02	の所為が無ければなりませぬ．其の証拠	を	挙げてかゝらぬければ謀殺又は故殺に問ふことは
	を	104	04	かしきことではありますまい．設令全国	を	挙げて英語を談ぜしむるは，むつかしきこととし
	を	121	03	色の色を見せる様なものだからよく事実	を	挙げて見せた方が宜からうと思はれます．事実を
	を	147	09	チックと行政法との関係に付て直ちに例	を	挙げて見るとスタチスチックで日本帝国の境界を
	を	180	17	りません．只私は是より其の二三の要点	を	挙げて婦人矯風会員方の御参考に供へやうと存じ
	を	138	04	の医者先生の申すには貴君にはモルヒネ	を	上げたい処なれども体も虚弱であり一滴や二滴の
	を	131	10	しう御坐ります．今日も其の色々の書名	を	挙げることが出来ませぬほどで御坐ります．たゞ
	を	080	14	る人の善き所，人の益になる所人の品位	を	上げる所のものを能く養ふて盛んにするの仕方．
	を	121	05	つて西洋人の言ふ人間の品位と云ふもの	を	上げることも出来る様になりませう．「酒を飲む
	を	138	05	も体も虚弱であり一滴や二滴のモルヒネ	を	上げるより，もそつと善い薬が有ると申してスペ
	を	045	11	を為して居るに違ひ無い．女に参政の権	を	与へぬのは女から参政の権を奪ふてあるので他を
	を	087	11	全能の神にして即ち人に進歩するの能力	を	与へたる神のミコゝロに合ひたるものなりと云ふ
	を	202	05	間を費せらるゝと云ふことを勘定する式	を	与へました．其の式によつて勘定を仕出さうと云
	を	220	08	工藤祐経が箱王丸に対面して赤木の短刀	を	与へたことなどが本当のことのやうに思ふ人が多
	を	250	14	つかないから何か道具じかけの懲らしめ	を	与へて見せなければならないと云ふので，監獄と
	を	252	16	ない．よつて末丁年の不良少年には教育	を	与へ教誨を施し，これにても不充分なるがゆゑ，
	を	267	09	ので此の会社に於ては或ひは授業の方法	を	与へ又は出獄人を周旋して通常の雇人と致すこと
	を	180	14	謀り殊に婦人に正当の地位と真正の幸福	を	與へんと企る者のためにはキリスト教は之に如何
	を	179	15	の不釣合不平均を取り除き人に自由幸福	を	与へる者で御坐ります．恐らくは昔日より西洋諸
	を	186	14	婦人の地位を高くし且，之に真正の幸福	を	与へる理由は種々御坐りますが細かいことは挙げ
	を	252	17	これにても不充分なるがゆゑ，また懲戒	を	与へると云ふ此の三つの方法を要しまする．則ち
	を	004	07	ならない．それに平気になつて多くの字	を	頭に繰り込んで唐紙に字ぐらゐ書いて居てはクル
	を	181	08	ます．即ち一人の夫にして一人以上の妻	を	有つことを許さず妾を蓄るごときことは決して許
	を	218	07	広めたのも有り，またマルマル無いこと	を	有つたやうに作つたのも有つて一様で有りませぬ
	を	227	15	其の形ち，大名に対しては或ひは管轄権	を	有つて居られた姿では無かつたかとも存じられる
	を	227	17	かと云ふと主権者でも無く，また管轄権	を	有つて居つたのでも無い．諸侯の一つで丁度，列
	を	041	17	方に十分，権をもたせて上の者は下の者	を	圧制するがよい，下の人は上の人に只管従順にせ
	を	051	04	を致したことは御坐りませぬ．たゞ生徒	を	集めて講釈を致したことは御坐りますが甚だ不調
	を	096	17	撃するが宜しい．故に全国の人民は証拠	を	集め材料を確かめなければなりませぬ．而してこ
	を	144	16	つ人と西洋の小説の読める者と此の二派	を	集めて筆の立つ人に西洋の智識をつぎこむ様にし
	を	176	17	々調べて其の調べに何年何月と記し其れ	を	集めて前に述べたやうに男女の人数，年齢，職業
	を	231	11	りますやうに．議政は総て二つ以上の頭	を	集めてやるのです．各省の大臣は施政者で有るか
	を	263	03	雑居法と云ひまして，これは多くの囚徒	を	集め別に区別を致しませぬもので有ります．尤も
	を	275	10	内務省に於て各府県の典獄，即ち監獄長	を	集めまして典獄会議を開かれまして監獄取扱上の
	を	146	03	．私はドッカの鼻いきを，うかゞつて金	を	集めることはイヤだ．この方は利益も有ることで
	を	014	17	「ドウして其れが知れるだらう，物さし	を	あてたり間縄を打つたりする訳にはいくまいが」
	を	052	09	る人は宜う御坐いませうが今まで翻訳書	を	あてにした人はこの時に差しつかへてしまふ．其
	を	012	08	中に問題の趣意もよく分りませう．話し	を	あとに戻しまして日本は亜細亜の中，亜細亜は地
	を	060	07	し私も絹衣を着し休日に休むといふこと	を	強ち悪く言ふのではありませぬが斯の如く贅沢を
	を	097	08	いから私が諸君に願ふ所は諸君充分に力	を	合して証拠蒐集に力を尽され道徳上の罪人なる船
	を	273	12	し回すと云ふ趣意でありまする．これ等	を	合しますると監獄の数は総体にて二百〇一箇所と
	を	274	01	獄に置いてある者で御坐います．これ等	を	合しますると在監人の総数は七万二千二百五十二
	を	230	05	々に利用しまして陸軍に於ては数多の県	を	合せて一つの軍管を置いて全国を七軍管に分ち，

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（を）	を	269	07	数は千六百三十七人ありました．此の数	を	合せますと男子の部と女子の部とで六十九箇所あ
	を	109	02	ながら乗客にして大船に残つて居ること	を	甘んじませうや．彼等乗客は水夫等は船の事を知
	を	180	06	クソンをして奴隷廃止のために千辛万苦	を	甘ぜしめた者は何で御坐りますか．イエス，キリ
	を	217	11	しい趣向が有るだけに我が国で先づ小説	を	編み立つた始めで有らうと思ひます．其の次に古
	を	060	12	草を喫し無益の美服を飾り放蕩を極め身	を	過まり家を亡ぼし遂には獄内に籠城するか又はモ
	を	139	03	す．併しながら此の小説を利用すること	を	誤りますと随分，道徳を破壊してしまふことも風
	を	276	09	であらうと信じまする．若し此の大原則	を	誤まりまするとと，例へば囚徒にして獄吏の命に従
	を	164	16	るを得たり．此に由て之を観れば酒の事	を	誤るを見る可き也．我が日本帝国人民の将来を前
	を	256	11	れは洪水，暴風雨等の為めに田を流し畑	を	荒されたる等の時に起るもので，これは日本では
	を	170	14	すまい．支那や朝鮮はたゞ商売の地で利	を	争ふばかり位なことであらうと思はれます．其れ
	を	184	13	且恥る所で御坐ります．されば此の悪風	を	改むるのも今日の一大急務で之を改むるには矢張
	を	184	14	の悪風を改むるのも今日の一大急務で之	を	改むるには矢張キリスト教の力に依らなければな
	を	192	01	皇陛下が詔勅を出せば既に定まつたこと	を	改むることが出来る．また新たに何事をもきめる
	を	002	11	仮名でも平仮名でも構はない，仮名遣ひ	を	改めようがドウせうが漢字を廃さうといふものな
	を	065	12	きの最も急務なるものです．今にして之	を	改めなければ後年必ず測るべからざるの惨状を醸
	を	181	14	者があらうと存じます．若しも世の弊風	を	改めやうとならば先づ其の根本から改めてかゝら
	を	223	10	られて承応年中に物真似狂言尽しと名称	を	改め，京と江戸とに狂言座を立てました．其の始
	を	248	04	獄の責めに遇ふのである」と云ふので心	を	改め，遂に刑期が終つて社会に再び出まするとと，
	を	250	13	せぬから再たび之を学校へやつて其の心	を	改めさせたいが，学校では他の善い者の害を為し
	を	276	07	な意味がありまして何卒して不良なる心	を	改めて良民にしてやりたいと云ふ原則であります
	を	086	06	ますか，人の心を深く動かして人間社会	を	改める所の盛んな勢力は何処に御坐りますか，こ
	を	224	16	ても改良論が盛で有りますから共に体面	を	改めるやうになりませうが，小説の方は，これま
	を	251	08	くること十五年たちまして悔悟遷善の徴	を	あらはした者は仮出獄を許しまして，たゞ警察上
	を	266	08	るやうに致させまして，大分に悔悟の徴	を	あらはしたときに至つて家族法を用ひまして其の
	を	266	12	房法を用ひます．而して大分，悔悟の徴	を	あらはしました者は緘黙法を用ひまして昼は多く
	を	134	14	ます．故に神学卒業生は常に基督教の善	を	顕はして而して其の総ての行ひを以て基督教に付
	を	103	07	らしめたものである．清正が非常の武勇	を	現はしたのは矢張り信仰心の然らしめたのである
	を	263	08	房法を用ひ，其の後ち段々と改悛の情状	を	あらはすに随つて段々に雑居を許して果して其の
	を	087	13	の高尚なる仰せを書き載せ神のミコゝロ	を	顕はす所の聖書なりと云ふ明らかな返答が出来る
	を	145	08	よからう．其の中には段々小説の真面目	を	顕はす様にもなり段々其の事業を拡張したなら遂
	を	243	04	には二大政権あるもので国民全体の望み	を	表はすものを立法権と云ひ，また右の望みを執行
	を	142	05	家を建てるに致せ軍艦を造るに致せ小説	を	著すに致せ最も大切なるもので中々凡庸の才智で
	を	143	06	種々雑多の情を起すに違ひ無い．其の情	を	有りのまゝに写すが小説と云ふ美術で有るから是
	を	206	05	八百十五年に出ましたのが其れと同じ道	を	あるいて居りました．これは一番始めに発見され
	を	206	07	．Ｈａｌｌｅｙが今日まで一番大きな道	を	あるいて居るので有ります．其の後発見しました
	を	025	10	有るかドウか分らない．家根の上から下	を	あるく人を見れば小さい，山の上から人のあるく
	を	154	03	けのスタチスチックを要するといふこと	を	併せて述べて見たいと思ひます．行政法とスタチ
	を	107	02	ゞこの感情を言ひ現はすべき言語の無き	を	憾むのみであります．諸君は我が同胞中に如何な
	を	111	03	及び印度人の不幸なる厄難に際会したる	を	憫むのみであります．然れども今回の事たる決し
	を	100	05	所であらうと考へまする．つらつら歴史	を	案ずるに昔し羅馬の盛んなる時代には「朕は王な
	を	088	11	の不完全なることを知らで森林の中で弓	を	射て世渡りをして家を立ることを知らねども其の
	を	096	17	めなければなりませぬ．而してこの証拠	を	如何にして集めませうか．死人に口なしであるか
	を	108	13	ふときに其の乗客は船長運転手等の指図	を	如何に思ひませうか危険を避けやうといふにはド
	を	039	13	くことが出来ぬ．其れぢゃから働かぬ者	を	生かしておくと部落一般が害を被むる様になるか
	を	179	11	貧しき者に福音を宣べ伝へ心の傷める者	を	医し圧制らるゝ者を放たんために世に遣されたり
	を	038	13	悪も邪正も顛倒して道徳は其の時の社会	を	維持し且進歩を営むの術ぢゃと云ふことで野蛮の
	を	038	14	では野蛮に相応した術を用ひて其の社会	を	維持し進歩を謀らねばならず，又開けた国では其
	を	038	15	開けた国では其の有様によりて其の社会	を	維持し進歩を謀らねばならぬ．故に野蛮の社会な
	を	040	13	いた様なれども全く其の為めに其の社会	を	維持して参りたのぢゃ。これは実に余儀ないこと
	を	244	15	殊に秩序安寧のことが著しきもので，之	を	維持せむには陸軍，又は海軍を用ひ，或ひは警察
	を	042	09	と云ふことが本趣意で，己を利するの心	を	抱いてはならぬ，己を利する心はすてて只管他人
	を	057	06	会の第三総会に罷り出まして聊かお話し	を	致さうと思ひますが其の前に諸君に向つて祝し且
	を	088	06	所を申しませう．第一．先づ種々の進歩	を	致さうと思ひます人は己れの不充分なること不完
	を	090	10	する訳で御坐ります．第五．種々の進歩	を	致さうと思ふ人には一つの立派な手本一つの高尚
	を	126	12	起さず恐れを知らず己れの力を疑ふこと	を	致さずして自分の智力を以て総て学術に本づきた
	を	137	14	まないことと思ひまして今日其のお話し	を	致さうと存じます．小説と申すものは面白いか面
	を	254	11	常の雇人に世話をすると云ふやうなこと	を	致さなければなりませぬ．此の保護の方法が日本
	を	266	13	て昼は多くの囚徒同様の場所に於て仕事	を	致させ，夜は一房に一囚づゝ分けて入れます．此
	を	002	01	識もないお方では有りますが，お目通り	を	致した所，別のことでも無い，お前は仮名の会の
	を	051	04	院に於て近藤真琴君演説私はとんと演説	を	致したことは御坐りませぬ．たゞ生徒を集めて講
	を	051	04	は御坐りませぬ．たゞ生徒を集めて講釈	を	致したことは御坐りますが甚だ不調法で御坐りま
	を	068	13	て見習生となり少くも四年間実務の練習	を	致します．其れより第二回の高等官吏登用大試験
	を	069	14	子弟たる者善く注意をせよ」と云ふ忠告	を	致しました．斯の如くは志願者一個人の為めから

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（を）	を	073	10	法律と経済との関係に付て一つのお話し	を 致したい．さて法律の学科と経済の学科とこの二
	を	077	01	すが実際に応用するに至つては実に錯雑	を 致します．害を除くのが利を興すのであり利を興
	を	082	08	人が種々の進歩いたしても道徳的の進歩	を 致しませねば完全なる進歩を成就することが出来
	を	088	15	御坐ります．英吉利の政府でも種々世話	を 致しましたがヤハリいけませぬ．立派な家を建て
	を	123	11	の次ぎの会の問題にでもして篤と御相談	を 致したう御坐います．神学卒業生の心得明治十九
	を	131	06	至極よい仕方はこれで御坐ります．洋学	を 致した卒業生は基督教の反対論を駁つ為めに西洋
	を	140	11	ないから待つて呉れろと手をついて言訳	を 致したとか斯様な情けないクラシをして居たと申
	を	140	13	なることと思ひますが此の愍れなクラシ	を 致して居たと申すは如何なる所以で有つたかと申
	を	195	06	からチト遠方のアメリカの熱帯地方に旅	を 致して居りましたが，朝，日の出ます前にあるか
	を	195	08	ミゴトな彗星ですネ」と言つて互に挨拶	を 致したことが御坐いました．諸君も定めてネムサ
	を	201	10	人に遇ひますと丁寧にジットしてお辞儀	を 致します．すると極丁寧な人はコッチへ向いて答
	を	226	05	におきましては行政上で二大原則の区別	を 致しまするることを申し上げました．今日よりは純
	を	242	05	，等凡そ四五十名の前に於て一場の演説	を 致しました．其の演説の大趣意は其の時の諸新聞
	を	250	16	戒と教誨とを施して此の罪人の心の教育	を 致しまする．其れに此の罪人は二年でよからう，
	を	254	02	者は長い間，監獄に居りまして窮屈な目	を 致しましたから外へ出ると直きに妓楼へでも上つ
	を	263	03	して，これは多くの囚徒を集め別に区別	を 致しませぬもので有ります．尤も中には少しは区
	を	275	07	やうなことも流行つたり，また拷問など	を 致しまするので，今から考へまするると野蛮の方法
	を	052	06	持つて往つて焼いてしまふといふ大決断	を いたすと思ひなさい．今日其れをやられては困る
	を	058	10	時間に東京より来て諸君に面会しお話し	を 致すことも出来，また諸君が東京より奏楽者を聘
	を	119	08	昨夜フト思ひ付いて今度は諸君に御相談	を 致すことにしました．これは御相談で有つて演説
	を	123	10	べ下さる訳にはいくまいかと云ふ御相談	を 致すので有ります．然るべくは此の次ぎの会の問
	を	263	04	もので有ります．尤も中には少しは区別	を 致すのも有りますが其れとても年令，罪質，犯数
	を	276	11	徒をなぐつて懲すと云ふやうな大間違ひ	を 致すことになりませう．若し斯くの如き囚徒が有
	を	062	13	クして蝦蟇の様な島田や鍋蓋の如き丸髷	を 頂き居りて運動の自由ならざるは則ち原因の三で
	を	215	03	どころでは無く勅任官の冠るやうな帽子	を 頂き，玉の輿イヤ車に乗りあるくと云ふは実に昔
	を	023	03	ら木星は十七丁の距離に在りまして太陽	を 一丈一尺とすると木星は一尺一寸あります，直径
	を	055	04	諸君が会員となつて下されたからはこゝ	を 一部分づゝ御担当下されたい．兎角仮名がよいと
	を	015	02	で測量をしますにも十里も二十里も先き	を 一々間縄を打つたり足ぶみをして調べはしませぬ
	を	152	06	ければなりませぬ．其れで憲法との関係	を 一言して見ますと憲法では一国の公法の基礎とな
	を	235	08	謀られむことを希望しまするると云ふこと	を 一言いたします．其れに付て序ながら昔の学者は
	を	261	17	で有りまする．これより欧米の監獄の事	を 一言いたしませう．初めにも申しました通り，フ
	を	274	09	うから，これより監獄の改良と申すこと	を 一言いたしませう．監獄は実に数万の囚徒を取り
	を	264	08	部と申しまして，此の部に於ては未決者	を 一時監禁しておくので有りまする．第四は出獄人
	を	271	13	所，及び警察署に属するもので，未決者	を 一時留め置く所でありまする．但し時宜によりま
	を	273	11	留監と申しまするものは徒刑，流刑の者	を 一時，仮りに留め置いて追つて島地の集治監に差
	を	247	05	ことが有るものか，其れをムヤミにおれ	を いぢめるのは訳の分らないことだ」と思つて居る
	を	013	07	だ足はしても僅か八十日間か百日で地球	を 一周することが出来ます．して見れば地球は実に
	を	022	09	少し余で有ります，即ち三分七厘余の玉	を 一丁十五間の所に置いたのが水星の雛形になりま
	を	149	16	う．これが行政法とか憲法とかいふもの	を 一回か二回で其の趣意を知りたいといふ考へで講
	を	006	02	はず夢中になつて居るから羅馬字のこと	を 言つても取り合はない．兎角，人は一方より外に
	を	032	11	．今日お話ししましたのは地理書の先き	を 言つたので地理書は地球の中の事を調べる学問で
	を	157	07	達や親類が集つてアンナつまらないこと	を 言つたからだ，地の回ることは決して言ひますま
	を	222	16	たり又は刀を使つたり又はヲカシイこと	を 言つて身ぶりをするもので有りましたが北条時代
	を	255	08	ひは躍つたとか何某に対して失敬のこと	を 言つたとか云ふやうなことまで探すものでは有り
	を	267	05	非常に性質の悪い者とサホドで無い者と	を 一所に置くことになりまするると，サホド性質の悪
	を	230	06	いて全国を七軍管に分ち，海軍では全国	を 五つの海軍区に分ち各海軍区に一つの鎮守府を置
	を	228	09	漸く明治の四年頃になりまして日本全国	を 一定するに付て廃藩置県と云ふことが行はれ段々
	を	089	07	無ければなりませぬ．モトの悪しき有様	を 出でまして善い有様へ移る願ひと望みと志しが無
	を	271	01	斯くの如く人員の少ないのは二十四時間	を 出でざる中に監獄に送つてしまひまするか，又は
	を	064	09	十歳以下のものにして随分他に立派な業	を 営み得べき屈撓な壮年男子です．然るに斯の如く
	を	064	10	男子です．然るに斯の如く犬馬同様の業	を 営み新造病否心臓病等に罹りワカジニするとは真
	を	038	13	して道徳は其の時の社会を維持し且進歩	を 営むの術ぢゃと云ふことで野蛮の社会では野蛮に
	を	038	17	が起り其の社会に相応した維持と進歩と	を 営むの術を得たものは漸々に栄え其れが出来ぬ社
	を	064	16	き業を廃し国益となるべき立派な他の業	を 営むことも出来ませう．又従つて二十余万の人の
	を	065	01	開けて来たならば斯の如き犬馬同様の業	を 営むものは自から減少して来ませう．故に私は人
	を	063	15	定めて営業すること少なくして炎暑厳寒	を 厭はず疾駆し風雨を論ぜず奔走し昼は炎天にさら
	を	060	10	くことを嫌ひ，田畑があつても耕すこと	を 厭ひ，余地があつても桑を植ゑ蚕を養ふの利益を
	を	019	05	で有ります．併しコンナむづかしいこと	を 言はなくつても諸君が御承知の山陽の詩に「太白
	を	025	05	を星学と言ふ位で有りますから星のこと	を 言はなければなりませぬ．さて星が我々の太陽の
	を	156	02	此の通り学問があるが極点といふと極意	を 言はなければならない．其れだからむつかしい．
	を	192	04	元年に五箇条の御公論に決すといふこと	を 言はれた．これを其の時分からの先生に承ります
	を	246	06	の罪を悪んで其の人を悪まずと云ふこと	を 言はれました．是れ実に万世不変の一大原則で有
	を	138	17	向つて参ります．また其のキヽメの深浅	を 云ひましたら小説の方が固くるしい本よりは斯様

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（を）	を	228	12	と，府と云ふのは大いなる市街のある所	を 云ひ，また県と云ふのは別に府と違つた所は無い
	を	107	02	を尽すことが出来ませぬ．たゞこの感情	を 言ひ現はすべき言語の無きを憾むのみであります
	を	159	13	質学や哲学が開けてから天主の説に不服	を 言ひます．ナゼならばドウしても地質学で実験し
	を	208	02	しました．しかし，これから流星のこと	を 言ひますと長くなりますから先づこの位でおきま
	を	210	14	ら．学者は各々持論によつて色々なこと	を 言ひ「彗星が地球に突き当たつたら蟻の群つて居
	を	234	01	る支度をしなければならないと云ふこと	を 言ひました．そこで私が答へましたには其れは甚
	を	095	09	裁判所に於て被告人のみを審問して無罪	を 言ひ渡したるは審理の道を尽さぬものである．尚
	を	151	15	のは法律，規則及び之を運転させる機関	を いふもので定義は小さくも範囲は広いから此の学
	を	037	07	合して一つの統御の権を受けて居るもの	を 云ふので他の言葉で申せばネーション即ち国民と
	を	228	13	所は無いが，たゞ大いなる市街が無い所	を 云ふのです．郡と云ふものは明治十八年十二月三
	を	074	02	を生じ其れ故に労力が生ずるといふこと	を 言ふたもので御坐んす．さて其の二個の全く反対
	を	098	05	しきかな，心は之を思ふに堪へず口は之	を 言ふに忍びず」といふ言葉はシェクスピーヤが曾
	を	098	08	の事件の如きは心之を思ふに堪へず口之	を 言ふに忍びずといふことであらうと考へまする．
	を	125	17	ことが出来ぬと．これ等の色々の不承知	を 言ふお方の中に，よく熟したる学者も御坐りませ
	を	126	06	れども基督教に就て己れの色々の不承知	を 言ふものが随分世間に多う御坐りますれば卒業生
	を	135	01	．併しながら，こゝにまた一つの不承知	を 言ふお方が御坐ります．この不承知を言ふお方は
	を	135	01	知を言ふお方が御坐ります．この不承知	を 言ふお方は神学卒業生で御坐るかも知れませぬ．
	を	151	01	うな機関を要する道具に関係の法律規則	を 言ふのであります．故に行政法の原則は憲法の中
	を	151	10	論の自由があると言つてもムヤミなこと	を 言ふことが出来ないといふ制限をしなければなら
	を	177	15	来記にも及ばず戸長の仕事同様なること	を 言ふ愚かなることなりと笑ふ人もあらん．若し是
	を	212	15	彗星の物理学上，何物たるかと云ふこと	を 言ふことも出来ませう．先づ其れまではお預かり
	を	046	09	ゃ．其れぢゃから法律と道徳との本主義	を 云へば先刻言ふた様な訳なれども併し全く十分に
	を	115	03	動物的の欲の方は熾んなれども其の品等	を 言へば至つて低いものに違ひは無い．其れだから
	を	223	13	続き五番続きの狂言の趣きを版にしたの	を 今も好事家は持つて居ます．これは今云ふ筋書の
	を	162	02	じたときに酒誥といふものを作つて康叔	を 戒めた．この酒誥といふものが酒のことに付て文
	を	162	08	て其の官職を怠ること勿れまた民の小子	を 戒めて曰く農民は平日土物を愛し耕作を勤め能く
	を	173	05	ひ潔白を好み進むことを好んで退くこと	を いやがるタチで，イクサは嫌ひで平和親睦しやう
	を	185	16	の行はれた結果として昔より男を尊び女	を 卑しむ風が御坐りますがキリスト教は之に反して
	を	139	07	は普通の学問と違ひ日本などでは甚だ之	を 卑しめて居りますが西洋では小説家が非常に貴ま
	を	141	05	有ります．さて日本で学者が此の小説家	を 卑しめたるは何か原因が無くてはならぬ．少し酷
	を	062	11	を疲らし殊に婦人の如きは裾の方には綿	を 入るゝこと恰も飾り餅を付けたるが如く左右には
	を	207	12	アンマリひどいことであらうと云つて註	を 入れた人は「如」と云ふ字は「而」と云ふ字と同
	を	247	02	ちに其の膝の下に，生れたばかりの赤子	を 入れて圧しつぶすと云ふことが有つたさうです．
	を	266	06	で有りまして此の所に於ては幼年犯罪者	を 入れまする．其の方法は最初は分房法を用ひ沈黙
	を	268	13	監獄で有りまして，こゝには通常の罪人	を 入れて置き，第三は中央監獄と申しまして，こゝ
	を	268	14	獄と申しまして，こゝには刑期の長い者	を 入れて置き，第四は矯正院即ち感化院で有ります
	を	076	17	てらるゝことも御坐んせうが其の間，髪	を 容れぬのです．右のＭａｃｌｅｏｄ氏の如く積極
	を	105	17	らるゝ如く英国領事は兵庫県知事の請求	を 容れ現に法廷を開き船長以下の審問に着手したと
	を	245	02	なりまする．尤も監獄には国事犯等の者	を 入れることも有りますが，これは通常の悪人とは
	を	225	06	トント勝手を知らぬ我輩などが漫りに喙	を 容れる所では無いと思ひますれば其の辺のことに
	を	230	04	のときからで有ります．また，この区画	を 色々に利用しまして陸軍に於ては数多の県を合せ
	を	003	14	様で居ますと文字を習ふヒマの為めに稲	を 植るヒマも水車改正の時もへづられて電信機の改
	を	062	12	なる文庫を背負ひ足には俎板然たる木履	を 穿ち，おまけに頭にはバクバクして蝦蟇の様な島
	を	214	07	だのに於ては狂言作者同様に下等の人情	を 鑿つことばかり専としたものだから自ら幇間みた
	を	068	06	必ず独逸の大学に於て修めなければ試験	を 受くることは出来ませぬ．而して第一回試験の及
	を	101	05	ふのが，これぞ日本人が外国人から軽蔑	を 受くる原因であります．今一つは何なるか．日本
	を	101	06	である．これが矢張り彼等より軽侮軽蔑	を 受くる原因でありませう．まづ第一に何を証拠と
	を	102	05	軽蔑を受ける一つの原因である，賤しみ	を 受くる所以でありまする．日本の国情が西洋に知
	を	104	10	其の遠因は軽侮にありて斯くの如き軽侮	を 受くるは気力足らずして国威揚らざると言語通ぜ
	を	251	07	処しまするけれども監獄に於て心の教育	を 受くること十五年たちまして悔悟遷善の徴をあら
	を	251	08	まして，たゞ警察上よりイクラかの監視	を 受くるだけで通常の良民と同様に其の身を立つる
	を	267	04	，他の未決者から証拠を押し隠すの教授	を 受くるやうなことが有りますし，また非常に性質
	を	007	06	有様である．ナゼかといふに漢字の教育	を 受けて居る人が多い．漢字の教育を受けた者が十
	を	007	06	教育を受けて居る人が多い．漢字の教育	を 受けた者が十人に八九は有りませう．だが実際裸
	を	034	03	つて麻酔の効の有るもので之が為めに害	を 受けぬ者は有りませぬ．然るに今日，日本で「文
	を	037	07	若干の人民が共に合して一つの統御の権	を 受けて居るものを云ふので他の言葉で申せばネー
	を	068	12	り三年間法律学科を専修し第一回の試験	を 受けて見習生となり少くも四年間実務の練習を致
	を	070	16	日には英吉利法律学校の卒業式にも案内	を 受けて居りますが又何人か卒業生が出来ることで
	を	073	07	する様にといふことを教師諸君より依託	を 受けて居りますゆゑ何か新奇なことを陳述いたし
	を	090	09	ので御坐ります．基督教を用ひ天の光り	を 受けて世渡りするものは必ず種々の進歩をする訳
	を	157	03	．西洋各国の天子様が羅馬法皇の御免許	を 受けないと天子様になれないと云ふ位な勢ひで，
	を	187	06	の代表者として数千年来種々の圧制束縛	を 受けた婦人が，これより永く真正の幸福を受る時
	を	239	05	，山形県，新潟県の七県の監獄巡閲の命	を 受けまして，去る六月九の午前六時に上野発の汽

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（を）	を	240	02	ども元来，上官又は他人の命，又は依頼	を	受けて其の人の為めに見たことは其の注文者の所
	を	244	07	細目を定め，また時としては法律の委任	を	受けて某々の事を定むる等のもので，これは執行
	を	260	05	及び予備入額の備はりたる上は更に寄附	を	受けざること．これも亦，最も必要なことで，例
	を	260	08	資本が備はりたる上は最早，濫りに寄附	を	受けないと云ふことに致したい．また救助の種類
	を	270	10	厘ばかりに当りまする．また小学の教育	を	受けたる者が三十四人ありまして丁度たゞの四厘
	を	270	11	に当りまする．また，小学教育より以上	を	受けたる者は一人もありませぬ．して見まするど
	を	272	01	こゝには刑法に於て不論罪懲治者の宣告	を	受けたる者と両親，又は親族等より願ひ出でたる
	を	275	08	るに維新の改革と共に監獄も非常の改良	を	受けまして明治十四年九月十九日の太政官達第八
	を	162	10	の父母喜ばゞ酒を家庭の間に用ひ献酬歓	を	承けて以て天倫の楽みを全くすべし若し故なく群
	を	164	04	良といふ人が二三年前，支那政府の命令	を	承け学事視察の為めに欧羅巴亜米利加を巡回し支
	を	129	01	政家の中にも喜んで色々の無証拠な設理	を	受け容るものが御坐ります．さのみならず学術家
	を	219	06	女に勧めても返書を書かせ，また娘が文	を	受け取つても親が不承知なら，よさせると云ふや
	を	028	08	使ひばかり，ことによると余程遅い新聞	を	受け取る様なことが有ります．そこで此等の星を
	を	046	08	刑罰の有る上は悪い事をした人は到底害	を	受けるのぢゃ．其れぢゃから法律と道徳との本主
	を	068	09	て第二回試験即ち高等官吏登用の大試験	を	受けることが出来ます．通例学漏生に於て学生と
	を	102	04	様な威もないと考へる．これが即ち軽蔑	を	受ける一つの原因である，賤しみを受くる所以で
	を	124	14	大切な職分を尽しながら多くの助けと益	を	受ける筈では御坐りませぬか．これ実に幸ひなこ
	を	184	02	して婦人が正当の地位を占め真正の幸福	を	受ることは出来ません．また，これから起る所の
	を	187	06	受けた婦人が，これより永く真正の幸福	を	受る時が来たことを神に感謝した凱歌で御坐りま
	を	247	13	をしたから斯くの如き現在の地獄の苦み	を	受けると云ふことを分らせるので有りまする．た
	を	248	02	つたことを覚り，一方では懲戒法で苦痛	を	受けると云ふので，此に於て始めて「ナルホドお
	を	249	07	くと云ふことが起りますから人民が困難	を	受けると云ふことは非常なることに立ち至ります
	を	260	15	或ひは府県知事，或ひは内務大臣の監督	を	受けると云ふことは最も必要で有ると思ひまする
	を	157	16	ました．この間まで，あの佐田介石が天	を	動かさうと云つて骨を折りましたが中々動かんと
	を	157	15	が動いて居つたのがガリレオから後は天	を	動かしたいとしても動かなくなりました．この間
	を	018	04	たいてくれるので有ります．又我々が手	を	動かすも足を動かすも皆太陽が動かしてくれるの
	を	018	04	ので有ります．又我々が手を動かすも足	を	動かすも皆太陽が動かしてくれるので有ります．
	を	075	10	とかいふことが出来ない．病気は健康体	を	失つて居る故に医者に頼んで全くモトの身体にす
	を	075	11	で全くモトの身体にするのである．権利	を	失はむとする故に法律家に頼んで権利を伸張する
	を	075	11	んで権利を伸張するのはたゞモトの権利	を	失はぬだけである．此の如きは国家の富を増すも
	を	117	01	して欺かないやうにしたい．而して信用	を	失はないやうにしたいといふは即ち人類的の上等
	を	054	03	うとすると不毛の地が出来て肝腎のもの	を	失ふ．この用を弁するには仮名を用ふることを開
	を	126	12	一向疑ひを起さず恐れを知らず己れの力	を	疑ふことを致さずして自分の智力を以て総て学術
	を	180	09	くキリスト教の力で御坐ります．若し之	を	疑ふものがあればキリスト降世前の世界に於てギ
	を	007	14	い．大臣参議が碁を好むと属官までが碁	を	うち，大臣参議が茶道を好むとまた茶道がはやる
	を	008	06	如く褒美は五六百円のものもあり，花火	を	打ち揚げてヒュウヒュウポンポン．また夜になつ
	を	275	11	開かれまして監獄取扱上の細密なること	を	打ち合せ致されたとのことで有りまする．これ，
	を	101	15	なくて直ちに之に雷同し，また直ちに之	を	打ち捨ててしまふ様です．今之を獣に例ふれば日
	を	044	01	明開化になりたのも強い人種が弱い人種	を	打ち負かして勝を取りたからぢゃ．若し初めより
	を	092	03	へ上げる宗教で御坐ります．箇様な宗教	を	うちゃつて置いて完全なる進歩を成就したる人は
	を	014	17	が知れるだらう，物さしをあてたり間縄	を	打つたりする訳にはいくまいが」と疑ふ人が有り
	を	015	02	ますにも十里も二十里も先きを一々間縄	を	打つたり足ぶみをして調べはしませぬ．唯最初の
	を	126	13	智力を以て総て学術に本づきたる反対論	を	駁つことが出来ると思ふもので御坐ります．箇様
	を	127	09	な論を以て彼の専門家のよく熟したる論	を	駁つと云ふことは迚も出来ぬことで御坐りませう
	を	131	07	．洋学を致した卒業生は基督教の反対論	を	駁つ為めに西洋の学者が著はした本を研究して而
	を	131	08	よい仕方で御坐ります．基督教の反対論	を	駁つ為めに英国，米国，独逸国などに毎年出版に
	を	132	10	ます．ナゼといふのに人の色々の間違ひ	を	駁つよりも真の道理を設ける方が余程よいもので
	を	224	12	弊を矯正しやうと云ふので，強ち西洋風	を	移されると云ふばかりでは御坐いますまい．右の
	を	216	16	違ふことと思ひます．其れから山城に都	を	遷されてから仮名文章と云ふものが起り，物語と
	を	143	02	意と云ふものは何だと云ふと人間の人情	を	写し出す一つの美術で御坐ります．これを画にた
	を	214	16	ゑ文筆の業では及ばない所の人情の極意	を	写し出す真の美術だと云ふやうな訳で其れゆゑ西
	を	143	03	へて見れば森羅万象日月星辰山水の現象	を	写すが如きもので有る．其の流派にも南北宗或ひ
	を	143	05	有形上のことで人の思想即ち無形の人情	を	写すは筆より外は無い．即ち小説の管内で御坐り
	を	140	13	これは馬琴自ら書いた物の中に其の不平	を	訴へたことが見えましたから確かなることと思ひ
	を	077	05	も窃盗だとか詐偽取財だとかに由て其れ	を	奪はれると矢張り己れの財産にはならない．そこ
	を	045	11	に参政の権を与へぬのは女から参政の権	を	奪ふてあるので他を害する法が立ちて有るのぢゃ
	を	047	11	亜米利加の土人を逐ひまくりて其の土地	を	奪ふてしまひ，開けた印度も奪ふてしまひ，近頃
	を	125	10	せうか．傍聴人の耳を塞ぎ，よく其の心	を	奪ふものは何で御坐りませうか．今之に答ふるに
	を	247	01	昔は北の方の或る地方に於ては母親が子	を	生むと「これはモウ何人目だから元へお戻し申さ
	を	204	04	倍の晴明とでも云ふやうな人に其の彗星	を	占つて，もらつた所が「これは天子の御身の上に
	を	003	09	に使ひ過ればイヤでもオーでも真の智識	を	得る為めの時は少なくなる．三時間方便に使へば
	を	032	05	によれば第一の説の如く我々の見ること	を	得るだけ随つて知ることを得る限りのものは総て
	を	032	05	々の見ることを得るだけ随つて知ること	を	得る限りのものは総て皆アマノガハの中にあるも

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（を）	を	069	17	ては容易に立派なる裁判官其の他の人	を 得ることが出来ませう．実に邦国の幸ひで御坐い
	を	075	17	り論じて見ますると法律は消極的の価値	を 得るといふもので御坐んせうし経済の方は積極的
	を	123	01	る人は濁酒を多く飲む者はドウいふ結果	を 得るかと云ふ様なことを気を付ける様にしたら，
	を	160	06	につめると学問教法ともタマシヒの真実	を 得るといふことに帰してしまふもので，ござ．飲
	を	177	04	見ることも出来ませう．其の年々の大数	を 得るに従つて其の運動の有様に常と変との工合あ
	を	185	09	中は婦人が正当の地位を占め真正の幸福	を 得る等といふことは思ひも寄らぬことで御坐りま
	を	212	09	金剛石や金銀にもかへられない程の品物	を 得ることが出来るかも知れません．しかし其の様
	を	232	03	委員会に下して其の意見を諮問すること	を 得ると云ふことが有ります．或る論者になります
	を	235	09	の学者は多く骨を折つて，さうして幸福	を 得ることは思ひの外少なく今の学者は骨を折るこ
	を	235	10	の学者は骨を折ることは少なくして幸福	を 得ることは思ひの外，多いに就ては今の学問をす
	を	060	10	ても耕すことを厭ひ，余地があつても桑	を 植ゑ蚕を養ふの利益をも考へず，たゞ権利とか自
	を	206	12	たが，これは分れたと云ふよりは寧ろ子	を 生んだと云ふ方が宜しう御坐りませう．其れは丁
	を	206	16	づスダチしたと云ふやうな訳で，燕が子	を 生んで其の子がスダチして一所に故郷に帰つて来
	を	151	15	．行政法といふものは法律，規則及び之	を 運転させる機関をいふもので定義は小さくも範囲
	を	141	16	．併し是等はたとひ学問は有つても其れ	を 運用することの出来ぬものも有ります．斯る先生
	を	143	02	写し出す一つの美術で御坐ります．これ	を 画にたとへて見れば森羅万象日月星辰山水の現象
	を	017	17	たが今度は我々が太陽の家来と言はざる	を 得んです．太陽と云ふものは非常に明るい非常に
	を	038	17	社会に相応した維持と進歩とを営むの術	を 得たものは漸々に栄え其れが出来ぬ社会は亡びた
	を	044	05	とぢゃ．仏法も耶蘇教も矢張り已むこと	を 得ぬことをしたのぢゃ．併し極めて必要なる点は
	を	045	10	ぬの違ひが有る．して見れば只今でも権	を 得たものは権を得ぬものに向ふて害を為して居る
	を	045	10	．して見れば只今でも権を得たものは権	を 得ぬものに向ふて害を為して居るに違ひ無い．女
	を	046	03	にゆかぬから悪い事をせぬ人が已むこと	を 得ず立てた法ぢゃ．当然と云ふ訳では無けれども
	を	047	16	とぢゃが其れが自然今日にありては已む	を 得ぬ当然の処置であるからであらうと思はれる．
	を	052	15	ましたが漢文はむつかしいから已むこと	を 得ず漢文に似たものを書く様になり庭訓往来の様
	を	055	07	せるのは惜い月日だと思つても已むこと	を 得ず教へます．其れはナゼだと申せば漢字の本を
	を	057	10	なければ幸福は得られぬもので其の健康	を 得やうとするには衛生が必要です．然るに今当路
	を	067	06	ぬが今日は幸ひに此の盛場に列するの栄	を 得ました．且法律経済の二科に就て卒業をせられ
	を	067	07	せられたる所の数十人の諸君が卒業証書	を 得られましたのを観まして大いに感ずる所が御坐
	を	067	11	られたる栄誉は只今この満場に於て喝采	を 得られたる諸君の身辺に充満して居ること故更に
	を	067	14	外は御坐いませぬ．併しながら我々は隴	を 得て蜀を望むの欲を抛つことが出来ませぬから諸
	を	067	15	益々法律に経済に従事せられ赫々の光華	を 得られむことを望みます．而して私は法律科卒業
	を	068	16	て裁判官検察官の本官となり一定の俸給	を 得まするまでには平均三箇年を待たなければなり
	を	071	08	である」と云ふ如き盛時に遭遇するの栄	を 得むことを諸君と共に熱心希望することで御坐い
	を	076	11	が何の学科であつて見ても各々立身の道	を 得て積極的の結果を得て参りますゆゑ其の違ひの
	を	076	11	見ても各々立身の道を得て積極的の結果	を 得て参りますゆゑ其の違ひの有るといふことはた
	を	091	13	ざれば人が此の罪悪を免れて本当の自由	を 得て進歩することが出来ませぬ．なぜなれば耶蘇
	を	093	13	とを研究したものを見ませぬ．故に已む	を 得ず私が一言，諸君に陳べむと欲することになり
	を	094	15	同感で御坐りませう．実に同感ならざる	を 得ぬことです．併し此の悲歎と此の憤怒の感情よ
	を	095	12	証拠が無ければ輿論は何と言つても已む	を 得ず無罪にせぬければなりますまい．而して今新
	を	110	12	彼等はマーダーの犯罪たることは免るゝ	を 得ますまい．以上述るが如くでありますから我輩
	を	110	16	分か公平の裁判を為さざるかの疑ひ無き	を 得ませぬ．故に寧ろ其の管轄を横浜に移し以て世
	を	144	10	のが沢山あります．兎に角，非凡の小説	を 得んには小説家の資格と云ふものを高めておきた
	を	162	16	ことがあるから其の当時に在つては已む	を 得ないものと見える．今申した酒誥の原文は大凡
	を	164	16	，機を失して贖ふ莫し祇に徒手して帰る	を 得たり．此に由て之を観れば酒の事を誤るを見る
	を	182	16	理だから守るといふ訳ではなく実は止む	を 得ざるに出でたことと申さなければなりません．
	を	221	15	は今日の言葉を用ゐて滑稽を述るのに妙	を 得，為永春水なども日用の言葉を以て一家の人情
	を	232	05	事項の外のものは府県会に於て議決する	を 得ない．よつて中央政府の用では無い全く府県固
	を	235	06	来ませぬが諸君の刻苦勉励で今日の栄誉	を 得られたことで実に感ずべきことで有ります．し
	を	241	03	ることは善悪利害を問はず其の人の許可	を 得て言ふことと致さなければなりませぬ．所有権
	を	241	04	ませぬ．所有権の点に於ては無論，言ふ	を 得られぬものと存ぜられます．尤も私の巡閲した
	を	245	08	これ等のことをもやられる訳で万，已む	を 得ざるときは秩序安寧だけを重もにしなければな
	を	248	06	ツマリ懲戒にのみ偏して教誨其の宜しき	を 得ざると云ふことに基づくので有りませう．前に
	を	249	01	証拠の湮滅するおそれが有る為めに已む	を 得ず未決監と申すところに留め置くので有ります
	を	249	04	に整頓いたしましても監獄が其の宜しき	を 得ませぬければ警察も裁判も無効になりまする．
	を	251	06	と云ふやうな悪事を為しました者は已む	を 得ず終身の刑に処しまするけれども監獄に於て心
	を	251	16	た弁別心が有つて悪事を働いた者は已む	を 得ず之を罰します．此の者を幼年囚と申します．
	を	257	08	ります．これ等は親族なきに於ては已む	を 得ず公けの救助と私の救助とを以て救助をしなけ
	を	259	10	らうと信じます．第一，救助其の宜しき	を 得て濫救の予防を主とし惰民製造の予防に注意す
	を	260	12	れまするが，これは救助がソレゾレ平均	を 得たるもので有らうか或ひはムヤミに一方にばか
	を	274	04	なりまする．実に莫大の費用と云はざる	を 得ませぬ．此の費用を以て兵卒を養ふ者と致しま
	を	162	01	ものと見えて殷を亡ぼして後，弟の康叔	を 衛に封じたときに酒誥といふものを作つて康叔を
	を	J64	08	するが為めです．然るに如何なる者が之	を 営業するかと云ふに先づ二十歳以上四十歳以下の
	を	057	08	人が申した言葉に「健康は万福の基」之	を 英語で云へばＨｅａｌｔｈｉｓｔｈｅｆｏｕｎｄ

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（を）	を	278	09	なる点にまでは及びませぬが幾分か諸君	を	益したることであらうと存ぜられます．若し果し
	を	278	10	と存ぜられます．若し果して幾分か諸君	を	益したらば私の幸ひは実に此の上も無きことに御
	を	107	13	て人を殺すことなどであります．第二種	を	エキゼキューサブル，ホミサイドと言ひますが，
	を	061	04	化人の好むものは恰も三歳の童子が物品	を	撰ぶと同じことで，たゞチョット見つきの良きも
	を	185	05	せん．尤もキリスト信徒は其の代りに妻	を	選ぶのに最も注意して決して軽々しく婚姻は致し
	を	125	05	々の物の中からたゞ一つの著るしいもの	を	択んで而して之を成るたけ委しく説くことは私が
	を	242	03	島武司氏より私に向つて司獄官吏の心得	を	演説して貰ひたいと云ふお頼みが有りました．因
	を	004	15	那を貴んで其の字を用ひて居るから支那	を	お師匠さんにして居るうちは，これまでの様に字
	を	012	13	做しませう．私は唯其れから先きのこと	を	お話しします積りで有りますが其れに付てはちょ
	を	058	11	また諸君が東京より奏楽者を聘して奏楽	を	お聞きなさることも出来ると云ふのは何でありま
	を	130	13	Ｋａｎｔといふお人が申されましたこと	を	お聞きなされ．「天地の間に二つの感心なものあ
	を	139	17	著作を御覧になつたら面白いと言ふこと	を	お看認めになるで有りませう．其の効力と言ふも
	を	158	14	ひ野郎になつて銘々どもが「京都へ電信	を	お頼み申します」といふと「オット承知でござ」
	を	194	03	の原則を定めたから，これから行政組織	を	お話し致す考へで御坐います．此の次ぎには行政
	を	197	04	と云ふことがアラマシ分りましたが其れ	を	お話しする前にチョット惑星のことをお話ししな
	を	197	04	れをお話しする前にチョット惑星のこと	を	お話ししなければなりません．私はイツカ「地球
	を	197	07	系の中にはドンナ惑星があると云ふこと	を	お話ししましたが，あの時はザツトしたことで，
	を	204	05	から功徳の為めに寺を建てて坊主の俸給	を	お殖しなさい」と言ひました．そこでＬｏｕｉｓ
	を	204	11	常に大きかつたものと見えます．万国史	を	お読みになつたお方は御承知で御坐りませうが，
	を	231	04	が届かないと云ふので行政官と云ふもの	を	お使ひなさるので御坐んすから行政官は総て執行
	を	235	12	を十分に考へるやうにしたいと云ふこと	を	お話ししたい．昔の西洋のことを学ぶと云ふのは
	を	239	15	，其の他の諸友人知人等が屢々私の茅屋	を	お尋ね下されて，私が巡閲したる監獄の有様は如
	を	192	08	所を開いたのも其の通り，其れから左院	を	置いたも其の通り，地方官会議を開いて之に人民
	を	228	14	二あります．この郡には郡長と云ふもの	を	置いてあります．これは府県知事の下役のやうな
	を	230	05	軍に於ては数多の県を合せて一つの軍管	を	置いて全国を七軍管に分ち，海軍では全国を五つ
	を	230	06	の海軍区に分ち各海軍区に一つの鎮守府	を	置いてあります．其の外，裁判区山林区，学区な
	を	062	01	となるべきもの種々ありますが第一市中	を	往来するに人力車に乗らざるときは貧乏視せらる
	を	129	06	御坐ります．或る教師は総て普通の学術	を	大いに恐れて居ります．箇様な人は世俗の学問を
	を	015	15	町，町が小さすぎれば里と段々に物さし	を	大きくして参ります．さて地球から月までの距離
	を	004	10	ど実はまだイクサにならない．小さな蟻	を	大きな足で踏みつける様なものだが其の蟻も目の
	を	121	11	君に御相談致したい．箇条と云ふのは酒	を	多く飲む人は「寿命が短くなる」「病死すること
	を	122	09	コレラ病に罹る者を調べたのには平常酒	を	多く飲む者が余計にコレラ病に罹つて死んだと云
	を	123	01	云ふことを聞くとか田舎に居る人は濁酒	を	多く飲む者はドウいふ結果を得るかと云ふ様なこ
	を	144	11	学問が第一入りまする．また西洋の小説	を	多く読んで貰ひたい．少し悦ばしいことには此の
	を	133	14	が答へまするに「私は内に随分，奉公人	を	多勢使ひますが中に一人の鬼の如くにけしからぬ
	を	216	08	，夢を見たが霜が多く降つて私のカラダ	を	覆つたが何か訳が有るだらうか」と云つた所が牝
	を	272	09	．官制の改革のときに北海道庁に監獄署	を	置かれましたので北海道の集治監も通常の監獄も
	を	108	01	て其の区域頗る広く同じメンスローター	を	犯したものでも或ひは一日の拘留で済むのもあれ
	を	121	13	多くなることは先年罪人の中に何から罪	を	犯した者が多いかと云ふことを警視庁の掛りの人
	を	121	17	の罪人の上から調べて見ますと酒から罪	を	犯した者が随分に多い．尤もこれは東京府下だけ
	を	122	17	察官に懇意の人なら酒の上からドンな罪	を	犯した者が有るかと云ふことを聞くとか田舎に居
	を	121	12	ことが増す」「自殺が殖える」また「罪	を	犯す者が多くなる」などと云ふ様なことで，この
	を	121	12	くなる」などと云ふ様なことで，この罪	を	犯す者が多くなることは先年罪人の中に何から罪
	を	122	06	多く虚弱で酒を飲んで行ひが悪くつて罪	を	犯す者が多い．而して其の酒を飲むことが子孫に
	を	276	03	でありました．然るに維新後の主義は罪	を	犯す者があれば何卒して其の心を改良させたい，
	を	016	07	其の玉から三尺離して直径二分七厘の玉	を	おきましたのが月の雛形になります．距離も随分
	を	262	11	分房法と云ひまして，これは一房に一囚	を	おきまして，夜も昼も他の囚徒と面を見合すこと
	を	183	04	妾となることを何とも思はず甚しきは妾	を	置き妾となることを却つて栄誉のやうに思ふもの
	を	228	06	ますと大名の下に今の郡長のやうなもの	を	置き，また村には名主と云つて名誉戸長と云ふや
	を	231	10	居りまして，各大臣の側らに専門の議会	を	置きます．例へば内務省に中央衛生会とか地方官
	を	264	04	しらへて其の各家族に家族長と云ふもの	を	置きまして，さうして，この家族長が教育の世話
	を	169	04	やうとて其れには彼れの長を取り我が短	を	補はなければならない何でもやらなければならな
	を	260	03	かり偏したときには天下の財産を以て之	を	補ふとも引き足らないやうになりませう．第五，
	を	184	07	が，たとひ一人で多くの妻を持ち又は妾	を	置くことはせんでも若し何時でも勝手次第に妻を
	を	091	01	のが無ければなりませぬ．されども熱心	を	起さするは何で御坐りませうか．厚き志を起すに
	を	126	11	い勇者が御坐ります．この者は一向疑ひ	を	起さず恐れを知らず己れの力を疑ふことを致さず
	を	224	12	して有志の人々が演劇改良会と云ふもの	を	起されましたのは定めて此の弊を矯正しやうと云
	を	233	15	が無いから日本語を以て教ふる専門学校	を	起さねばならぬが其れを起すには今より西洋の名
	を	163	11	ら七合入の盃で飲んだら信長は光秀の頭	を	おこして，これはよい頭だ丁度鼓によいと言つて
	を	044	03	者も其れを矯めようと云ふので右様の教	を	起したのぢゃ．曲りたものを真直にしようと云ふ
	を	064	02	．さて営業既に斯の如くなるが故に胃病	を	起し心臓病を起し肺病に罹り其の他種々の病を発
	を	064	02	に斯の如くなるが故に胃病を起し心臓病	を	起し肺病に罹り其の他種々の病を発してワカジニ
	を	064	04	ート氏は汽車の連乗に由つて心臓の衰弱	を	起し婦人に在てはヒステリ症（俗に血の道）を発

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（を）	を	087	04	ませぬ．併しながら不案内の御方が疑ひ	を 起して「イヽエ基督教はさほどに高尚なる宗教で
	を	122	10	御承知の通り卒中だの中風だのと云ふ病	を 起したり発狂したり夫婦の間に不和を生じたり家
	を	133	16	去年かの者が基督教を聞いて不意に信仰	を 起したものになりました．が其れから，かの者が
	を	170	02	せう．けれども国人の移住は大変な運動	を 起して来るもので，この位なことは当り前であり
	を	198	01	じ種類のものでは有るまいかと云ふ考へ	を 起しました．Ｎｅｗｔｏｎの調べました所によれ
	を	254	03	きに妓楼へでも上つて見たいと云ふ考へ	を 起しまして忽ち其の資金を無くなしてしまふ者が
	を	077	09	各々学び得たる所を以て社会の為めに利	を 興し害を除きまするることが恰も電気の積極消極の
	を	077	11	極的の学科を以て同一に社会の為めに利	を 興し害を除き蒼生の幸福を進められむことを切に
	を	164	02	といふことだが，酒の為めに身を立て家	を 興したといふ者は一人も無し，亡国廃家に至つた
	を	055	03	りで御坐ります．何にもあれ新しいこと	を 起すは大困難のことで御坐りますが幸ひ諸君が会
	を	089	11	す宗教で御坐りますから，進歩するの志	を 起すもので御坐ります．無下に賤い人でも若し基
	を	091	01	起さするは何で御坐りませうか．厚き志	を 起すには基督教に競ぶべきものが御坐りませぬ．
	を	100	15	したる不幸を悲しむのみならず窃に訴訟	を 起すのみならず窃に義捐金を募集するのみならず
	を	130	01	に基督教の結局の勝敗に就て色々の疑ひ	を 起すものが有るのは不思議なことでは御坐りませ
	を	143	06	申すものは極り無きもので種々雑多の情	を 起すに違ひ無い．其の情を有りのまゝに写すが小
	を	151	12	，ペルソンヌでこれは財産を所有し負債	を 起すことの出来るものが無形人であります．即ち
	を	161	10	るミチビの様なもので其れからして怒り	を 起すとか放逸に流れるとか色欲に耽るとか物を貪
	を	233	15	教ふる専門学校を起さねばならぬが其れ	を 起すには今より西洋の名家の書いた本を翻訳して
	を	251	03	まで稽古をする訳であるか」と云ふ疑ひ	を 起す人が有りませうけれども決してさういふ訳で
	を	074	03	く反対するといふ其の一のものは全く利	を 興す所のもので其の一のものは之に反して害を除
	を	074	04	くといふもので御坐んする．なるほど利	を 興すの必要と害を除くの必要と，必要は同じこと
	を	074	04	の必要と，必要は同じことではあるが利	を 興すと害を除くと其の事柄に至つては同じもので
	を	074	05	の事柄に至つては同じものではない．利	を 興すことに付き譬へば学者ならば書物を求めると
	を	075	15	へぬ其の儘の説で御坐んす．兎も角も利	を 興す方のガハに使用するのは積極的のもので害を
	を	076	04	すと経済学はドウいふものかといふに利	を 興す為めで御坐んせうが貧弱なる国の富強になる
	を	076	14	で御坐んす．さて私が考へて見ますに利	を 興すといふことと害を除くといふことは口で言ひ
	を	077	01	は実に錯雑を致します．害を除くのが利	を 興すのであり利を興すのが害を除くのである様の
	を	077	02	ます．害を除くのが利を興すのであり利	を 興すのが害を除くのである様のことが社会の事柄
	を	077	03	法律は害を除くものであるとか経済は利	を 興すものであるとかいふ様にも参りませぬ．浅近
	を	096	05	の如く怠務殺人となすにもせよ其の本務	を 怠りたること及び其の怠務に因りて人を殺したる
	を	162	08	教へて曰く常に酒を飲んで以て其の官職	を 怠ること勿れまた民の小子を戒めて曰く農民は平
	を	099	01	人の不幸を悲しみ又外国人の不道徳なる	を 怒つて其の罪を鳴らしたからとても其れで我々が
	を	162	07	作らしむるは郊社宗廟の大祭に灌献の礼	を 行はしむるが為めのみ文王また群臣の小子に教へ
	を	244	01	法権事務は元老院，又は国会を設けて之	を 行ひ，執行権事務は政府と行政権と司法権とを設
	を	250	03	ち智育と申しまするものは学校に於て之	を 行ひ，心の教育，即ち徳育は重もに家庭教育，即
	を	250	05	は或ひは家庭に於て或ひは学校に於て之	を 行ひまする．付ては此の三つの教育を終りまして
	を	042	11	りなれども唯其の為めに他を害するの事	を 行ふてはならぬと云ふことが本趣意になりて居る
	を	046	05	れるのぢゃ．して見れば他を害すること	を 行ふてはならぬと云ふ主義は立たぬでは無いか．
	を	060	07	く言ふのではありませぬが斯の如く贅沢	を 行ふ人がドウいふ芸術が出来てドウいふ働きをす
	を	104	01	は浮薄の本性を備へ居りまするが大改革	を 行ふには最も適当の人民であります．即ち国語を
	を	132	17	坐ります．即ち卒業生が己が身に基督教	を 行ふの仕方で御坐ります．人が，まのあたり受け
	を	134	04	き行ひを為すべし，これ爾等を誹りて悪	を 行ふものと言へる世の人をして爾等の善き行ひを
	を	153	02	行政法の方ではドウいふ風に其の即位式	を 行ふといふことを，きめる．また憲法で人民に納
	を	185	01	くして妻を出して他の女を娶る者は姦淫	を 行ふ者で其の出された婦を娶る者も亦，姦淫を行
	を	185	02	者で其の出された婦を娶る者も亦，姦淫	を 行ふ者である」と仰せられましたが，これが即ち
	を	190	05	は政府できめたことを実際に行ふ即ち政	を 行ふといふ方で，其れから行政上の法律規則を執
	を	191	06	る．即ち法律を制定するの力其れから政	を 行ふの力，其れから裁判をするの力とかう申した
	を	191	08	判をするは法律を執行するに止まる．政	を 行ふのも亦，法律を執行するに止まるものである
	を	193	03	者が幾人もあつたことがありましたが事	を 行ふ者が多いと船頭が多くて船が山に上り，ツマ
	を	164	09	丁に抵る英将の邀飲を被り以て地主の情	を 修む．酒酣なる時に当り主，客に請ふて曰く君今
	を	253	10	故は種子を蒔いて之を世話をして其の実	を 収むると云ふまでには三月或ひは四月若しくは半
	を	069	14	兎も角も生計の道にはいけぬから他の業	を 修むる様にせよ，父兄たる者子弟たる者善く注意
	を	068	05	第一回の試験は三年間大学に於て法律学	を 修め殊に其の中一年半は必ず独逸の大学に於て修
	を	179	04	人矯風会の目的は社会の弊風を矯め道徳	を 修め飲酒喫烟を禁し以て婦人の品位を開進するに
	を	043	01	かりぢゃ．然るに支那は道徳を以て天下	を 治めると云ふ三代の主義で法律は賤しむる様にな
	を	162	15	の有るのはチト苛酷に過ぎた様だが乱国	を 治めるには重き典を用ふるといふことがあるから
	を	153	04	きめることであります．また人民は血税	を 納めるの義務があるといふことを憲法に掲げてあ
	を	267	04	法に致しませぬと，他の未決者から証拠	を 押し隠すの教授を受くるやうなことが有りますし
	を	114	13	類に限つて居るので其れだから，この命	を 惜しがる欲をば人類的の欲と言つて，飲食の欲の
	を	030	07	い．大方アマノガハと云ふものは円い者	を おしつぶした様な形したもので有るさうです．其
	を	163	08	いが何かで見ました）そこで信長は光秀	を 押し伏せて其の項に騎りかゝりサー飲め酒を飲む
	を	043	13	て残酷なことをしてはならぬと云ふこと	を 教ふることぢゃ．されども其れは，まるで世界の
	を	053	13	いがモロコシの字を知らないうちに仮名	を 教へ仮名の字面を知りましたら先づ「は」の字と

代表形	判	ページ	行	出現文脈	
（を）	を	053	16	暑寒用の手紙といふ様なものを書くこと	を 教へて，どれほどかの年月教へたら上等科のこと
	を	183	13	ものと同様に貞操を守るの義務あること	を 教へます．此の義務に於ては決して男女の区別は
	を	186	11	の品位に至つては更に高下の別なきこと	を 教へます．其の他に尚ほ例を挙ればキリスト教に
	を	254	10	保護会社の如きものを設けて或ひは仕事	を 教へ或ひは通常の雇人に世話をすると云ふやうな
	を	035	01	よく省みて智慧を研き身体を丈夫にし財	を 惜む欲の深い人だと思はれます．小欲の人は酒を
	を	115	11	飲む．然るに人類が其の品行の悪くなる	を 惜むといふは至つて高い欲に違ひは無いから其の
	を	115	15	といふものの甲斐はあるまい．さて品行	を 惜むといふ欲は人類ばかりに有るものだから，こ
	を	089	01	人の本当の有様，人々の不完全なること	を 教ゆるには基督教に若くは御坐りませぬ．基督教
	を	090	08	す．なぜなれば所謂聖書は神のミコヽロ	を 教ゆるもので御坐ります．基督教を用ひ天の光り
	を	043	08	道徳の意味は無くたゞ力の大いなるもの	を 恐れ敬ふのみのことぢゃ．禽獣でも地震でも雷で
	を	091	02	ぬ．基督教は人間の権力腕力などのもの	を 怖れぬ豪傑を育てる為めには至極善い宗教で御坐
	を	196	17	へひつこむと云ふことを知つたらば彗星	を 怖れるの念は減つて来るに違ひ有りません．夜間
	を	156	14	といふ人が考へたので其の人は天文を骨	を 折つて見たが日蝕や月蝕が算盤に合はないことが
	を	235	09	．其れに付て序ながら昔の学者は多く骨	を 折つて，さうして幸福を得ることは思ひの外少な
	を	237	14	昔とウラヘラになつた．今日の学生が骨	を 折つて勉強されても昔の人のと比べて見れば何で
	を	237	15	ば何でも無いことで骨の折りよい所へ骨	を 折つて，オマケに己れの大利益となることだから
	を	213	13	までも見るものだから第一に世間の流行	を 追つて時の好みに応じなければならないもので御
	を	224	03	々新狂言を作るに付ては兎角，時の好み	を 追つて人気に適ふやうにと心がける所から狂言作
	を	175	03	りませぬ．今の人は確かに後の人に義務	を 負つて居ります．非でありますか，是であります
	を	186	05	ます．何となればキリスト教に於ては女	を 男よりも卑しい者ともせず尊い者ともせず全く同
	を	091	07	を為すものは何で御坐りませうか．人間	を 衰へさせて殆んど畜生にまで下げるものは何で御
	を	230	15	く無形人ですから議政，施政，行政裁判	を 各々やらなければならないものです．右は行政区
	を	087	02	で御坐ります．この故に聖書と云ふもの	を 己れの信仰と品行とのノリとする者はこれ等の大
	を	236	16	有つた．其の外，西洋学をした為めに藩	を 逐はれ，また苦しめられた者も沢山有りました．
	を	139	17	効力と言ふものは兎に角ナポレオン三世	を 逐ひ出し出してしまつて今日の共和政治にしてし
	を	047	11	きことぢゃ．欧羅巴人が亜米利加の土人	を 逐ひまくりて其の土地を奪ふてしまひ，開けた印
	を	245	08	で万，已むを得ざるときは秩序安寧だけ	を 重もにしなければなりませぬ．と申して私は何も
	を	073	16	の全く反対したるものより生ずるとの説	を 思ひ出しました．一体この説は前人に労力は則ち
	を	098	05	そろしきかな，おそろしきかな，心は之	を 思ふに堪へず口は之を言ふに忍びず」といふ言葉
	を	098	07	彼のノルマントン号の事件の如きは心之	を 思ふに堪へず口之を言ふに忍びずといふことであ
	を	115	05	らば命を長くするやうにして人類的の欲	を 重んじなければならないのにヤッパリ動物的の欲
	を	159	04	にバイブルコーランと言つて仏者が仏経	を 重んじ儒者が四書五経を貴ぶと同じに大切のもの
	を	034	14	を費すことになつて種々様々に人に弊害	を 及ぼして参りませうと思ひます．併し大慾の人は
	を	153	15	ます．故に憲法は行政法に大いなる勢力	を 及ぼすものであります．故に憲法を知ることが必
	を	167	06	其の道理は万世に伝はつて人世に大功徳	を 及ぼすやうになりませう．さつきの宇川さんの「
	を	167	10	チャント分ると，どの位，人世に大功徳	を 及ぼすか知れますまい．実に面白いことではあり
	を	043	07	申せぬことぢゃ．道徳は教法者が大層骨	を 折りて開いた．教法と云ふものも野蛮の教法と開
	を	157	16	あの佐田介石が天を動かさうと云つて骨	を 折りましたが中々動かんと云ひました．さうで，
	を	002	17	が有りまする．例へば家を建るとか織物	を 織るとか大砲を拵へるとか薬を煉るとか其の外物
	を	235	10	得ることは思ひの外少なく今の学者は骨	を 折ることは少なくして幸福を得ることは思ひの外
	を	247	04	ことに無頓着で有りますから「おれが子	を おれが殺すのに何の構つたことが有るものか，其
	を	190	17	は行政法の部にはいりますから地方行政	を 終りましたときに申し上げて見たいといふ考へで
	を	212	11	り長くなりますから今一言して此の講談	を 終りませうが，千九百〇九年，即ち今から二十六
	を	250	06	之を行ひまする．付ては此の三つの教育	を 終りまして並の人間になりましたのを丁年者と申
	を	251	01	います．さうして今，申した罪人が学期	を 終りますと卒業してモトの良民に立ちかへります
	を	095	10	べきのに，たゞ陳述のみを以て其の裁判	を 畢りたるは俗に言ふ片落ち裁判で御坐りませう．
	を	239	14	ナカ沢山なことで有りました．此の旅行	を 畢りまして帰京しますると，スタチスチック社社
	を	041	12	もので有りたに違ひ無い．英国の開化史	を 書いたＢｕｃｋｌｅと云ふ人が「道徳は思ひの外
	を	052	05	懲役二年に処することとしモロコシの字	を 書いた書物は広い原へ持つて往つて焼いてしまふ
	を	052	16	り庭訓往来の様な文体となり其れで記録	を 書いたのが東鑑，其れが段々流れて来て一筆啓上
	を	052	17	といふ様な文体になつたので漢文で公文	を 書いたのが流れて来たので御坐ります．其の間に
	を	119	14	只今此の会へ出る前に少しばかり其の事	を 書いて参りましたが西洋の学者が酒が人間社会に
	を	140	05	言ふ人が之と同時にウェバリーノベルス	を 書いて丁度其の時代が馬琴の八犬伝を書いた時分
	を	140	06	スを書いて丁度其の時代が馬琴の八犬伝	を 書いた時分と，イギリスでウ／ヲタースコットが
	を	140	06	／ヲタースコットがウェバリーノベルス	を 書いた時分と同じことで，スコットが其の筆先き
	を	142	12	跡を絶ちズット下りまして馬琴の八犬伝	を 書いた時分が最も小説の盛んなる時で其の後は大
	を	143	12	郎の娘節用の如きものもたゞ男女の痴情	を 書いたものだと申しますが私は斯様なものを貴ぶ
	を	150	14	，また其の職務の遺伝法といふものなど	を 書いたのが憲法で，憲法と言へば一国組織の謂で
	を	158	10	たに違ひない．後世，朱子が論語の集註	を 書いた時分に天の怒りだと書いたのを見ると朱子
	を	162	17	百字あまりも有るが今のは私がアラマシ	を 書いたのだ．また酒の為めに大事業が中道で成ら
	を	165	14	ものは，どの位まで開けてゆくか其の事	を 書いたものも無いから誰にも分りませぬ．人間社
	を	169	12	羅巴に行く者との人数，年齢，職業など	を 書いたものを見ませぬから委しいことは知りませ
	を	203	09	で有ると云ふことが分りました．抛物線	を 書いて居る間は彗星と云ふものは極遠から極遠に

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（を）	を	２０３	１１	違ふ所だと言つて居ましたが今度は楕円	を	書いて居るのも有ると云ふことまでが分りました
	を	２０６	０８	したのはＥｎｃｋｅのよりは大きな楕円	を	書いてＨａｌｌｅｙのよりも小さいので有ります
	を	２１０	１１	はショッチュウ其れ等の迷ひを解くこと	を	書いて居りますが，日本などではドウかソンナ説
	を	２１８	０４	花物語，続世継，水鏡などのやうな実事	を	書いたものにも巻々の標目を立てゝ小説めかした
	を	２２０	０５	とで有りませう．まして曽我兄弟のこと	を	書いた曽我物語だの，義経のことを書いた義経記
	を	２２０	０５	ことを書いた曽我物語だの，義経のこと	を	書いた義経記などは事実よりも作り事の方が沢山
	を	２２０	１２	つて善と悪のヂーサン，バーサンのこと	を	書いたものや，鉢かつぎの草紙と云つて継母に悪
	を	２２１	０５	喜ばせるを手柄とし専ら遊里の事態など	を	書いた八文字屋本と云ふものが流行し其れから明
	を	０３３	１４	が慣習になつて居ます．其の外，近来国	を	開化させるとか文明にしようとか国を富すとか強
	を	１０３	１７	は明瞭でありませう．次ぎに日本の国情	を	外国に知らしむる方便は何かといへば英語を盛ん
	を	１１９	１６	なり，また酒疫なり」と述べました．之	を	解して見ると人心に伝染する内密の流行病を生ず
	を	０４４	０７	るに法は大いにヒカヘメなるもので唯人	を	害しさへせねば其れで許すのぢゃ．且法は政府が
	を	０４４	１３	夫は自ら利して其れに対する臣と子と妻	を	害して居ることぢゃが其れが実は支那の道徳にか
	を	０４４	１６	．即ち己を利することを許すなれども他	を	害してはならぬと云ふことも矢張り今の文明と云
	を	０２３	１１	此の世界は広いもの（此の世界とは皆な	を	概した世界で）其れに比べると地球は誠に小さい
	を	１７９	０４	徳を修め飲酒喫烟を禁し以て婦人の品位	を	開進するにありと規則書に見えますが凡て社会の
	を	０４２	１１	を許すは固よりなれども唯其の為めに他	を	害するの事を行ふてはならぬと云ふことが本趣意
	を	０４５	０４	てあるに違ひ無い，法律の上で一般人民	を	害する法が有るのぢゃ．其れなら共和政治は公明
	を	０４５	１２	のは女から参政の権を奪ふてあるので他	を	害する法が立ちて有るのぢゃ．則ち一方の人を利
	を	０４５	１６	をもちて居ることぢゃ．悪い事をした人	を	害するに首を斬るとか又は懲役に処するとか禁獄
	を	０４６	０５	為めに害せられるのぢゃ．して見れば他	を	害することを行ふてはならぬと云ふ主義は立たぬ
	を	０６１	１６	用の弊たる我が邦人をして暗々裏に健康	を	害すること頗る大いなるものと思ひます．所で斯
	を	０６４	１６	来ませう．又従つて二十余万の人の健康	を	害することも大いに減じませう．されば人力車を
	を	１８１	１１	た大事な改良で御坐りませう．酒の社会	を	害することは実に夥しいことで御坐りませう．煙
	を	２１３	１６	には小説と云ふものは人の心を乱り風俗	を	害するなどと云ふ説も有りました．其れから演劇
	を	２３７	０６	ので無くて西洋のことを学べば自分の身	を	害することは有つても利することは到底，望みは
	を	１０６	０４	ピング，アクトと千八百五十五年に其れ	を	改正になつたマーチャント，シッピング，アクト
	を	２１４	１０	天保年中の老中，水野越前守が大層政事	を	改正した時に「楽屋に出入するときの外は必ず編
	を	２６６	０７	用ひ沈黙させて其の所為の悪かつたこと	を	回想せしめ之を悔るやうに致させまして，大分に
	を	１３９	０４	ことも風俗を紊乱することも出来る．之	を	害用するときは甚だ深い害が出て参ります．其れ
	を	０５８	１４	と云ふ病気があつた所が其の都府で下水	を	改良し水の通利を良くしてから其のチフス先生（
	を	０５９	０７	．又近くは我が陸軍や海軍で兵士の食物	を	改良し空気の通暢を善くし衛生に注意せらるゝの
	を	１３８	１５	反省することもあれば随つて社会の道徳	を	改良することも出来まする．政治小説には其れに
	を	１３８	１６	まする．政治小説には其れに連れて政治	を	改良することにも向つて参ります．また其のキゝ
	を	１３９	０５	に之は害の有るものと認めたるときは之	を	改良しなければならぬものと思ひます．して此の
	を	１４１	０９	が有る．学問が無くつて品行が悪くて之	を	改良する道を知らぬ．斯様なことで有れば卑しめ
	を	１４１	１０	らるゝも当然なることで有りませう．之	を	改良するには小説家の資格からして改良して行か
	を	１４５	０９	道徳を助ける様にもなり風俗を直し政治	を	改良する様にもならうと思ひます．其れをするに
	を	１４５	１７	域が広からうと思ひます．また此の演劇	を	改良したら面白くなくなり観者が無からうと言ひ
	を	１４５	１７	者が無からうと言ひますが兎に角，小説	を	改良すれば其れが手本になつて面白いことも出来
	を	１４６	０７	なるものが果して出来たなら間接に風俗	を	改良することも出来，道徳の腐敗を防ぎ社会を改
	を	１４６	０７	することも出来，道徳の腐敗を防ぎ社会	を	改良することも出来やうと思ひますれば此のこと
	を	１７９	０５	りと規則書に見えますが凡て社会の弊風	を	改良すること取り分け婦人の地位を高くすること
	を	１８１	０３	ます．また近来は教外の先生等にも社会	を	改良するには是非ともキリスト教の力を借りるよ
	を	１８２	０５	らう筈は御坐りません．それ故に今社会	を	改良するに最も必要なことは一夫一婦の教の普く
	を	１８２	０８	道や仏道と大に違ふ所の一で，また社会	を	改良する勢力ある所以で御坐ります．然し左様申
	を	２４６	０９	ので有りまする．故に刑と云ふ字は人心	を	改良すると云ふ意味で御坐います．よつて監獄に
	を	２５２	０９	あれ，脅迫懲治者にあれ，皆な当人の心	を	改良するが目的で有りまして，また一方からする
	を	２６２	０６	々と改良を加へまして監獄の目的は人心	を	改良すると云ふことに定まりました．故に今日の
	を	２６３	０９	随つて段々に雑居を許して果して其の心	を	改良したるや否やを試みるもので有りまする．此
	を	２７６	０３	義は罪を犯す者があれば何卒して其の心	を	改良させたい，之を直して善良なる人民にしてや
	を	１７２	０５	使つて）布いてくれたこと下の関の償金	を	返して，くれたこと罪人引き渡しの条約を立てた
	を	１８３	０４	も思はず甚しきは妾を置き妾となること	を	却つて栄誉のやうに思ふものが御坐りますが，こ
	を	２３７	０７	望みは無かつた．けれども左様なる利害	を	顧みず志を堅くして右の二大難事を遂げて来たの
	を	０４４	１４	る．其れぢゃから他人を利して己の利益	を	顧みる勿れと云ふ主義も本当に行はれるもので無
	を	０４７	０３	ば自分の利益だけ謀ればよい，他の利益	を	顧みる訳には参らぬことぢゃ．其れは固より当り
	を	１０９	１５	等の事実であるに同胞が端艇に乗ること	を	肯じなかつたといふのは甚だ請け取れぬことでは
	を	２１９	０６	も其の文が気に入れば女に勧めても返書	を	書かせ，また娘が文を受け取つても親が不承知な
	を	２１３	０４	と演劇との関係」と申す此のやうな演題	を	掲げると定めてシッカリとした名説でも有るやう
	を	０４８	１３	一部分ぢゃから無理なことをしても国威	を	輝かさなければならぬと云ふことも無く彼我の差
	を	１３４	０８	で御坐ります．「人々の前に爾等の光り	を	耀かせ，さすれば人々爾等の善き行ひを見て天に
	を	０８７	１３	神のノリまた基督の総ての高尚なる仰せ	を	書き載せ神のミコゝロを顕はす所の聖書なりと云
	を	１３２	０６	，かの敵の色々の働きは水の外面に文字	を	書き或は刀を抜いて空気を切るが如くに一向アト

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（を）	を	139	09	る．御承知の通りセクスピヤは彼の芝居	を	書きましたる人なるが其の智能の多いことは凡庸
	を	144	01	宗北宗などの山水の美景或ひは武人の像	を	画くものも有れば男と女とチヽクリあつて居ると
	を	144	01	れば男と女とチヽクリあつて居るところ	を	画くものも有る甚だしきに至つては禁ぜられて今
	を	175	02	彼も我が身にかゝつて来ます．若し義務	を	欠くと人が人とせぬやうになりはしませぬか．さ
	を	257	03	まして，例へば衣食住の一部，又は全部	を	欠く者（即ち壮健なる貧民），貧病人，及び家庭
	を	132	01	な設理を避けて学術のよく定まつた事実	を	斯の如くに用ふるならば，この貴い学術をして宗
	を	007	01	の有様は反対した方にばかり流れ益々字	を	書く方が，はやって来て字を書くことだの支那流
	を	007	01	流れ益々字を書く方が，はやって来て字	を	書くことだの支那流の道徳だの禮式だの品行だの
	を	007	07	う．だが実際裸にしてふるつて見たら字	を	書くことの外は知らざる者が多いで有りませう．
	を	032	14	だと大層面白くなる．併しどの国の歴史	を	書くにも先づ其の国の地図から始めるが順序です
	を	052	12	つびつけいじやう」とやる様になり手紙	を	書くにも甚だ困る．其の外一旦に大決断をやるの
	を	052	15	しいから已むことを得ず漢文に似たもの	を	書く様になり庭訓往来の様な文体となり其れで記
	を	053	16	其れで年始暑寒用の手紙といふ様なもの	を	書くことを教へて，どれほどかの年月教へたら上
	を	144	13	が少数で中々満足いたされません．小説	を	書く人が多数の中には和漢の古今に通じて居り筆
	を	158	12	まで萌黄の蚊帳をつつて線香をたてゝ臍	を	隠したか，ドウだか其れは私にはお請け合ひは出
	を	145	08	真面目を顕はす様にもなり段々其の事業	を	拡張したなら遂に社会の道徳を助ける様にもなり
	を	150	15	いふものはたゞ憲法に基いて憲法の趣意	を	拡張する為めに法律，規則を設けるもので憲法で
	を	008	16	章を読ませるがよい．これは少しづゝ時	を	かくれば覚えられる．漢字もやらせるがよいが，
	を	011	04	諸君．我々はどこに居るかかういふ問題	を	かけましたら「造作もない問題だ，誰でも答へが
	を	003	11	かゝつて居るかといふと肝腎の智識に時	を	かけるが少なくつて智識の方便に莫大の時を費す
	を	255	01	た牢屋の前を通ると家へ帰つて門前で塩	を	かけると云ふ風も有りまするが其の原因は昔の牢
	を	255	15	の門前を通つて来たら家へ這入る前に塩	を	かけると云ふやうなことは決して有りますまい．
	を	225	03	つて儲けづくも有りますから多くの年月	を	重ねなければ迚も改良の効は顕はれますまい．さ
	を	060	12	ひずして酒を呑み煙草を喫し無益の美服	を	飾り放蕩を極め身を過まり家を亡ぼし遂には獄内
	を	092	08	花園に咲いて居る花が能く勉強して自ら	を	飾りながら思はず知らず自然と其の咲いて居る花
	を	092	09	思はず知らず自然と其の咲いて居る花園	を	飾る」と云ふことで御坐ります．花の様な智慧分
	を	138	06	申してスペンサーのフ／ヒロソフ／ヒー	を	貸して呉れ之を寐しなに一ページ読みたまへと申
	を	057	15	諸君が斯る幸福なる県下に居らるゝこと	を	賀する訳で御坐います．次で本題を陳べやうと思
	を	115	02	類といふものは低い欲よりは高い欲の方	を	勝たせなければ人類たる甲斐はない．而して動物
	を	181	02	リスト教の力に依らなければならぬこと	を	堅く信ずる者で御坐ります．また近来は教外の先
	を	236	12	ることは無かつた．豪傑の士が自分の志	を	堅く立てて人に嫌はれても忌まれても，やり遂げ
	を	237	07	つた．けれども左様なる利害を顧みず志	を	堅くして右の二大難事を遂げて来たのは実に感服
	を	132	12	の中にて造物主の御心に本づいたる道理	を	固く立てるならば，すべての迷ひといふものは自
	を	198	06	はドンナもので有るかと云ひますと楕円	を	形ちづくるには最も容易いテダテが有ります．其
	を	224	02	に向いたから狂言座の方でも其の浄瑠璃	を	語つて俳優が人形の代りに働くやうになりました
	を	158	02	無い．モノゴトにしろ，実際，真実の所	を	カッキリと落ち付けるのが学問でござす．誰でも知
	を	160	04	す．さう煎じつめると学問は天地間の物	を	カッキリと心に落ち付けるのが学問の極点で，教
	を	250	13	して置く訳には参りませぬから再たび之	を	学校へやつて其の心を改めさせたいが，学校では
	を	047	12	ふてしまひ，近頃は朝鮮の領分の巨文島	を	勝手に取りてしまひ，安南でも緬甸でも勝手のこ
	を	080	15	々の善き所に加へて人を貴くし，また人	を	活発にする新しい原素をつくる仕方で御坐ります
	を	162	10	ひて其の父母を孝養し其の父母喜ばゞ酒	を	家庭の間に用ひ献酬歓を承けて以て天倫の楽みを
	を	115	12	つて高い欲に違ひは無いから其の高い欲	を	下等の欲に勝たするやうに，しなければならない
	を	236	01	初めは蘭字を習ふことは禁ぜられて蘭語	を	仮名で書いたことださうで有ります．其の様の次
	を	099	01	付て我々が共同して二十五名の人の不幸	を	悲しみ又外国人の不道徳なるを怒つて其の罪を鳴
	を	100	14	タの泡と消え海底の藻屑と化したる不幸	を	悲しむのみならず啻に訴訟を起すのみならず啻に
	を	089	10	それのみならず真理の高尚なることなど	を	兼ねて示す宗教で御坐りますから，進歩するの志
	を	059	01	ことで今では其の居候ではないチフス病	を	鍾太鼓で探す程であると云ふが，これ則ち衛生の
	を	105	07	に付て或る論者は「我々の同胞二十五名	を	彼の一件に付て失つた，此の事に付ては船長ドレ
	を	074	06	玩弄物を買ふとか又は家政の為めに田地	を	買ひ貸家を建つて家賃を取るなどと申すことなど
	を	153	11	憲法できめるが鉄道を設ける為めに土地	を	買ひ上げるとかいふことは行政法できめなければ
	を	004	04	へたりする者が多くあれば，こちらの物	を	買ふ人が減り，こちらの物を買ふ者が減れば，こ
	を	004	04	こちらの物を買ふ人が減り，こちらの物	を	買ふ者が減れば，こちらは次第に衰微する．交易
	を	074	06	らば書物を求めるとか子供ならば玩弄物	を	買ふとか又は家政の為めに田地を買ひ貸家を建つ
	を	005	16	こに人の気は付かない．具足を着たり甲	を	冠つたりしてはイクサは出来ぬことは誰でも知つ
	を	214	11	に「楽屋に出入するときの外は必ず編笠	を	冠れ」の「アタマをヤッコにしてしまふ」などと
	を	015	11	見当がつけにくいから天文学者が物さし	を	替へます．物さしを替ると云ふのは例へば糸など
	を	275	01	かゝるので右から左へと云ふやうに総体	を	変へる訳には参りませぬ．また其の次に重もなる
	を	187	06	より永く真正の幸福を受る時が来たこと	を	神に感謝した凱歌で御坐ります．然らば，これよ
	を	122	11	たり夫婦の間に不和を生じたり家の乱れ	を	醸したりするのも酒から起ることが余程多い様に
	を	065	12	なければ後年必ず測るべからざるの惨状	を	醸すに至りませう．古語に曰く「木静ならむと欲
	を	020	03	に自分には明りを持たないで太陽の明り	を	借りて照つて居ります．所で此の星は地球の軌道
	を	136	09	書の高い所からして憚りながら神の御眼	を	借りて世の中の有様を観れば面白いことは言はれ
	を	185	14	悪習を洗滌するには矢張キリスト教の力	を	借りなければ，なりません．第三には男女同等の

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（を）	を	２４２	１０	ふ意味で罪人又は刑事上の被告人又は金	を 借りて払はない者などを拘禁する所でありまする
	を	１８１	０４	を改良するには是非ともキリスト教の力	を 借りるより外は致し方がないと論ずる人が御坐り
	を	０１５	１１	ら天文学者が物さしを替へます．物さし	を 替ると云ふのは例へば糸などの長さを測りまして
	を	２４６	１４	ると之に対して其の所行の悪かつたこと	を 嚙んで，くゝめるやうに説諭して其の心を取り直
	を	２６６	０４	まして此の所に於ては放恣不良の幼年者	を 感化し以て犯罪の予防をすることで有ります．こ
	を	００３	０４	ぬ．されば其の方便と真の智識との関係	を 考へて見なければならない．一体，人には時の際
	を	０９９	１６	合に臨み義侠心の発達するものなること	を 考へ而して二十五名の我が同胞を棄てた放擲した
	を	１８９	０４	機公論に決すといふことがありますが之	を 考へて見ると事をきめるには二つ以上の頭を以て
	を	２１５	１６	も海を渡ることが出来ない．ソコデ計略	を 考へて或る日，鰐と相談をして「貴様の眷族が多
	を	２１９	０４	をやり其の返書の体や歌のヨシアシなど	を 考へて気に入れば云ひより，また女の方でも男の
	を	２３７	１６	引き請けながら学問を勉強した人のこと	を 考へて其の心持になつて，やつたら大変な学者に
	を	２１７	０９	人々の翫びとなつて居ましたからソコラ	を 考へ合せて然るべき学者が始めて此の空中楼閣の
	を	０５４	０４	開くに如かずと思ひます．また後のこと	を 考へると前に申した秦の始皇の話しの様に書物を
	を	０６１	１７	所で斯く人力車濫用の弊を生じたる所以	を 考るに其の原因となるべきもの種々ありますが第
	を	１０８	１０	ぬ．併しながら未だ知り得ない所の事実	を 考へるのは敢て難いことでは無い．船長運転手等
	を	１１９	０７	此の間中から忙くつて其れが為めに趣向	を 考へることが出来かねました．其れで昨夜フト思
	を	２４８	０５	良なる人間になるので有りまする．然る	を 監獄に這入りましてからは益々悪い上に悪い者に
	を	２４８	１７	有りませぬ．何故に罪人にあらざるもの	を 監獄に拘禁するかと云へば逃亡の虞れ有ると証拠
	を	２５５	１０	なものではない有様でありませう．然る	を 監獄ばかり先祖が悪かつたと云つて賤しめるもの
	を	２７４	０３	四百五十五円となりまする．而して其れ	を 監獄現在人員に割り当てまするに一人に付き四十
	を	２０２	０４	何日ばかり時間を費せらるゝと云ふこと	を 勘定する式を与へました．其の式によつて勘定を
	を	２０６	０２	ます．）其の彗星のあるいて居ります道	を 勘定しましたが抛物線では有りません．其れなら
	を	００８	０１	やぶるがよい．さればどうも今日の有様	を 感心して居らるゝ場合では無いが随分感心して居
	を	１２７	１３	第二．また或る説教師は総て学術の趣意	を 感心して，また前に申した仕方の間違つて居るこ
	を	０４８	０５	は交際が益々盛んになりて来たから利害	を 感ずることが多い．故に電信だの郵便だの互に条
	を	１０３	１２	となりしならむ」と弘法大師の非凡なる	を 感ぜらるゝに相違なし．而して日蓮記を読んで見
	を	０９０	１４	直接に誹る者が滅多に御坐りませぬ．人	を 完全なる所へ進ませる模範は耶蘇基督より外に御
	を	０２０	０７	満月の様に見ゆるので余程よく其の表面	を 観測することが出来る．天文学者が知つて居るも
	を	０２８	０９	る様なことが有ります．そこで此等の星	を 観測して見ると中には面白い星が有る，一つ二つ
	を	０６８	０２	其の需要と供給の比較は如何と云ふこと	を 簡短に申し述べて諸君の御参考に供しようと思ひ
	を	１１９	１５	ｃｈｏｋｋｅと云ふ人は酒の害の及ぶ所	を 簡短なる言葉にて「酒を好むことは悪鬼の働きな
	を	１４３	０８	は出来ぬものでドウ言ふ塩梅にしたら人	を 感動せしめるぞと云ふところに気を付けねばなら
	を	２７２	１５	県知事が之を管理し，内務大臣は単に之	を 監督することに止まるのでありまする．さて，こ
	を	２６２	１４	，これは昼間は厳密なる規則を以て囚徒	を 緘黙せしめ他の囚徒と同一の場所にて役業に就か
	を	２７２	１５	監，其の他の府県に於ては府県知事が之	を 管理し，内務大臣は単に之を監督することに止ま
	を	２５６	０３	るもので有りまするから貧民救助のこと	を 簡略に述べませう．貧民の救助と申しまするもの
	を	１２３	０１	はドウいふ結果を得るかと云ふ様なこと	を 気を付ける様にしたら，さまでむつかしいことで
	を	００４	１７	しいが今日は散切り坊主で，つゝつぽ袖	を 着てなかなかユウチュウカンと長い毛の筆で偏冠
	を	００５	１３	字をやつて居て競争が出来るなら．甲冑	を 着て鎗長刀を持つて西洋人とイクサをするがよか
	を	００５	１６	．併し，そこに人の気は付かない．具足	を 着たり甲を冠つたりしてはイクサは出来ぬことは
	を	０６２	０９	ることです．諸君試みに御覧なされ和服	を 着て歩行するときは裾は常に脛脚にからまり木履
	を	１３８	０１	ンサム等の本を読みましたときには上下	を 着た人に小言を頂戴いたす様な心持ちも有りませ
	を	０９８	０９	へまする．苟くも人情あるものは人の死	を 聞いて悲しまぬものはなく殊に其の非命の死を聞
	を	１３３	１０	の宣教師が「アゝこの役人は既に基督教	を 聞いた者に相違は無い」と思つたが遂に本人に伺
	を	１３３	１２	エ，さうでは御坐りませぬ，未だ基督教	を 聞いたことは御坐りませぬ，けれども見たことは
	を	１３３	１６	りました．けれども去年かの者が基督教	を 聞いて不意に信仰を起したものになりました．が
	を	１０７	０３	が同胞中に如何なる種類の人があつたか	を 記憶せらるゝであらう．即ち暫く東京に遊学して
	を	１６１	１１	起り，また我慢といつて他人の言ふこと	を 聴かずに我を張るといふことが起る．下等社会な
	を	２４１	１５	云ふことを知らずしてカタッパシのこと	を 聞かれても何も役に立ちますまい．例へば或る人
	を	００２	０２	，お前は仮名の会の会員ださうだが見込	を 聞きたいとの仰せ．私は別に見込は無いと申した
	を	０９８	０９	て悲しまぬものはなく殊に其の非命の死	を 聞きては流涕長大息いたさぬものは殆んどありま
	を	１２３	０６	居るさうです．私は先刻始めて其の話し	を 聞きましたが実に妙な慣はしではありませぬか，
	を	１６４	１４	兵艘三隻をして前往駐守せしむと．客之	を 聞き猶ほ以て戯れと為す．至れば則，果して英幟
	を	０５７	１２	浦和川越熊谷深谷行田到る所衛生会の声	を 聞くのみならず今日の如きも来会せらるゝ者一千
	を	１０２	１１	勘くない．然るに外国に遊んだ人の話し	を 聞くに西洋で日本の実際の有様を知つてる人は万
	を	１２２	１６	上からドンな病気が起つたかと云ふこと	を 聞くとか，警察官に懇意の人なら酒の上からドン
	を	１２２	１７	ドンな罪を犯した者が有るかと云ふこと	を 聞くとか田舎に居る人は濁酒を多く飲む者はドウ
	を	０９３	１１	併し各新聞紙がこれまで喋々して居る所	を 聞けば或ひは謀殺に当ると言ひ或ひは故殺に当る
	を	１８６	０２	りません．印度や土耳其の婦人の事など	を 聞けば実に憫然に堪へぬことどもが多く御坐りま
	を	１８９	１３	員が出て討論をする．また立法権で法律	を 議決したときには執行権者が裁可する．裁可して
	を	２４３	０８	を設けて国民全体の望みに適ふやうに事	を 議決せしめ，また一方に於ては政府即ち内閣大臣
	を	１６４	１１	，便に乗じ衣袋の内より紙を取りて数字	を 揮灑し某弁に頤指し施措を飛行し復た客と酌む．
	を	１８９	０１	ぬが神代の頃に八百万の神が集まつて政	を 議したさうで御坐います．これ等は議政といふ立

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（を）	を	189	12	例へば法律の草案を出すとか，また法律	を	議するときには政府の委員が出て討論をする．ま
	を	192	11	ますが，ツマリ二つ以上の頭を以て万事	を	議することになつて居ります．其れからよいと思
	を	192	09	地方官会議を開いて之に人民に代つて事	を	議せしむるといふことの詔もありましたしまた元
	を	180	01	羅巴諸国の監獄改良のために甘じて一身	を	犠牲になさしめた者は何で御坐りますか．「我が
	を	007	04	を持つて来て名筆を揮はれむことを請ふ	を	競ふ世の中．なかなか漢字の貴いことを知つては
	を	071	04	諸君は益々刻苦勉励せられて他日の成業	を	期待せられ又学科上に就て教師の任を執らるゝ方
	を	246	13	存じませぬと枝葉に至つて大変な間違ひ	を	来します．例へば監獄に罪人が這入りまするとき
	を	260	17	なる，此の度合ひを超ると惰民製造の弊	を	来すと云ふのを判断するのは容易いことで有る．
	を	161	14	だ．元亀天正などの頃には酒の上から人	を	斬つたことが有つた．其の後，旗下ぐらゐでも酒
	を	161	15	の後，旗下ぐらゐでも酒の上で家来など	を	斬つたことが有つた．実に悪いことは酒に基かな
	を	251	04	人を殺したとか云ふやうな者は直ちに首	を	斬つてしまひましたが今日では人を殺した者でも
	を	060	12	の言ふことをも用ひずして酒を呑み煙草	を	喫し無益の美服を飾り放蕩を極め身を過まり家を
	を	150	02	ふものは人民の一個人と一個人との関係	を	規定して，たとへば民法，商法，訴訟法の如き人
	を	150	03	，商法，訴訟法の如き人民と人民間の事	を	規定したもので公法といふものは国と国との関係
	を	150	04	もので公法といふものは国と国との関係	を	規定し其の次は国と其の国の人民及び其の国に住
	を	150	05	て居る者（外国人でも何でも）との関係	を	規定したものであります．色々ありますがツマリ
	を	150	06	た二つに帰着するもので国と国との関係	を	規定したるものを外公法または万国公法と言ひ，
	を	150	07	国民と其の国に居住して居る者との関係	を	規定したるものを内公法と言ひます．この内公法
	を	226	09	個人の権利，利益と全国の利益との関係	を	規定すると云ふのが目的で御坐います．よつて此
	を	235	08	るとイケヌから益々進歩を謀られむこと	を	希望しますると云ふことを一言いたします．其れ
	を	106	13	みを晴すべき公平正当の裁判あらむこと	を	冀望する場所は則ち今回神戸領事庁に於て更に開
	を	110	14	し以て公平至当なる裁判を下されむこと	を	冀望いたします．然れども神戸在留の英国領事は
	を	190	02	ち第一には政府といふものが一国の政治	を	きめて執行するといふものである．第二は行政府
	を	261	06	るゆゑ各々其の釣合を宜しくし其の範囲	を	きめなければなりませぬ次第で有りまする．よつ
	を	152	13	．ツマリ行政法は被治者と治者との関係	を	きめるものと言つてもチョイと分りますが併し憲
	を	188	09	社会を為すときには此の社会に関する事	を	きめる権力が無ければならぬ．其れをフランスで
	を	189	04	ふことがありますが之を考へて見ると事	を	きめるには二つ以上の頭を以てし，きめた事は一
	を	189	07	居るものであります．即ち立法権は法律	を	きめるものであり，執行権の方は立法権できめま
	を	191	16	．其れで立憲権力即ち一国に関すること	を	きめる権力といふものは之を主権と名づける．こ
	を	193	14	国の例などを見てこれをも参照して細則	を	きめるだけで人民の自由とか所有権とかいふこと
	を	253	08	の不良の度合ひに応じて右各科目の多少	を	きめることで有りまする．また，只今申した如き
	を	111	05	他東洋人を蔑視し之を蔑視するの極，之	を	虐待して殆ど彼等と同種類の人類でないと思つて
	を	111	06	即ち今回の事件の如きは彼等が平常我々	を	虐待する種々様々なる一部分であらうと思はれる
	を	256	16	人を生ずることになりまするから，貧民	を	救助すれば犯罪人を減少すると云ふことになりま
	を	257	11	の前貸しで有ります．之と同じく貧病人	を	救助するのも一時の資本前貸しで有ります．而し
	を	257	11	前貸しで有ります．而して壮健なる貧民	を	救助し及び不良少年を矯正（即ち心の救助を）す
	を	259	12	育院に於ては東京府内に起るだけの貧民	を	救助すると云ふ如きことであります．第三，救助
	を	012	04	．このことについて私が知つて居るだけ	を	今日諸君に御話しをしようと思ひます．私が「地
	を	188	08	行政法の原則に大関係をしますから其れ	を	今日チョット申し上げて見たう御坐います．凡そ
	を	137	13	くは無いが凡そ教育に関する事柄の改良	を	教育会の外から持ち出されては済まないことと思
	を	263	16	申しまして，此の部に於ては不良の少年	を	教育感化し，また無籍の幼年者を教育感化し，ま
	を	263	17	の少年を教育感化し，また無籍の幼年者	を	教育感化し，また幼年犯罪者を教育感化いたしま
	を	263	17	の幼年者を教育感化し，また幼年犯罪者	を	教育感化いたしまするところで有ります．此の部
	を	233	16	り西洋の名家の書いた本を翻訳して其れ	を	教科書にする支度をしなければならないと云ふこ
	を	074	16	の労力に向つて報酬の金を払ふ其の労力	を	供給してくれる人は其れを供給してもらふ人の為
	を	074	16	払ふ其の労力を供給してくれる人は其れ	を	供給してもらふ人の為めには価値を有するので其
	を	073	06	これに付て何か一言する様にといふこと	を	教師諸君より依託を受けて居りますゆゑ何か新奇
	を	224	12	ふものを起されましたのは定めて此の弊	を	矯正しやうと云ふので，強ち西洋風を移されると
	を	253	04	言ふのは末丁年者の監獄と云ふ意味で之	を	矯正院と言はうが，矯正監獄と言はうが，或ひは
	を	257	12	して壮健なる貧民を救助し及び不良少年	を	矯正（即ち心の救助を）するは一時の資本前貸し
	を	258	08	族の矯正なき者，又は矯正の足らざる者	を	矯正すること（即ち心の救助）で有りまして，こ
	を	148	02	支弁するとか府県会で出すとかいふこと	を	行政上できめなければなりませぬ．また，この土
	を	151	11	人民の公法上で定まつてある権理と義務	を	行政上の法律規則で行はれるやうにするのです．
	を	230	03	，町村と云ふことになつて居ります．之	を	行政上の区画と定めましたのは廃藩置県のときか
	を	040	06	なりても今現に多くの兄弟で一人の女房	を	共有して居る社会が有る．其の様な社会では男女
	を	060	10	も出来ぬくせに忽ち学者ぶりて働くこと	を	嫌ひ，田畑があつても耕すことを厭ひ，余地があ
	を	173	05	が国の人はこの恩といふ教に養はれ不潔	を	嫌ひ潔白を好み進むことを好んで退くことをいや
	を	002	13	でも左袒する．そこでナゼそんなに漢字	を	嫌ふかといふ問題になる．仮名にはよい所が有り
	を	002	14	漢字には悪い所が有るか，其の様に漢字	を	嫌ふといふはまた如何なる訳ぞといふに，いづれ
	を	258	15	又は引取人なき者，又は他人の使傭する	を	嫌ふ者が有ります．現在は引取人の無い者，又は
	を	005	06	ーだぞと忠告してチャンチャン坊主の毛	を	きり支那から留学生の一万人も二万人も西洋へ行
	を	127	16	の骨折をして近来聞いた所の新発明など	を	基督教に符合させようと思ふ様で御坐ります．こ
	を	045	16	ことぢゃ．悪い事をした人を害するに首	を	斬るとか又は懲役に処するとか禁獄に処するとか

代表形	判	ページ	行	出現文脈	
（を）	を	132	07	の外面に文字を書き或は刀を抜いて空気	を
	を	060	12	を呑み煙草を喫し無益の美服を飾り放蕩	を
	を	180	10	世界に於てギリシヤやローマが文物隆盛	を
	を	117	15	．私などは若し禁酒会にはいつて全く酒	を
	を	153	13	と分らないから名前をムヤミに変ること	を
	を	179	04	は社会の弊風を矯め道徳を修め飲酒喫烟	を
	を	181	10	つて既に規則書にも見えた通り飲酒喫煙	を
	を	063	02	ならず衛生に害ある囲碁等にワザと時間	を
	を	110	14	分なる審理を尽し以て公平至当なる裁判	を
	を	053	01	たのは草紙物語より出でまた漢文に訓読	を
	を	098	15	事件が世間に公けになるや否や政府は命	を
	を	248	12	所に於ては右の犯罪人及び嫌疑者の判断	を
	を	109	11	御坐りますまい．既に三人の同胞は端艇	を
	を	239	08	から信州上田追分等より有名なる碓氷峠	をを
	を	093	10	てより囂々或ひは之を筆に訴へ或ひは之	をを
	を	229	13	ぬ．戸長の大いなる町，即ち市街のもの	をを
	を	201	06	体，彗星は長の旅をする間にはミチグサ	をを
	を	101	10	ることで日本人民は忽ちにして封建制度	をを
	を	201	06	にはミチグサをくつて来ます．ミチグサ	をを
	を	201	07	くふと云つても小学校の子供がミチグサ	をを
	を	138	02	めば寝ることを忘るゝ様なことも有り飯	をを
	を	142	15	情夫が有つて其れに女がほれる遂に勘当	をを
	を	173	10	ならないが其の時分には西から来たパン	をを
	を	026	04	大きなものですが，こんな大きな物さし	をを
	を	114	16	居るからのことなれども，かういふもの	をを
	を	269	09	今申した八千四百十四人の幼年者の罪質	をを
	を	273	06	知の五箇所でありまする．また，其の中	をを
	を	145	04	敢て論ぜず多く集めて一つの小説改良会	をを
	を	138	13	に効能が著しい．馬琴若しくは其の流派	をを
	を	266	07	其の所為の悪かつたことを回想せしめ之	をを
	を	016	05	ませぬ．そこでザット地球と月との位置	をを
	を	180	11	の有様とキリスト教文明国の婦人の有様	をを
	を	180	12	の有様と支那印度や土耳古の婦人の有様	をを
	を	200	09	のが有らうから先のと今度のと其の形ち	をを
	を	085	08	に申しましたことを取り撮んで其の大意	をを
	を	276	02	義で，棒でぶつておけ又は道具でカラダ	をを
	を	026	07	ればなりませぬ．こんな長い距離は地球	をを
	を	030	06	ものは地球から見ますと帯の様にして天	をを
	を	013	11	て天と言ふものは広大無辺なもので地球	をを
	を	140	11	カケトリに来れば，まだ本屋から草稿料	をを
	を	088	01	かになりませうと存じます．未だ基督教	をを
	を	033	15	とか何会とかを立てて人間社会の大事業	をを
	を	181	10	坐ります．今日我が邦の社会に於て改良	をを
	を	064	11	如く有害なるにも拘はらず日に月に多き	をを
	を	053	15	」と「る」で「みる」，其の間に「を」	をを
	を	071	05	の任を執らるゝ方は一層の勉励と培育と	をを
	を	075	14	方がよいといふ．これは先進の説に意見	をを
	を	103	01	ち私が示したる二個の要点に非常の改良	をを
	を	168	16	になつて防ぎとめ色々とモノゴトに修繕	をを
	を	262	06	りました．然るところ近世は段々と改良	をを
	を	274	16	を中央政府の直轄と定め以て大いに改良	をを
	を	275	10	獄則を発表せられましてから非常の改良	をを
	を	142	13	盛んなる時で其の後は大体，馬琴の流亜	をを
	を	141	01	たでせう．馬琴尚ほ且然り況や其の流派	をを
	を	229	05	ふものが有ります．区は市街の大きな所	をを
	を	230	12	の十五の町村が聯合して共有して居るの	をを
	を	102	07	く攻撃する様なもののこれは即ち日本人	をを
	を	101	10	忽ちにして改良を主張し忽ちにして改革	をを
	を	124	10	をのべ伝へるうちに必ず二た通りのこと	をを
	を	121	13	何から罪を犯した者が多いかと云ふこと	をを
	を	099	08	過ぎないことであらう．即ち彼等は我々	をを
	を	099	09	等は我々を軽侮するの心あり彼等は我々	をを
	を	100	01	ら見たときには如何にしても彼等は我々	を

出現文脈	
切るが如くに一向アトにシルシの残らぬもので御	を
極め身を過まり家を亡ぼし遂には獄内に籠城する	を
極めた時の婦人の有様とキリスト教文明国の婦人	を
禁じたらば却つて身体の為めによく有るまいと思	を
禁じます．またお前の所のムスコは気違ひなら外	を
禁し以て婦人の品位を開進するにありと規則書に	を
禁ずるのもまた大事な改良で御坐りませう．酒の	を
空費し無理に人力に乗るとは実にハヤ濫用の極と	を
下されむことを冀望いたします．然れども神戸在	を
下して，すて仮名を附け其れが段々一種の真片仮	を
下して殺人罪の告訴を為し人民は競ふて義捐金を	を
下し，果して罪ある者には刑の言ひ渡しを為すだ	を
下すことに尽力して居つたといふことで御坐りま	を
下りて横川に出で，其れより汽車に乗り八月二十	をを
口に唱ふることになりました．併し各新聞紙がこ	をを
区長と名づけますのですから，戸長を人民で撰挙	をを
くつて来ます．ミチグサをくふと云つても小学校	をを
覆へし忽ちにして西洋の開化に酔ひ忽ちにして改	をを
くふと云つても小学校の子供がミチグサをくふの	をを
くふのとは少し違つて，これは天地間の自然にあ	をを
喰ふのが面倒な思ひも有りまする．私が或るとき	をを
喰ふ其れから困難をする後に団く理まるめでたし	をを
食ふと苦味の加減で奥歯に，はさまるやうで気味	をを
工夫して見ましても二十二万などといふ大きな数	をを
食へば身体が悪くなるとか善くなるとか，いふや	をを
区別して見まするとと謀殺，故殺，放火，強姦，窃	をを
区別しまするとと未決監は百七十五，已決監は百六	をを
組み立てるが宜しい．そこで互に討究して智識を	をを
汲む人が書いた小説は重もに勧善懲悪が主眼なれ	をを
悔るやうに致させまして，大分に悔悟の徴をあら	をを
比べて見ますと直径一寸の玉を拵へまして其れを	をを
比較て御覧なさい．今日の米国や英国の婦人の有	をを
比較て御覧なさい．実にキリスト教国とキリスト	をを
比べれば直に分る筈ぢゃ，何も面倒な勘定をして	をを
繰りかへして言ふならば此のことで御坐ります．	をを
苦しめろ，或ひはハリツケにしろと云ふ如き主義	をを
グルッと回つても有りませぬ．して見ると云ふと	をを
グルツと取りまいて居ます．して見ますと其の中	をを
グルリと取りまはして居て其の中に地球はボンヤ	をを
呉れないから待つて呉れろと手をついて言訳を致	をを
委しく研究せずして分らぬ御方は直に，この論じ	をを
企つる時などには，いつでも酒が媒になりまして	をを
加ふべきことは色々あつて既に規則書にも見えた	をを
加ふるに至りし所以のものは必竟前に申し通り	をを
加へて「はなをみる」といふ様に教へ其れで年始	をを
加へられて共に我が国の文明の基礎となるべき機	をを
加へぬ其の儘の説で御坐んす．兎も角も利を興す	をを
加へねばなりませぬ．然らば如何なる改良をした	をを
加へ改良をなして段々かういふ世の中にしました	をを
加へまして監獄の目的は人心を改良すると云ふこ	をを
加へました．其の二国の改良の中で最も重もなる	をを
加へました．其の後，内務省に於て各府県の典獄	をを
汲んで勧善懲悪と云ふ桁をこしらへ悉く其の中へ	をを
酌んで居るものは見るに忍びぬ程で有つたと申し	をを
郡より引きはなして区と定めるので例へば東京市	をを
郡の共有と云ふのが多いので，郡其れ自らの所有	をを
警戒するが故であつて拠ろのない話し．日本だか	をを
計画し而して採長補短の斟酌なく保守して而して	をを
経験いたさうと存じます．其の一つはこれで御坐	をを
警視庁の掛りの人に尋ねたところが（尤も，これ	をを
軽侮するの心あり彼等は我々を軽蔑する心あるの	をを
軽蔑する心あるのが此のことの原因となりしに相	をを
軽蔑したものなりと考へるより外はない．彼等は	を

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（を）	を	164	08	島彼時不毛の地たり人の之を主どるなし	を	経略せんと欲す．一日行て亜丁に抵る英将の邀飲
	を	129	08	びてしまふであらう．故にこの輩は学問	を	けしからぬ悪きものとして常に誹ります．箇様な
	を	142	02	言ふものは大切なものなれども，たゞ柱	を	削り塀を塗るは普通の職人にも出来る．小説家は
	を	101	15	ちに之を打ち捨ててしまふ様です．今之	を	獣に例ふれば日本人民はヤマアラシの様である，
	を	231	16	て議場を整理し可否同数のときは議長之	を	決すると云ふことも有り，また府県知事が自ら議
	を	088	02	の御方若し追々と怠ること無くして聖書	を	研究いたすならば遠からず基督教の必要に付て疑
	を	089	05	有様を知りたいならば先づ新約書旧約書	を	研究するならば分らぬことが御坐りますまいと存
	を	093	12	法律学上果して責罰があるやといふこと	を	研究したものを見ませぬ．故に已むを得ず私が一
	を	131	07	論を駁つ為めに西洋の学者が著はした本	を	研究して而して西洋の学者の論を以て西洋の学者
	を	152	01	官吏，行政議会，行政裁判所の組織職務	を	研究しなければなりませぬ．第三には憲法で，き
	を	152	03	これを制限し規定する所の行政法律規則	を	研究しなければなりませぬ．第四には全国，府県
	を	171	06	其れならドコの国に行くだらうか．学術	を	研究したり移住を為したりするはドコがよからう
	を	211	10	りませんが双六や其の外のアタリハヅレ	を	研究する学問によつて見ますと彗星の突き当る前
	を	232	13	すから行政官権及び行政議会と云ふこと	を	研究しますには，また之を三つ即ち第一には中央
	を	182	07	賤貧富の差別なく誰でも彼でも平等に之	を	厳禁いたします．さうしてこれが即ちキリスト教
	を	074	09	ので御坐んす．さういふ風の金の使ひ方	を	原語でＰｏｓｉｔｉｖｅＶａｌｕｅ即ち積極的の
	を	080	12	の害になる所，人の位を下げる所のもの	を	減じ或は除くことで御坐ります．また一つには現
	を	256	17	りまするから，貧民を救助すれば犯罪人	を	減少すると云ふことになりまする．さて貧民の種
	を	270	13	ものに相違ありますまい．然れば犯罪人	を	減少するは教育の普及を図ることが第一の仕事で
	を	075	12	如きは国家の富を増すものでは無くて富	を	減ずるもので有るから国家の為めに希ふ所はＰｏ
	を	211	02	きくなつて自分が彗星になつて他の世界	を	見物にあるき出すものだから其れほどに恐ろしく
	を	153	05	は血税を納めるの義務があるといふこと	を	憲法に掲げてあつても，これは徴兵に取りこれは
	を	153	08	また人民は同等のものであるといふこと	を	憲法で，きめるけれどもヤツパリ従一位だとか正
	を	153	10	所有権は侵すべからざるものといふこと	を	憲法できめるが鉄道を設ける為めに土地を買ひ上
	を	051	08	々広く益々盛んに此の会の成りゆくこと	を	御相談いたしたいと思ひます．然るにこの月は会
	を	238	09	て祝辞を述る序でに一言其れだけのこと	を	御忠告いたします．監獄論明治二十年十月十五日
	を	242	01	ぬ．固より諸君の中には監獄全体のこと	を	御熟知なされたる方も有りませうが，中には監獄
	を	243	10	二大政権事務の上部を握られて天下の事	を	御親裁あらせらるゝもので御坐います．さて，執
	を	145	05	てるが宜しい．そこで互に討究して智識	を	交換するが面白からう．其の中にまた和漢洋兼備
	を	234	07	び得た所を脳髄から練り出して来て其れ	を	講義として教ふるやうになるで有らう．其れで無
	を	108	14	危険を避けやうといふにはドウいふこと	を	攻究しなければならないか．船長等の指図に従ふ
	を	076	06	は貧弱にならぬ様にといふ様にすること	を	講究することの学問と看做しますときは経済学も
	を	076	07	極的の用を為すもので御坐んして殊に之	を	講究するといふことになつてはプロフェッソルの
	を	147	05	堂に於て宇川盛三郎君講演行政法の大意	を	講究しやうと云ふ趣意は色々ありますが先づ全国
	を	226	10	のが目的で御坐います．よつて此のこと	を	講究しまするには先づ二部に分ちまして第一部は
	を	226	12	びに行政議会の組織及び職権と云ふこと	を	講究し，即ち施政と云ふことと議政と云ふことと
	を	226	13	即ち施政と云ふことと議政と云ふことと	を	講究することに致し，第二部に於ては行政裁判所
	を	226	14	二部に於ては行政裁判所の組織と権限と	を	講究することに致します．先づ第一部から申し上
	を	232	15	て其の行政官権及び行政議会と云ふこと	を	講究する順序になります．今日は先づこれまで申
	を	242	11	の被告人又は金を借りて払はない者など	を	拘禁する所でありまする．只今では監獄のことも
	を	271	16	ありまする．第二，監倉．これは未決者	を	拘禁して置く所であります．故に之を未決監とも
	を	272	03	役の刑，及び禁錮の刑に処せられたる者	を	拘禁して置きまする．第五，集治監．これは徒刑
	を	271	06	とで有りまする．以上の諸監獄の在監人	を	合計しますると四万八千八百五十六人となります
	を	247	14	とを分らせるので有りまする．たゞ道理	を	講釈するだけでは分らない位な者で有りますから
	を	164	08	と欲す．一日行て亜丁に抵る英将の邀飲	を	被り以て地主の情を修む．酒酣なる時に当り主，
	を	039	13	働かぬ者を生かしておくと部落一般が害	を	被むる様になるから其れ故，殺さぬのは却りて善
	を	186	07	も矢張罪人であるし，若し男が神の恩恵	を	蒙るべきものならば女も同様に神の恩恵を蒙るべ
	を	186	07	蒙るべきものならば女も同様に神の恩恵	を	蒙るべきものと致します．故に新約書にもキリス
	を	162	10	て遠きに往き其の所得を用ひて其の父母	を	孝養し其の父母喜ばゞ酒を家庭の間に用ひ献酬歓
	を	260	16	レまでは全国の利益になる，此の度合ひ	を	超ると惰民製造の弊を来すと云ふのを判断するの
	を	054	02	ることを知らない．初学で下り而して舟	を	漕ぎ，畑へ弁当を持つて行く様になる．其れを用
	を	023	10	なければならない，其れだから其の雛形	を	こゝへ持つて来ることが出来なかつたので有りま
	を	092	11	若し諸君御銘々が耶蘇基督の高尚なる教	を	心に得て身に行ふに由つて能く己れを進歩させる
	を	101	14	といへば一人も疑ふものもなければ反対	を	試みるものもなくて直ちに之に雷同し，また直ち
	を	263	09	許して果して其の心を改良したるや否や	を	試みるもので有りまする．此の方法が一番宜しい
	を	114	05	上には欲は無いが人類は人類の手で食物	を	こしらふると，いふことが有るから飲食にも結構
	を	142	03	通の職人にも出来る．小説家は其の仕組	を	こしらへたる上に仕上げまでをも立派にやらなけ
	を	142	13	，馬琴の流亜を汲んで勧善懲悪と云ふ桁	を	こしらへ悉く其の中へはめこんだもので人情本な
	を	146	01	つて面白いことも出来る．また其の小説	を	こしらへて利益が有るかと言ふと随分利益も有る
	を	149	04	調べるにしてもドレだけの行政法律規則	を	こしらへなければならぬか行政法には，ちつとも
	を	264	03	十人づゝに分ち，五つの家族の如きもの	を	こしらへて其の各家族に家族長と云ふものを置き
	を	004	04	り，こちらより上手に拵へたり．廉い物	を	拵へたりする者が多くあれば，こちらの物を買ふ
	を	016	06	との位置を比べて見ますと直径一寸の玉	を	拵へまして其れを地球の雛形にすると其の玉から

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（を）	を	077	04	．浅近の例を挙げて見ますと勉強して金	を 拵へましても窃盗だとか詐偽取財だとかに由て其
	を	002	17	例へば家を建るとか繊物を織るとか大砲	を 拵へるとか薬を煉るとか其の外物理上化学上の智
	を	047	09	る．其れよりは一つに寄りて大きな社会	を 拵へる様にしたいものぢゃ．其れの出来ぬのを歎
	を	055	02	坐ります．今私の申した目録だけの書物	を 拵へるのは口で言へば易い様だが大困難の至りで
	を	075	09	新たなるものを生ずるとか新たなること	を 拵へるとかいふことが出来ない．病気は健康体を
	を	003	01	薬を煉るとか其の外物理上化学上の智識	を こちらへ得れば風雨を凌ぐことも出来れば暑さ寒
	を	048	15	る．其れまでの間は各国が何分にも社会	を 異にして，居るから其の間に道徳の十分行はれる
	を	186	10	リスト教に於ても男と女は天然，其の性	を 異にするものゆゑ随つて其の事業も責任も違ふこ
	を	228	04	諸侯国が何百か有つて，各諸侯国で租税	を 異にし裁判を異にし法律規則をも異にして居りま
	を	228	04	か有つて，各諸侯国で租税を異にし裁判	を 異にし法律規則をも異にして居りましたから，ッ
	を	237	08	外ありませぬ．実に今日と利害，幸不幸	を 異にすることは驚くべきことで有ります．其れに
	を	263	11	たる四つの方法は国によつて其の用ひ方	を 異にして居りまするけれども皆な四つの中の一つ
	を	163	16	もよく知れる．」また駿河の今川は歌舞	を 好み相摸の北条は酒を好み皆其の国を亡ぼした．
	を	163	16	駿河の今川は歌舞を好み相摸の北条は酒	を 好み皆其の国を亡ぼした．福島正則などといふ人
	を	170	13	多くありますまい．日本人は新しいこと	を 好みますからアンナいやらしい国に行く気はあり
	を	173	05	この恩といふ教に養はれ不潔を嫌ひ潔白	を 好み進むことを好んで退くことをいやがるタチで
	を	177	06	は将来，我が国の人心の向ふ所は何の国	を 好み何の政体を貴び何の風俗を喜び職業は何々に
	を	007	14	きなさらぬ様に願ひたい．大臣参議が碁	を 好むと属官までが碁をうち，大臣参議が茶道を好
	を	007	14	と属官までが碁をうち，大臣参議が茶道	を 好むとまた茶道がはやる．これはいづくのハテで
	を	058	03	実に千古の名言で支那の孔子ですら「之	を 好む者は之を楽しむ者に如かず」と申しました位
	を	119	16	酒の害の及ぶ所を簡短なる言葉にて「酒	を 好むことは悪鬼の働きなり，また酒疫なり」と述
	を	035	02	と思はれます．小欲の人は酒を飲むこと	を 好んで前に述べた様なことは致しませぬ．西洋の
	を	102	03	い芋のシッポも嫌はない．日本人は清潔	を 好んで矢鱈無性に威張りたがるが獅子の様な勇も
	を	170	11	移住の運動を始めるやうになつたらドコ	を 好んで行きませうか．朝鮮か満州か又は支那を好
	を	170	12	で行きませうか．朝鮮か満州か又は支那	を 好んで行きませうか．さうでありますまい．朝鮮
	を	173	05	に養はれ不潔を嫌ひ潔白を好み進むこと	を 好んで退くことをいやがるタチで，イクサは嫌ひ
	を	196	08	見なければなりません．一体，この彗星	を こはがるのは東洋の方ばかりでは無く，西洋では
	を	166	17	，たゞ一見しては分りますまい．併し之	を こはしてケミストリーで見ると，よく分りませう
	を	168	09	すぎて北亜米利加合衆国の人が和親貿易	を 請ひに来ました．丁度私が二十四五の時だつたが
	を	007	04	と唐紙を持つて来て名筆を揮はれむこと	を 請ふを競ふ世の中．なかなか漢字の貴いことを知
	を	029	14	西洋では「乳道」と言ひます，其れは乳	を こぼした様で有るからさう言つたので有ります，
	を	210	15	突き当たつたら蟻の群つて居る中に熱湯	を こぼすやうな有様だらう」と言ふ人が有れば，ま
	を	125	07	坐ります．されば今頃，よく若い伝道師	を 困らせるものは何で御坐りませうか．伝道師が度
	を	094	12	が同胞二十五人が水中に葬むられ魚の腹	を 肥したのは我輩に於て悲歎に堪へぬことで御坐り
	を	246	16	，たゞムヤミに強役，強役と名づけて之	を 懲らしめることをすると，訳が分らなくつて，い
	を	247	12	す．其の第一は懲戒法と申しまして罪人	を 懲らしめるもので，これは所謂，道具じかけで有
	を	195	09	とが御坐いました．諸君も定めてネムサ	を こらへて彗星を御覧になつて「立派な彗星が出ま
	を	061	02	ませう．又緋縅の鎧や天保銭や丸髷島田	を 御覧のときは又未開化人の用ゆるものたるを知ら
	を	082	15	ギリシヤの国また其の中のアデンスの町	を 御覧なされ．アデンスの町は立派に開けたもので
	を	083	09	近い例を申しますならば彼の仏蘭西の国	を 御覧なされ仏国に於て学術美術新発明商法など誠
	を	091	04	いてある所の彼のパウロと云ふ人の勇気	を 御覧なされ，この人は怠ることも無く瞻すること
	を	133	13	大きに宣教師が驚いて「ドウして基督教	を 御覧なされましたか」と問ひましたれば，かの役
	を	139	16	所は小説で御坐ります．諸君も其の著作	を 御覧になつたら面白いと言ふことをお看認めにな
	を	195	09	た．諸君も定めてネムサをこらへて彗星	を 御覧になつて「立派な彗星が出ました」と言つて
	を	264	13	などを参酌して一覧表を製しましたが之	を 御覧になると監獄学の一斑は一目してお分りにな
	を	090	15	で基督の足跡を能く尋ね而して己れの足	を 之に合はして世渡りするものは進歩せぬと云ふこ
	を	157	12	小で三万に近い学問所で天球儀，地球儀	を ころがし回すやうに，なりましたが実は地が回る
	を	096	03	まい．なぜなれば船長ドレーキが日本人	を 殺さうと予め考へたとか臨時殺さうと思ふたとか
	を	040	16	斥される風習になり盗賊を働いたり子供	を 殺したり夫婦の配偶をせなんだり老人や親などを
	を	095	01	す．今道徳上の原理より言ひますれば身	を 殺しても仁を為すといふことがありまして尋常一
	を	096	06	を怠りたること及び其の怠務に因りて人	を 殺したることは之を証せねばなりませぬ．其の暗
	を	251	04	てさういふ訳では有りませぬ．昔では人	を 殺したとか云ふやうな者は直ちに首を斬つてしま
	を	251	05	に首を斬つてしまひましたが今日では人	を 殺した者でもナカナカ容易に死刑に処するやうな
	を	039	05	を守ることが出来ぬからぢゃ．又生れ子	を 殺す風習の有る社会が有るが其の中にも女子を殺
	を	039	06	風習の有る社会が有るが其の中にも女子	を 殺すのが多いことで其れが善いことになりて居る
	を	040	17	り夫婦の配偶をせなんだり老人や親など	を 殺すのさへも其の時には善い事にもなりたので其
	を	107	12	これは訳して言ふと正当殺即ち正当に人	を 殺すこと或ひは上官の命令に依つて人を殺すこと
	を	107	13	を殺すこと或ひは上官の命令に依つて人	を 殺すことなどであります．第二種をエキゼキュー
	を	107	14	いもので例へば幼年の者が弁別なしに人	を 殺すなどの類であります．第三種はメンスロータ
	を	108	03	れば其の範囲が広く例へば予め謀つて人	を 殺す場合のみでなくて悪事を為すの結果，人を殺
	を	108	03	場合のみでなくて悪事を為すの結果，人	を 殺すに至つたものも亦マーダーと為す如きもので
	を	161	07	人はムヤミなことをする人で孕み女の腹	を 剖いて胎を見たり，聖人には七つの竅が有るとい
	を	161	08	るといふがドウだとかと云つて比干の心	を 剖いて見たりしたが，これ等は畢竟，酒を飲むと

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（を）	を	187	04	まふが故なり今より後，万世まで人々我	を 福なるものと称ふべし」と謳ひましたが思ふに此
	を	187	09	る神を喜ぶ，今より後，万世まで人々我	を 福ある者と称ふべし」と此の凱歌を唱へつゝ神の
	を	093	15	へば今回の事件の如きは我が国に於て之	を 裁判するのが順序でありませう．なぜなれば安寧
	を	248	10	ます．警察に於ては犯罪人を捜索して之	を 裁判所に引き渡し又は嫌疑者を捜索して之を裁判
	を	248	11	判所に引き渡し又は嫌疑者を捜索して之	を 裁判所に引き渡すものでありまして，裁判所に於
	を	054	15	，修身はといふと仏道と耶蘇，其の仏道	を 採用するとしても矢張り経文は漢字であり，さう
	を	232	12	，但し諮問の場合に於ては必ず其の意見	を 採用せずとも，宜しいと云ふのが学問上の精神で
	を	096	13	れだけの罪になるといふに充分なる証拠	を 探さずして之を謀殺に当る故殺に当るといふは少
	を	086	12	ヅクに尋ねたならば分るであらうかドコ	を 探したならば之を求めることが出来ませうか．ア
	を	178	02	ランチックの海浜にて古き器物のコワレ	を さがせしも木ひろひなりと見る人は通り過ぎしな
	を	103	15	日本人を真面目ならしむるの手段は宗教	を 盛んにするにあることは明瞭でありませう．次ぎ
	を	103	17	国に知らしむる方便は何かといへば英語	を 盛んにするのであります．前段にも申したるが如
	を	117	11	る心にもなるものだから成るたけ此の会	を 盛んにしたいもので有ります．人によりては酒の
	を	018	07	太陽が動かすのだ」と言つたと云ふこと	を 桜井先生が講談になりました．其れが私の今申し
	を	110	16	ろ其の管轄を横浜に移し以て世人の嫌疑	を 避くること英国政府の為めに便宜の処置であらう
	を	108	13	転手等の指図を如何に思ひませうか危険	を 避けやうといふにはドウいふことを攻究しなけれ
	を	132	01	す．卒業生若しよく諳んで無証拠な設理	を 避けて学術のよく定まつた事実を斯の如くに用ふ
	を	062	12	付けたるが如く左右には長き贅沢ぶくろ	を 下げ背には大いなる文庫を背負ひ足には俎板然た
	を	080	12	総ての悪き所，人の害になる所，人の位	を 下げる所のものを減じ或は除くことで御坐ります
	を	085	12	性質，人の損害になる原素，また人の位	を 下げる所のものを除き去りまた減ずること，また
	を	086	03	き性質，人の損害になる原素また人の位	を 下げる所のものは何で御坐りませうか，また，こ
	を	087	06	悪しき性質，人の害になる原素，人の位	を 下げる所のモノゴトまた其の外社会の進歩を妨げ
	を	161	09	といふものは丁度，鉄炮におそろしい音	を させるミチビの様なもので其れからして怒りを起
	を	253	09	また，只今申した如き者の為めには農業	を させるのが宜しいと云ふ実験が有ります．其の故
	を	262	12	昼も他の囚徒と面を見合すことも，話し	を させることも有りませぬ．此の方法は悔悟遷善の
	を	262	17	て多くの囚人を一つの場所に集めて仕事	を させるときは如何しても話しをしない訳には参り
	を	152	06	と憲法では一国の公法の基礎となる原則	を 定むる，即ち人民の政事上，宗教上，民事上，等
	を	243	13	執行いたします．故に政府は政治の方針	を 定むるだけにして，其の実際の運転は総て行政権
	を	244	07	時としては法律の委任を受けて某々の事	を 定むる等のもので，これは執行権に於て制定する
	を	259	11	予防に注意すること．第二，土地の区域	を 定むること．これは東京の養育院に於ては東京府
	を	260	01	たいもので有ります．第四，救助費の額	を 定むること．これは最も必要なことで，例へば一
	を	063	15	，人力車夫の業たるや農工商等の如く時	を 定めて営業すること少なくして炎暑厳寒を厭はず
	を	194	03	．斯の如く立法権者と執行権者との原則	を 定めたから，これから行政組織をお話し致す考へ
	を	244	06	す．規則と申しまするものは法律の細目	を 定め，また時としては法律の委任を受けて某々の
	を	260	02	二万円と定むるか何にしても救助費の額	を 定めて置きませぬとムヤミに慈恵，慈恵と申して
	を	150	16	憲法で定まつて居るものの細密なる部分	を 定めるものが行政法であります．行政法と言へば
	を	151	02	あるのです．併し斯の如く行政法の範囲	を 定めると至つて小さいもののやうでありますが其
	を	188	11	立憲権力といふものは他の二つの大権力	を 定める．其の二つの大権力といふものは立法権と
	を	255	11	すまい．若し，かういふことを以て尊卑	を 定めると昔の大名の中には随分宜しくないことを
	を	153	07	仏教でも勝手に信じてよいといふこと）	を 定めれば行政法では其の取締を設けます．また人
	を	032	15	「地球の位置」と言ふ題で全世界の地理	を ザットお話し申しました．節酒会を賛成するの趣
	を	222	11	ましたと先づ大要を申して次に其の濫觴	を ザット述べませう．先づ我が国の上古には久米舞
	を	006	17	らうか来年位には世の人多く漢字の不便	を 覚らうかと．私は悶てしまつた．なかなか世間の
	を	061	02	見られたならば必ず古代未開時の風たる	を 覚らるゝでありませう．又緋縅の鎧や天保銭や丸
	を	248	01	るので始めて己れの所業の悪かつたこと	を 覚り，一方では懲戒法で苦痛を受けると云ふので
	を	091	07	一個人と社会とを論ぜず一体，人の進歩	を 妨げて最も大いなる邪魔を為すものは何で御坐り
	を	086	05	有りますか，社会の進歩と所謂文明開化	を 妨げるもの，また之を進ませるものは如何なるも
	を	087	07	げる所のモノゴトまた其の外社会の進歩	を 妨げるものは如何なるものかと基督教に問ふなら
	を	221	07	平記，前々太平記などと云ふウソバナシ	を サモ本当らしく作り，後には真田三代記とか難波
	を	132	08	これ等の色々の敵は既に久しき以前に世	を 去りましたもので御坐りますれども聖書はキズも
	を	135	07	万民の為めで御坐ります．耶蘇基督が世	を 逝りませぬ前きに其の弟子たちに仰せ置かれた所
	を	075	05	なら土工家を雇ひ或ひは水口をつけて水	を 去るなどといふ様なこと実に挙げて算ふべからざ
	を	204	06	．そこでＬｏｕｉｓオヒトヨシは大心配	を されて，色々くだらないことをするやら何やらし
	を	017	11	のであらうといふと一丈一尺ばかりの玉	を 三丁半の距離に置いたのが太陽になります．一寸
	を	159	06	なりましたが支那では老子，孔子，釈迦	を 三教と唱へました．弘法大師は其れを三聖と言ひ
	を	159	06	迦を三教と唱へました．弘法大師は其れ	を 三聖と言ひましたが其の時分には欧羅巴の教法は
	を	267	16	いて申したので有りまするから此の方法	を 参考して実際の専業を為すときには必ず大いなる
	を	264	12	国に於て施行して居りまする監獄法など	を 参酌して一覧表を製しましたが之を御覧になると
	を	174	09	百万人として一箇年一人前の衣食の費用	を 三十円としますと今，日本人の衣食の費用ばかり
	を	159	07	教法は渡りませんから老子と孔子と釈迦	を 三聖と唱ひ其の時分には老子の学問とも老子の教
	を	033	01	地理をザットお話し申しました．節酒会	を 賛成するの趣意明治十八年三月二十二日大日本節
	を	187	03	救世主の母となつたことを知つた時に神	を 讃美して「我心主を崇め我が霊は我が救主なる神
	を	001	08	る方がゐらつしゃることなれば私は演説	を したいことは無い．併し仮名の会の懇親会に付て